昭和２４年３月１９日第３種郵便物認可　昭和３５年11月２０日印刷　昭和３５年11月２５日発行　第４１輯第11号　（毎月１回２５日発行）

建築と社会

1960 11

日本建築協会

the architectural association of japan



公共住宅特集

明るい床材
三星プラスタイル



三星アスファルトタイル
三星 P タイル (2耗厚)
三星マチスタイル

規格寸法　304.8㎜×304.8㎜　厚サ 3.2㎜

価格　3.3平方米　2,300円 ～ 4,800円(材工共)

三星の弾性床タイルは何れも製法の専売特許品で、日本の多湿多雨の気候でも優れた性能をもつ、舶来品の追随を許さない製品です。

●屋外には使用出来ません

●各製品毎のカタログ見本技術報告書を御請求下さい

◆特　徴

施工後故障が少い・工期が早い
価格が手ごろである・手入掃除が簡単
色彩が自由に選沢出来る・永持ちする

三星ルーフイングの

田島応用化工株式会社

工場小台営業所　東京都足立区小台町６３３　TEL (911) １１８１
本社神田営業所　東京都千代田区神田岩本町１３　TEL (866) ６１４８
大阪出張所　大阪市西区京町堀上通１～１４　TEL (44) ５９５１

軽い
燃えない
腐らない

フェザーグラス

極細硝子繊維 3ミクロン

大手町ビル
新朝日ビル
丸の内東宝劇場
第二大手町ビル
千代田ビル

に使用された

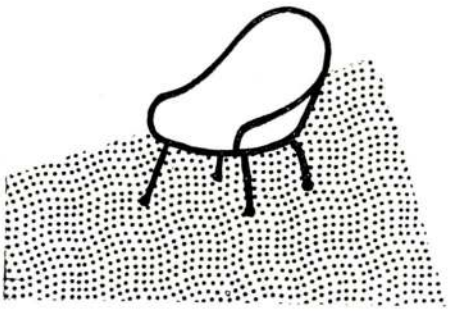
効果的な断熱・吸音材

PARA MOUNT GLASS MFG.

パラマウント硝子工業株式会社

本社・工場　福島県郡山市長者町225　電話(郡山)3451～4
東京出張所　東京都中央区八重洲6—1(日東紡)ビル　電話(東京)(281)7205～6
大阪出張所　大阪市東区北浜2—85　北浜清友会館(日東紡績(株)大阪支店内)　電話(大阪)(23)0331～4

皆様の設計と施工に東洋の床材



リノリューム
リノタイル
ビニール系新製品
ビニラートタイル
ビニール製
スポンジシート

◇ソフトな感触
◇優秀な耐久力
◇美しい色彩

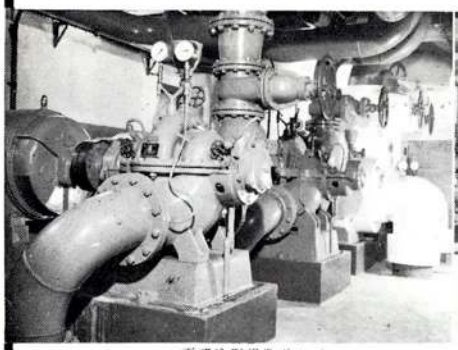
カタログ進呈

東洋リノリューム株式会社

本社工場　兵庫県伊丹市伊丹558
電話 伊丹 代表3531・大阪㊽4490
東京支店　東京都中央区銀座4　三和ビル
電話 (561) 1701・2564
大阪事務所　大阪市東区瓦町2　三和ビル
電話 (23) 0375～0379

近代建築の機能を生かす！

建築の設備とこれを生かすそれぞれの機器は近代建築美に調和した設計と機能を備えねばなりません。
日立製作所では、ビルディングに不可欠の各種ポンプを、多年の経験を生かして製作し各方面から絶大な称賛を博しております。

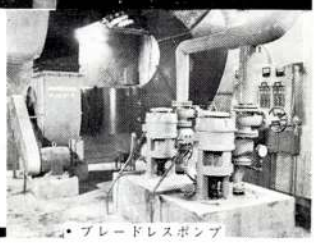

・両吸込形渦巻ポンプ


・タービンポンプ

建築設備用
日立ポンプ

OV型渦巻ポンプ
DV型両吸込渦巻ポンプ
GMC型タービンポンプ
モートルポンプ
汚物用ブレードレスポルプ
水中モートルポンプ
ボアホールポンプ

日立製作所


・ブレードレスポンプ

特許

平川-MPボイラ

煙管式ボイラの「革命児」現る！

経費節減527万円の利益を生む

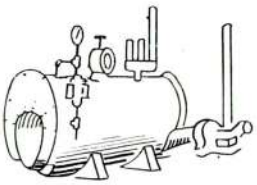
☆高性能・輻射型
☆石炭・オイル・ガス焚
☆1年間(7200時間)の燃料節約額

7′×30′ランカシヤボイラと比較して

527万円益

(但し E.E.2000kg/hr.
6000カロリー石炭6000円/屯
1日24時間1月25日として)

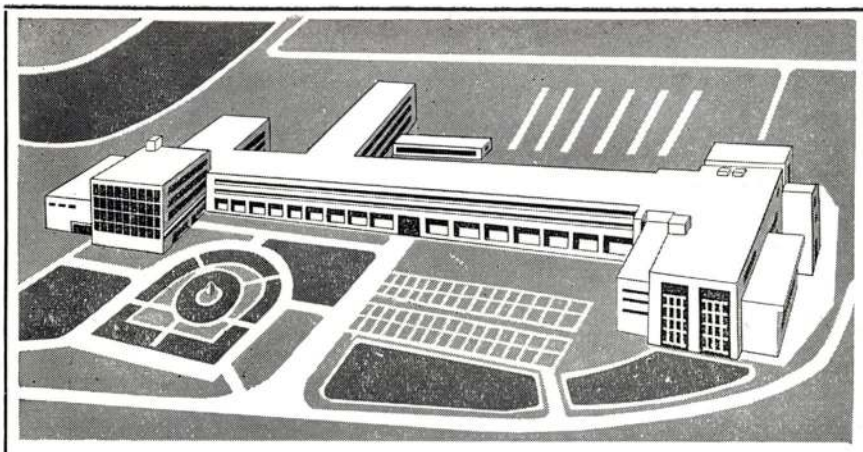
大阪府立工業奨励館
公式試験成績
汽缶効率 81.2%
石炭焚にて
排ガス温度 197℃



◁営業科目▷ 平川～水管ボイラ、平川～機関車型ボイラ
平川～竪型ボイラ、外ボイラ全般・輸送機械

株式會社 平川鉄工所

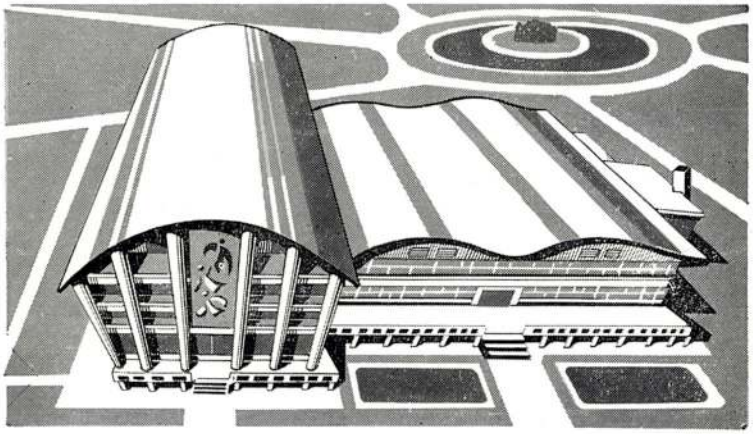
本社・工場 大阪市大淀区大仁西2の1 電話福島㊺1975－8
東京営業所 東京都中央区八重洲6の7 電話(281)5883・7787－8
九州出張所 福岡県小倉市富野545 電話 小倉⑤1362



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　シールセメント



日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL(271)7000・5463～5
営業所及東京工場　東京都荒川区尾久町6—101
　　TEL(807)代表016 1～5

大阪営業所及大阪工場
　　大阪市東淀川区堀上通り3—39
　　TEL(39)0924～5・2045・2079

東陶の衛生陶器と付属金具

L-92 に代る

L-220

オパール



ビル・アパートはもとより一般住宅

にも御採用頂けるよう寸法や価格の点では従来最もよく

Toyotoki 御愛用頂いていた製品L－92を基準として考慮いたしました。

定　価

陶　器(1級)L 220 ¥ 2,750

金　具(Toyotoki印)

立水栓 T205Y
@¥ 600 (2個) ¥ 1,200

止水栓 T4AY
@¥ 670 (2個) ¥ 1,340

排水金具 T6P ¥ 1,210

バックハンガ
取付木ネジTL220D ¥ 200

計 ¥ 6,700

参考定価

陶　器(並級)L 220 ¥ 2,200

金　具(TTK印)

立水栓 K205Y
@¥ 510 (2個) ¥ 1,020

止水栓 K4AY
@¥ 570 (2個) ¥ 1,140

排水金具 K6PC ¥ 1,030

東洋陶器株式会社

本　社
小倉市篠崎町458
TEL ⑤ 2481～5

大阪営業所　大阪市東区高麗橋5—32　TEL ㉓ 4518～9
各地営業所　東京・名古屋・小倉・広島・高松・札幌・仙台・富山　TEL 2105～8

茅ヶ崎工場
神奈川県茅ヶ崎市



床材の王様（キング）！

新発売

ロンタイルK

30 cm × 30 cm ・ 厚さ 2 mm

ロンリウムK

182 cm 巾 ・ 厚さ 2mm、3mm ・ 長尺

従来のロンリウム・ロンタイルの姉妹品として、川口ゴムの最新の設備で完成したビニル新床材で、色調・摩耗性・耐燃性・耐油性など格段と優秀性を有します。ロンリウムK・ロンタイルKはいずれも全層同質で耐摩耗が強化され、然もソフトな質感は公共建築・ビル・車輌の床にピッタリとし価格も一層経済的になっています。

ロンプレート
網入等各種類そろった塩ビ波板

ニューロンプレート
使いやすい、トタン小波の普及品

ロンガラス
用途の広い、透明・半透明塩ビ平板

ロンフイックス
丈夫で汚れない最新の壁・襖貼材

ロンリウム
品質随一と定評のある床張材

ロンタイル
あらゆる床にマッチする美しい床材

川口ゴム工業株式会社

本社・工場　東京都葛飾区本田四ツ木町54　電話東京(691) 代表1946～9
潮生工場　埼玉県越谷市大字蒲生274　電話草加(0871)2033～蒲生112
外国部　東京都千代田区神田錦冶町2—16　電話　東京(291) 3588～9
神田営業所　東京都千代田区神田錦冶町2—16　電話　東京(291) 0003～4
大阪営業所　大阪市南区北炭屋町33　電話　大阪(27) 4358～9

会員の受章

会　員　の　受　章

本会々員の下記の方々がこのたび褒章を受けられました。
ここに誌してその栄誉をお祝い申しあげます。

記

黄綬褒章	小　崎　　修	君（京都支部常議員）
同	北　村　平　作	君
同	佐　藤　　太	君（理事）
同	松　田　昌　平	君（九州支部幹事）
同	森　　幸　治	君
同	山　田　治　司	君（兵庫支部幹事）
同	山　田　文　次	君（元理事）
藍綬褒章	尾　崎　久　助	君（会長）
同	銭　高　輝　之	君（理事）

午餐会と映画会

午　餐　会　と　映　画　会　開　催

久方ぶりに下記により午餐会を開催いたします。当日は，このたび国家褒章を受けられた会員諸氏をお招きしてお祝辞を申しあげたいと存じますから，なにとぞお繰り合せの上，多数会員ご出席下さいますようお願い申しあげます。

記

1. と　き　　11月29日（火）正午―1時
1. ところ　　大阪建設会館6階（天神橋南詰め）
1. 会　費　　500円（午餐会費）
1. 申　込　　28日午前中までにお申込み下さい。

午餐会後同所において下記の映画を上映いたします。

＜記録映画＞〝海に築く製鉄所〟

＜天然色 16mm 八幡製鉄株式会社企画・提供　岩波映画製作所・製作＞

この映画は，八幡製鉄戸畑工場建設の記録です。

上映時間　午後1時30分→3時30分。

午さん会に出席されない方でも映画ご観賞にお繰り合せご出席下さい。

阪神都市圏に関する国連調査団報告について

阪神都市圏に関する国連合同調査団の第一期調査報告書に対し意見申し出のお願い

先般，阪神都市圏の計画調査について，阪神都市圏計画調査委員会と国連調査団とが共同調査を行なったことはご承知のとおりでありますが，このたび，その第1期調査報告書がとりまとめられました。この報告書には，阪神都市圏および近畿地域の将来計画にとってわれわれ建築家にも関係の深い重要な提案がなされております。つきましては，同調査委員会からこの報告書について意見の申出でをするよう要請がありましたので，会員各位には，本号に抄録掲載してあります報告書を検討の上，忌憚のないご批判，ご意見を本会までお寄せくださるようお願い申しあげます。なお報告書全文についてご検討ご希望の向はその旨本会事務局までお申しいでください。

東海支部設立ならびに役員の選任について

昭和35年10月15日愛知県職員会館において，日本建築協会東海支部の設立総会を開催し，支部規約ならびに細則，および事業計画，収支予算を決定したほか，下記のとおり支部役員を選任して東海支部を復活いたしました。会告申しあげます。

記

支部長	一圓俊郎	君（名古屋市建築局技術部長）
副支部長	新居恒人	君（㈱大林組名古屋支店建築部長）
同	城戸武男	君（城戸武男建築事務所長）
顧問	佐藤四郎	君（佐藤四郎建築事務所長）
同	岡田平蔵	君（岡田建材店）
幹事	相原定幸	君（㈱竹中工務店名古屋支店）
同	石原巖	君（愛知県建築士会会長）
同	岡田順一	君（岡田建材店）
同	黒川己喜	君（黒川建築事務所長）
同	水野金市	君（名古屋市建築局指導部長）
常議員	五十嵐昇	君（三共建築事務所長）
同	川口喜代枝	君（篠田川口建築事務所長）
同	菅谷知巳	君（㈱大阪電気暖房商会名古屋支店長）
同	染木正夫	君（染木建設㈱社長）
同	西村勝	君（文部省名古屋工事々務所長）
同	浜田瑞穂	君（浜田建築事務所長）
同	原清	君（名古屋市建築局審査課長）

以　上

第6回工高生デザインコンクール入選者発表

設計課題　ガソリンスタンド

応募作品　24校　94点

審査会　10月22日午後2時～6時
於　本会4階集会室
審査員　委員長　伊藤貞亮
委　員　足立　孝，杉本　裕，竹口信夫，辻　秋次，鳥田家弘，西沢文隆，松川和正

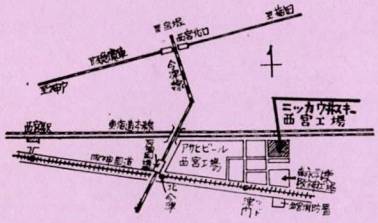
入選者氏名	学年	学校名
菅家靖夫 君	4年	早稲田大学工業高校
有村光郎 君	3年	早稲田大学工業高校
根岸太郎 君	3年	早稲田大学工業高校
浜崎彰 君	3年	大阪府立西野田工業高校
仲宗根宗誠 君	4年	大阪市立都島第二工業高校
高橋博之 君	4年	大阪市立都島第二工業高校
伊藤善文 君	3年	大阪市立都島工業高校
三宅健司 君	3年	神奈川県立神奈川工業高校
渡辺正之 君	2年	名古屋市立工芸高校
前田嘉夫 君	3年	名古屋市立工芸高校
中路克巳 君	3年	京都市立伏見高校
大谷海浄 君	3年	東京都立墨田工業高校
宮本光雄 君	3年	東京都立墨田工業高校
松島哲柴 君	3年	新潟県立高田工業高校
鹿住烈 君	3年	新潟県立高田工業高校
中村公一 君	3年	新潟県立高田工業高校

（順序作品受付順）

◆入選作品10点は12月号に掲載◆　｝内は共同設計者

ニッカウヰスキー見学会

見学会場案内図



概要

1. 工場本館
   鉄筋コンクリート造2階建一部3階建
   1階面積　1599.87m²
   延面積　3631.77m²
2. 事務所
   鉄筋コンクリート造2階建
   1階面積　448.50m²
   延面積　624.00m²
3. 工員休憩所
   木造平屋建
   面積　306.18m²
4. その他
   守衛所　気瀑室など

大阪神鋼ビル
北海道拓殖銀行北浜支店
大井ビル
見学会

第20回工場見学会

ニッカウヰスキー西宮工場見学会

1. 日時　11月18日（金）午後2時（集合）—4時（解散）
1. 集合所　標記工場正門前
1. 申込　17日までに電話で申込みのこと。但し定員は50名です。

所在地　西宮市津門飯田町1—2
設計監理　日建設計工務 KK
施工　KK 銭高組
工期　着工　昭和33年11月20日
　　竣工　昭和34年8月15日

集合所へは左掲の案内図を参照下さい。なお最寄駅は阪神電車国道線の津門停留所です。

大阪神鋼ビル・北海道拓殖銀行北浜支店・大井ビル見学会

＜大阪府建築士会共催＞

1. 日時　11月24日（木）午後3時＜集合＞—5時＜解散＞
1. 集合所　標記建物大阪神鋼の正面玄関＜三休橋筋＞
1. 申込　20日までに電話で申込みのこと。
   定員は150名です。
1. 建築概要

設計監理　三菱地所株式会社
施工　清水建設株式会社
位置　大阪市東区北浜3—3.5.14
建築面積　2,077m²
延床面積　22,853m²

構造　地下2階・地上9階・塔屋3階
　　鉄骨鉄筋コンクリート造
軒高　パラペット上端まで　31m
　　塔屋パラペット上端まで　40.27m
工期　昭和34年5月—昭和35年11月

（注）標記見学の建物は3つの会社の合同のビルであります。

古建築見学会

日本民家聚落博物館＜服部緑地公園内＞見学会

1. 日　時　11月26日（土）午後1時30分（集合）5時（解散）
1. 集合所　阪急電車宝塚線曽根駅出札口附近
1. 会　費　30円（拝観料・当日いただきます）
1. 申　込　20日までに電話で申込みのこと。
　ただし定員は50名です。
1. 現地解説者　工学博士　浅野　清氏（大阪市立大学教授）

日本民家聚落博物館について

ここでは全国の代表的な民家を移築して，生活的な内容をも示すようにして，展観しているが，いままでに移築されたものは五件である。

白川の民家：これは約200年前のもので，白川ではもっとも古い家に属し，母屋は桁行10間，梁間6間半，切妻造茅葺で，小屋内を二層に造り，延坪167坪に達している。壁はすべて板壁で，横板を柱間に落しこむ。一方の妻に水屋と牛小屋をおき，中央に広間，他の妻にちょうだ（寝室）でいを囲い，矩方に縁を設ける。入口は広間に接して開く。小屋裏を室にしたのは養蚕のためであって，比較的近世に発生したものと考えられている。

椎葉の民家：日向の椎葉村は飛弾白川村や阿波伊祖谷とともに，わが国三大秘境として知られ，いずれも平家落人の伝説を持つ。この建物は約150年前のもので，桁行12間半，梁間5間，寄棟茅葺で板壁，室は横に一列に3室をならべ，一方の端の土間から入る。室の前には広縁を配し，室の後には頑丈な戸棚をはくりつける。

奄美の高倉：現在琉球と奄美大島のみに残る穀倉で，四本の柱を立てて，四住茅葺の屋根をあげ，小屋内に穀物を貯蔵する。

能勢の民家：能勢は大阪府の北端。入母屋造妻入茅葺の小さい家で，桁行6間，梁間4間，これを縦割にして，一方を土間，一方を室とし，前後に座敷，台所，納戸と続く。土間の前方には牛小屋をおき，後方に流し，かまどを設ける。前面には広縁や開放の土間をおく。この家は能勢に残るこの種民家の最古のもの。この系統の家は京都府，兵庫県の一部にかけて残っている。

長屋門：布施市の大庄屋の門，江戸末期のもの。

日本民家聚落博物館
見　学　会

ル・コルビュジェ大阪展

入場券について　本会会員には，割引券（¥ 120）を用意しておりますので，ご希望の方は，事務局までお申込み下さい。現金引替にて割引券をお渡しいたします。

ル・コルビュジェ大阪展開催

とき　昭和35年11月6日（日）より
昭和35年12月4日（日）まで

ところ　**大阪市立美術館**（天王寺公園内）

入場料　一　般　¥ 150
団体割引学生　¥ 120

今般のル・コルビュジェ展は，ヨーロッパ，カナダ，アメリカを経てはじめて日本に参ったもので，パネル，模型，絵画，スライド，スケッチなどを含む大規模なものであります。有名なチャンディガールの計画，ロンシャンの教会，マルセーユのアパート，モジュロールなど，その他われわれになじみぶかい，かつ学ぶべき作品が詳しく随所に展示されております。会場は設計者，技術者，研究者，学生にとっても格好のゼミナール教室となることと思います。ご観覧をおすすめいたします。

なお，本展覧会は来春，東京の国立西洋美術館においても開催されます。

◉スライド上映：会期中，会場において，毎土曜日と月曜日の午前と午後の2回，コルビュジェの作品に関するスライドを上映します。

本　会　後　援

全国大学卒業設計展示会開催

と　き　35年11月19~20日（2日間）
ところ　大阪工業大学（大阪市旭区大宮北之町）
主　催　日本建築学会

全国の大学建築科学生の卒業設計図案を一堂に展示して学生相互間の勉学上の参考に，あるいは教育者をはじめ広く建築界の方々に学生の制作動向を紹介することを目的に，本年度より新たに学会支部共通事業として毎年開催されるもので，本年は全国10地区で行なわれます。

多数のご観覧をお奨めいたします。

視覚教材用スライド「建築施工」の予約募集

○　鉄筋コンクリート工事の工法　　1組（100枚）3,000円（送料共）
○　鉄骨工事の工法　　1組（100枚）3,000円（〃）
○　申　込　　12月10日までに日本建築学会近畿支部へ

「用材の日本農林規格について」の別刷が，建築学会木材規格特別委員会にありますので，ご希望の方は建築学会へお申込下さい。（実費一部20円）

誰れもが認めて下さるプラスチック床材料の最高峰

桂のビニールタイル

3㍉厚 303㍉(1尺角)
4㍉厚 303㍉(1尺角)
5㍉厚 303㍉(1尺角)
6㍉厚 303㍉(1尺角)

- 曲げても 叩いても破損しない
- 耐薬 耐油 耐燃性
- 耐摩耗性にて優れた耐久力
- 色調優美で程良い弾力性

床材料の販売工事(責任施工)

株式会社桂商会

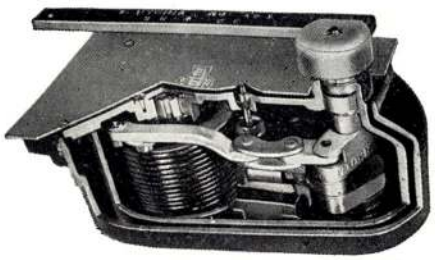
営業部 大阪市大淀区天満橋筋6～12
大阪市天王寺区上本町3丁目23

TEL 大阪㉟6625番
TEL(75) 0695(直通)・8906(27)6409

S.K

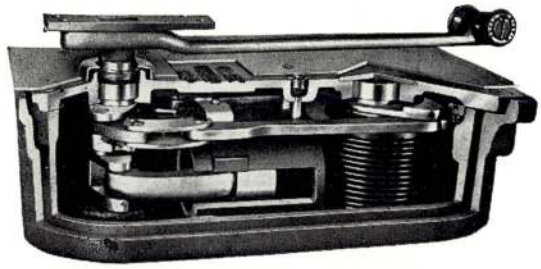
近代人の感覚にマッチする

ユートピア印



(片開持出吊り型)

フロアーヒンヂ



(中心吊自由開型)

ピボットヒンヂ



(ピボット・ヒンヂ持出し吊り型)

(カタログ御入用の節は御申込下さい)

製造元

敷島金物株式会社

布施市横沼町1丁目46番地 電話布施(72)839・7713番
東京都千代田区神田三崎町2ノ26 電話東京(301)0403(332)5310番

Toray
Reg. Trade Mark
東洋レーヨン株式会社

美しい花園をお部屋に……

丈夫で弾力性に富み、ホコリがたたないので大へん衛生的です。お部屋の雰囲気にマッチしたカーペットをお選びいただくため、あらゆる色柄を豊富に準備いたしております。室内に豪華な感覚と新鮮で楽しい雰囲気を漂わす東レ・カーペットをぜひお試し下さい

東レカーペット

二重織・銀鈴織・富士織・三重織・装美織・額縁三重織・三美織などがございます

東レ・カーペットのほか、東レ・フラットーヨー使用ファンシーラッグ(夏の敷物)も好評を頂いております



東レカーペット発売元—(株)辻田文平商店(大阪市住吉区南住吉町4の59)　ファンシーラッグ発売元—丸紅飯田(株)

耐火・断熱・軽量骨材

新製品 三井パーライト

パーライトは真珠岩を急速に加熱、膨脹せしめたもので主成分は硅酸であり小さな真空状のガラス質の巣の集りで形成されて居ります。
パーライトは非常に軽く耐火的であるのでプラスターに混じ耐火、断熱用壁仕上に又、コンクリートとしては砂の代りに使って断熱、軽量コンクリートとして使用されます。

用途の一例

(1) 軽量コンクリート用細骨材
(2) 左官材料(セメント・プラスター骨材)
(3) 保温断熱材
(4) 油井用
(5) 濾過助材

特性

軽いセメントモルタルの½以下(嵩比重0.04～0.20、砂の重量の1/10～1/20)
耐火性が大である　セメントモルタルの4倍の効力がある(熔融温度1000℃以上)
断熱効果が大である　セメントモルタルの2倍以上(伝熱係数 λ =0.03～0.05kcal/mh℃)
亀裂予防になる　殆んど亀裂が出ない
遮音吸音効果が大　セメントモルタルの2倍以上
施工が容易である　他の軽量骨材に比し施工が容易である
化学成分 SiO_2=75.5、Al_2O_3=15.3、Fe_2O_3=0.9　CaO=0.12、K_2O=4　Na_2O=3.5
有機不純物揮発分なく、長期保存するも変質しない



(パーライトを使用した国連ビル)

パーライトセメントモルタル調合その他・パーライトプラスターの配合説明書贈呈

三井金属鉱業株式会社

本店	東京都中央区日本橋室町2の1	東京	(241) 4101～9・2371～9
大阪支店	大阪市北区中之島3の5	大阪	(44) 3731・3751
東京営業所	東京都中央区日本橋室町2の1	東京	(241) 4101～9・2371～5
名古屋営業所	名古屋市中村区広小路西通2の26	笹島	(54) 3171～5
福岡営業所	福岡市天神町3 9	中局	(4) 9336～9

建築と社会

11

公共住宅特集

表紙写真：東豊中団地
（公団提供）

1960年11月号目次

巻頭の言

公共住宅論……中沢誠一郎…12

公共住宅15年……13

1. R.C.アパートお目見え……夕陽丘団地…14
2. 疎開跡の整備——店舗併存アパート……堀川団地…15
3. 団地のはしり……西宮北口団地…16
4. スラムの改良……番町地区…18
5. 応急住宅の建てかえ……大開団地…19
6. 持家へも公共融資……近鉄学園前住宅地…20
7. 給与住宅への公共融資……富士製鉄広畑製作所社員住宅…21
8. 団地の計画……その1 古市団地…22
   団地の計画……その2 矢田部団地…24
9. 宅地の造成……鴨子原団地…26
10. 高層化の試み……西長堀アパート…28
11. 「ニュータウン」へ……香里団地…30
12. 都心のアパートビル……天神橋施設付住宅…32

建築の眼……34

新執筆者　大野邦彦・森下祐良・長田正雄・吉田　勇

本文

公共住宅15年が語ること……絹谷　裕規…35

Ⅰ．公共住宅15年の概観……36

Ⅱ．貴重なる15年間の経験……44

公共住宅の当面する諸問題——座談会——……53

大阪府・兵庫県・京都府・京都市・公団・公庫
大学の住宅関係者による座談会

公共住宅アンケート……67

執筆者　工藤友恵　古谷綱武　原口忠次郎　吉富重夫　磯村英一　園部貞義　妹尾高行　薄田桂　永田照海　辻元八重　港野喜代子　鈴木正明　菅野勇利　阿部光次　高橋行夫　岡本英治　重田晃一　川淵長治

小さなダンチ族……77

——香里団地の子供に聞く会——

書評

日本の住宅問題——解決を阻むもの——……寺内　信…86

阪神都市圏開発計画研究報告……

……日本・国連合同阪神都市圏計画調査団…87

住宅問題・住区施設に関する分科会……94

近代建築調査委員会報告　11

第一銀行京都支店本館建築……牧野　忠…99

会報（9月分）……101

建築と社会
第41集・第11号
売価　1部180円・送料共
昭和35年11月20日印刷
昭和35年11月25日発行
発行所　社団法人　日本建築協会
大阪市東区北浜3丁目37
電話大阪㊀9648・9649・9640番
振替口座大阪39975番
編集人　松井昭光
発行人　沖田誠一
印刷所　株式会社研文社
大阪市北区堂山町66
電話㊁2091～3番
印刷者　網野栄

公共住宅論

中沢誠一郎

戦後15年間に変貌した日本の姿のなかで，とりわけいちじるしいもののひとつとして公共住宅を挙げることができる。それは大きく都市の景観を特長づけてしまった。同時にその配置によって都市をいよいよ広大なものにしてしまったし，いわゆるリージョンという概念を決定づけてしまった。これは日本だけではなく，世界の都市に共通な現象である。

戦争直後の物資不足の時代には，戦争中の営団住宅よりも，さらに一層規模が小さくなり，質的にもみじめなものであったが，公共建築が不燃化に踏みきっていらい，経済復興の波に乗りつつ，次第に高層化し，また団地化するにいたった。住宅公団が発足するにいたって，不燃化，高層化，団地化はますます徹底し，住生活水準の高上，居住地環境の整備に重点が移され，さらに都市計画的配慮がなされるほど，建築技術と住宅行政の進歩のあとは目ざましいものがある。

この大きな進歩の歴史の一時点において，きたるべき時代を展望するならば，なおわれわれは多くの問題をかかえていることをみるであろう。それが何であるか。本号が，公共住宅特集号として，過去を反省し，問題点をひろい，将来の公共住宅のあるべき姿を求めようと試みられたことは，まことに時期をえたものといってよかろう。

このさい2，3の問題点を提示したい。

そのひとつは不燃化，高層化とコスト低下の問題である。戦前からもいわれ，戦争中は市民が身をもって体験した都市不燃化の夢が，戦後の不燃公共住宅を契機として普遍化するようになった。このことは建物の高層化となり土地の高度利用をうながすこととなった。今後もこの傾向は期待できる。問題はコストである。大量生産によるコストの低下，そのための規格化という一連の研究が望まれるのであるが，さらに建築材料の大量生産とその応用による方法があるかどうか。

第2点はニュー・タウンの問題である。

ここではサテライト・タウンとベッド・タウンの両方を含めて考えてみる。

日本のような狭い土地で人口密度が高く，自治体が小さく分立しているところでは，イギリス式のサテライト・タウンは，少くとも大都市の附近ではむつかしいのではあるまいか。大都市周辺におけるひとつの弊害は，各自治体が財源を求めて，むやみに工場誘致を行ない，良好な住宅地を破壊していることである。これを防止する方法は，税制の再検討，自治体の合併，広域行政機関の設置等，行政，財政方面よりの研究にまつものが多い。これなくしては理想的なゾーニングはありえない。ということは，この考察を離れてニュー・タウンの建設はありえないのではないかということである。

第3は団地のコンミュニテー構成についてである。

団地の建築的配置は，その景観だけではなく，新らしい集団住生活を形成する上に，精神的，社会的配慮が加えられねばならぬ。これについては社会学的研究が，進められているようであるから，この方面の協力にまつところが多いと思われる。

ほかにもいろいろ問題があろうと思われるが，これらに共通していえそうなことは，このような建築家の仕事に対して，他の分野の学問，研究，発明が，大いに助けになりそうだということである。建築家は眼界をさらに広くし，寛容な態度で，これらの協力をうけいれるならば，建築界の進歩はさらに目ざましいものとなるであろう。庶民生活に直結する公共住宅について，とくにその必要があるであろう。

（工博・中沢建築事務所長）



公共住宅15年

戦后、国民生活に大きな変化をもたらしたもののひとつに公共住宅があげられる。その公共住宅の建設の歴史をふりかえってみることは、わたくしたち住宅問題に関心をもつものにとって、これからの展望をうるために、ぜひとも必要なことである。ここにとりあげた13の団地は、関西における公共住宅の建設の歴史において、何らかの形ではしり、となったもの、あるいは、エポックメーキングを画したといわれるものばかりである。わたくしたちは、それを、RCアパートの出現から、ニュータウン、市街地再開発へと問題をとらえてきた。公共住宅の建設の歩みも、うてみれば、国民生活の豊かなみのりと新しい都市づくりへと希求してきた道なのだ……。



1948

敷地面積　1,204.42 坪
建築面積　160.88 坪(2棟分)
建築延面積　737.484坪(2棟分)

昭和23年，国庫補助住宅設計基準が制定され，住宅基準の向上がはかられるとともに，戦後，大阪府下ではじめて鉄筋コンクリート共同住宅が建設され，この団地が嚆矢となり，新しい住形式として登場した。平面は標準設計48年型を採用，6帖，8帖，台所，便所，押入で構成されている。

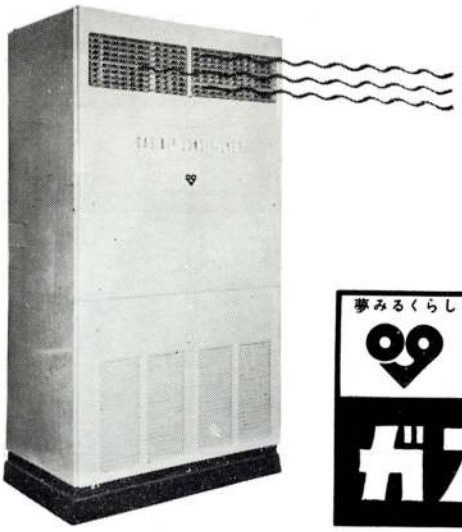
大阪市内の住宅適地として，夕陽丘に建設されたことは，現在の宅地事情から考えると，隔世の感がある。

R.C.アパートお目見え

大阪府営松ケ鼻（夕陽丘）住宅



暖房・冷房が一つの機械で自由！



冬は経済的なガスによる暖房を、夏は吸収式の冷房を、ただ一台でできるだけでなく、室内のほこりを取りのぞいて空気をきれいにしたり、気持のよい温度や湿度にしてくれるいわば暮しのための万能選手です。なおガスエアーコンディショナーは、事務所、病院、食堂などに最適です。

夢みるくらし

OSAKA GAS

ガス エアーコンディショナー

○○○型

正　価　530,000円
15カ月払　556,500円

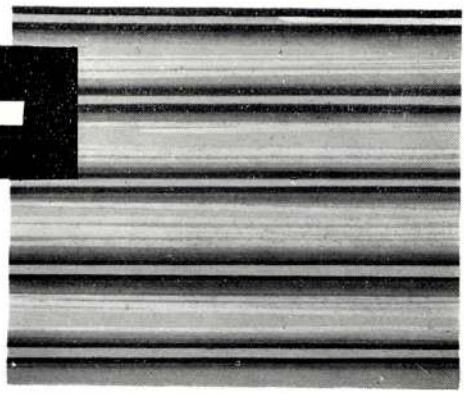
大阪ガス

亜鉛鍍金の上に塗装した

東洋シヤッター

キングスプリングシヤッター

見えない所まで心をくばった……



■スプリングシヤッター　■重量スプリングシヤッター
■自動シヤッター　■手動電動スチールシヤッター

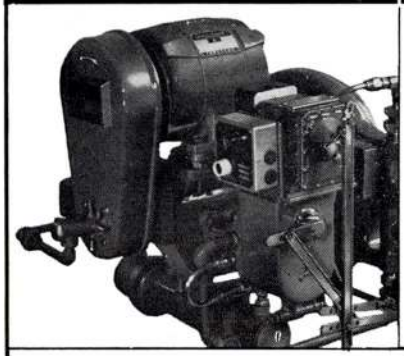
詳細カタログ呈上

東洋シャッター株式会社

本社・工場　大阪市西淀川区佃4ノ33 TEL㊼−2812〜3·3116·0414
東京支店　東京都大田区新井宿5ノ547 TEL (771)−1171
名古屋支店　名古屋市中区下日置町2丁目7番地 TEL㉜ 5954·6324
出張所　岐阜、京都、神戸、横浜、津、福岡
その他出張所特約店は全国主要都市にあり

最高水準を行く

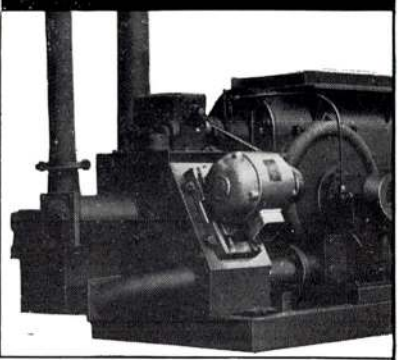
サンレー 重油は
全自動 ロータリー
重油バーナー



サンヒート 軽油は
全自動 ガンタイプ
軽油バーナー



サンレー 石炭は
全自動 ニューマチック
スプレッダー ストーカー



NIKKYO
日共冷熱機材株式会社

本社 大阪市大淀区天神橋筋六丁目五（天六阪急ビル）、
電話 大阪 ㊱ 代表 1476（直通）7071（交換）

東京出張所 東京都千代田区神田神保町1丁目
電話 東京 (291) 2718

最も進歩した建築には最も進歩した床材

ビニアスタイル（2粍厚）

新製品
K－タイル（1·5粍厚）



アスタイル

藤森建材株式会社

本社 東京都中央区日本橋通1ノ2（大倉ビル）
電話 東京 (271) 6432～5
大阪出張所 大阪市西区土佐堀通1－1（大同生命ビル内）
電話 大阪 ㊹ 9417～8·8461～4
九州出張所 福岡市薬院大通2－73 電話 福岡 ④1945·⑤3473



最新の設備
優秀な製品

三和シヤッター

甲種・乙種防火シヤッター
電動式・手動式・スプリング式
其他のシヤッター全般

三和シヤッター株式会社

本　　店　尼崎市久々知字コエ23　電話　代表（40）5341

札幌支店　札幌市琴似町琴似522　電話（5）6873（3）7438
旭川営業所　旭川市常盤通3丁目　電話（2）5097
帯広出張所　帯広市西二条南7丁目6　電話3856　3857
東北支店　仙台市土樋112　電話（3）3296 9618
秋田営業所　秋田市旭山虎ノ口外張新町9　電話2　7　8　3
新潟営業所　新潟市春日町西2丁目　電話（3）1443
会津若松出張所　会津若松市西栄町496　電話2　8　3　8
東京支店　東京都新宿区新宿1丁目60　電話（341）2478・9678・3696
神田営業所　東京都千代田区神田松住町12山京ビル　電話（291）3841～5
神奈川営業所　横浜市中区安川町1丁目6　電話（3）8023
群馬営業所　高崎市通町49　電話5755
栃木営業所　宇都宮市東塙田町198　電話5374
甲府営業所　甲府市紅梅町21　電話2　4　4　2
名古屋支店　名古屋市中村区広井町2丁目46八洲ビル　電話（54）2846（55）9786

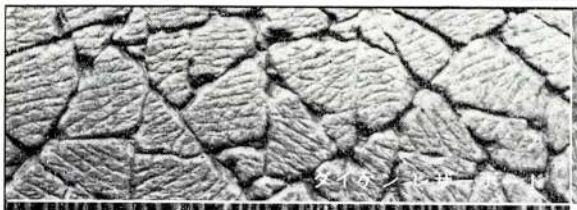
静岡営業所　静岡市音羽町188　電話（3）2646
長野営業所　長野市妻科町739　電話（2）5292
松本出張所　松本市旅町149　電話2497・4744
四日市出張所　四日市市四ノ谷新町2823　電話2　4　4　3
大阪支店　尼崎市久々知字コエ23　電話代表（40）5341
大阪南営業所　大阪市阿倍野区三明町1丁目22ノ3　電話（77）8217
神戸営業所　神戸市長田区菅原通3丁目196　電話（5）9451
金沢営業所　金沢市上胡桃町36　電話（2）1387
座視営業所　座視市四番町88　電話2053
高松営業所　高松市塩上町8093　電話（3）4290
九州支店　福岡市渡辺通5丁目92　電話（5）5181・6901
熊本営業所　熊本市東外坪井町73　電話（2）893
佐世保営業所　佐世保市島瀬町140　電話5513
鹿児島営業所　鹿児島市平野町119　電話（2）6762

ダイケンボード

DAIKEN BOARD

押型模様付ハードボード　立体感あふれる5つのデザイン

ダイケン モールディング ボード





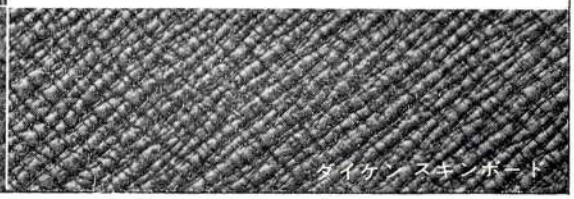


大建ウオールボード工業株式会社

本　社　大阪市北区中之島2－22（新朝日ビル）
TEL　大阪（26）5102

東京支店　東京都中央区日本橋室町2－8（古河ビル）
TEL　東京（211）2831

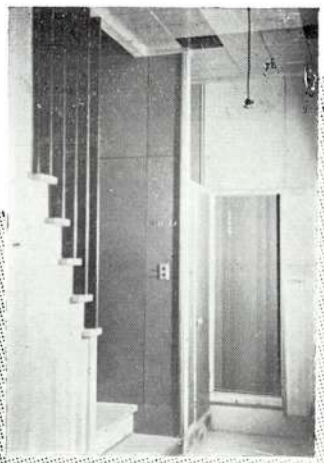




アルマイト吸音板
ヤハズラス
木毛セメン特殊板
新 防火材

メラミン樹脂製品
ボード特殊合板
プラスチック製品
建 化粧板

スロール天井板
大建ボード
スロール断熱板
材 吸音断熱



ロック柄
tech
生きる近代建築に
魂ある文化材

モデルハウス展示
すまいの相談室
西区立花通2電(53)2843

30メーカー代理店

大阪・四ツ橋
株式会社 山本建材
TEL（54）1861～5・2131・2233



堀　川　団　地　の　こ　と

京都の堀川通は，戦時強制疎開によって，50m道路に生れかわり，いまや京都における南北の主要幹線道路となったところであるが，このアパートの建っているあたりは，戦前は地域的ではあるが，繁華な商店街として，かなり有名なところであった。戦争による疎開とはいえ，この地域商店街のなくなったことは，商店主はもとより附近居住者にとっても，不便極まることであった。

1950年，住宅金融公庫が発足し，地方公共団体の外郭団体としての住宅協会は公庫資金利用による賃貸住宅の建設が可能となったときに，京都府建築部がこの地に着目したのは，賢明なことであったというべきであろう。府はただちに住宅協会を設立し，堀川通沿いの，疎開跡空地を利用し（ほとんど買収，一部借地），全国にさきがけて，併存アパートの建設にとりかかり，昭和25年度3棟，27年度1棟，28年度2棟の完成をみた。

今からみると，路線商店街的な考えを，そのままうけつぎ，道路沿いに単に一列にならべたこと，前が50mの広路であるにもかかわらず，3階建でやめたことなど，少々，もの足らぬ点もないではないが，足貸し最初の例として，いろいろ困難にもかかわらず，ここまでできたことは，大した成功だった。当時の係員の努力を高く買いたい，記念すべき建築である。なお，この一階部分の商店街は，いまやますます，附近住民に愛され，まったく地についたものとなっていることを附記したい。（K）

疎開跡の整備

店舗併存アパート

京都府住宅協会

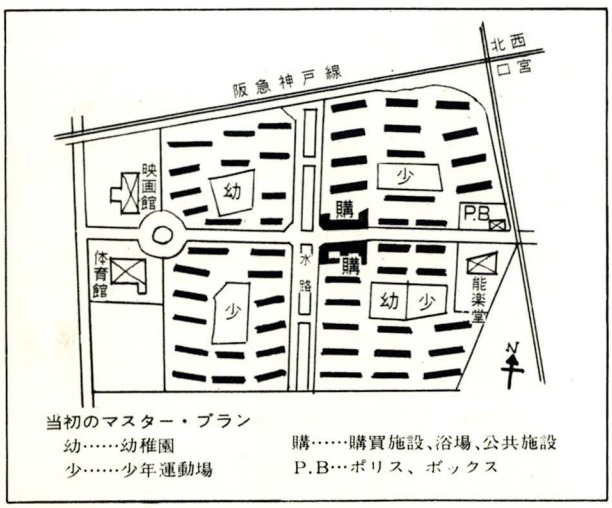
堀　川　団　地

1950～53



団地のはしり

西宮北口団地



当初のマスター・プラン
幼……幼稚園
少……少年運動場
購……購買施設、浴場、公共施設
P.B…ポリス、ボックス

阪急電車西宮北口駅より，徒歩約5分に位置する絶好の住宅地……。大阪まで15分・神戸まで14分の通勤時間である。この団地は戦後，公共住宅による住宅大団地計画の，いわば「全国的なはしり」となったことに，ひとつの特色がある。同時に，全部不燃耐火中高層住宅による大団地計画という，敗戦直後の混乱のさなかの当時にしては，きわめて先見の明のある決定がなされたことを，大きく買いたいと思う。敷地面積約4万坪。ほとんど阪急電鉄会社の所有地で，戦後電鉄がわは経営対策上，この地域を住宅地として開発したいと，兵庫県に申し入れ，昭和22年に兵庫県，西宮市，電鉄がわが相談し建設省の指導により，不燃アパートによる一団地住宅計画のマスター・プランを完成した。当時のマスター・プランは図のごときもので，中央東西道路は通過交通を避けるためにループをとり，団地4ブロックの各ブロックごとに中央に幼稚園・少年運動場をとっている。また団地中央には商店，浴場，公共建物などコミュニティ施設の計画があり，一応健全なコミュニティ計画がなされていたわけである。さて現状はどうであろうか？　配置図をご



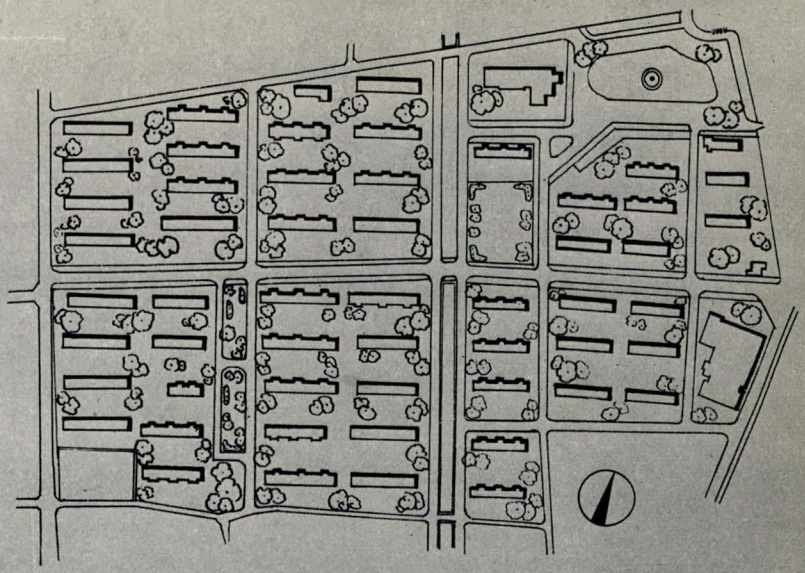
デラックス社宅



団地内の唯一つの購買施設



ダンプカーも走る中央道路学童横断徐行の立札が印象的。



西宮北口団地　1948～54

覧願いたい。23年度より建設に着手し，現在47棟1,100戸の住宅団地になっている。すなわち，団地中央を南北に流れる水路を界として，その東側は県営団地となり，23年度より29年度までに，公営住宅中層耐火14棟336戸の建設をみた。水路の西側は住宅協会・公庫産労などの社宅群で，33棟764戸建設済みである。さて，当初のマスター・プランと現在の配置図とくらべると，そうとう変化していることに気がつかれるであろう。団地居住者に聞いてみると，一様に次のような不平をもらす。団地中央道路の通過交通が激しくて子供が危険である。緑地，運動場が少ない。購買施設が団地内にないので，少し不便である。もう一部屋ほしい。その他，公営住宅入居者では浴場がほしいとの意見が多い。このうち通過交通・緑地・運動場・購買施設の問題は団地計画上・建設上何とかなし得たことではあるまいか。当初のマスター・プランがこのようにゆがめられてきた理由はいろいろとある。まず十幾年もかかってできた団地であるということ。また，年ごとに深刻化してきた宅地難，地価の上昇は，財政難の地方自治体にとってきわめて由々しい問題となり，1棟でも多く建てようと，当初の緑地計画部分が，アパートの宅地にかわったのであろう。さらに社宅部分に関しては事業体が数多くなり，その各々の連絡が充分にとれず，結果においては，ただ建て並べただけの，きわめて妙味にとぼしい配置に終ってしまった。なお団地中央を東西に走る道路は，都市計画道路ではなく，あくまで団地私道である。いろいろと悪口をならべたが，しかしながら，交通利便の，地の利と，附近に宝塚・六甲などのレクリェーション地をもつ環境良好の住宅地として，入居者の評判はきわめて良い。

さて今後の最大の課題は，駅前に残っている空地の利用問題である。阪急電鉄所有地であるが，現在荒れはてたままの姿で放置されているが，それでも子供達の唯一の遊び場になっている。阪急電鉄も，へんにソロバン気をだして，へんな建物を建てたりせずに，せめてこの場所だけは立派な緑地公園として子供達に開放してほしいものだ。同時に，県・市においても，この団地の最後のしめくくりとして，この空地の利用に関しては充分なる努力をされるように希望したい。



スラムの改良

神戸市番町地区

1952

はなやかな都市復興のかげに，多くの保安衛生上好ましくないスラム地区が，とり残されており，その荒廃はますますはげしいものがある。

神戸市番町地区は，これらの地区のひとつで地区面積9.9 ha，住宅戸数約1千戸のうち800戸あまりが不良住宅とみられている。

この地区には，昭和27年度から，第2種公営住宅の特別枠によって，地区改良事業が実施されてきたが，民有地が多く，不良住宅の買収除却に，多額の費用と日数がかかるため，小規模な事業計画となって，その上，地区居住者のうち，早急に協力を得られるところについて実施せざるを得ない実情から，どうしても部分的になり，加えて事業の進捗が悪いことから，道路，広場，上下水道などの改善計画を実施できるまでにはいたらず，スラムの立体化の危惧さえ生じ，成果が問題視されるにいたっていた。

さいわい昭和35年に「住宅地区改良法」の成立をみ，これらの点も円滑にできるよう法的に整備されて，大きな希望がもてるようになった。しかし，建物の不燃高層化や環境改善などの形の上でのマスター・プランだけではなく，地区居住者の生活に対する策をうらずけとしてつことが必要である。またいままでと単位のちがうも事業規模で実施することと，一時に多額の費用をかけてもっとも効果的に事業をすすめることも考えるべきであろう。今後の住宅政策に，新しい方向をもってきたこの事業の遂行には，このようにまだまだ幾多の困難がよこたわっているようである。



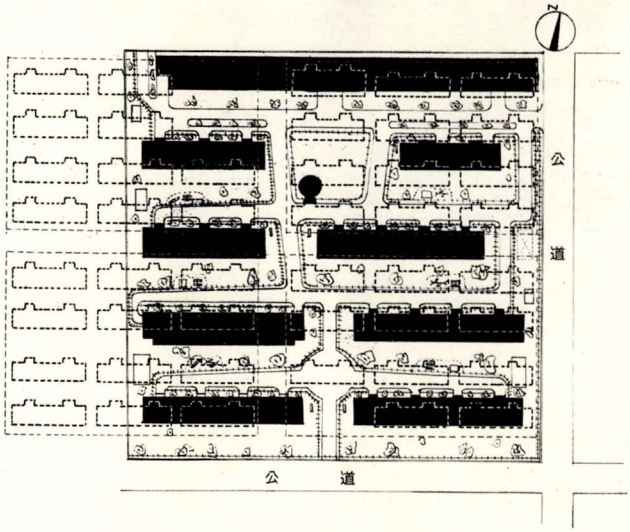


建てかえ前の状態

応急住宅の建てかえ

1954～58

兵庫県営大開団地



凡例	
	建替後建物
	建替前建物

公営住宅法施行後3・4年にしてようやく軌道に乗りはじめた住宅建設は，休閑地利用的な状態から，次第に都市の構成要素としての住宅の意義をもちはじめるとともに，かなり多量に建設された応急住宅（規模も小さく，古材を使用）のスラム化対策をたてる必要性をみだしてきた。とくにこういった住宅の内のかなりの戸数が，良好な宅地にひらたく，はいつくばって，〝特殊な〟一団地を形作っている状態は早急に解決されねばならなかった。

神戸市大開通の100米道路に面する4,400坪の敷地に，昭和20年度建設兵庫県営応急住宅180戸，店舗併用住宅4戸がアスファルトフエルトの屋根を山陽本線の乗客にさらしていた。昭和29年度から4カ年計画でこれを改築し，逆にモデル的な団地とするための問題は，入居者の移住にあった。

家賃の増加にともない，旧居住者はかならずしも新住宅に移れるとは限らなかった。新築住宅に住めぬ居住者は，下表のごとく，家賃と大開団地との距離を考慮したA団地へ，A団地に居住させるために，A団地の居住者をさらにB団地に移住させる〝三角トレード〟によらざるを得なかった。これに要する努力すら，大変なものであるにかかわらず，さらに四角・五角の多角トレードが係員により推し進められ，はじめて住宅建設の緒についたのである。幾多の困難の上に，建設された中層耐火住宅団地は，新古を比較する写真の上に，多くを物語っているはずである。

新大開団地（月2,600円）←B団地（月1,500円）
↑
旧大開団地（月　350円）→A団地（月1,000円）

学　園　前　住　宅

持家へも公共融資

1955～

大阪の東部，生駒山の奈良県側に，戦後大規模に開発された学園前住宅地は，自然条件に恵まれ，都会のごみごみした生活から解放される絶好の住宅地であるといえる。昭和25年より始められたこの住宅地は総計約33万坪，そのうち現在まで約15万坪開発された。ここは主として個人への宅地分譲と，住宅金融公庫融資による計画建売住宅で，分譲住宅の方はすでに203戸建設分譲されている。開発形態については，学園前駅を中心としたコムミユニティーを構成していて，駅前には広場をとり，それに接して最近完成したショッピングセンターが中心施設となっていて，南・北に拡っている。南側の住宅地は，宅地分譲を主とした開発で，自然の地形をたくみにとり入れ，グリーンの多い，ひじように落ち着いた雰囲気を醸しだしている。北側の住宅地は，住宅金融公庫融資の分譲住宅が中心で，その北側に接して日本住宅公団学園前団地（180戸）がある。ここは自然の地形を相当手を加えて造成したため，南の住宅地よりもグリーンに乏しい。

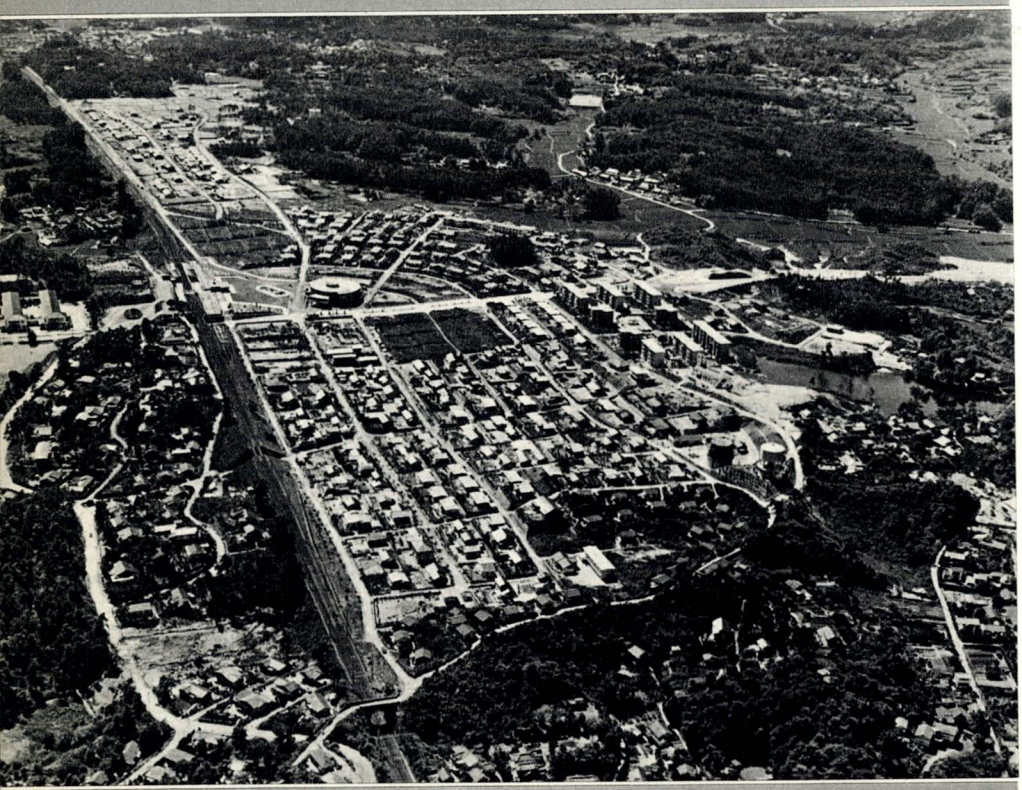
住宅地の個々のロットは戦後各所で開発されている郊外住宅地にくらべると相当大きく，したがって，ゆとりのある住宅地となっているが，全体計画のないままに，小刻みに開発が行われてきたために，全体としてのまとまりがみられないのは残念である。

また，民間の住宅地開発において共通する問題は住区施設がほとんど考えられていないことであって，この学園前においても，最近完成したショッピングセンターができるまでは購買施設がほとんどなく，また教育施設についても，このように大規模開発をおこなえば，とうぜん公立の小・中学校も考慮されなければならない。

開発技法上，問題となるのは，比較的密度の低い住宅地の一部に，密度の高い中層アパートが建設されたため，住宅地の雰囲気が破れていることで，できるならば，性格の異った住宅地相互を適当に隔てるべきものが欲しかった。そうすればそれぞれの住宅地の特性が生かされたのではないかと思われ残念である。

しかし，住宅地の経営，管理には相当注意が払われていることは，駅前広場の整備などの状況をみればわかることで，この点については，住宅地の持つ公共性を，よく認識された近鉄に敬意を表するとともに，現在空地になっている駅附近の整備に一層の注意をお願いしたい。

（T）

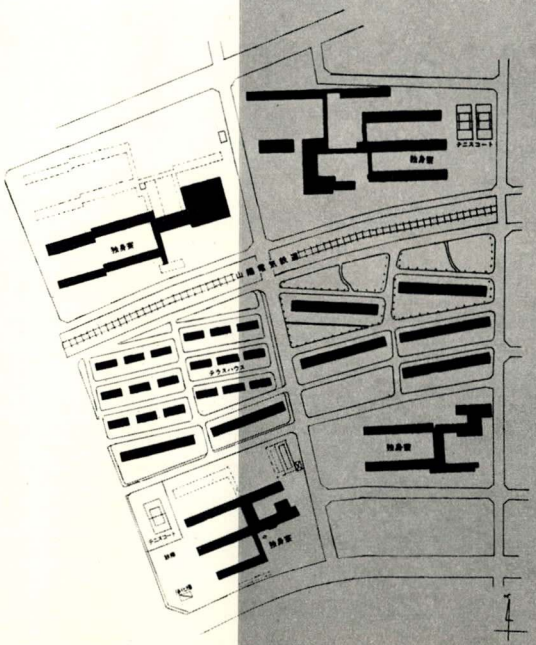




給与住宅への公共融資

富士製鉄広畑製作所社員住宅

1951～



約1万1千人の従業員を擁する富士鉄では，住宅を最重要厚生施設と考え，戦前および戦後数カ年に建設された木造住宅2560戸にかわって，昭和26年より鉄筋コンクリート住宅が建設され，四団地で住宅1509戸，単身宿舎874人分に達している。

これらの団地には，配給所（セルフサービスあるいは対面販売）・理容所・共同浴場・集会所を設置し，団地生活の安定をはかっている。

しかし，それぞれの建設資金は，戦後の住宅融資制度の全ルートにより供給されている。すなわち産業労働者住宅（住宅金融公庫），厚生年金還元融資住宅（厚生省），住宅公団分譲住宅と，さらに自己資金によっても相当数を建設している。

代表的な大津団地は約16万坪107棟を有し，マーケット，診療所，集会堂，グランドおよび公園を備え，その完成が期待されている。

また吾妻団地は山陽電鉄を挟んで，アパート・単身寮がアレンジされ，社宅の供給の一解決方法を示している。

住宅年度別建設戸数

年度	種別	棟数	戸数
S26	アパート	3 棟	72 戸
27	〃	5 〃	120 〃
28	〃	5 〃	120 〃
29	〃	3 〃	72 〃
30	〃	2 〃	48 〃
31	〃	3 〃	72 〃
〃	単身寮		66 人分
32	アパート	16 棟	384 戸
〃	単身寮		450 人分
33	アパート	14 棟	132 戸
34	〃	15 〃	144 〃
〃	単身寮		214 人分
35	アパート	15 棟	345 戸
〃	単身寮		144 人分
計	アパート 159 戸	単身寮 874 人分	



団地の計画

その1　大阪市営古市団地

配置設計のふたつの流れ

団地の建物の配列に工夫をこらし，変化ある空間，群としてのまとまりなどを創りだそうとする配置計画には，大きくみて2つの傾向があらわれている。有機的な曲線を尊重しクローズされた空間をいざないだそうとするものと，直角に交る方形街区割にしたがい，固く平行配置を守る行き方とである。前者は，大阪市営<古市>団地でエポックが画され，後者は，大阪府営<苅田><苅田北><矢田部>各団地で統一ある意志のもとに完成された，といってよいだろう。

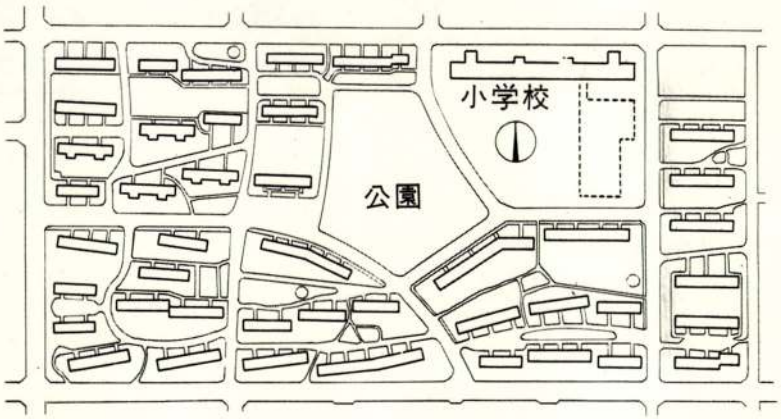
くりかえすまでもなく<古市>は公営住宅の団地構成として画期的なものであって，今日なお，公営・公団を通じ典型としての意義を失っていない。この生の模倣が多く後に続くのであるが，残念ながら，これを越えるものの登場が容易でなかったのは事実であった。むしろそれから後には棟のグルーピングや群構成を重視し育成する動きが，やや違ったモチーフで育っていった。

これに対し，耕地整理街区や密度の向上という条件に真正面から対決したのが，大阪府営一連の団地であった。ひとつの意志が支配し妥協を排除するかにみえる。「条件のなかでの設計の密度向上」これが「行きつくところに行った」ものとして評価が高い。



1953～54

第1種中層耐火　770戸
第1種特殊耐火　56戸
計　826戸



大阪市営古市団地

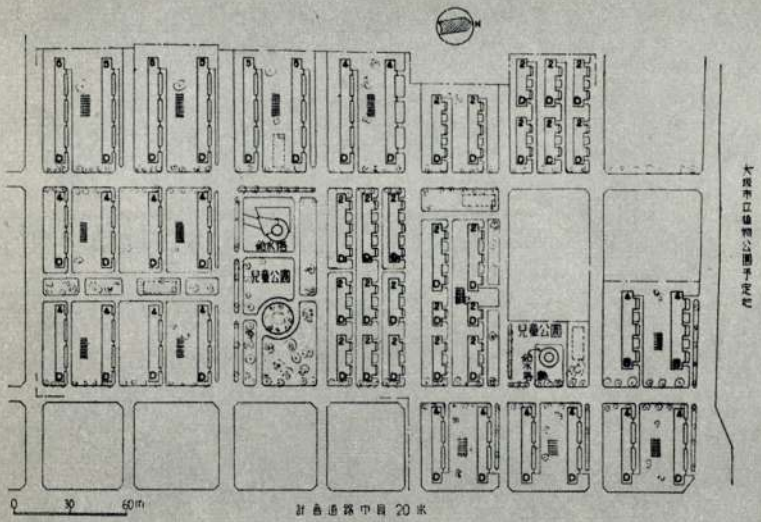
綜合的に計画され，そして実現した大団地の最初のもの――それが古市団地である。大阪市北東部に位置する約23,000坪の平坦な旧軍用地，ここに住宅のユニットプランをはじめ学校，公園を含めての団地計画が久米建築事務所の手によって行なわれ，昭和28・29年度および32年度にわたってほぼその計画どおり実施に移された。このことは公共住宅の団地計画において，じつに画期的なことであった。

計画の主眼はあくまでも，このような市街地内部の平坦地において，変化に富み，かつ，まとまりのある住宅環境を造成することにあった。そのため，敷地内にすでに決定していた道路や都市計画公園の位置形態を変更し，住宅は5種類の平面に，時に応じて南入北入を組み合わせ，さらに2階から5階までの棟高と，棟の長さの変化にくわえて，東西方向への振りによる各棟の流れやクローズされた空間の形成など，種々の技法が使用されている。同時に建物においても，従来のペントハウスを全廃して，緩い勾配の屋根にかえ，外壁面と窓まわりや，扉を一貫してクリームとエンジに統一した上，階段やバルコニーの手摺り，スクリーンに異った色彩を施して，カラーリングの効果をねらった。以上のように，配置計画や，建築計画上，種々の積極的な試みがなされ，その後の団地計画に，全国的に強い影響を与えた古市団地であったが，その意図を充分貫き得なかった諸点がある。その一つは，団地東側の巾員25mの都市計画道路に面するところ，東西に走る一道路（都計道路のサイドロード）によって切り離されたこの一画は，著しく他の団地構成より浮いた感じを与えるし，また弧を画く団地主要道路に沿い，中央公園に面する5階建の1棟は1階をマーケットに計画されたものであるが，団地周辺の購買施設の発達によって，実現し得なかった現在，団地中心の性格を失って，焦点のぼけた存在となっている。さらに団地内に錯綜する電柱電線は，せっかくの団地をスポイルするものとして，惜しまれるものであろう。



団地の計画

その2　大阪府営　矢田部団地



注記　2D－2階建 12坪（公称FD$_2$型）　　4D－4階建 12坪（公称RD$_4$型）
　　4B－4階建 8坪　（公称RB$_4$型）　　5D－5階建 12坪（公称RD$_5$型）

矢　田　部　団　地

公営住宅1種中層耐火　736戸
〃　簡耐2階　204戸
計　940戸
団地総面積　15,472坪



1957～59



コミュニティをつくるものは，ユニットプランではなくて，レェイアウトであり，住宅家の理論は土地にある。近頃の公団住宅団地をみると，ようやくこのレェイアウト技法を理論化し，あたらしいコミュニティ，形成されるきざしが生まれている。しかしその理論化もまだ緒についたというところで，現在の公団団地の配置技法は，はたして日本人という生活に密着した，ベースから生まれたものであろうか。通廊型（Conventional）袋路型（Cul-de-sac.）徒歩路型（Foot-path）は，たしかにひとつの方法として，新しい生活環境と，グルーピングを，じょうせいしようとしている。しかしそのなかから，どんな人間関係，社会観イデオロギーが生まれるか，われわれは歴史的にふりかえってみて，はじめて確認しうるものである。

矢田部団地を評する前に，その団地が，公営住宅団地という枠のなかで，眺めてみる必要がある。最近公営住宅団地も，長期的計画のもとに，近隣ユニットとしての大きな団地が生まれつつある。しかし，住宅政策の枠のなかで，大部分は1,000戸以下の，コミュニティのユニットとしては中途半端な団地が多く，しかも1,000戸の建設も，単年度ではなく，2，3年を要するという場合が多い。用地取得も，当初23年度建設分がまとめて確保されていることはひじょうに稀であり，そのときにならないと500戸になるか1,000戸，1,500戸になるかはっきりしないという状態である。矢田部団地も，この例にもれず，32，33，34年度で完成しているが，32年度分を計画する前に；33，34年度の用地は交渉中であった。この団地が，スーパブロックの規模で用地が確保され，しかも立地条件が，東住吉区という特殊なところ——戦前政府施策住宅団地が農地を蚕食して，アトランダムに建設されたところ——でなかったならば，現在の矢田部団地とちがった別の技法が採用されたかも知れない。

この地域は，戦前の耕地整理が先行し，その地区のマネージが完全に市に移還されておらず，そのためロット割の変更は相当なエネルギーと時間を必要とし，ほとんど変更が不可能に近いといっても過言ではないだろう。ここに都市マネージの貧困性と，そのような場所にしか立地し得ない公営住宅の財政的問題を考えねばならない。

次に配置技法の探究期——住宅の配置計画が一歩一歩実験的段階を踏みながら，有機的手法への過渡期にあった当時，公営という枠の中で，矢田部団地のとり得た手法は，完全なる平行配置という理念的技法であった。区劃割によるロット（これは4階，5階建アパートの配置をひじように困難にしている。）と，団地の取得状況が，スーパーブロックとなりうる可能性が少なかったことと，さらに，公共施設としては，オープンスペースしか財政上認められないということによる，コミュニティ形成の必要条件の欠除から，そのレェイアウトが出発していることである。

平行配置のもつ整然と端正さ，これは機械文明が生みだした，秩序あるひとつの美しい都市像である。それはまた，そのなかで有機的動きをもたない場合，無機的つめたさをもった都市像ともなり得る。矢田部団地はそのふたつのすがたをもって，それが長所となり短所となっている。

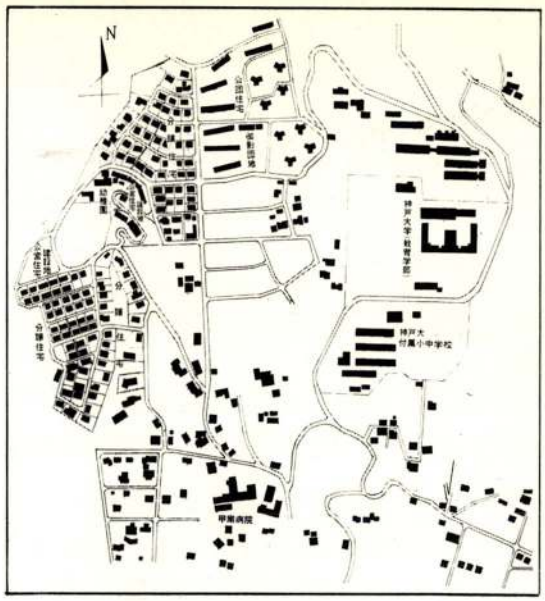
その単調と画一性を破ろうと，2階，4階，5階という高低によるバラエティと，カラーコンディショニングで，カバーしようとしているが，団地のなかに立ってみると，航空写真でみる整然さと美しさに，そのバクたる空間に何かものたりなさを感じる。

しかし，〝何となく曲げる〟技法が行われていた，過去の公営住宅団地のレェイアウト技法にひとつの警鐘となりえると同時に，土地の高度利用，附帯設備の経済化という理念の極点に達するものとして，建物のユニットプランと施工の優秀さとともに，ひとつのエポックと注目に値するものである。　（I）

宅地の造成

兵庫県　鴨子原団地

1954～59



大阪神戸の都市をひかえた阪神間の宅地は，払底してきた。そこで宅地開発は，六甲山麓へとのし上ってきた。

はじめての事業を計画する場合には，つねにささぎきのことを心配するものである。

すなわちこの鴨子原山地の宅地開発をしても，すべての宅地について，分譲を受ける人があるだろうかと憂慮された。それは，つぎの点にあった。

1. 最初の宅地開発であったこと。
2. 高地の山林で，しかも附近に人家がないこと。
3. 住宅金融公庫の，資金貸付を受ける土地であるため，申込者の資格，基準で限定される。
4. この宅地の譲渡契約締結後8カ月以内に公庫より，資金借入れによる住宅を，建設しなければならないこと。
5. この宅地は，他人に譲渡または，貸与することを禁止しているため，投資投機的な土地としての商行為ができないこと。
6. 当初考えていた坪当り単価より，割高となったこと。すなわち買収価格が900円から1,220円に上り，逆に土地利用率が0.8から0.71%と下ったため，譲渡価額は2,000円から最高5,400円の坪当り単価となったこと。
7. 宅地は山地斜面のままであるため，各戸の宅地造成には，意外な整地費用を要すること。

そこで，県の分譲住宅をまず，ここに建設して，建設の先鞭をつけ，また住宅公団アパート建設地として，一部譲渡して，当初の計画戸数をさらに増加することにより，本事業の発展に一大拍車をかけた。そして当初の心配なく，好評のうちに事業は終り，文化的，健康的な住宅がたちならんでいる。

造成の沿革

昭和28年7月，神戸六甲山系の山林鴨子原5万坪を買収して，県単独事業として，施行するよう立案された。しかし昭和29年9月，住宅金融公庫法の一部改正にともない，土地造成資金の貸付が受けられるようになったので，公庫融資を得て事業実施するように変更した。すなわち公庫貸付金により住宅を建設するために土地を必要とするものに対し，宅地分譲を行なうこととなった。

事業の概要

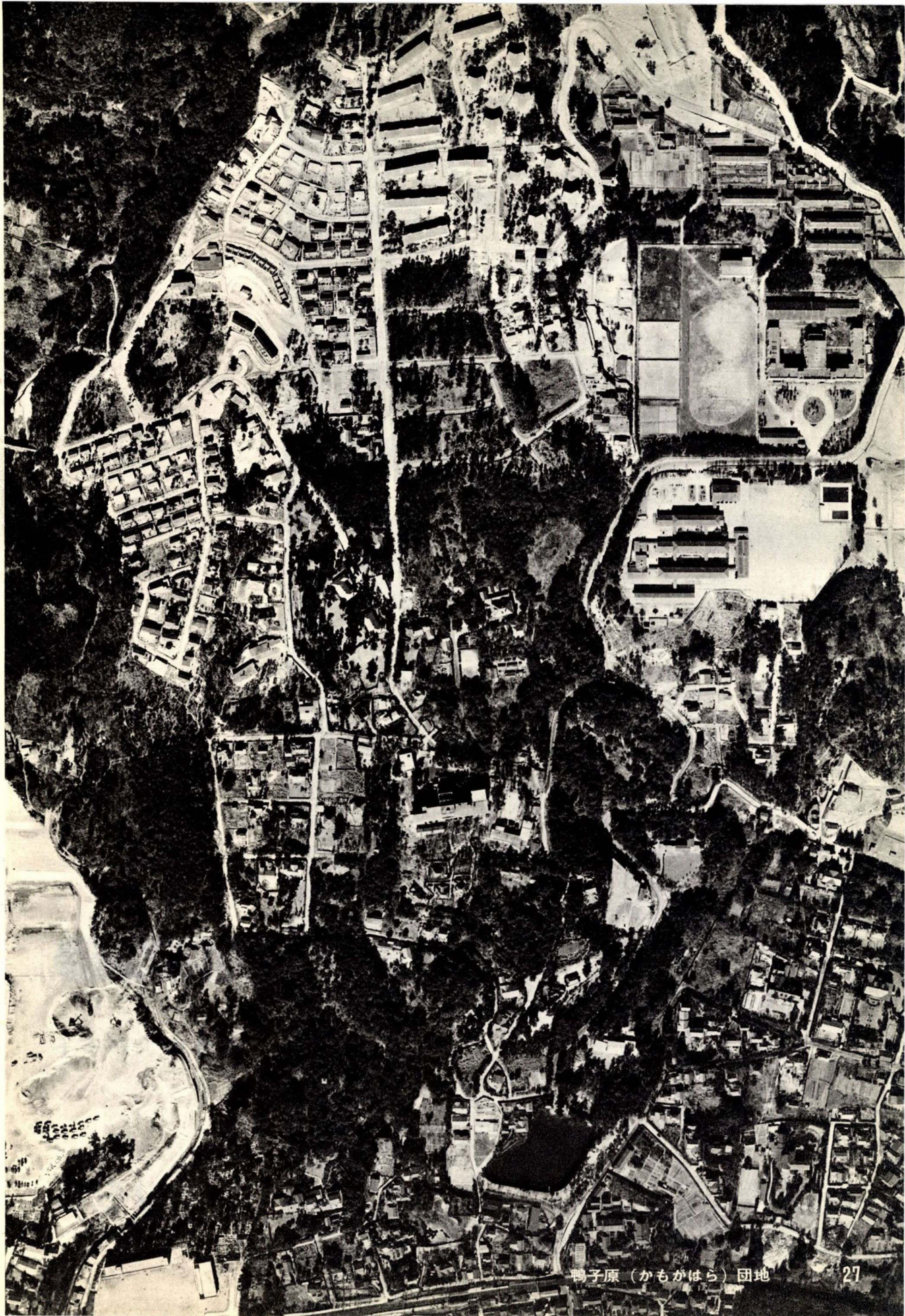
1. 山林5万坪を買収して，区画整理事業，失業対策事業，都市計画事業として道路溝渠擁壁工事を施工する。
2. 3カ年継続事業とする。
3. 1戸当り平均坪156坪（80坪～749坪）。分譲価額50～100万円程度。
4. 事業費137,314,000円。
5. 住宅計画

宅地分譲	101戸
県営分譲	43戸
公営住宅	32戸
公団住宅	402戸
計	578戸

本事業の特色

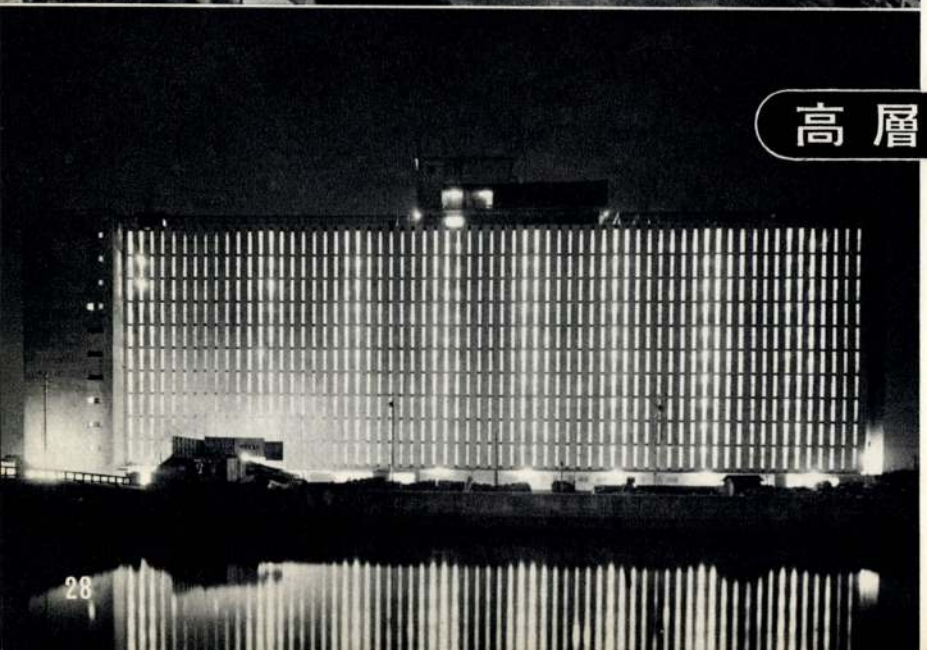
1. 山林に道路ガス水道および電気を設置したもので，各区劃の整地は樹木のある山地のままで分譲して，各自このみの宅地が，造成できるようにした。

   これは各区画の造成を県でやれば，ますます，売却代金が，増加するのを，押えたともいえるが，これによりそれぞれ傾斜地の，味のある宅地となっている。
2. 都市計画事業として，一団地経営であるため，土地収用法の適用ができるが，利用者は個人であるため，公共事業と，わりきれないものがあった。そのため収用法をしないで，地主に還元譲渡して，円滑に事務処理した。
3. 高地の，しかも起伏のある山林の宅地開発であるため，通勤，買物の便を考慮して，バス路線の延長運転をおり込んで，当初から計画された。
4. 団地周辺一帯は，空気清浄で，日当りよく，静寂で，しかも風光明眉，環境衛生上，申し分のない土地である。



鴨子原（かもがはら）団地 27



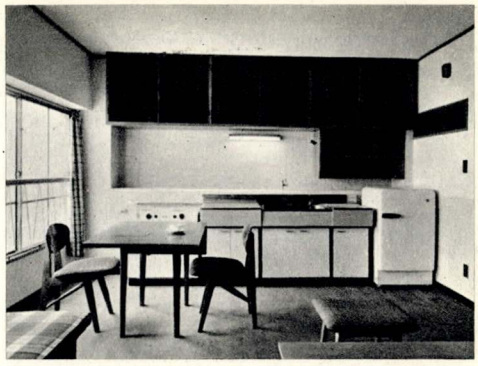


高層化の試み

西長堀アパート

1958





西長堀高層アパート

大都市の住宅難緩和の目的をもって設立された日本住宅公団が，都心部における高層アパート建設のトライアルとして，東京において晴海，大阪において西長堀に計画をとりあげたことは当然のことといわなければならないが，これはすでに大阪府において公営住宅として，一度計画されながら，当時予算不足のために実現できず，その土地が公団に移譲されたものである。したがって市街地再開発につきものの，立体換地の問題や，営業補償・移転補償などの困難な問題に，なんらわずらわされることなく，計画に着手できたことは，公団にとって幸いなことであった。

この西長堀一帯は難波の繁華街に隣接していながら，なぜか戦災後の復興が遅れており，最近にいたって，ようやく道路なども整備され，復興のきざしがみえはじめてきたようである。新しい南北縦断道路として計画されている，堺一尼ケ崎線の50m道路が，ちょうど敷地の東側に接しており，将来はひじように発展することが予想されるが，現在は前述のような復興状況であって，完全な住区を構成していないために，この高層アパートが，ひとつのコミニティを形成するための要件として，店舗を同時に計画する必要があって，いわゆる施設付住宅として設計されたのである。

建物の規模は次のとおりである。

地下1階　地上11階　塔屋3階
高さ　31m（最高　39.54m）
住宅の戸数（263戸，内単身者住宅50戸を含む）
建　築　面　積　420.51坪
建築計画床面積　4869.68坪
　住　宅　4411.60坪（1～11階）
　貸店舗　305.10坪（1階及び地階の一部）
　貸倉庫　152.98坪（地階の一部）

構造は鉄筋コンクリート構造で，基礎は杭打工法をとった。

住宅については，用地費の節約，土地の高度利用の観点から，また家族構成の変動にともなう移室の問題を解決し，これによって過密住居の出現によるスラム化を防止するためと，都市中心部における，住宅需要の性格を探査する目的もあって，プランには多様のバラエティをもたせた。西長堀アパートについて，郊外の中層アパート団地と比較すると，土地利用率については，1戸当り4.2坪で7～10倍，工事費については1.8倍，家賃については坪当り約1.6倍となっている。一般勤労者の家賃支払い能力とかなり大きなギャップがあることが危惧されたのであるが，実際の募集の結果からみると，最高家賃のA型（19,350円）の申込み倍率が一番多かったこと，および入居後もA型への転室希望がひじょうに多いことや，単身者住宅のD型（4,750円）の申込み倍率が，その次に多かったことなどを考えあわせると，都心におけるアパートの需要階層の傾向を示すものとして，今後の計画のいい参考データーとなるものである。

暖房給湯の設備もなく，ただボイラー室のスペースのみで，将来に可能性を残したにすぎなく，テレビの共同視聴方式も，各室まで配線されてないために充分利用されず，あいかわらずアンテナが林立しているが，ただ電話設備については，交換室と配管が各室にわたって施工されていたために，入居者の要望にこたえることができたのは，将来の計画にも参考になる。現在は利用組合で運営している。

またパーキングスペースの問題は，もちろん当初から予想されて計画はしてあったが（18台分），最近の急激な増加のため，現在は不足している（37台）。

この西長堀アパートが，都心部高層住宅化へのトライアルとしての目的は一応達成されたものといえるが，これはあくまで，特殊な立地条件による，特殊ケースのものとして考えるべきで，一般的にはまだ，建設費の問題，土地の問題，共同施設の問題，家族構成の変動の問題など困難な問題が数多く横たわっていることが痛感される。

しかしこれを契期として，市街地再開発の問題が，大きくクロズアップされて，最近においては，かなり多くの高層住宅ビルが，建設されるようになったことは，注目に価する。

「ニュータウン」へ

政府施策による住宅供給が，単なる住宅建設にとまらず，都市計画的な配慮のもとに，大規模な住宅地開発を行ない，town の建設にまで発展したのは，現代日本の Housing の大きい進歩であるといえよう。

日本住宅公団大阪支所が建設中の香里団地は，このような大規模な住宅地開発の代表的なものであり，明るい太陽と，清澄な空気，美しい緑に囲まれた健康な住宅地であり，そして日常生活に必要な，公共施設を一応整えた comfortable な街である。阪神 Metropolitan Region の Bed Town のひとつとして，敷地面積 150ha，計画人口2万2千人という計画であり，開発に着手したのは，昭和30年7月で，5年という短期間で大体，その形態を整えた。すでに居住人口は1万人に達し，居住者達は，この新しい街で，豊かな近代生活を enjoy しはじめた。

わが国では経験も乏しく，歴史もないが，手がけた団地建設をもととして，手さぐりであるが，このような短期間に，住宅建設と同時に比較的 timing よく公共施設をも建設し，これまでに仕上げた住宅公団のたくましい建設力は賞讃に価する。

ほとんど全地域が国有地であり，特に「ガン」になるような部分はなく，また周囲が丘陵地の尾根で境界をなしていることが若干土地の利用度を低めはしたが，周辺での乱雑な開発を防ぎ，他の民有地の開発にみられるような，歯抜け的開発にもならず，一応計画の筋を通し得て，よくまとまったものとなっていること，および，main street 沿いはすべて公団自体の建設にかかる住宅または公共施設をもってきて，街の景観も整え，また各種の植栽をそろえて変化に富んだ街を構成しようと細かい神経を使っていること等々，随所にあくまで，計画的に「New Town」を建設してゆこうという公団の積極的な意欲は，認められてよいだろう。

しかし，この意欲的な開発にも若干疑問の点もあり，今後に残された問題も多い。細かい点はさておくとして，地形の複雑さもあるが，道路計画，学校の位置，Shopping のとり方，など基本的な住区計画に疑問があるし，また宅地分譲地のとり方など，もっと検討されるべき余地があったように考えられる。

それと，この新しい街も大体その全貌を明らかにしてきたが，未完成の部分も多分に残している。ほとんどの宅地分譲地に住宅が建設されるのは，これからであり，そして，Community Center の建設も今後の問題である。しかし，行政母体である枚方市の都市計画地域の指定のないためにこの地区にも用途地域の指定がなされず，また建築協定も行なわれていず，この街の環境育成と保全の法的規制と保護がないのは，この新しい計画的な街の欠陥であるが，その欠陥を認識した住宅公団関係者のPRと適切な指導によって，環境育成への努力がみられるのは，当然のこととはいえ，好ましい傾向である。

ともあれ，1万人の人達がこの街で生活をはじめた。しかし，この新しい街の居住者達の街へ下した根はまだ浅いようだ。居住しはじめてまだ日が浅く，また Apartment house は仮住居的色彩が濃いともいえようが，在来の街や村にみられるような緊密な近隣関係はまだ生れていないようだ。そのために，まだ街には，楽しい生活の雰囲気に欠けているようにみられる。つまり，自分の住む街を愛し育ててゆこうという気持が薄い。それ故にこそ，この街をさらに住みよく，良い環境に育ててゆくために，管理者である公団の積極管理が望まれる。

都市勤労者の住宅難を解消し，住生活を向上さすために新しく建設省は1,000万戸建設という大計画を打ちだしたが，この目標の完成のためには，今後ますます大規模な郊外住宅地開発の必要性が生じてくると思われるが，この香里団地の建設は住宅開発の在り方，進め方に多くの示唆を与えると同時に，多くの問題を投げかけている。われわれはこれを分析し，解決することによって，次の段階への飛躍にそなえることができ，そこに大きい意義をみいだすことができる。



香　里　団　地



1955～60

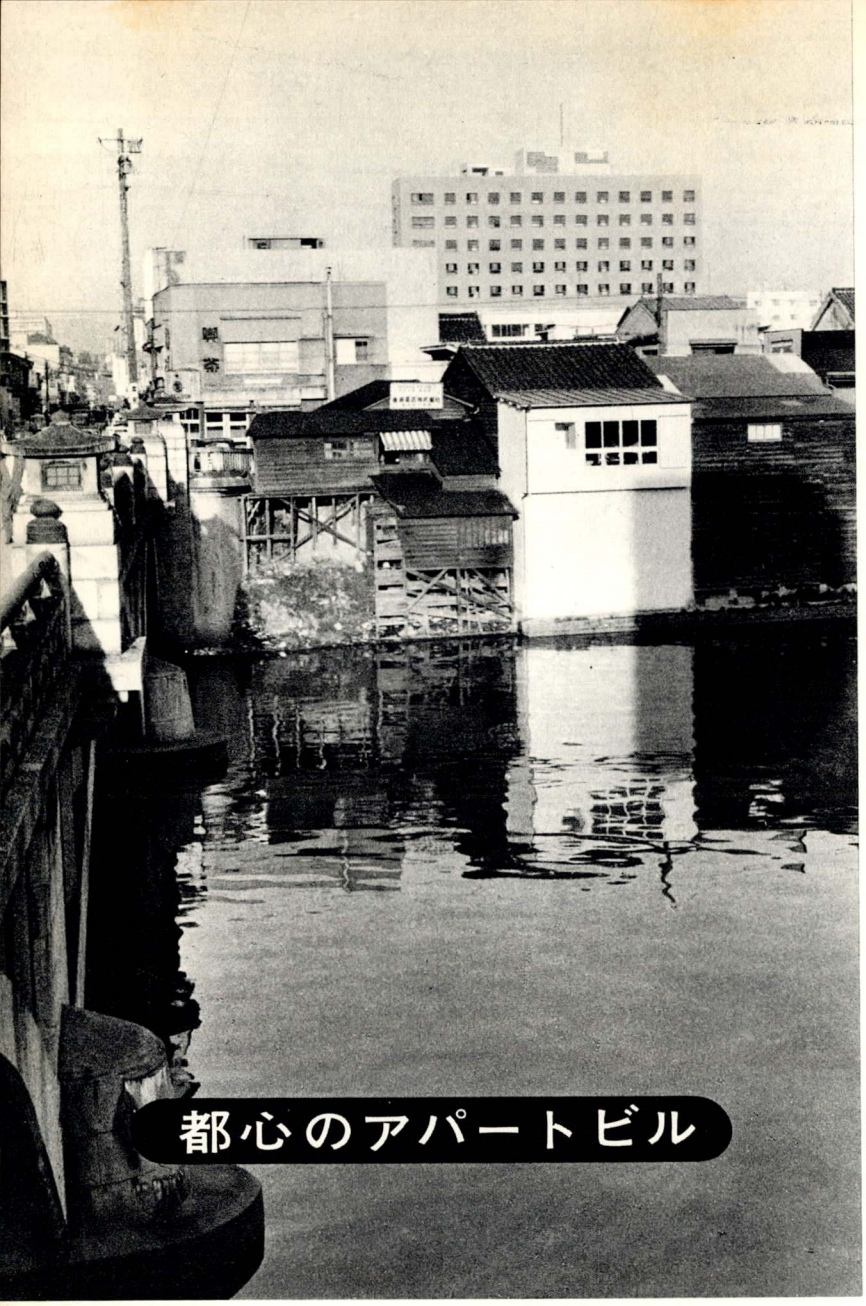
香里団地の現況 (1960年8日末現在)

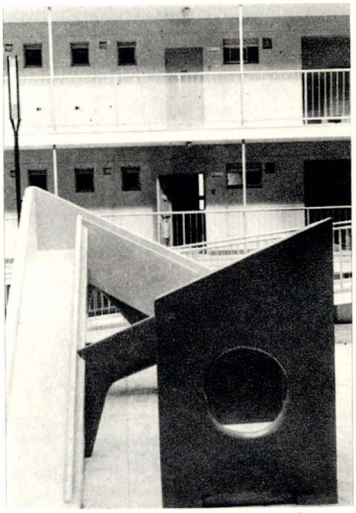
所在地　枚方市香里ケ丘
開発面積　約152ha
住宅戸数　約3,300戸
(入居済)　(公団賃貸住宅 分譲宅地に建設済の住宅)
(計画戸数6,000戸)
人口　約10,000人
(計画人口22,000人)

公共施設(建設済のもの)
(1)公団管理施設
管理事務所，サービス・ステーション
(2)入居者用公団施設
集会所，児童遊園
(3)一般施設
(行政)枚方市役所出張所
簡易郵便局
警察派出所
(文教)小学校　2
(ウチ1校は建設中)
(購買)スーパー・マーケット　1
マーケット　1
住宅付店舗　33店
(医療)診療所
(4)都市施設
都市計画公園，緑地，汚水処理場

天神橋施設付住宅

1960





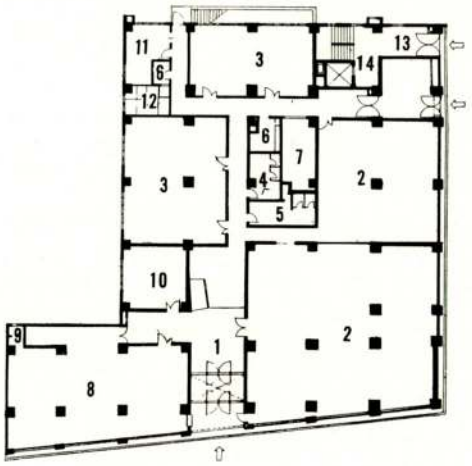
中　庭



設計監理	日本住宅公団大阪支所 三座建築事務所
施工	株式会社竹中工務店
位置	大阪市東区釣鐘町二丁目三六番地
建築工期	起工 昭和34年4月28日 竣工 昭和35年6月10日
敷地面積	1,153.47m² 348.93坪
建築面積	1,021.38m² 308.97坪
延面積	7,117.11m² 2,152.93坪 (地下1階～地上3階 3,129.10m² 946.12坪)
構造大要	基礎 コンクリートパイル杭打基礎 本館 鉄筋コンクリート造 地下 1階 地上 8階 建物高さ 軒高 27.74m 最高部 34.41m 設備概要 冷暖房，換気設備 住宅部 (賃貸住宅) 4,051.23m² 1,225.50坪 78戸 施設部 3,065.88m² 927.43坪 住宅附属 管理人室，倉庫，集会室

1 階

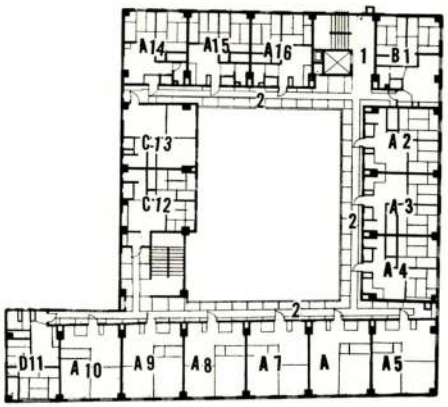
1. 玄関ホール
2. 事務室
3. 部品庫
4. 男子便所
5. 女子便所
6. 湯沸室
7. 冷凍室
8. 食堂
9. 食堂便所
10. 倉庫
11. 男子更衣室
12. 女子更衣室
13. 住居部玄関
14. 住居部エレベータホール

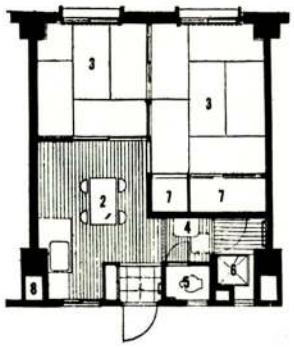


4 ～ 8 階

1. エレベータホール
2. 廊下

A. A型ユニット
B. B型ユニット
C. C型ユニット
D. D型ユニット





A型ユニット
10.425坪 60戸

天神橋施設付住宅

都市のデザインが，最近各方面をにぎわすようになり，また一方では，都市再開発なる言葉も，流行語のようにいわれるようになってきた。こうした背景のうちに，大阪の松屋町の北の一角に天神橋施設付住宅ができあがった。

再開発の面からみれば松屋町筋は，北の自動車関係，中央部の菓子玩具商，南部の寺町とまことに複雑な要素をもち，問屋街の近代的脱皮が，店舗施設，従業員施設，レクリェーション施設と多くの問題をかかえ，また都市のデザインの場からみても，整備された平行する御堂筋と比較して，中小企業の街をそのまま露出して，混乱した街区が連続している。

こういった問屋街は，いかにして育成されていくか，お菓子センター，玩具センター等々ひとつのビルに統合する，共同の従業員アパート，福利施設の整備をする，などいろいろな提案が行なわれている。隣接の谷町筋あたりではこういった施設の一部実現されたものもあるが，まだ一般的な解決にはほど遠い。

このような情勢のなかで，施設付きの公団住宅が生まれでたとすれば，その再開発上の形態になお未熟な部分があるとしても，やはり前進といわねばならないだろう。

中庭にアパート住居者のために，ささやかな屋上庭園を試みているのも，街中だけに楽しい試みであり，プレキャストの外部窓枠，スチールサッシ取替のための取外し可能の内部枠など，この種建物としては意欲的である。

今日のこの実現をきっかけとして，松屋町筋の市民たちが手をつないで立上ったとき，はじめて理想的な都市の再開発デザインのある街の建設が可能であろう。

こういった意味でこの種建物の出現はきわめて好ましく，今後とも関係者の努力を望みたい。 (N)

苛　酷　な　荷　重

松島の福浦島を歩いていて，フト気がついたことであるが，道中一面に，あられ模様に，指先大の穴が無数にあいていた……それはハイヒールの踵のあとであった。念のため私の踏跡をふり返ってみたら，何ひとつ残っていなかった。ヒールの先が1平方糎位として，約50kg/cm²の荷重がかかる。平米になおして，500ton である。

お話の種になるだろうと胸算用してみたら，鉄のかたまりを約60m積み上げた平方糎あたりの床荷重に該当する。なるほど これは 容易ならぬ荷重である。私がいま設計している研究所に，10ton の集中荷重があるといわれて，あわてたことがあるが，平方糎にして 4 kg 位にしかあたらない。コンクリートの 許容圧縮応力度が 50 kg/cm²で，杉が 60kg/cm² であるから，もう少し流行が進めば，いまに「ハイヒールのご婦人は入室ご遠慮願います」と立札する必要が生じるかも知れない。そんなことがあっては困るから，ヒールはいま以上，細くはならない，と予言できそうである。　(YI)

設備と建築との結びつき

現代の建築設備の進歩はめざましい。電気の発達は完全に夜という暗黒を追放し，空調の威力は窓をなくし，地下室にさえ，快適な生活の場を提供した。夏も冬も18度ぐらいの室温で，住むことを望めば軽くOK。といった具合にこれらはすべて設備諸機械の，めざましい発展にほかならない。われわれは設計理論を，大巾に書きかえ，読みかえねばならぬ時代が，近ずいていることを予測する。どんなに，エキセントリックなデザインも，万人の好むスタイルも，ビルも住宅も，優秀な附帯設備の助力なくしては，その建物の機能は完全に発揮できないはずだ。しかしである。どんな優秀な機械も設備も，その威力を発揮させるものは，それらをカバーする壁であり屋根である。そしてそれらは，社会のわれわれ人間のためのものであるということである。われわれデザイナー（プランナー）の使命も，こんなところにあるのではなかろうか。いいかえてみれば，建物と設備をいかに好条件下で，ブレンドさせるかということが，現代の空間の政治家の使命なのかも知れない。　(OK)



（本号と次号は上記の新執筆者に担当してもらいます）

全　休　日　制　と　工　期

建設業の現場では，全休日制ということが，取りあげられている。第1・第3日曜日には，現場で働いている人達全部を休みにするという制度であるが，このような制度にして声を大にして叫ばないと，休日も休めないところに，建設産業の遅れた姿がある。

最近の調査で，この休めない最大の原因は，職人の低賃金と，短かい工期によることが分った。無理な工期で突貫工事をすれば，施工の質も低下することは，十分ご存知のはずなのに，せっかちな施主は，ますます増えつつあり，業者にしても，無理を承知で引受けざるをえない弱さがある。

学会あたりで標準工事期間を検討し，建築基準法にのせて，建築申請のさいに，あまり短縮された工期の工事については，建物の安全性から，許可しないようにしてもらわないと，竣工した建物も危いし，工事現場で働く技術者の健康状態も危くなってきているのではないだろうか。　(MS)

部　外　者　の　眼

住宅公団の業務が，わが国の住宅政策に，大きな功績のあることは論をまたないが，私はつぎのような点から直接建築界に対するその寄与を高く評価したいと思う。

世はあげて合理化，技術革新を唱えているなかに，建築界はひとりその注文生産・現場作業のために，前近代産業の悪名を受けているが，公団の技術者はそのなかで，地味ではあるが，着実に市街地高層住宅・団地住宅の建設に，大量生産方式による規格化を持込み，現在では広く設計者・建設業者・職人にまで，その効用を認めさせており，民間建築にも，しばしば公団型として指定されることがあると聞いている。

公団の建設量から考えれば，これらのことは当然かも知れぬが，ともすれば，派手な建築に目を奪われがちな時代に，その地味な努力を買うとともに，今後のさらに大きな技術的進歩を望みたい。ひとつの部外者のみたまま感じたままである。　(NM)



千種台団地

公共住宅の15年が語ること

――その概観と問題点――

はじめに

今年になって，建設省から発表された，住宅建設長期計画は，10ヶ年に1000万戸という，なかなか壮大な計画です。その内容を，稗田局長の説明するところ(注)からうかがうと，従来の公共住宅の供給方法において，いささか問題であった，低額所得者に対する住宅供給，宅地対策，を大巾に改善し，かつ借家重点主義をとりつつ，わが国の住宅水準を高めてゆくという点で，好感のもてるものでした。しかし，これはじつに大変な努力を要する問題であります。いうなれば，公共住宅対策は，質的な転換をせまられるわけなのです。戦後15年の努力と実績の蓄積の上に立って，しかも，かかる転換にふみきった当局者の努力を認めたいと思います。

従来から，戦後の住宅政策については，いろいろと，紹介もされ，批評も書かれてきました。しかし，前述のように，公共住宅が曲りかどにあるとき，改めて15年をふり返ってみることも，意味のないことはないでしょう。こういう意味で，本稿は，15年間の公共住宅の概観と，この15年の経験から，将来計画にうけつぐべきものと反省すべきもの，の2編で構成いたしました。

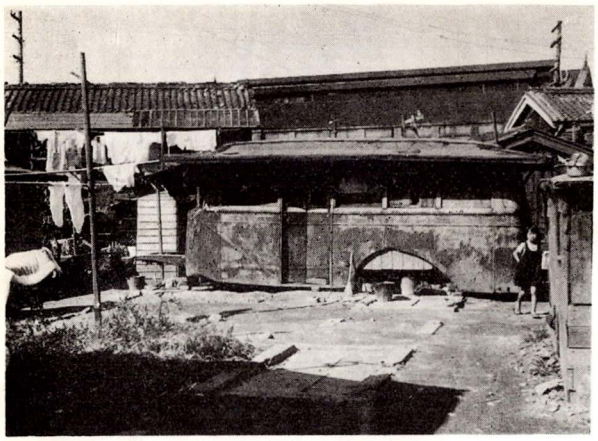
15年の公共住宅の歴史のうちには，当局者のさまざまな努力，形にあらわれていない，いろいろな苦心があったにちがいありません。したがって，私のような局外者が，たんに資料や形にあらわれたものだけで批評することは，あたっていない場合だってあるかも知れないと恐れるのです。そういった内部からの苦心，政策技術論としての公共住宅の歴史を，いろいろと苦労された方に，何らかの機会にぜひ書いていただきたいと思います。ここでは，そういったものの書かれることを期待しつつ，あえて，結果としてみた公共住宅15年の概観と批評を下記のように分けて書いてみました。

Ⅰ　公共住宅15年の概観
　第1期（1945—46）　第2期（1947—49）
　第3期（1950—54）　第4期（1955—60）

Ⅱ　貴重な15年間の経験
　1．政府施策住宅の対象　2．公共住宅の質
　3．公共住宅の立地条件

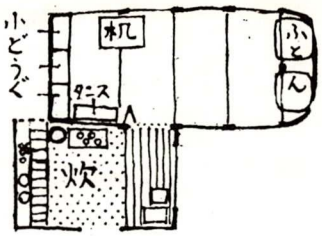
（絹谷祐規）

(注) 44頁の「建設省の住宅長期計画の概要」参照



◀図2. 廃バス利用の公営住宅 (1953.10撮影)

炊事場は居住者によつて建てましされたもの
(プラン採集：扇田信氏。1953.10)



Ⅰ. 公共住宅15年の概観

第1期 (1945—46)

越冬住宅も十分には建たなかった。しかし新らしい住宅政策の理念はすでにめばえていた。

終戦直後の住宅政策は，まず，戦災，強制疎開者等で家をなくした人々に，いかに冬をこさせるかという，ぎりぎりのところから出発しました。とにかく，どんな家でもいいから，冬をこさせなければ，というので，6.25坪の応急簡易住宅の建設がはじまったのです。

当時の計算では，戦災家屋210万戸，強制疎開55万その他海外引揚，戦時中の建設不足，老朽化等を入れて420万戸におよぶ住宅不足があるとされたのです。このため政府は48年8月28日300万戸を5ケ年で建設すると発表，9月4日は閣議で罹災都市の応急簡易住宅30万戸の建設要綱を決定し，また10月25日には，元軍用地建物の応急利用の件を通牒しています。この政府の方針により，国庫補助による住宅が，住宅営団，府県市等の公共団体によって建設されることとなったのです。しかし，このときは，とにかく量をという主義だったにもかかわらず，資材不足その他で，バスのボディーや鉄道の古客車を利用した，いわゆるバス住宅，汽車住宅などもおめみえし，兵舎や学校等を利用した応急住宅も多数にたてられたのですが，45年の3月まで10万余戸が完成したにすぎず，45年12月の調査では仮小屋居住が42万戸ありと報告された状態だったのです。

とにかく，住むに家なき人々がウロウロし，家よこせデモや国民大会が開かれ，引揚者による公共建物の実力占拠等もみられるありさまで，「とにかく応急住宅を」という方針は46年度に引きつがれねばなりませんでした。しかし，46年に入ると，いろいろな政策が一応将来をふまえて具体化してくるようになりました。GHQの命令で，46年度より住宅復興事業は公共事業において実施することが決定されました（GHQ「日本公共事業原則」46.5.22）。公営住宅も，9.45坪の復興型として，一応仮小屋より脱したほどのものが供給されはじめました。絶対数が不足という事態にたいして，政府は応急住宅公営住宅の供給のみならず，あらゆる政策を打ちだした感があります。すなわち，46年3月の大都市転入



図3. 1945年の5.5坪戦災復興応急住宅
(大阪・ナンバ元町・大阪市住宅局提供)

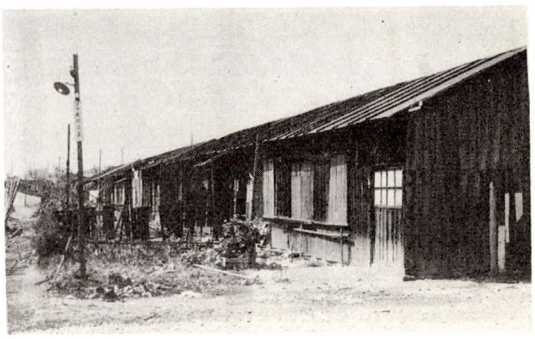
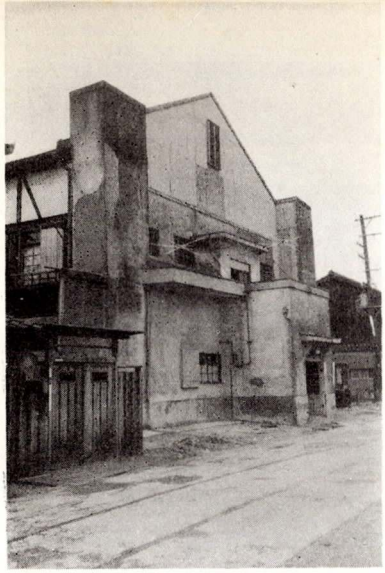


図4. 1945年の6.25坪の木造応急住宅
(神戸・大開住宅・兵庫県住宅課提供)



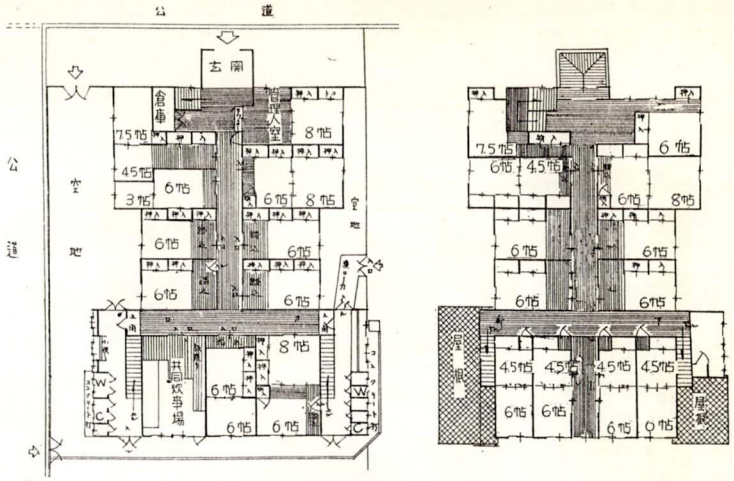


図5. 映画館転用住宅の例（兵庫県営花川寮 ・兵庫県住宅課提供） 左：1階 右：2階

抑制令，5月の余裕住宅の解放のための住宅緊急措置令，8月の罹災都市借地借家臨時処理法，9月の地代家賃統制令等，ひじょうに思いきった政策をとっています。

一方5月には，戦災復興院総裁の諮問に対する答申として，復興住宅建設基準委員会において「復興住宅建設基準」が作られ，戦後の政府の住宅給計画の基礎が徐々に明らかにされてきました。また46年1月には，「新建築」が復刊，4月には「建築文化」が刊行，6月には住宅文化協会の結成，7月には日本民主建築会の結成などがあり，いずれもわが国の住宅の復興をいかにすべきかという点で，数々のすぐれた論文を発表いたしました。

このように，この時期は，戦後の新らしい住宅供給についての理念があらゆるところで討議された時期でもありました。このように，この時期は，越冬バラックさえ十分には建てられなかったのですが，いろいろの理念が討議されていましたし，また実行されるものは，次々と手をうたれました。混乱のなかに，新しいもののめばえがはじまっていたのです。

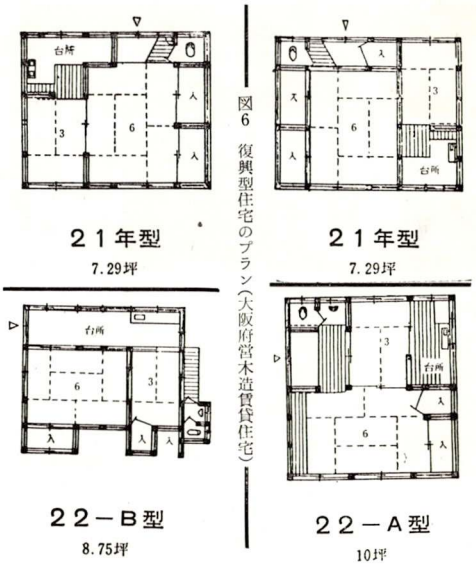


図6 復興型住宅のプラン（大阪府営木造賃貸住宅）

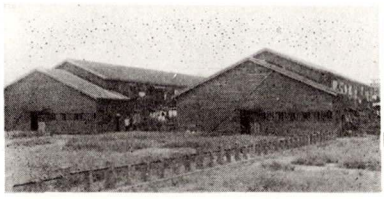


図8.
◀兵舎転用住宅
大阪市住宅局提供

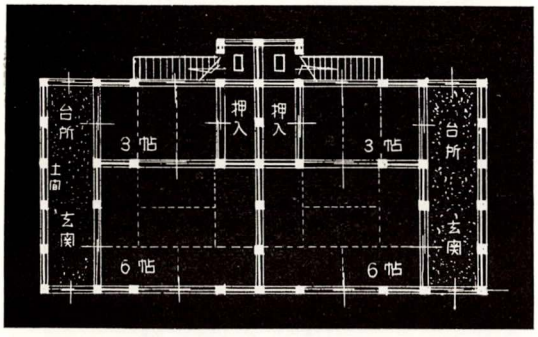


図7. 6.25坪応急住宅のプラン（兵庫県エボシ住宅）

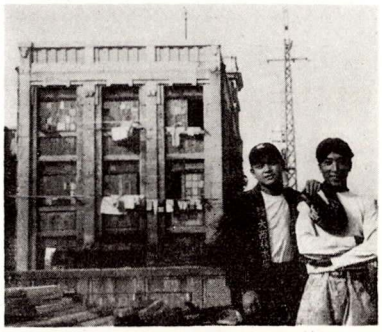


図9. 戦災学校を占拠した住宅（1953.10. 神戸にて撮す）

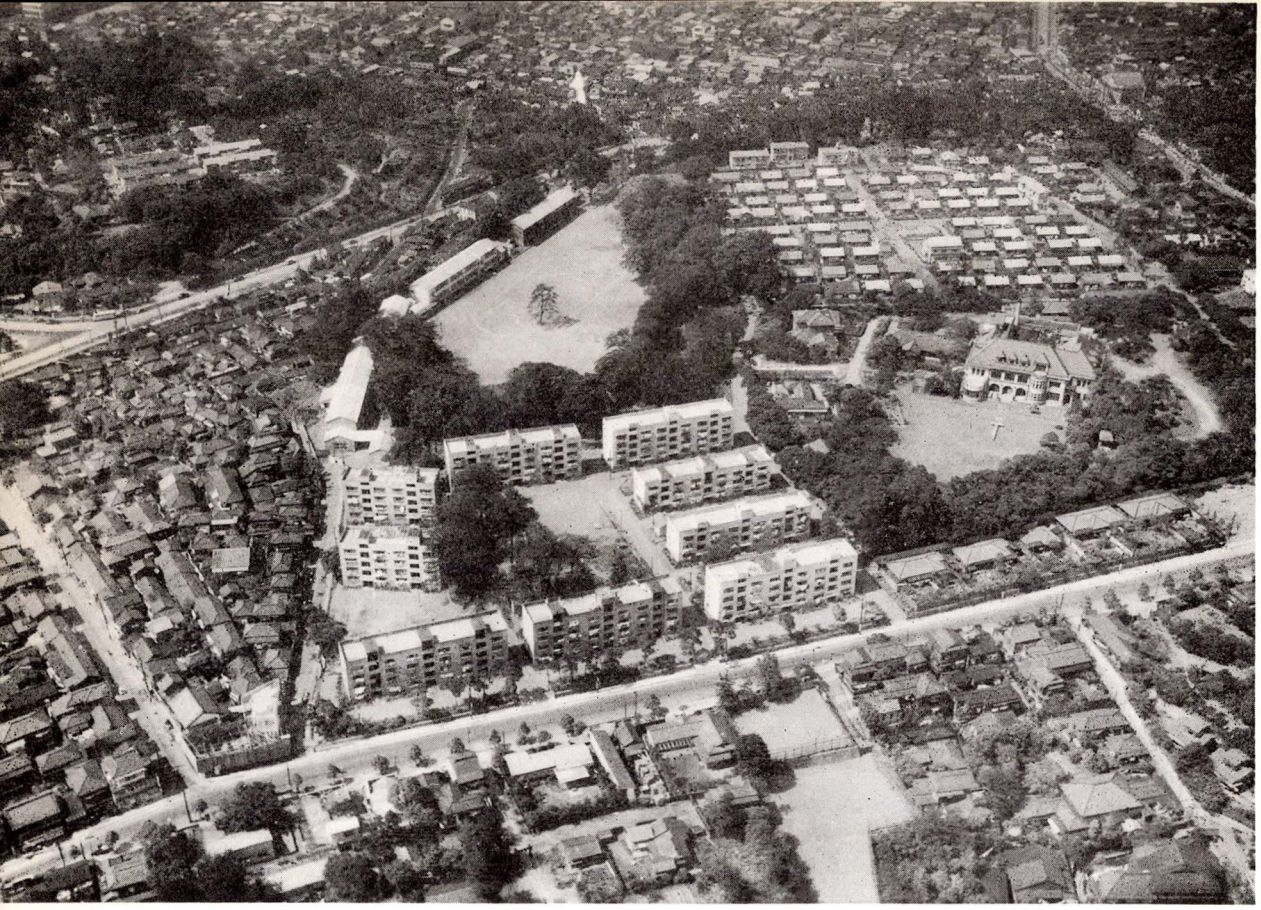


図10．高輪アパート俯瞰写真（東京都提供）

第２期 （1947—49）

復興は具体化していき，そして公共住宅の焦点は徐々に分化していった。

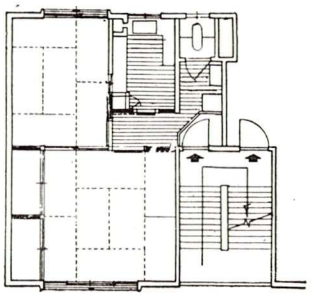
47年になりますと，民間の復興建築がかなりの量に達し，また住宅建築にも階層的分化がみられるようになりました。庶民の住宅難をよそに，料亭等の不急不要のヤミ建築が建てられる等の非難がでるようになりました。都市はその経済力を復興してきたのです。政府の住宅対策もこの年から，戦災復興としての住宅の量を確保するというものだけではなく，ある方向性が打ちだされてきました。

まず炭砿住宅です。政府は47年１月に，臨時炭砿労務者住宅建設規則を公布し，２月には８炭砿に，住宅建設資金として，１億９千万円の融資を行ないました。

一方，都市の公営住宅の標準化，不燃化，アパート化への試みが，この年に行なわれます。東京高輪の元有栖川の宮邸あとに，２棟48戸のR.C．アパートが着工されたのです。これは，48年５月に完成するのですが，このアパートの経験をその後の公営住宅に生かすべく，各界の代表者10世帯を特別入居とし，１ケ年間，居住性その他の研究を依頼したことは，きわめて重要なことでありました。ここに戦後の公営住宅が，不燃化，共同化，標準化の方向をあゆむ基礎ができたといっていいでしょう。このアパートは，また，わが国最初の壁式R.C.構造としても，注目されました。48年には，東京に引続き，各地で，この型のアパートの着工をみ，大阪では府営筆ケ崎96戸（４棟），同府営夕陽ケ丘32戸（２棟），大阪市営小宮168戸（７棟）が着工されました。

しかしながら，政府の施策住宅の戸数がのびなやんでいることはきわめてゆゆしき問題でありました。戦災者のための住宅復興をはっきりと見定めた上で，この方向性を打ちだしたならば，この意義もより高くなったと思われるのですが，予算が限られているという事実の前に

図11．戦後最初のR.C．アパートのプラン



（東京高輪アパート）

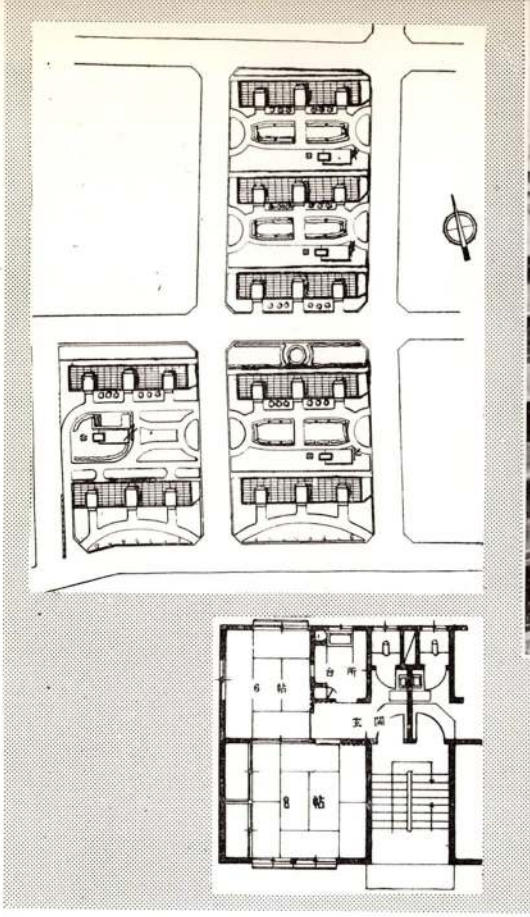


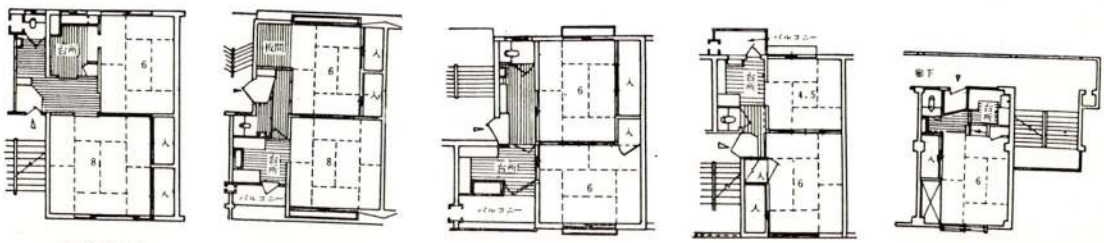


図12.　戦後はじめての大阪市営R.C.アパート（小宮団地）

互いに矛盾した政策という感じを与えたことは，いなめない事実なのです。それにもかかわらず，わが国の将来をみこして，不燃化，共同化，標準化へ一歩ふみだした努力は，大きく評価されねばならぬでしょう。しかも，将来の大量建設にそなえて，実験的な調査が試みられたことも賢明なことでした。第1期において，いろいろと討論されたいろいろな理念や，戦前からの蓄積が，このR.C.アパートに具体的に現れてきたといえましょう。

この時期の政府住宅は，建設戸数においては，戦災復興にその主導権を発揮するほどの力をもちえませんでしたので，自力で住宅を建設しうる人は，どんどん建てました。47年，48年は住宅建設の量において，ひとつのピークを形成しています。しかし，49年になると，これも一段落をつげたのか，民間住宅建設戸数も下降のきざしがみえてきて，48年にくらべ約半数という数字にとどまったのです。すなわち49年には，住宅難の状態がひどいまま，公営住宅の供給不足，国民の経済力および供給資材の不足等の理由で，住宅建設量の相対的停滞の時期を迎えたのです。政府は国家公務員住宅を設けはいたしましたが，これも量としてはとるに足らないものでした。したがって，量的住宅難はまだ巾広く存在しておりました。

図13.　公営R.C.アパートの標準プラン



48年型
13.41坪（共用部含）

49－A型
14.21坪（共用部含）

49－B型
13.8坪（共用部含）

49－C型
12.61坪（共用部含）

49年度50－D型
10.4坪（階段室共）



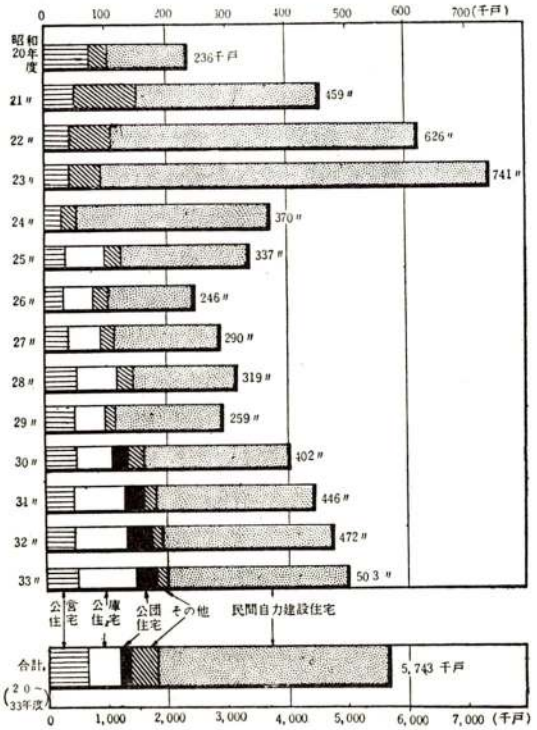
図14. 最初のポイントハウス（名古屋）
—名古屋市建築課提供—

第3期 (1950—54)

巾広く残る住宅不足に対し政府は多様なる政策をとり持家，給与住宅へも大巾な援助が行なわれた。

第2期における民間復興建築の一段落，公共住宅建設戸数の漸減にもかかわらず，大量に残る住宅難世帯の存在（不足数昭和24年368万戸）はきわめて憂慮すべき状態でした。地代家賃統制令は借家企業を完膚なきまでにたたきのめし，この時期には民間の新築貸家は皆無のありさまでした。

図15. 戦後の住宅建設戸数



政府はこの突破口を，公営住宅の大巾増加という形に求めず，持家対策としての長期低利資金の貸付けによる持家建築の刺戟というところに求めたのです。すなわち50年，住宅金融公庫法を制定したのです。これは，持家を望む層や，ある程度の資金を融通できる層には強力にアッピールし，50年には政府施策住宅の数は飛躍的に増大する結果となりました。

また，公営住宅法が51年に制定されて，国庫補助低家賃住宅の建設が法制化されるとともに，第一種住宅，第二種住宅の別がとられ，52年には不良住宅事業の一環としての，第2種住宅の建設が法制化されるなど，供給対象を階層別にとらえてゆくという方針が，一応打ちだされたわけであります。しかし，この場合においても，実際は，便宜的に一種二種の枠がきめられ，また補助率も機械的に二分の一，三分の二と決められただけであって，かならずしも，階層別に適当な住宅を，供給するという方針でなかったことは，二種の割当戸数，その規模，住宅の立地条件をみれば明らかでした。

ついで“給与住宅を通じて住宅難の解決を積極的に図る”という命題がでてまいりました。すなわち52年には厚生年金の積立金を利用した住宅建設がその緒につき，さらに53年には，産業労働者住宅融資法が制定され，住宅金融公庫を通じて産業会社に対し，住宅建設資金の貸付が行なわれるようになり，政府施策住宅はますますバラェティーに富むことになったのであります。

このように50年から54年までの間は，公営賃貸住宅のみならず，持家建設から，給与住宅の建設にまで，大巾な補助を行なうようになりましたので，政府施策住宅の戸数はますます増加し，住宅不足を緩和することに大きな力となったわけです。しかしながら，これはもっぱら

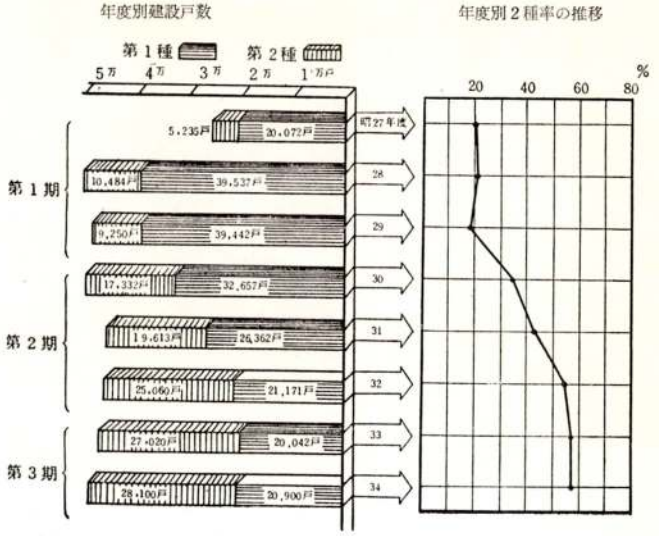


図16.　公営住宅3カ年計画建設戸数

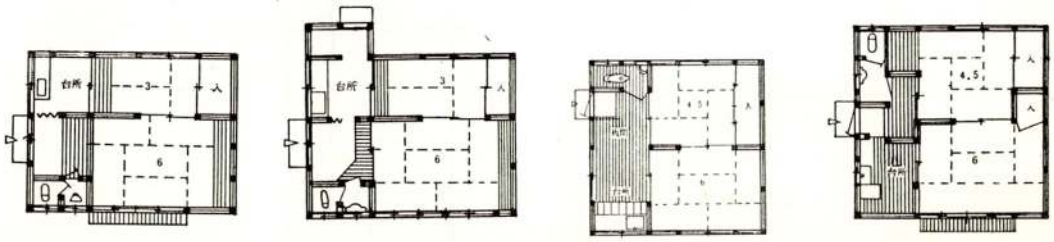
資金をもった会社や個人を対象に融資することで，住宅建設の意慾を高めるという結果に依存しており，家を建てる資力能力のない個人を対象とした一般公営賃貸住宅は，公営住宅法による第1期3ケ年計画の実施により一部増加したとはいうものの，全体の不足からみれば，本当に取るにたらない数であり，ここに，住宅難の階層的偏在現象が大きくなってきたわけであります。“給与住宅や，持家に国家資金を使うことは間違いで，低額所得者を中心に考えよ”という意見もできました。

また，この時期は，大都市の宅地難がはっきりしてきた時代でもありました。公営住宅の用地は徐々に周辺部に追いやられていく傾向がでてきました。53年の金融公庫の融資当選者は約四分の一ていどの棄権者をだしましたが，この原因は宅地難と考えられる程，この問題は深酷になってきました。

以上のように第3期は，公共住宅の建設という面では相当の戸数が確保されたのですが，それにともなって住宅難の階層的偏在，都市計画との関連という点で，大きな問題が露呈してきた時期であります。しかし，住宅の設計は漸次の蓄積を経て，合理的となり，また，種々の形式が現れてきました。重ね建形式，テラスハウス，ポイントハウス，メゾネット，併存アパートなどのようなものです。また市街地用として，高層住宅をとりいれるべく，公営高層住宅の研究が，建設省でも行なわれ，〝国民のための，住宅の建設量の少いままに，多分の資金を要する高層住宅など，もってのほか〟などの批評もうけながらも，54年度には，300戸の予算がつけられるなどの努力がなされました。しかし，これも結局土地の入手難で結局公営住宅としては日の目をみず，協会，公団住宅の高層住宅に漸次うけいれられてゆくことになりました。

このように公共住宅の水準が設計面において，改良されてゆくとともに，終戦直後の木造公営住宅の老朽化と管理の問題が起ってきました。兵庫の大開団地のごとく，RCアパート団地として再開発したものもありますが，大部分は安い価格で居住者に譲渡されました。

図17. 公営2種木造住宅プラン(大阪府営住宅)



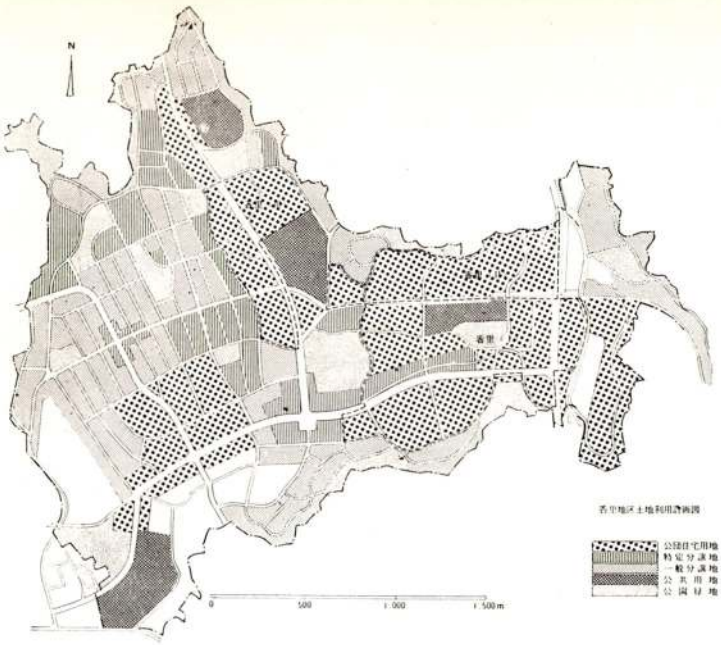


図18.　香里団地土地利用図



図19.　千里山団地

第4期　(1955—60)　公共住宅の建設戸数は増加したが，戸数主義の矛盾が増大していった。

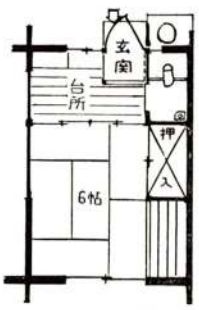
54年の総選挙では，住宅問題が最重要施策のひとつにとりあげられ，これが55年の鳩山内閣における42戸建設政策となってあらわれました。このときは，公約にあわすべく，とにかく戸数をそろえなければというので，公営住宅には，6坪や8坪住宅などという極小住宅がおめみえしました。こうした戸数主義は，けっしてこのとき始まったものではなく，それまでから，いままでのべてきましたように政府の政策の基調をなしていたわけで，たとえば50年もR.Cの50—Dというものがでています。しかし，55年には，母子住宅，小家族住宅など，あまり露骨なあらわれかたをしたために，各界の総反撃を喰い2〜3年後に6〜8坪型の小住宅はまた姿を消すことになりました。

また，この時期の最も大きな事柄は，住宅公団の設立をみたことであります。民間の資金を住宅建設に導入し，宅地難を解決するための区割整理方式による宅地の造成を行ない，広域圏の住宅供給を行なうことというのが，公団設立の最も大きな理由となっていました。そして具体的には，公団は不燃アパートを主に大団地主義でもって，大都市地区の住宅供給を行なうことになったわけです。このことは，第3期から続いてきた，種々の供給方法をもって，とにかく政府施策住宅の戸数をふやしてゆくという政策の仕上ともいうべき意味をもっていました。国家の低利資金の融資はありますが，補助金はなく，その家賃は，公営住宅に比較して，高くなるのは当然でありますが，このことによっても，低額所得者と公団階層，公庫階層，との住宅難の解消の速度は，ますます開いてゆきました。「公団住宅を政府施策住宅に数えることがおかしい，住宅対策といえないのではないか」という人もでてきたわけであります。しかし，公団住宅は，当時の政府のはっきりした住宅対策であって「建設戸数を増加させ，住宅難を解消できるところから解決してゆく」という態度の現われであったのです。

このように，公団は当時すでに問題になりかけていた，「低額所得者への住宅難のしわよせ」をさらに強めるような形で出発したことと，一般的に家賃が高いという感じとで，評判はよくなかったのです。大都市地区といっても，名古屋，北九州地区のように，高所得サラリ



図20.　8坪型LC公営住宅（兵庫県住宅課提供）

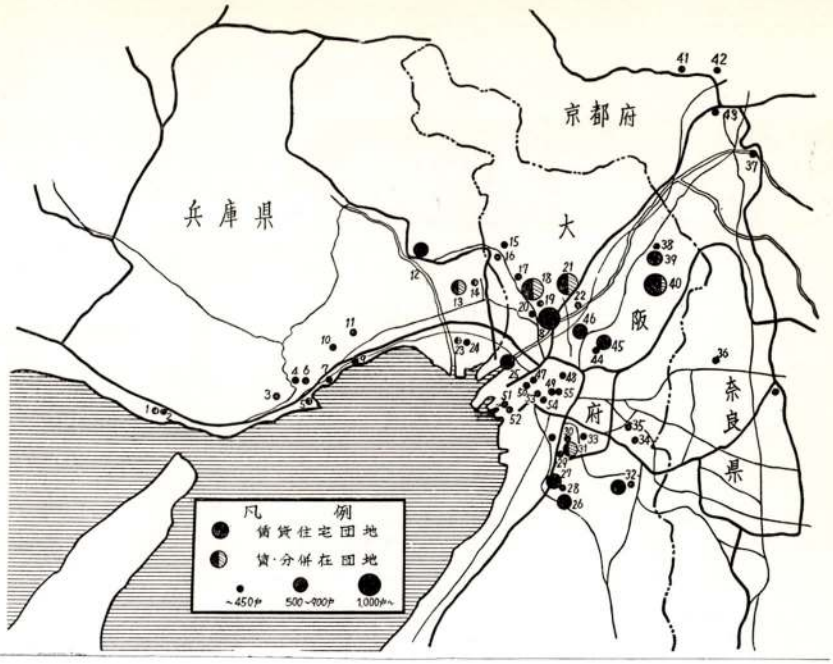


母子住宅と称する
零細規模の2種公営住宅

図21.　6坪型LC公営住宅（兵庫県住宅課提供）

図22. 関西の公団住宅分布図

番号は団地名を示す。たとえば
8. 東淀川団地
18. 旭ケ丘団地
21. 千里山団地
26. 中百舌鳥団地
27. 金岡団地
39. 中宮第二団地
40. 香里団地
45. 関目団地
46. 都島団地
その他は省略



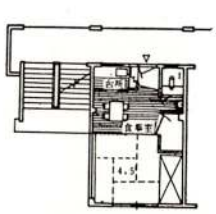
ーマンの層のうすい地域では，応募者が建設戸数に満たないという場合もありました。しかし団地の建設が次々と進み，数多くのサラリーマンが，公団の団地に住みはじめてからは，アパート団地についての世人の関心は段々つよくなり，ダンチ族なる言葉の流行する頃には，ひとつの住居形式として，国民にうけいれられてしまった形になってきました。1947年に東京高輪で2棟のRCアパートが着工されて後，約10年のあいだに，不燃共同住宅は，わが国にすっかり根を下した形になったのであり，わが国民の住生活の様式に与えた影響は，けっして少なくないものがあったと思うのです。また公団住宅の大量の建設は，公団（入居可能）階層に対しては世帯の分解を促進し，それまで住宅難の故におさえられていた人々の移動に，幾らかの力を与えたことも見逃がせません。

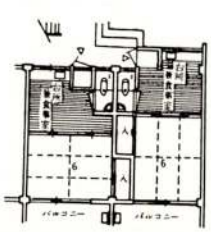
一方，都市周辺部，郊外部における，公団の大規模な土地買収と住宅建設は，地価の高騰に拍車をかける結果となり，住宅地はさらに，それをこえてゆかねばならぬという現象が生じてきました。用地費の枠がかなり厳しい公営住宅や，一般庶民住宅の場合など一層はっきりとした形で現われてきました。名古屋では，こういう事情に対応して，区劃整理方式を利用して，地主と協定の上で山地を宅地化して公営住宅敷地を入手するという方式もとられました（56年5月天白一ツ山団地）。

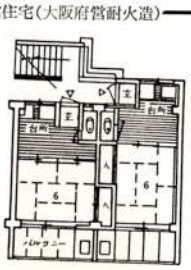
宅地難は深刻な様相を示しはじめたのです。これと対応して，都市再開発と公共住宅の関係が，具体的なプログラムの上で問題にされるようになりました。56年よりはじめられた公団の市街地住宅，57年より始められた公庫の中高層融資住宅です。しかし，この方法による個々の画地の建てかえの需要はかなりあるにしても，まとまったブロックの建設はほとんど期待できず，したがって市街地再開発としては，単独では，効果のうすいものたらざるをえないわけです。したがって市街地再開発法といったものへの要求がでてきました。他方，不良住宅地区の改良が，都市再開発としての観点からも考慮され，住宅地区改良法が制定されるようになりました。

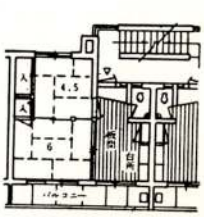
とにかく，この時期においては，わが国の経済の成長による経済界の活潑な動きに対して，住宅建設の量は相当なのびを示しましたが，その故に，その内蔵する矛盾が顕著に現われ，住宅建設と社会福祉対策，住宅建設と都市建設，等他の分野との関係の調整と，統合的一貫的政策の必要性が目前の問題として，具体的に迫ってきたのです。

図23. 小家族向と称する零細規模の公営住宅(大阪府営耐火造)


50年度50－D型
10.4坪(居住面積)


0－56E型
8.61坪（共用部含）


RB₄0－57型
8.6坪（共用部含）


RC₄0－57型
10坪（共用部含）

Ⅱ. 貴重な15年間の経験

1. 政府施策住宅の対象

総花主義・戸数主義とその原因

公共住宅の種類は，概観のところでも述べましたように，第1期から第4期にいたる間に，その数をふやしてゆきました。この政策は，各方面の住宅建設戸数を増加させるという意味で，あるていどの成功を収めたのですが，一言でいうならば，戸数主義ともいうべきものでありました。しかし，この間の個々の対策をみれば，極めて意慾的なすぐれたものもあるのです。ただ，それらが一貫した政策によって相互に結び合されなかったためであり，さらにいうなれば，住宅建設事業の枠内では，どうしても解決されない他分野の問題とぶつかりあったためです。戦後，住宅建設が，都市建設，国民の社会福祉対策に先行せねばならなかったための悲劇ともいえるでしょう。

今回発表された，建設省の住宅長期計画は下欄のごとき内容だとききます。これには15年の住宅政策の結び目，具体的方策について，さらに一段の検討を望みたいと思うのです。

民間住宅対策との関係

終戦直後にいろいろと行なわれた，民間住宅対策は，かなり徹底的なものだったといえましょう。60年までその効力を発揮した地代家賃制令は戦後の住宅問題の一断面を語るものであります。また昭和21年の余裕住宅の解放措置は，極めて大胆な主旨でありました。しかし，この余裕住宅の開放措置は殆んど成功を収めず，地代家賃統制令も，それに関連し，かつそれに続く政策が行なわれなかったため，小家主にしわよせが行なわれ，数年間は民間借家建築は殆んど建設されず，それにあわてた政府は昭和25年よりは新築の分のみ統制をはずし，徐々にこの統制分をなしくずしにしていったのですが，そのため最初の目的であった公営重点の線もうすれ，しかも，

建設省の住宅長期計画の概要

新計画立案にいたる理由

1. 33年の10月に統計局で住宅事情調査を行なったが，その結果によると，住宅難世帯の数が推定していたものより多くでた。すなわち194万に対して，216万であった。こうした見込ちがいのできた原因のひとつは，世帯増が予想よりも多かったこと。もうひとつの原因としては，建物の除却件数が多く，耐用年数の残っているものでも，どんどんこわされたことである。
2. 住宅難の実態を地域的にみると，都市部は農村部にくらべ，その解消の速度がはるかにおそく，居住者の収入階層でみると，低額所得者層に住宅難がとり残されているということがわかった。
3. したがって，従来と同様な建設供給方式をつづけてゆくと，一般勤労世帯と，住宅難世帯の山の開きというものがだんだんと拡がってゆく。

長期計画の目標

1. 以上の住宅難の実態をふまえ，かつ，国全体の経済長期計画，経済ののびをおりこんだ計画とする。そのため一応10年後に目標をおき，国民所得が2倍となった姿において考える。
2. 具体的な目標としては，1世帯1住宅とし，各世帯の構成規模に応じたものを供給する。全住宅の1戸当りの平均を18～19坪とする。

前期5ケ年の具体的計画

1. 不適格住宅の規模における基準線を従来の1世帯9帖末満，1人当り2.5帖末満より12帖末満，3.0帖末満/人に引きあげる。都市の空家率を5%とする。ということにし，世帯分解も考慮にいれると，昭和45年末に2,331万戸が必要となる。現在の住宅の滅失除却を考慮にいれると，不適格居住を解消するには10年間1,000万戸の建設が必要となる。そのうち，5ケ年に400万戸，政府施策住宅はその40%の160万戸とする。
2. 住宅の供給は借家，給与住宅に重点をおき，また宅地難を考慮にいれてアパートを中心とする。またかなり大きな規模の借家アパートを供給することで，土地や持家漁りを防ぎ，宅地難を二重に防止する。
3. 今後の産業構造の変化にともない，また地域間の格差をなくするという意味を含めて，産業労務者向住宅を重視する。
4. 農村部と都市部の住居水準の差をなくする意味で，農漁村住宅に力をいれ，また市街地では宅地再開発の方向を含めて不良住宅の改良を行なう。

（稗田治：政府施策住宅の方向：「住宅」1960.9月号より要約）

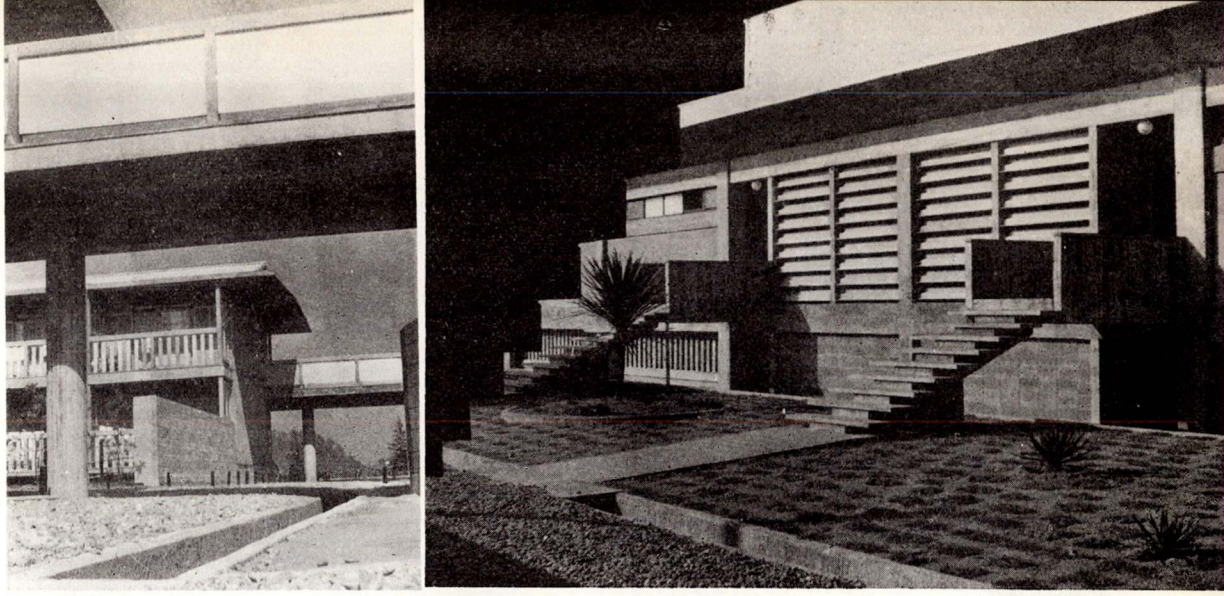


図24.　某社の産労住宅（松村慶三氏提供）

その統制も無責任なはずし方をしたために，大量の粗悪零細な木造アパートと超高級なデラックスアパートとしかできぬ結果となり，一方では，戦前からの真面目な貸家企業者が低家賃の貸家をかかえて苦しむという，面白からぬ現象を生んだのであります。統制を外すときに，ただ民間に建てさせればよいということだけでなく，戦後の民間の住宅投資をいかに指導，育成するかが考えられていたら，たとえそれが間違っていたとしても，貴重な経験となったと思うのです。

持家，給与住宅に対する政策とその限界

住宅金融公庫ができて，持家に対する融資の道が開かれたことは，住宅建設戸数の増大にきわめて大きい影響を与えたのですが，住宅難対策としては，いろいろの限界がありましたし，また，都市計画等との対応においても，かずかずの問題を生じました。特に借家供給量の不足とあいまって，本来の借家階層までを持家層として組入れることとなり，零細規模の持家による都市の膨脹，宅地難に間接的な影響を与えたことは認めねばなりません。

また，給与住宅に対する融資は，返済能力，企業の安定性という意味で，大企業に片よりがちでありました。しかも，そのなかでもデラックスな社宅の比率がかなり高く，幹部級，準幹部級を対象としたものも見受けられ，これらが，高級住宅地に続々と建てられたのです。したがって高級住宅地では戦後給与住宅の比率が非常に高くなったことが統計面にもあらわれます。

もちろん，これらも住宅難緩和に一役果したことは否めませんが，より多く，企業の復興に力を与えたこと，しかも，それが大企業に片より，かつ高級社員に厚くする結果となったことを忘れないでおきたいと思います。

従ってその限界をふまえた上で，対策を講ずることが必要なのですが，今回の長期計画においても，給与住宅に重点をおくといいながら，その限界について，何も記していないのは，少し気にかかる点であります。

低家賃政策としての建設費補助

公営住宅は，低額所得者向とはうたわれながら，第1種は収入の下限が1.6万円，制限なしといわれる第2種でも，下限1万円という暗黙の事項があり，くわうるに8.5坪という小規模住宅の故に，種々の矛盾をもつとい

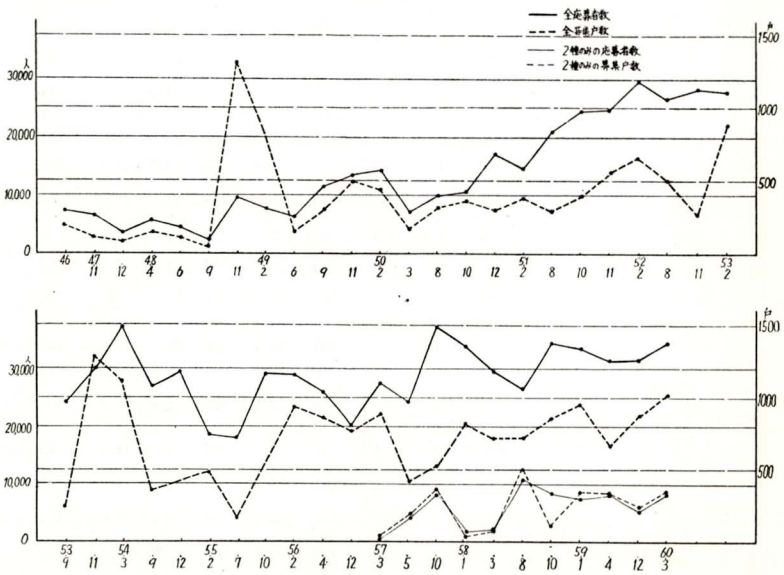


図25.　大阪府営住宅における一般公募戸数と応募者数（募集回別）の変化
（大阪府住宅年報および大阪府住宅管理課台帳より集計）

う結果となったのであり，かつこれら2種の建設を地元がいやがる等のこともあって，立地条件も不利な場合が多くこういう点でも，低額所得者対策は不十分であったといわねばなりません。したがって一般公募になってからでも，2種住宅の応募率は決して高くはありませんでした。しかしこれはけっして，事業体の責任の故ではなく，2種住宅といえども，家賃を取立てなくてはならない建前になっていること，しかも，2種住宅建築にともなう種々の配慮がかけていたからにほかならないのです。こうした問題に対し，レントリベート，その他種々の方法の研究も一応行なわれたのですが，社会保障制度の不十分なわが国では，住宅関係者のみでは如何ともしがたく，みおくられました。住宅対策の方で，社会保障に類することをせねばならないところにその矛盾があったわけです。一方，この家賃は，建設費を一率に償却してゆくという方法できめられましたので，建設年度の早いものはただみたいなもので，こういう建設年次別の家賃のちがいということも問題でした。

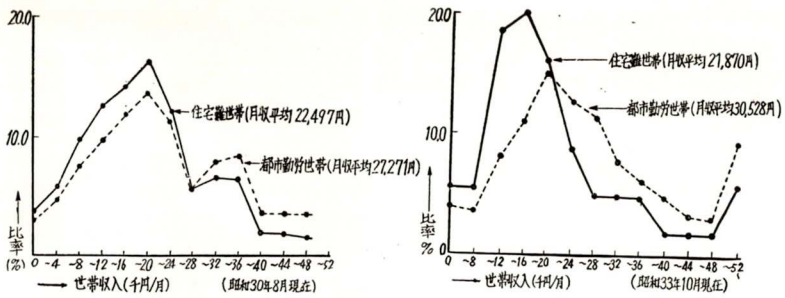


図26. 住宅難世帯，都市勤労世帯収入比較

とにかく，こうした矛盾をはらみながらも，公営住宅の供給量がもっとあれば，問題は別の現われ方をしていたにちがいありません。しかも建設の絶対量が少ないため，とにかく公営住宅のみにたよるほかない低額所得者層の住宅難は慢性化し，上のグラフに見るごとき，住宅難世従の階層的偏在現象を起してしまったのです。

こういう事情のもとで，公営住宅の住みかえ問題がとりあげられとようになり，59年にはこれが制度化されるに至りました。すなわち59年で全国56万の公営住宅中9万世帯が3.2万円以上の収入があるといわれ，これらの人を公営以外の住宅に移すことにより低額所得住宅難世帯を救済しようとしたのであります。割増金を支払えば居残れるという中間的な解決法をとったため，効果はあまりなく，もっと基本的なことから考えなおす必要をあらためて強調した結果に終りました。

とくに公営住宅入居者は若い層が多いのですから，この問題は今後もずっと続く問題なのです。収入できめるからそういう問題が起るのであり，職業で基準を決めると，その問題は割合少なくなるとの説もありますが，こ

世帯主の職業別公営住宅入居世帯比率と住宅難世帯比率

		昭和33年全国					昭和33年全国市部					昭和28年全国市部			昭和33年大阪府		
		総数 (A)	公営住宅 (B)	B/A ×100	住宅難世帯 (C)	C/A ×100	総数 (A)	公営住宅 (B)	B/A ×100	住宅難世帯 (C)	C/A ×100	総数 (A)	公営住宅 (B)	B/A ×100	総数 (A)	公営住宅 (B)	B/A ×100
総数		千戸 17411	千戸 613	3.5	千世帯 2268	13.0	千戸 10798	千戸 468	4.3	千世帯 1737	16.1	千戸 8069	千戸 385	4.8	千戸 1023	千戸 58	5.7
業主	総数	8808	54	0.6	634	7.2	4320	39	0.9	407	9.4	2707	33	1.2	338	4.1	1.2
	農林水産	5190	5.4	0.1	192	3.7	1732	1.9	0.1	60	3.5	616	0.94	0.2	67	0.06	0.09
	鉱・工・建設	1263	18	1.4	156	12.4	890	18	2.0	120	13.5	702	11	1.6	94	1.5	1.6
	販売サービス	2045	26	1.3	260	12.7	1473	20	1.4	205	13.9	1201	17	1.4	152	1.9	1.3
	その他	310	5.4	1.7	27	8.7	225	3.9	1.7	21	9.3	188	3.5	1.9	24	0.55	2.3
民間の常用雇用者	総数	5801	298	5.1	1113	19.2	4576	242	5.3	953	20.8	3854	203	5.3	532	38	7.2
	会社団体の役員	239	3.1	1.3	6.4	2.7	208	2.8	1.3	6	2.9	188	2.6	1.4	25	0.55	2.2
	専門的技術的職業および事務従事者	1851	111	6.0	224	12.1	1533	93	6.1	203	13.3	1336	80	6.0	173	15	8.7
	鉱工建設作業者	2585	124	4.8	593	22.9	1970	99	5.0	500	25.4	1606	82	5.1	238	16	6.7
	運輸従事者	398	25	6.3	104	26.1	300	19	6.3	89	29.6	243	14	5.8	29	2.7	9.3
	販売サービス従事者	589	32	5.4	156	26.5	506	27	5.3	142	28.0	447	24	5.4	66	3.8	5.8
	その他賃金労働者	140	3	2.1	29	20.7	61	1.2	2.0	14	23.0	33	0.69	2.1	0.98	0.03	3.1
官公の常用雇用者	総数	1447	196	13.5	178	12.3	989	139	14.1	136	13.7	780	109	14.0	76	13	17.1
	技術的・事務的公務従事者	1084	142	13.1	97	9.0	727	100	13.8	75	10.3	568	79	13.9	52	8.3	16.0
	その他の公務従事者	362	54	14.9	81	22.4	262	39	14.9	62	23.7	212	30	14.2	23	4.9	21.3
臨時日雇		622	37	6.0	222	35.7	370	26	7.0	151	40.8	278	22	7.9	31	1.2	3.9
無職業者		731	29	2.9	121	16.6	541	22	4.1	89	15.1	449	19	4.2	47	1.6	3.4
不詳		1.5	0.08	5.3	1	66.6	1.5	0.08	5.3	0.95	63.3	1.5	0.07	4.7	0.11	—	

昭和33年住宅調査結果より作表

れは社会的な意味から，必ずしもよいとはいえません。また同じ団地のなかに規模のより大きく，家賃の高い住宅を設けることができたならば，転居は割合スムーズにゆくのではないかとも考えられますが，とにかく，建設費と補助額の差を一率に基準にしたがって償却してゆくやり方を，もう一度考えなおしてみるべきなのでしょう。この問題を解決しない限り，低額所得者向住宅の今後の大量建設およびそれにともなう管理はさまざまな困難がともなうと思うのです。

この住みかえ問題は，公営住宅が低額所得者のためのものという観点にたてば極めて当然の意見でもありますが，地団の雰囲気をよくして，その維持管理をスムーズにすすめるという点から考えると，けっして好もしいことではありません。今のようなやり方でゆけば，公営団地は家賃が安いから，一旦住めば，少々他に変ったほうがよいようなことになっても，その特権的権利を放棄するのがおしいために，なかなか変らないという場合と，収入が高くなったために，その団地をこよなく愛しながら，でてゆかねばならない，という，二つの相反する場合がでてくると思うのです。すなわち，強制された定着性，強制された移動性です。これらは両方とも，改められることによって，本当にそこに住むことを欲し，その団地を愛する人々によって住まれるようにせねばなりません。この点からも，現行の家賃対策，入居者選考対策は考えられねばならぬと思います。

団地の管理

戦前の民間借家は，家主のきめ細かな管理によって，その環境がうまく保たれているといったものが多くありました。戦後の公共住宅が，小規模ななかにも，将来の国民の住生活について，積極的な貢献をすべく，なんらかの試みを行なったり，あるいは，いい住環境をつくり出すためには，積極的にして，かつ系統的な管理方式が生れ出る必要があったのです。しかし，公営住宅はどちらかといえば，管理には十分な費用をみていないきらいがありました。住宅建設の熱心さに較べて，それはいささか片手落というべきではないでしょうか。59年度より公共施設としての集会室，家賃増加分の見返りとして，認められるようになりましたが，管理全般について，まだまだであり，いろいろな問題は，補助管理人の負担において解決されております。専任管理人の制度すらもないことは，なんといっても考えなおす必要がありそうです。設計や建設の面での試みが真に居住者のなかに生かされ，国民の生活水準が向上するためには，どうしてもよい意味での居住者との交流が必要だからです。

その点，公団住宅では，専任の管理人をおき，管理所のサービス・カーを全団地に走らせ，また，入居に当って，住宅の住い方についてのいろいろなパンフレットをくばったり，行きすぎにならないような住生活指導が行なわれる等，管理に相当な力がいれられたことは，大きな進歩と認めるべきでしょう。公団でいろいろとやられている管理も，さらにバラエティのある住居形式，配置計画にうらずけられて，もっと大きく伸ばしてほしいと思うとともに，ここでのいろいろな経験は，他の公共住宅でも，十分にとりいれるべきことと思うのです。もし，公営住宅の家賃が安いため不平が少ないというのが，管理をなほざりにしている原因だったら，これはきわめて由々しき問題だと思うのです。

大阪府営住宅における建設年次別家賃分布

家賃＼建設年次	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
総数	200	430	2185	1503	2148	2012	1761	2885	3048	2419	2449	2605	3070
円未満－500	200	430											
500－			2050	1351	1856	1480	100	195	159	133	24	22	
1000－			135	152	292	180	1173	1160		1111	502	782	1090
1500－						352			1357	1986	481	208	440
2000－							488	1250	34	189	1242	957	1208
2500－									1498		200	636	332
3000－													

大阪府各年度住宅年報より作表

大阪府営住宅建設年度別用地費単価別戸数分布表（府有地，買収価格不詳を除く）

坪当り単価＼住宅建設年度	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
計	—	330	1453	1431	1519	1792	1417	2541	2069	1844	2092	1541
円未満－500		302	1356	892	857	846	2453	515	450	128		
500－		28	97	539	570	714	1036	1305	1014	558	260	
1000－					92	104	88	613	537	533	673	105
1500－						128	48	108	68	453	491	41
2000－										18	274	503
2500－										42	50	
3000－												112
3500－											344	564
4000－												
4500－										112		216
5000－												

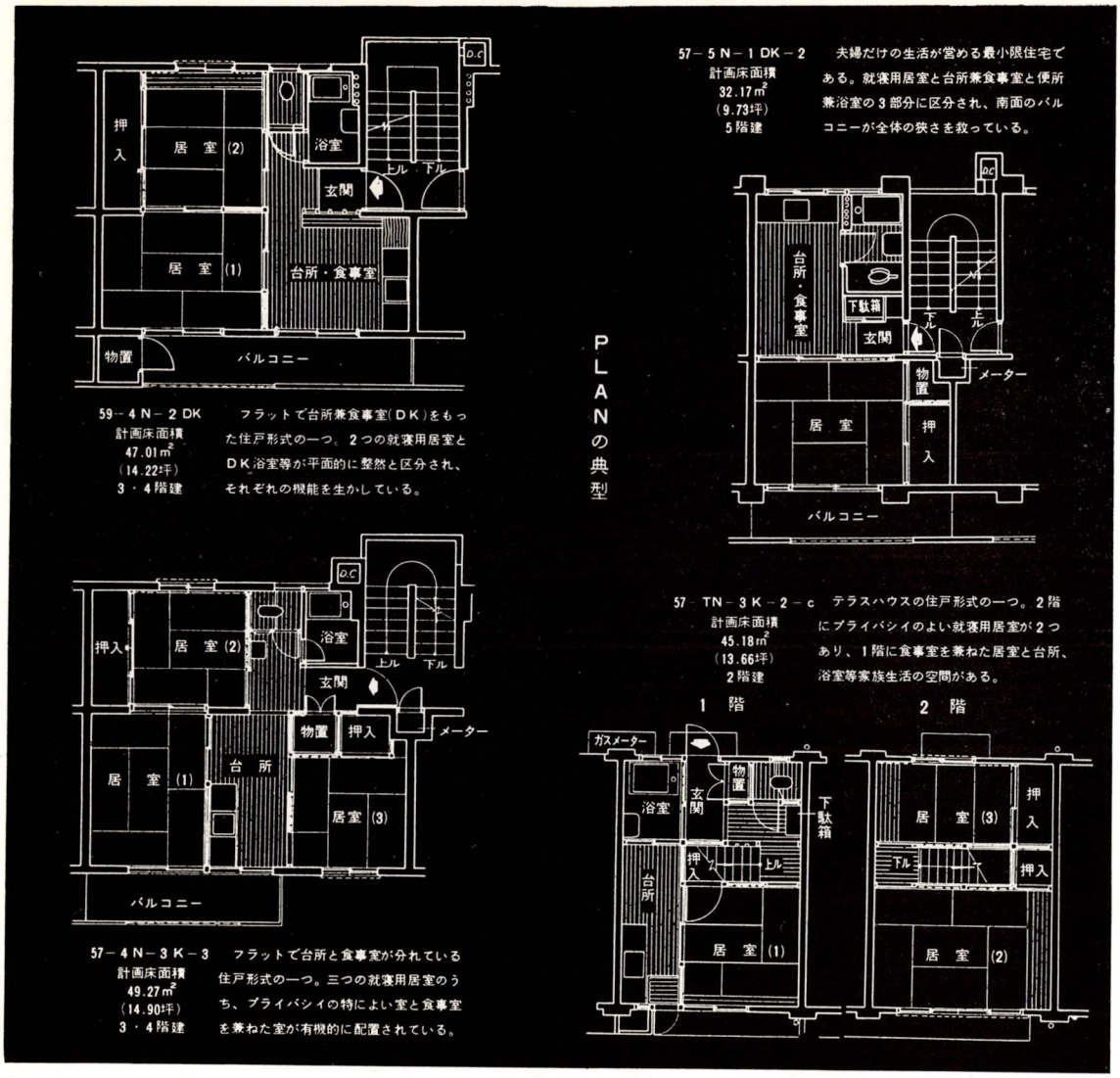


図27.　公団住宅におけるプランの典型(公団「生まれくる住宅と都市」より)

2. 公共住宅の質

住宅規模の問題

その規模からみると戦後の5.5坪，6.25坪の応急住宅より，21年には平均10坪にまで達したのですが，その後においても公営賃貸住宅はその規模を押えて戸数をという考え方で，平均が10坪程度に抑えられ，公団ができてからは，平均9坪にまで低められました。しかも26年に2種住宅ができていらい，低額所得者に対しては，小住宅（平均8坪）という組合せになったことは，その世帯の規模から考えて極めて問題の多い点だといえましょう。すなわち，こういう条件のなかで種々の設計の研究が行なわれたためにきめの細かいプランの追究となり，食寝分離，就寝分離を原則とした小住宅理論，小住宅設計法が一応の完成をみるのですが，当然，それは限られたものでしかなかったわけです。

その間取は，一般の市民の家族構成に合ったものでなかったために，世帯の分解を促進し，家族を近代化するのに大いに力を貸したとはいえても，国民の住生活の合理化にはどの程度の効果を与えたかは問題となるところであります。ただ，電化ブームなどによって，各種の生活器具の改革が行なわれ，それらが，またせまいスペースをいかに有効に使うかということに力をいれたため，狭いところをうまく使うという工夫が一段と進歩したことはたしかでしょう。

しかし，経済の成長と国民所得の増大は，かかる小規模住宅を遠からず陳腐化するでしょう。少なくとも平均において9坪や10坪などという規模のパタンではどうにもなりません。すなわち，単に人道上の問題ではなく，国家経済としても大きなロスとなることが考えられるの

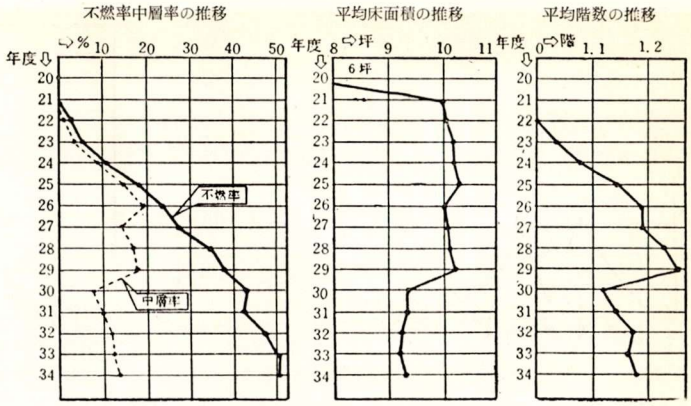


図28.　公共住宅建設の不燃率，床面積，階数の推移

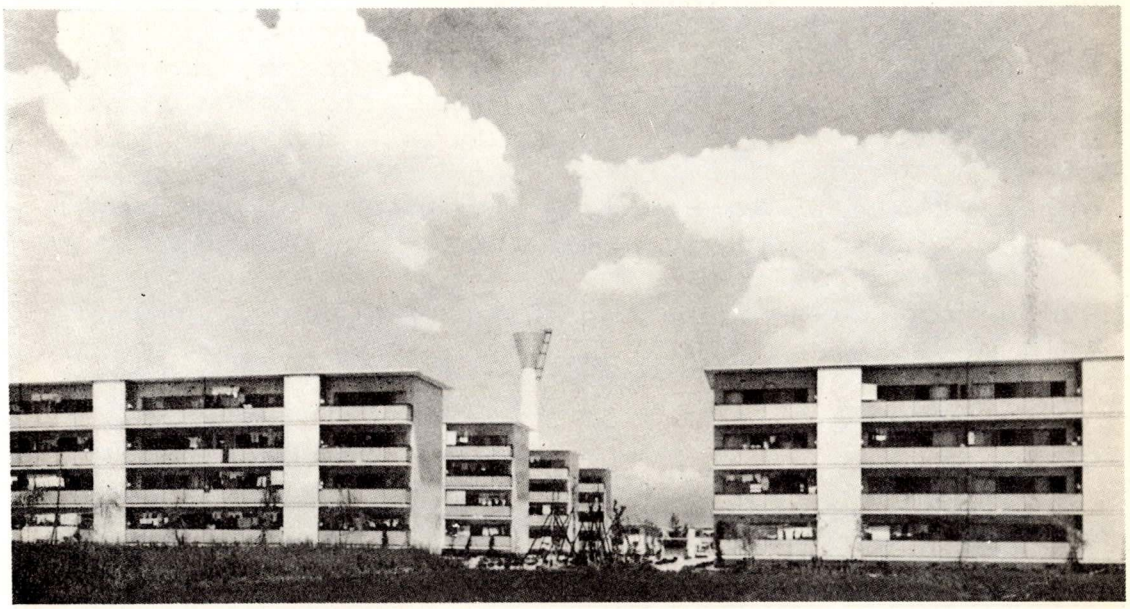


図29.　大阪府営・矢田部団地

です。このなかで公団が漸次，3K，3DK，4K と多寝室住宅にのりだしてきたのは当然のことでした。アパートのよさを感じさせ，R.C.アパートを単に一時の仮の住居と考えることから解放するにはいろんな形のいろんな大きさのアパートが手近にあることが必要なのです。

公団住宅のタイプは前頁に示したようなものですが，これでもまだまだと思います。各種の面からの供給規模の検討が望まれるのであります。

間取の研究，配置技法はある水準に達した

前述の如く，限られた規模内での間取の研究はこの15年の間にきわめて精緻に行なわれました。これは戦後の公共住宅の生んだ貴重な成果といえるでしょう。第3期に至ると，大団地計画が単に理念上のものとしてではなく，実際に行なわれるようになり，その技法も急速に進歩しました。特に第4期になって公団ができてからは，その発展はきわめて急速なものでありました。最初の R.C.アパート団地である大阪の小宮住宅団地が，昔風の区画整理街区の上に R.C.アパートを並べただけのものから，古市団地の改革をへて，最近のいろいろの団地に見られるまとまりある配置を見るとき，その急速な進歩に驚かざるをえません。

このように一戸のなかの間取から，団地としてのまとまりまで，住宅設計の範囲も拡がってきました。今後，いかに広域都市計画と結びつけてゆくかという点に問題が残っています。

不燃化，共同化の成功

また住宅の不燃化も，不燃住宅も48年高輪に着工された頃は，喧々囂々の有様でありましたが，急速に重要な役割を占めるようになってきて，58年には公営住宅においても50%に達するに至りました。しかし，標準化による大量生産方式への移行は，いまやっと手につきかけたというところでしょう。終戦直後の前川事務所のプレモ

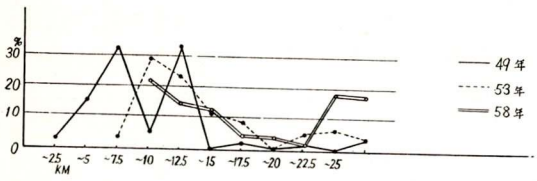


図30．大阪府営住宅，年度別立地戸数%(都心よりの距離)

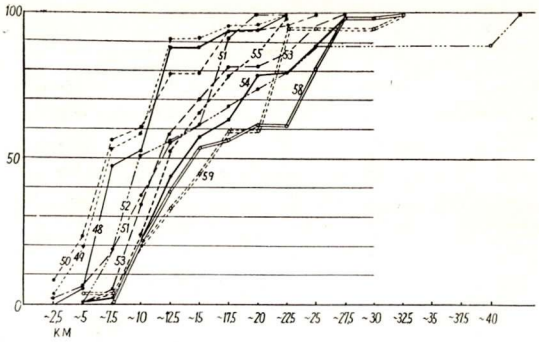


図31．大阪府営住宅，年度別立地戸数累積分布(都心よりの距離)

スなどの失敗もあって，公営住宅で大量生産方式に手をかけたところはなく，わずかに公団になって現場のたておこし工法が試みられているにすぎないのです。しかしながら，各種部品の規格化による量産化は，急速に進みつつあり，モデュールの研究とあいまって，今後急速にのびる分野と思われます。

とにかく，こういう分野では，公共住宅の果した役割はきわめて大きいものがありました。それだけ公共住宅の設計や建設の意義と責任は大きいものなのです。今はやっと，共同住宅，不燃住宅，台所用品の規模化等が国民にうけいれられつつある程度であり，団地生活，都市生活の上にもっともっとその意義を果してゆけると思うのです。部品の規格化にする量産化は急速に進みつつあり，モデュールの研究とあいまって，今後急速にのびることでしょう。

3. 公共住宅の立地条件

宅地難に引きずられるな

第1期，第2期においては，土地よりも建築資材の方に問題があるのですが，第3期に入り，都市の復興が目ざましくなると共に宅地の取得難が急に大きくなってきました。第1期，第2期は公営住宅も立地条件はよく，市街地に建っているのが多いのですが，51年頃より，漸次周辺地に移ってゆきます。公営住宅の用地費の限られていたことに，大きな原因があるのですが，このことは同時に，都市計画がおくれていて，住宅建設が，それに先行するという形になったため，とくにその弊害がでてきたのです。すなわち，安い用地を求めて周辺ないし郊外にでたとしても，一旦団地が建設され，居住者が到着するや，その周辺の土地は一挙に高騰し，もはや下らなくなるのです。公営住宅が安い用地を求めるのあまり，都市周辺のスプロール状開発の先駆をなしたのではない

大阪府営住宅年度別都心部よりの距離の分布戸数

	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
建設戸数計	—	200	430	2185	1503	2148	2012	1761	2885	3048	2419	2449	2605	3070	2653
KM															
− 2.5					56	184	48								
− 5				135	245	311	56								110
− 7.5			100	910	508	733	269	347	152	107	60	83			
−10			244	120	80	36	387	562	866	538	528	1303	1206	724	447
−12.5				778	500	447	358	98	697	700	682	93	585	478	325
−15		200	86				128		357	450	280	302	573	453	321
−17.5					42	299	596	114	272	179	353			84	380
−20						46	160	179		393	160	63	192	135	
−22.5				292				93	166	54	285		26		929
−25					72	92	10	189	247	293		420		590	
−27.5									123	312		24	22	536	
−30											42	50			
−32.5								60						70	141
−35								37	5	22	29				
−40												111			
−45								82							
平均距離				9.96	8.57	8.95	11.95	17.54	13.34	15.34	13.78	14.09	11.42	16.96	16.10



図32. 兵庫県営高丸団地住宅。6階建であるが敷地の関係上3階よりも出入できる。集会室をもつているのが特長である。

かと思えるところも，ところどころあるのです。なかには弧立した地区に飛石状に立地し，しかもその規模がきわめて小さい故にスラム化の寸前にあるところもあります。とくに第2種住宅の場合，引きうけ手がなく，また用地費を節約するなどの目的でとくに条件が悪くなる場合もあることなどは，本来あるべき姿と逆になったものとして，反省せねばなりません。また，立地条件と住宅の形式の配分関係も必ずしもうまくいっていないようです。すなわち市街地の中心部近くに高いものを，周辺部郊外部には低いものをというのも，案外ばらばらなのです。これというのも，限られた予算内で一定の戸数を消化せねばならないところからきた結果であり，とにかく，低家賃住宅の戸数の確保に重点がおかれ，地域の要因が軽視されていた結果ともいえましょう。

住宅配置の適正化こそ今後の問題

しかし，住宅，とくに労働者住宅の場合は，その労働市場の位置との関係が極めて大きいファクターとなるのですが，現在までの公営住宅は，家賃の点にのみ神経質で，その他の重要な条件である立地条件や規模には目をつぶってきたのです。とくに中小企業従業員などの場合，家族が総ばたらきで，暮しているという場合など，定期代なども彼らにしてみれば莫大なものになるのです。また，まわりに知合いのないところでは，病気をした場合など困る場合も多く，何かにつけて頼れる仲間が欲しいというのです。そうした理由で，本当に対象となるべき，こういう層は，公営住宅にはおもむかず，高い家賃で効率の悪い民間の借家に入ってしまうということがきわめて多かったのです。公共住宅団地が，そういう意味で住み安さを彼らに感じさせなかったのは問題でした。働く場所との関係，安心して住めるということ，このふたつが住宅を求める場合，何より大切なことなのです。立地条件のとらえ方にも，ホワイトカラー的な点があったことを反省しなければならぬと思うのです。

こうした居住者の要求以外に，都市経営上にもきわめて重大な問題であります。公共住宅は大量に建てられるだけに，その影響するところ大であります。適正な配置計画が行なわれたならば都市の発達にもいい影響が与えうるにちがいありません。永い目でみれば，それはプラスになるのです。

都市計画，住宅をやっている人の間では常識になっていることも，政策となるとなかなか実現できないところに問題があるのです。しかしながら新らしい長期計画では，土地の利用計画，市街地の密度計画と対応して，住宅供給を進めようとしています。今度こそは，これをぜひ実現させ，住宅政策が都市改造，国民の生活水準向上の大きなテコになるべきだと思うのです。

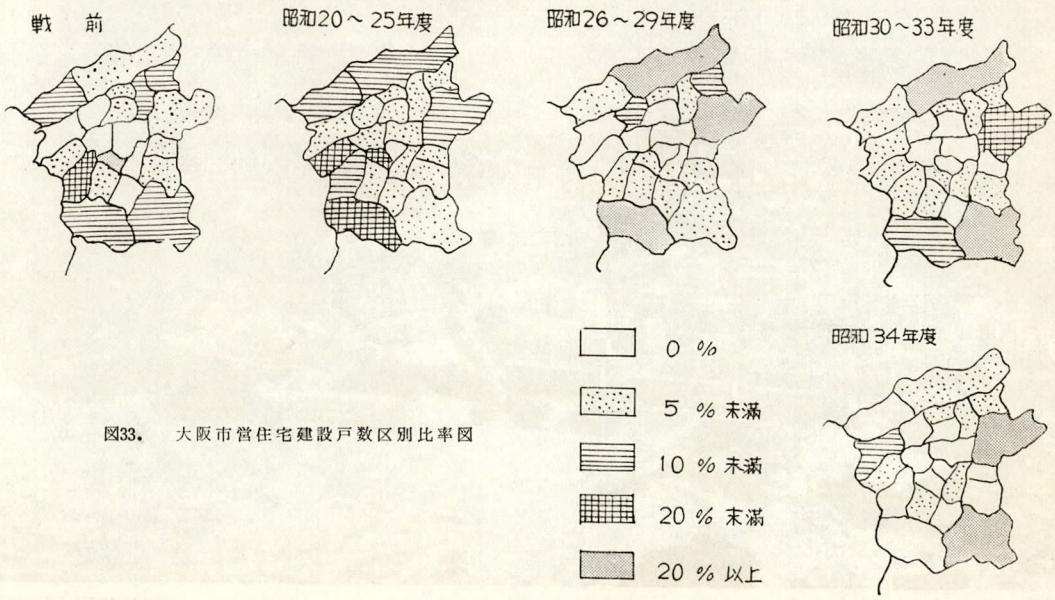


図33. 大阪市営住宅建設戸数区別比率図

4. むすび

以上にのべたような点が，今後の公共住宅の供給についての問題として大切な点だろうと思います。個々の問題を解決するためにも，関連する分野での問題解決が必要です。一貫した政策と，それをうらづける強力な施策のためには，どうしても調整しておかねばならぬ問題があり，それらをいかなる形で行なうかが，今後の主要な問題となるべきでしょう。この15年の公共住宅の試みはそのひとつひとつをとってみれば，きわめて重大な命題でありましたが，綜合された結果は，戸数主義であり，大企業，ホワイトカラーへの偏重となったといえなくもないと思うのです。建設当局者の大きい努力と善意にもかかわらず，かかる結果をみたということは，大いに反省してみたいと思います。

今後の所得倍増計画にともなう，国民の住宅水準の向上政策に当って，このことはとくに留意したいと思うのです。階層間の格差の是正は，スローガンではうたわれても，それを実現するためにはよほどの強力な対策がとられなければむつかしいといわれているおとりです。住宅の面でもこれらの問題はとくに真剣に考えなければなりません。すべての国民が，健康でそして快適に住めるような具体的な目標が一日も早く，日の目をみることを祈ってやまない次第です。

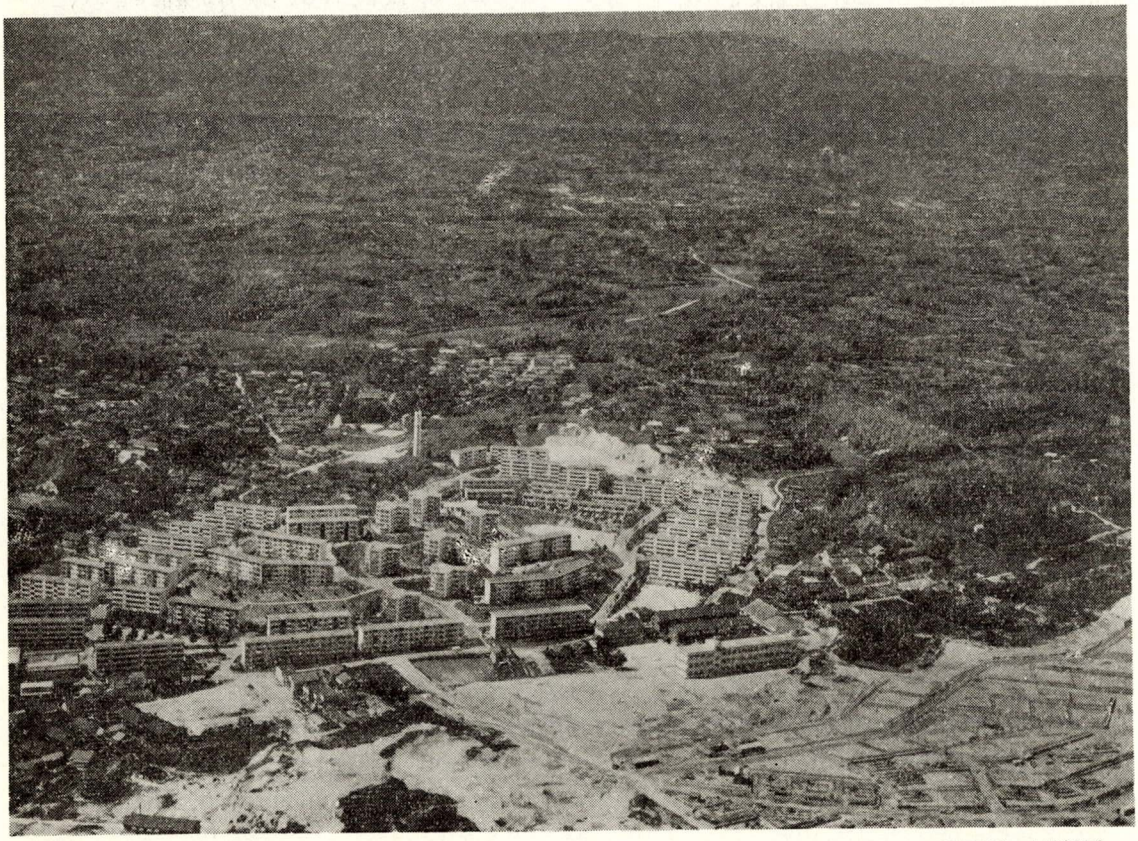


図34. これから「ニュータウン」に近い形で大規模に開発されてゆく千里山丘陵の展望（手前は公団千里山団地）—大阪府提供—

——座　談　会——

公共住宅の当面する諸問題

公共住宅の住水準は向上したか
規模と設備をどうあげるか
住宅需要をどう把握するか
住宅政策とは
公共住宅か民間住宅か
大量生産方式と公共住宅
持家か借家か
給与住宅をどうみるか
ニュータウンか市街地再開発か
不良住宅地区改良問題



座談会風景

泉　今日は公共住宅の当面する諸問題について，関西の住宅のベストメンバーのお集りを願い，自由にしゃべってもらおうというわけで，大いに放言してもらうことが，この座談会のネライです。活潑にしゃべっていただき，住宅問題の一歩の前進をはかりたいと思います。司会を住田さんにお願いします。

公共住宅の住水準は向上したか

司会　いいたいことをいうには，司会も若い者がよかろうという編集側の意図と思いまして，僭越ながら，お引受けしました。どうぞよろしく。戦後の住宅問題は，戦災の復興にはじまって公共住宅の建設とその発展という形で展開してきましたが，最近になって，住宅政策が曲り角にきたということが，やかましくいわれています。それは住宅難が，低収入層に移行してきたとか，住宅問題と都市計画との連ケイの必要性とかいった，いろいろの点で指摘されています。またその他問題となる点がひじょうに多いと思います。これらのうち，とくに当面問題になっている点について，新しい角度からの，皆さんの活潑なご討議をお願いします。最近の公営住宅の入居者層は，一般の都市居住者とくらべて，どういった特長があるでしょうか。

今西　意欲的に住宅をよくしていこうという人よりも，やはり住宅難のウエイトの高い人が入っています。補修などのクレームのでかたなども，何でもやってくれるのだという考え方です。収入は公団層にくらべたら低いが，近所つき合いを好む階層がわりに多いですね。

阿倍　入居階層が一定してきています。今までは収入の上限と下限が離れていたが，その差が縮まってきました。各種の住宅が建設され，選択の余地ができてきたのではないでしょうか。収入の点からみて，似通った生活程度を示してきています。

司会　公営住宅は家賃がやすいので，なかには公団などよりも消費面でかえってぜいたくな層もいるといわれたりしていますがどうですか。

阿倍　それは入居した人のレベルが段々上ってきたということでしょうね。長く住みついた人のレベルは上っています。

今西　公営と公団を年度を追って比較すると，やはり公団の方が生活程度は高いと思います。

絹谷　昔入っていた人で，公団のない時分に，公営住宅に入った人が，レベルが上ると公営住宅からでていくという例があるでしょうか。

阿倍　若干はあるようですね。目立って当面それがでているわけではないですね。

今西　明らかに公団に入るべきと思われる層が家賃が安いだけで入るというのがみられます。消費の面でプラスしていきたいという考え方ですね。大半は絶対的に，消費水準が低いから，家賃も安い住宅ということで，公営住宅を希望します。したがって住宅への投資ということよりも，電化器具でも買って生活を充実させていこうとする者が多いです。

藪内　公団には，小さいものから大きいものまであるが，収入が低いため小さい住宅に入るというように，家族構成と，住宅型がマッチしていません。ひじょうに家族数が少なくても，収入の多い人は，大きい住宅に入っています。公営住宅に入る人は，電器器具で，生活をエンジョイしょうという人が多いといわれましたが，ちょっとでも住宅はいいものが欲しいという人が，公団にきているのではないでしょうか。

今西　そうですね。公団に行きたいという人に聞いてみると良い学校がある，環境の良いということが，条件になっています。子供のない人は公団へは行かない。ポータブルの電器器具等をもって，便利な生活ができたらよいといっています。

藤田　私の住んでいる公団住宅のまわりでいうと，向いがバーの女給さん，下が自動車の運転手です。また大阪市のバスガールが2人います。上の階は学校の先生，これらは完全な庶民です。この人達は，公営住宅へいくかというと，けっして行かない。少々高いのもがまんしてがんばろうとしている。だから，そのへんの考え方はふたつに分れると思いますね。

金沢　消費水準から考えると，まづ「エンゲル係数」が戦前に近くまで回復してきたといわれています。そして，生活費のなかに占める「住居費」の割合が，33年の統計では8.5％とでています。換算すると2,200円位になるさうですが，戦前の住居費の割合が16.2％だった

出席者　（順不同・敬称略）

大阪府	前田　勇，今西　祥郎，尾崎　堯則
兵庫県	藤井　良平，阿部順一郎，上村　俊弘
京都府	吉田　延夫
京都市	卯田　隆一
公団	田村　敏夫，藪内　幸雄，藤田　邦昭
	金沢　弘真，寺内　信
公庫	森　清
市大	斎藤　和夫
京大	絹谷　祐規
（司会）	住田　昌二
編集側	泉　資一郎，松井　昭光

日時：1960年7月30日　2.30—6.30p.m

場所：大阪府職員組合　以和貴荘

というのですから，約2倍の比率で，5,000円位になるわけですね。消費支出の内容にある原則性があって戦前の割合が，一つの水準になるものであれば，公団住宅のいまの家賃だって，戦前なみで，別に変則でないわけなんだが，これはどうなんでしょうね。ここらが，もう少しはっきりしてこなければならんのではないでしょうか。

今西　欲望の上り方と，それとは違うのではないですか。欲望の上り方のほうが早く，消費水準の上り方のほうが遅いから，それが住宅に圧迫されているのですね。

金沢　入居者がそれぞれが，それぞれの形で入ることによって，解決しているということですね。

今西　公営，公団は階層的に，はっきり分離されていないところがあります。供給からみても，現在では住宅の差は，公団には風呂がある。環境が良いといったこと位です。その差だけで，それだけの感じ方の差があるという問題がありますね。

寺内　公団住宅には比較的入りやすい。公営にはきびしい抽選がある。公団の場合，空屋の場合は抽選がない。早く家に入れるというので，くる人が大部あるようです。そういうことが最近では大きな要素になってきているようです。

規模と設備をどうあげるか

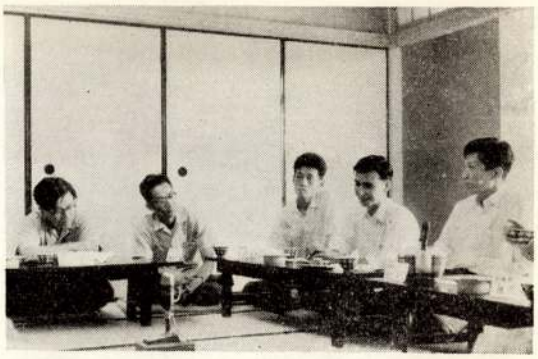
司会　規模の点からみて，公共住宅の居住水準は上ってきているのでしょうか。居住水準を単純に帖数で表わすと，公共住宅ではどうでしょうか。

金沢　帖数でくらべてみた場合，統計上は，指標が上っているわけだから，それだけ住宅事情も何らの意味で，改善されてきたといえるでしょう。公団だけの住宅をみても，大体家族構成が3.3人，2DKにして10.5帖～12帖，1人当り3.5～4.0帖ということになります。これは戦前の水準にまで近ずいています。そういう意味で住水準は，飛躍的とは，いえなくても，回復しているといえるのではないですか。しかし公団に入った人の水準が，前にいた住宅よりも，良くなっているのかというと，それは，疑問だと思います。例えば若い家庭で，自分の実家に住んでいたときの方が，1人当り帖数も，もっと大きなところにいた人なども多いでしょう。つまり家族分解して，公団住宅に入って，1人当り3.5帖になったケースも多いわけです。本来の住宅難の所産でできた家族であるのか，その他の因子がくわわって，公団住宅に入ってきたのかが，公団住宅では問題になります。

絹谷　帖数でみる場合に，気をつけなければならないことは，公団のタタミは小さいことですね。

金沢　東京は小さいが，大阪は大きいです。

司会　公共住宅の場合，とくに制限されたわくのなかで，規模を広げていくのはむずかしい現状ですが，そういったなかで居住水準を上げていくとすれば，どういう方向があるでしょうか。



絹谷祐規，　斎藤和夫，　尾崎堯則，　前田　勇，今西祥郎

今西　規模をあげるという点では，徐々に良くなってきている。例えば，集会室などをつけることも，できるようになってきました。

司会　公営住宅で，風呂をつけることなどどうですか。とりあげるべきか，まだそっとしておいてもよい問題ですか。

今西　規模が大きくなればとりあげてよいが，大阪の場合では，風呂屋営業が完全にペイしますし，公営の低収入層の場合，自分の家でたいた方が，得だという問題もあります。

司会　設備をよくしていくという点，これからの見通しは，どうでしょうか。例えば，大規模用地で集中暖房方式を，そろそろ，とりあげるといったこと等どうですか。

金沢　非常にむずかしい問題ですね。我々建築屋自身に，リアリティがない。技術的に可能であるということとは，別にですよ。外国の例でいうと，生活のなかでヒーティングをこなすということが，習慣になっています。それに要する生活手続きとか，費用など，それが生活費のなかで，どれ位を占めるかという実感が，はっきりあると思います。我々がそれをやる場合，まずデータが不足している。実証例がない。また生活のなかで，それを実感としても，うけとりにくいというようなことなど，ハンデイが多いようです。今の段階では，パーソナルヒーティングで，充分こなしているではないかということもあります。公団の浜甲子園団地では，そういうことも考えてはという意見もありましたが，やはり問題ですね。

前田　暖房より冷房でないですか。日本の場合，冷房だけを切離して，暖房だけが，住水準を上げるという錯角をおこしていないでしょうか。北欧の考え方でいけば，暖房がなければ住めないが，日本の場合は暖房と冷房とは同じ位重要性があります。そういう考え方をした

場合に，必ずしも，スチーム暖房だけが，住水準を向上する手段とは思わない。もう少し日本らしいリアリティにもとずいた，住水準の議論もあると思います。極端にいえば，ユニットヒーターが，クーラーに使われるというような，そういうものが，普及することが，住水準の向上になるのではないかと思います。

寺内　例えば公団の場合に，そういうものを設備するために部屋を改造したいという要求がでたりします。クーラーをつけたいというのが，去年のあたりからでてきています。

前田　それに関連して公団住宅に入って，特に感じたが，自分の努力で住水準を上げようとすると，公団が押えつけるという行き方があります。それは止めて欲しいです。そういう不満はよく聞くようにして欲しい。例えば，模様がえ等，迷惑のかからない程度のなら，どんどんやらせるべきでないでしょうか。フスマ紙をはりかえようとすると，公団指定のものでないと，いけないのですね。もう少しいいものを自分の費用で，やりたいと思っても，駄目なのですね。

絹谷　前田さんのいわれるように，公団住宅の画一性の居住者の住水準の向上を，おさえるということもあろうが，いろんなタイプの住宅を公団の方で供給して，個々の家庭の工夫で解決するというより家をかわるということで解決した方がよいと思えるのですが，このことはもっと，考えてしかるべきでないでしょうか。

前田　ただ，与えられた食器棚に買いかえるという素直な欲望は積極的にとり入れてよいのではないでしょうか。公団等の階層では家具等つくりつけなくてもよいのではないですか。A，B，Cといったユニット家具を公団で，貸してくれて，それを自分の好みに応じて，つくりつけていくといった方向に進んでいって欲しい。例えば，ぼくの家など食器棚のうしろが打放しになっている。ひじょうに感じがわるいです。そういう少しの住宅の改造という点で，それを押えると余計に，テレビ，電気洗濯器というものに生活改善が向っていきます。それが住宅の改善にまわっていく手だてを積極的に作って欲しい。それが公団の与えられたわくの中で，周囲に迷惑を与えず持家化するという限度を逸脱しないで，借家としての快適さはもっともっと，きわめられてよいのではないでしょうか。

金沢　前田さんいわれることはわかります。ただいまのような2DKの壁のなかで個々に，私的に色々なものを改善するということが，つまり住水準改善になるのかということの方が基本的に問題だと思います。むしろ，もう少し大きな場では住居水準を向上することを考えた方がよいのではないでしょうか。またそうした客観情勢になってきていると思いますが，どうでしょうか。

前田　そうですね。それは確かに大きな問題として残るが，身近にある住水準を上げる強い要求は無視できないです。

金沢　こういう例があります。ダンチに，こんな立派なPR雑誌が5種類位（たとえば〝くらしの工夫〟〝秋のくらし〟〝だんらん〟〝くらしのABC〟〝ホームダイジェスト〟）各戸にもれなく配られています。これは大きなスポンサーが何社もついてやっています。「やわらかいフトンに寝ましょう。」「洋酒をのみましょう。」「生活を電化しましょう。」……というようなことが書いてあります。そういう風に，入居者の中間層としての生活を外見上ぐんぐんひきあげようとする大きな力として働いています。われわれはそれに引きずられてついていっているのが現状だと思います。ところが，そのことが果して住居水準の向上かどうかが大きな問題です。それは住居水準というものではなく，他の領域での向上とみるべきなのでしょう。今の公営公団でつくっている程度の2DKの住戸を与えてそれで何戸増えたからというようなことで水準が向上しているというようなことは本当にいい切れる段階でないように思えます。外部のPR力が基本的な力になっているのであってこれをとりのぞいてみたら果してあとに何が残るだろうか，ということですね。建築屋がプラン構造を与えていくことは，殆んど水準向上には無力だとも考えられます。だから，私のいいたいことは，もっと気宇を大きくもって，「進んだ住居型式」とか「新しいコミュニティ生活」とかという，いわゆる「いい生活」の像をしっかりつかんで，それを政治と技術の面で実現させることにまづ力を入れるべきだというわけです。でないと，われわれのせっかくの努力も，マスコミにくわれてしまう。

前田　住居水準でなく，生活水準ではないですか。建物の水準がそう違わないのに，なかの水準が違うから，いかにも住水準が上ったように錯覚します。そういうものに対して住宅屋は反省しなければならないという意味だと思うが，それは別の問題ではないですか，生活水準が上らなければ住居水準は上らない。生活水準が住居水準から，きり離して上っていると思えないです。やはり公団住宅は他の住宅に比べて水準が高いから，そういう人が入っているのでしょう。生活水準を向上させようとする希望や力のある人に対しては住宅の側でも住水準をあげるのにかれら自身の力を買うということも考えてよいのではないでしょうか。ファン，暖房の問題などもむしろ，各自の力でつけるように配慮だけしてあげればよいのではないでしょうか，全体だけで水準を上げようとするのではなくて，各自の好ましい力を利用いてもよいのではないでしょうか。

吉田　公団住宅の住居水準という話がでているが，公営公団にかかわらず，持家，借家ということでいろいろな統計が出ていますが，京都の場合，一般の借家に入っ

ている人の住居水準の目安として，タタミ数でみると，年々減っています。そして23年の方が一人当り帖数はいい。だんだん，世の中がよくなってきているにかかわらず，入っている人のタタミ数は減っている。これはアパートの激増から当然でしょうが，こういうものの居住者は公団の設備化といったことから，縁遠いです。こういう点からはタタミ数の住水準は，やはり考慮されるべきではないですか。

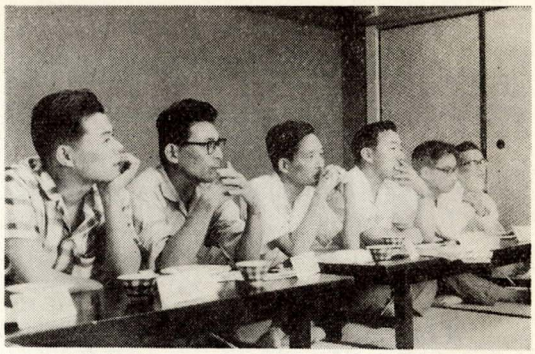
前田　しかし少くとも，公共住宅については1人当りタタミ数は下っているとはいえません。下っているのは，民間の大量の貸家供給の影響によるものです。

絹谷　公営住宅でも入ったときは2人だが，子供がふえても，仲々動けない。公営住宅の統計をとっても建設の時期では高いだろうが，年次別の変化をとると変らないだろうし，少くとも下っているという傾向すらあるのではないですか。しかし公共住宅の居住者の住水準はというと，むしろあがっている。充実してきているといえます。そういう所に問題があると思います。クーラーを備えるといったたくましいエネルギーはもっととらえる必要がありましょう。しかし，それは今のところ，住居の内部の器具にだけ向けられているのが問題です。昔は空屋が沢山あって，家を探そうと思えば，いつでもできた。最近はそれができない。だから百貨店へ行ってクーラーでも買おうというようになる。そういうところに住生活のひずみがあります。借家の選択が自由になったとき，それがバランスのとれた状態となるのであって，バランスのとれた状態に達する供給が行われていないというところに現在の矛盾点があります。公団住宅でも需要があるかないかをみる以前に，思いきってもっと大きい型の住宅とか，いろんな住い方を考えた上で需要を創造するような供給をやることによって，はじめて百貨店あたりのPRと対抗できるような，新しい住宅の供給ができるのではないでしょうか。

吉田　公団ならそれも可能だろうが，現在の公営住宅法の枠の中で規模の大きいものをつくっていくことが，可能かどうか問題があると思います。

住宅需要をどう把握するか

金沢　いま需要の話がでましたが，「国民の住生活が跛行している……，消費支出のなかで住居費のバランスが狂ってきた……どうも家よりは，自動車やクーラーを持とうとする時代になったようだ……これは，望まれる型の住宅がないからだ。数も少いからだ。家賃が馬鹿に高いからだ……」ということになって，ここらでいつも理論の一貫性をくずさなければならなくってくるわけです。私はこれは住宅政策の基本的な理念と供給対象の設定との空転に基本的な問題がありそうに思います。今曲り角にあるというのも，これが一番問題だからです。たとえば，公営住宅が低所得層を対象としてたてられているわけだが，住宅政策を立案した人が予想した形で，それが進んでいるかどうか，まづ問題です。もちろん数が少いのが，基本的欠陥でしょう。だが，その想定した「住宅難世帯」を着実に，果して救っているでしょうか。「住宅難世帯」を想定して，それを「住宅不足数」だとして政策を立てても，「住宅需要は，住宅が，そう悪くない層に多い」といわれる実情になってきているのですから，私はここらで需要の測定法に焦点をあて，問題を基本的に考え直すことが必要と思います。アメリカでは，住宅不足は〝hausing shortage〟だ，それは不動産流通機構の中でコマーシャルに解決されるべき問題とみています。公団住宅の需要層のつかみ方もそういう「マーケッティング・リサーチ」をやって，その結果を公団の方式のもとにしたらよいと思います。



左より寺内　信，藪内幸雄，金沢弘真，田村敏夫，藤田邦昭，森　清

絹谷　公営もそれにふみきったのではないか。

金沢　そうでしょうか。例の「狭過小密」「同居」「老朽住宅」などを「難世帯」だとして「不足数」をだしても，これは需要にはならんということは，もうはっきりしていると思いますが，また「標準的比較法」とか「階層論」でも，なかなか需要測定法として充分でないようにいわれておるようです。私はどの方法がいい悪いなどということは別にしまして，とにかくこういうものに〝住宅は上から与える〟という官僚的発想法が根強くわざわいしているように思えてならないわけです。

絹谷　住宅もその供給の根本理念を，住宅不足数から住宅需要にかえましたね。しかし需要の型を考えるに当っては，今の日本の住宅供給の型は，変革期にあるということ，そしてそれと対応して考えねばならぬということを，注意をする必要がありましょうね。私達の研究室で，最近調査した例ですが，家は持家でないといけないというのが，どんな住宅に住んでいる人にも圧倒的です。しかし，現在の住宅の種類別にみると，公営住宅に入っているものは三分の一ぐらいが公営住宅がよいとい

う。また公団住宅でも三分の一ぐらいは公団がよいといいます。公団にいて公営を，公営にいて公団が良いというのはほとんどない。つまり入ってみた経験で考えを変えるというケースも多いです。今マーケッティングリサーチをすると，とりあえず当座の家として公営に入るという人が多いという結果がでるが，将来公営住宅に住みつづけたいというのは，あまりで出てこないと思うのです。私どもの調査によると「家は自分の持物とすべき」という漠然とした考えで持家に入っているのは案外少なく，持家であれば安心である，経済的であるなどの理由をつけています。借家では，規模が限られている。公営住宅でも家具が安くてよいが，2～3室位です。それからはみそうと思うと自分で家を建てるしか方法がない。現在では家族の成長を考えた家が借家ではなかなかみつからない。今の段階では公団住宅がよいが，子供が成長すると駄目だという。だから何とか自分の家を建てようと考えて，貯金をするという生活態度がだされてきます。ところが公団住宅で子供が3人あって上の子供が大学に行っているという成長段階でも住めるというタイプが供給され，しかもそれが思う時期に選択できると，家は自分で建てなくてもよいという生活態度がでてくるのではないでしょうか。そういう面から供給が進められなくてはならない。住生活の水準もそういう面から考える必要があります。

前田　住宅需要の調査でできている需要が本当の需要かという所から考えなくてはならない。住宅需要は，日本人の特長と思うが，ななかかそれが素直な形でででてこないです。一般の人の住宅難もひずめられた形でしか出てこない。我々自身のPRの不足にも問題があります。政府，公団等が充分のPRの努力をしている上ででてきた需要は政治に反映できましょう。我々の場合はまず住宅に対する考え方を是正して，PRを充分にし，啓蒙を積極にして，そこででてきた需要をもとにしていくべきです。需要をはっきりしたものにもち上げるのが政策です。その上に立って科学的なマーケット・リサーチを行ない，合理的な住宅供給をすればよい，むしろそれ以前の段階で問題があるようです。そのためにはモデル住宅を建て，ニュータウンをつくって，それに対する需要がなくても，こういういい住いがあるということを示して需要を顕在化させることが大切だと思います。

金沢　もう少し私の考えを分りやすくいいますと，経済事情が急激にのびてきて国民の所得，消費の水準が上ってきたということで，国民の住宅問題のもっているバランスが大巾に変ってきているのではないですか，従来のような，公共住宅をそのまま続けていれば，住生活の向上に対して力がうすくなってくるという風に感じます。実は，最近アメリカの不動産協会の会長ネルソンという人から公団総裁にあてた手紙をみせてもらいましたが，そのなかで彼は「日本に行って公団のやっていることをみた。自分にも興味があった。アメリカでは，2，3年前に起ったことが公団でもこれから起ろうとしている。自分の経験からいうと，アメリカでは住宅建設の科学的なアナリシスを1930年にはじめたが好評を得ている。戦後の住宅は，どこにどういうものを建ってもよく買われ，借り手もついたが，今では売れ残るところも空屋もある。日本でもこうなってくるのでないか。だから慎重に将来のマーケットリサーチをして，建設計画を建てるべきだ，幸い，わが社に専門家がいるので，その人達を送るから，公団のなかに共同で，マーケッティングのチームをつくって，『パイロット・プロジエクト』を起してみようではないか……」といっています。もちろん，むこうのアナリシスの方法が，どういうもので，日本の実情にそのままあてはまるかどうか？また，こちらの不足数算定法をむこうはよく知った上でいってきているのか？いろいろ疑問はありますが，とにかく，そうした形で需要をとらえて，はっきりした政策を打出すべきだと思います。

というのは，「滅失，損耗とか，人口増と，移動，あるいは生活分化」などというような基本的な原因から，今では需要がでてくるのではなくて，もっと動機的な浮動的な「六甲に住んでみたい……」「アパートで新婚生活がしてみたい」「ダンチ族の仲間入りがしたい」「ステンレスの流しが魅力だ……」とかいった，統計としてつかみにくいところから需要が，生れてきているとみてよいと思います。

だから，この「基本的原因」にばかり注目して，それを計数的にとらえ，政策を立てても，さっきいいましたように，その結果がチグハグなのは当然で，いわば時代おくれ的だといえましょう。それよりも動機的なものに注目して，むしろ〝モチベーション〟を今こそ行なうべき時勢になったんだと思っております。住宅供給を，公共政策の実施としてでなく「企業活動」としてとらえることを許さないと，いつまでも建設省的住宅政策がオールマイテイだという錯覚にひかれて，きゅうくつになるんではないかということです。

政策の実施とその効果を直接信じたいならば，極端にいって公営住宅はすべて厚生行政にうつし，給与住宅は経済企画庁にうつす。公団の貸借を全部やめて，特定目的にしてしまうとか，市街地オンリーにしてしまうというやり方が，理念としては，正しいではないか，というのが，私の考えです。

住　宅　政　策　と　は

絹谷　そういうやり方をした場合，日本のように，都

市計画が完成していない所にいろいろな住宅企業が先行して弊害を起すという問題が解決されませんね。また公共住宅を特定目的の住宅と厚生省所管の住宅にするというのはやはり問題があるようですね。

前田　金沢さんのいわれた住宅政策とその所轄の問題は大変疑問ですね。

金沢　今の住宅政策が市場の事情と違うというのは，日本の役人さんのやられることは頭がよすぎて観念の空転をしている。さもなければ，建築的縄張りではないかと思います。市場の事情をコマーシャルにとらえていくという方法と別の行き方をしているのです。綜合的住宅政策を建てても，最後には飛躍して，低所得層の住宅をどんどん建てることが何より大切だなどといいます。ヒューマンな，いいかえればセンチメンタルなところに逃げこんでしまうわけです。論理に一貫性はないので飛ばざるを得ない。そういうロジックなら，それを基礎にしないで，コマーシャルにちゃんとつながった方がうまくゆくのでないかという考え方です。

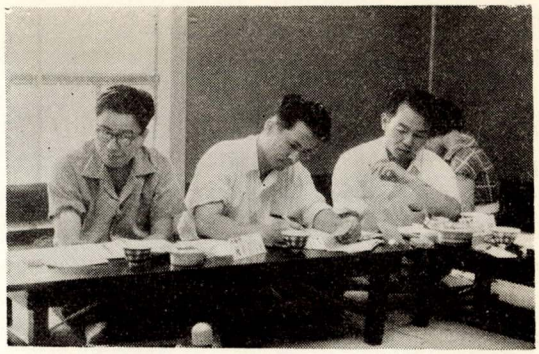
前田　公営住宅，公団住宅のなかでの進め方，住宅の規模，設備の扱い方というディテールでは，金沢さんのいわれることは大賛成です。しかしそういう考え方で住宅政策の基本や住宅政策のあり方等，経済政策の一環としてしか考えられないというのは飛躍です。マーケットリサーチと住宅政策の本質は違うのではないかと思えます。

金沢　違うなら，理念でも実施の面でも，はっきり分けて把えるようにしなければならんのではないでしょうか。

前田　皆がいい住宅，いい環境の都市に住むという意欲を，積極的にもち上げることです。誰もがいい住宅，いい都市に住みたいという要望をこれからの社会のあり方，都市のあり方を考えて，それに筋道をつけることが政策でしょう。ただ単に零細な人の住宅をよくするといったセンチメンタルなことでなしにもっと巾の広い，また住宅だけの問題でなく，生活水準そのものを引きあげる有力な手段として住宅，都市計画を考えるべきです。

田村　公団は2年ほど前から3寝室をやりました。それも需要がでて来ました。それを広げて4寝室もやろうとしています。来年位はそれが本格的にとりあげられると思う。そういう意味で金沢さんのいわれたマーケットリサーチはあり得ると思います。特に住宅政策とかけはなれていると考えなくても良いでしょう。

前田　もっとマーケットリサーチ的なことを入れろということは賛成です。その結果住宅行政が厚生省と経済企画庁にばらばらにされるなら困る。いろいろの政策の小さなブランチとして住宅行政をバラバラに考えることは反対です。いろいろの行政のなかで，政策という言葉



藤井良平，　上村俊弘　阿倍順一郎

のつくのは住宅政策ぐらいしかないと思う。道路でも道路政策ではない，治山治水も単に対策でしょう。住宅政策は政治の中でひじょうに大きなウエイトを占めて良いと思います。それをもっと強く政治に結びつけるべきです。

金沢　機構の上でうまくまとまれば，たとえば住宅省というものができて，一本化することもいいかも知れませんよ。しかし住宅政策の理念からいえば，低所得住宅は社会福祉対策でしよう，一方給与住宅は，産業資本と結びついて，日本の経済の発達のうらづけになるような住宅供給だという大義名分にしぼられてくるでしょう。われわれがイデアの上で，住宅政策が一体としてあると思っていても，それはわけて考えると，しょせんそういう作用になるのではないですか。

前田　社会福祉，産業基盤の育成，そのものがさらにみんなの生活を良くするいうことに統一されるべきでないでしょうか。

金沢　単一政策のなかでも，それぞれ「みんなの生活を良くする」という理念はつらぬきうるでしょう。かえって，それが，より具体的に進められるわけです。

前田　それは現在の中央官庁の欠陥でしょう。私は必ずしも住宅省というイメージは考えていません。各自治体が住民の生活を向上させる大きな責任をもっている。地方自治体が住宅都市計画を大きな軸としてすべての行政をそこに集中してよいぐらいです。現に産業基盤を育成し，大企業を育成し，経済がのびているのに皆の生活は良くなっていません。

金沢　それは国の政策がよくないからでもあります。行政官が人道主義にみちていることは，たいへんありががいことではありますが，建築屋がそう考えていても，低所得層の住宅ひとつ実を結びません。イギリスのニュータウンだって，単なるユートピアンの所産でなくて，内在する要因が，あって生れたものでしょう。問題は政策を直截に理念に結びつけることです。それをやらぬものだから何かばくぜんとした住宅政策論があるように思い，それにこだわってしまいます。あっさり考え方の上

でですよ。バラバラにして，それを理念にあうように遂行するということにふみ切ってはどうでしょうか。

司会　綜合的な施策がいるというのであれば，そうした目的をもったものをつくればいいわけで，政策は政策としてわりきるべきだ，いや政策は国民の生活向上という方向にアウフヘーベンしなければならないと意見が全くわかれましたが，これについて他の方はどうお考えですか。

尾崎　金沢さんのいわれることには同感を覚えます，われわれは問題を考える上で，すでにある組織や制度にこだわっているのではないでしょうか。組織や制度が形づくっている考え方にひきずられて，住宅建設自体が当面している建設のあり方を考えるということがうすれているのではないでしょうか。

吉田　私は前田さんに賛成です。資本主義の経済機構の中で住宅対策を考えるというと，いかにもぴたりと明日から何をするかでできそうに思いますが，一方賃金などもそういう所産として，おさえられています。住宅政策が国民の幸福に結びつくべきということから，抜けでてしまうと，石炭を安く堀るためにハモニカ住宅を建てるという風に割り切られる。住宅水準をおとして資本の蓄積をはかるというかっこうにでてくるのではないでしょうか。もっとピュアーな住宅供給を考えるべきだと思いますね。

今西　結局問題は同じことになるのではないでしょうか。

金沢　単一な政策のなかでは，もちろん住水準をあげるということは，つらぬきうる。手段として分れるということなら同じですがね。

前田　金沢さんはひじょうにけんそんされて逆に建築的でない考え方をされるが，正直われわれの手からはなれて住宅政策がたてられたとしたら住水準も下りやすいです。われわれが，発言権が強いだけ，できあがるものはいいものができる。厚生省の社会福祉で補助金を個人に払うとなったとき，生活は多少上るかも知れないが，住水準の向上にはならないでしょう。

金沢　それは現在のわれわれの自信でしょうが，たとえば厚生省でも何年かやれば，立派になるでしょう。それは人材，タレントの注入でかたのつく問題です。実際，この問題をはっきり認識しないといつも，住宅政策のチグハグについて，私達は弁解を用意せねばなりません。その弁解はいささかギマンにみちてもおります。だから逆説的だが，それを少し考えたらどうかというわけです。

絹谷　金沢さんの政策をもう少し具体的にいってもらえますか。

金沢　公団についていいますと，資金の構成，予算の執行について大はばに自主性をもたせてみる，需要の測定と設定は公団に主体性を持たせることです。今では日本の住宅政策のなかで公団はこうやりなさいというお墨付きでやっています。そうでなくてもっと自主性を持たせて，どんどん進ませてみることです。これが日本の都市像，住宅像を主として築き上げます。一方，公営住宅については，救貧政策であることをはっきり前にですことです。それにふさわしいプランニングや構造であり，家賃政策であるべきです。そして，別に，不動産会社の活動を保護し，助成するような強力な金融環境をつくることです。これはさしあたり「住宅金融公庫」をのばせばやれます。

吉田　そうすると公団は大きな不動産会社をつくれということですか。

金沢　私のいいたいのは，政策でねらっていることと建設効果とをリニアに結びつけることがもっと必要でないかということです。

泉　公営住宅が救貧対策のみにとどまることは反対です。根本的に国民の住宅は公共住宅であるという原則から進めていきたいと思います。

公共住宅か民間住宅か

司会　総公共住宅論がでましたので，住宅政策の本質論を一歩進めて，住宅建設は公営か民間かということに移ります。

前田　戦前の住宅難には公共の資金は入らなかった。将来20年で西欧並になるためには公共投資を徹底的に高めなくてはなりません。これははっきりいえます。安い住宅を供給するだけでなく，地方計画，国土計画と結びついた，プランニングをするには民間より，公共の方がよいです。これは住宅に限りません。交通等もそうです。それをどういう方法で，どういう時期にやるかは，イデオロギーの問題と関連してむずかしいですが。少なくとも住宅に関しては，そういう方向にもっていって良いのではないですか。これは単に，住宅政策でなく都市計画を入れないと，迫力が弱いです。都市を効率よくコンパクトするためには民間にまかせてはいけないということはいえそうです。極論かもしれませんが。

田村　極論ではないでしょう。公共団体は宅地の造成だけでももっと力を入るべきでしょう。民間にまかせると粗悪建売が並んで都市はいたずらに混乱し，都市施設も完備しません。

藪内　現在の公共団体では地方自治体の区域に大いに問題があります。阪神都市圏を考えてみた場合，それぞれの地方公共団体で考えていたのではもう駄目です。もっと大きな立場から考える必要があるのではないでしょうか。

金沢　大きい立場には，色々ありますが，みな，主体的，巨視的であることによって大きい立場に立ちえます。計画の協力のもんだいであり，協力の方法論，手続論のもんだいが残るだけであって，それは国がやるか，地方公共団体がやるか，電鉄がやるかということでもそこにタレントさえあって立派な計画ができれば，いいのではないですか。

前田　公団がやるか，地方公共団体がやるか，日本の自治体はそういう民主的な組織として，まだ充分育っていませんが，ずいぶん違うと思います。行政区域は方法論の問題です。その辺に本質論があると思います。近畿がひとつにならずとも，自治体同志がうまく話合えばよいと思います。みな協議して進む方向があればよいでしょう。

藪内　問題はマスタープランが欠けていることですね。それが完成していれば公団あるいは民間組織でマスタープランに合うようにすればよいのです。

司会　前田さんは行政区画は方法論とかたずけられましたが，これは少々問題があるのではないですか。もう少しクローズ・アップされる必要があるように思いますが，斎藤さん，いかがですか。

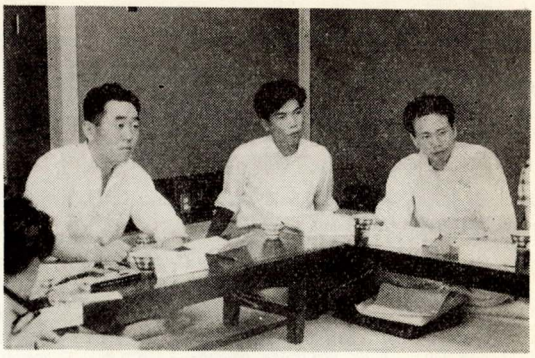
斎藤　今の市街地の発展を地図に書き15年前の模様を地図に書くと，おどろくほど最近の15年に住宅を主体にその殆んどが民間で面白くない伸び方をしている。空地については地権を制限し，ある意味では公有化も考えねばならない。それにふみきれないのは，プロセス，組織の上で問題があるからでもあります。「マスタープランがない，どうしている」といっても，そのマスタープランを誰がつくるかということで，なかなか簡単にでてこないし，その辺に問題があるようです。

大量生産方式と公共住宅

司会　最近民間企業では，大資本等が進出し，組立住宅が大量にでまわる気配がでてきましたが，われわれはこれをどう評価していけばよいでしょうか。

今西　組立ハウスは建築の近代化に貢献するでしょう。しかし土地の高度利用という点で行詰りはみえているようです。あれを立体化，高層化に結びつける方法ができると，飛躍的に伸びる可能性はあります。公共団体の立場から，それをうまく伸ばす方法を考えなくてはならぬと思います。

藤田　僕はものすごく伸びると思います。建築屋に関係なく建築生産機構において建築屋職人が少なくなっているのも一因です。こういう点について事務系の人も生産方式についてもっと考えて欲しいものです。建築屋は組立住宅類を馬鹿にしていますが，全然別の所から盲点



泉資一郎，　　卯田隆一，　　吉田延夫

をついて伸びるようです。

金沢　建築屋も実はあれをマークしていると思います。テイルトアップ，プレフアブにより，私は鉄が伸びる可能性が多いように思います。鉄鋼産業のもっているエネルギーがそういう方向にでてくるに違いありません住宅としてみると専問的欠点は多いそうですが，しかし，私はこういうものを伸ばしていった方がいいと思います。

今西　しかし平面的に土地がいるような使い方では，ピークがきますね。

司会　土地の面で行きづまるとしても，その前に完全に耐久消費財化して，何年型の住宅とかいうように，どんどん買いかえさせる方向にでてくるのではないでしょうか。

今西　へんなものにならぬよう，うまく育てていくことは大切です。あれを押える形でやっては駄目だと思いますね。

司会　公共住宅に組立住宅をとり入れるといったことはどうですか。

上村　現在の組立ハウスは増築程度のもので，まあ物置の延長のようなものです。これを一歩進めて公共的な住宅の一部にするというところまではいきませんね。公共住宅であれを増築されると，管理に困るし，また景観をこわしますので，敬遠しています。

絹谷　八幡や富士でもものすごく力を入れているようです。平和産業へのきりかえをせねばならぬとなると，鉄鋼資本は自動車の薄板生産とか建設等に眼を向けざるをえないでしょう。今のところ建設業は統制がとれた需給が行われていないので，資本の方で独自に市場を開拓するでしょう。今はその前哨戦だといえるのではないか。ここで一番問題となるのはやはり土地問題でしょう。これさえ解決できればいくらでも建つでしょう。建築屋はああいうものが都市の上に建つことについて，もう少し前の次元でどういう住宅で大量生産すきべきか考えねばならないでしょう。今の形式では一戸建です。そうすると郊外地開発はもっと進めなくてはなりません。

それが好ましくないとすると，大量建設方式を別の面で考えるべきで，PSの高層建築とか，鉄鋼建築だとか，組立高層などのもう少し大きな規模での大量建設方式を考えるべきではないでしょうか。

金沢　極端にいうと，八幡のような資本が別の不動産会社をつくって，組立ハウスが建てられるような，宅地開発を大規模にやらせることも考えられます。現在「阪急不動産KK」とか「松下電工」などという大企業の系列会社も生れている位ですね。1戸建が，平面的でどうかといわれますが，都市郊外で，密度計画上ふさわしいようなところに，広大な宅地割をして，1戸建のコミュニティが，ずらりと生れ，しかもそれが，都市のランドスケープを立派に形づくるとすれば，これはすばらしいイメージだと思います。私は，大量生産ということが，建築のなかだけでは解決されないで，産業の系列化の過程のなかでこそ生れうるものだと思いますので，道路さえ早くよくなれば，この組立住宅はひじょうに期待したいと思います。住宅政策がもっとフレキシビリティを持たねばならないと思います。

前田　組立ハウスが都市全体に拡がったり都市像を考えて，あれが果してよいかを考えると，ずいぶんマイナスの面が多いように思います。大きな都市像を描いて，それに合うようにすべきです。コミュニティ全体，都市全体という立場から考えれば組立ハウスには限界があるし，それに対処すべき方針もはっきりするのではないでしょうか。住宅が3種の神器のひとつとしてああいう形でてきた所をわれわれは反省すべきでしょう。現在の組立ハウスにあらわれた現象をもっと積極的に転換させることがわれわれの仕事と思います。公庫ではどう見ておられるのですか。

森　金融公庫は木造18年，簡耐25年，耐火35年というように融資金が違います。組立ハウスをどの種別にもって行くか問題です。希望は耐火なみというのが多いですが，耐用年数からいって，木造並み以下です。特に積極的に考えていません。

金沢　私は決して否定的なみかたをする必要にないと思います。

尾崎　今迄の話を聞くと，何も組立ハウスだけの問題ではなさうに思えます。大阪周辺でバタバタ粗悪建売が建っているのと何処が違うか，組立ハウス特有の問題ではないように思えますね。

絹谷　僕が心配するのは八幡とか富士の考えてるのは今でまわっているのと質が違うということです。これがぐんぐん伸びていってあれしか住宅がないとなると，皆あれを買うと思います。あれしか住宅がないと思わすところは建築家の責任です。かって日本では，木造住宅しか住宅でないと思われていましたが，今日新しい住宅が形造られつつあるときです。あれに対抗する何かが造られて，それを取捨選択するというならいいが，あれしかなく，あれを改良するという方法で住宅が変えられていくなら問題は大きい。今のような状態でほっておくとアパートが大量生産方式でやられるというのは忘れられると思う。あれに対するアンチテーゼはどうしても考える必要があると思います。

持　家　か　借　家　か

司会　それでは建設方式の問題はこれぐらいにしまして，先ほどの住宅は公営か民間かということを，別の居住者対策の面から，持家か借家かという点で話を進めたいと思います。

絹谷　大都市では借家の良さを生かさなければならぬといわれています。戦後借家の供給がおくれていました。ところが，統計をみると最近は借家建設が急速にのびています。持家が多いとはいえません。ところが調査をしてみると依然として持家を望む声が多いです。こういうところが第一の問題です。今の企業ベースでは借家は4,000円止りこれ以上になると特殊な住宅です。4,000円でペイさせようとすると粗悪な住宅しか建ちません。それより少くないものというと権利金で調整します。これが野放しになっていてひじょうに困った問題が続出します。現在のような状態では持家か借家かを比較すること自体間違いがあるように思います。これを突破しようとすると，公共的な建設以外手はないのではないですか。さきほどから問題になっている都市計画的に借家をふやすことを考えるときに公営公団の果す役割は大きいのです。借家に急に入りたいと思ったときに入れなくては借家の良さはありません。

森　階層の問題もありますね。一番下が公営，その上が公団住宅入居階層となり，その次が資金が貯ったので自分の家を持ちたい層ということになります，戦後生活水準も上ったので，自分の家を持ちたいものが多くなりました。政府の住宅政策として200万戸建てられ，その内三分の一に相当する70万戸が公庫融資であることをみると持家を希望するものが多いといえるのではないでしょうか。持家か借家かではやはり持家を強力に推進せねばならぬと思います。

藪内　持家か借家かというときに都市の居住者層を考えねばならぬと思います。というのは都市の居住者は勤労者層とサービスワークに従事する人に大別できますが，勤労者層の移動は特にはげしいです。公団の例をみても，年間17%位の移動率で，これは大きいです。都市のホワイトカラーはどんどん動くわけで，借家はもっと充実させるべきですね。家をもつとどうしもそれにしばられます。

絹谷　持家であれば転売がききます。その金で分譲住宅ぐらいかえるということがある。

森　兵庫県の住宅協会では併存住宅のアパート部分を長期分譲していますが，結構それでうまくいっているようです。何故かといえば，転勤，引越しで売ってでる場合には，結果的にいって入居している間は家賃が只で，なおかつもうけてでるようなこともあるようで，そのような理由からか都市の中心部に比較的多い長期分譲によるアパートの需要が多いと思います，交通至便な土地費の高い市街地においても持家が可能となるわけです。

泉　現在公庫で持家といえば主として木造ですね，都市計画的に考えたとき寡少宅地のスプロール助長になっています。公庫は単に金貸している観念から一歩進めて都市計画的にこの地域に建てないと融資しないという進め方もあるのではないですか。

森　そういった点は公庫法を充分活用し，地方公共団体で検討指導していただきたい問題と思います。

泉　しかし選択権は地方公共団体にありません。融資の決定は公庫にあります。

森　個人住宅などにおいても基準が設けられてありますが，プランニング等の問題も地方公共団体において委託業務とするなど，タイアップする方向に持っていけばよいと思います。

泉　個々の住宅の建築審査の指導は軌道に乗ってきましたが，どこに建てるかということについて，公庫はイージイではありませんか。どこそこに建てるのに限って融資するという行き方，計画からはずれるようなのは建てさせないという行き方を考えてほしいと思います。

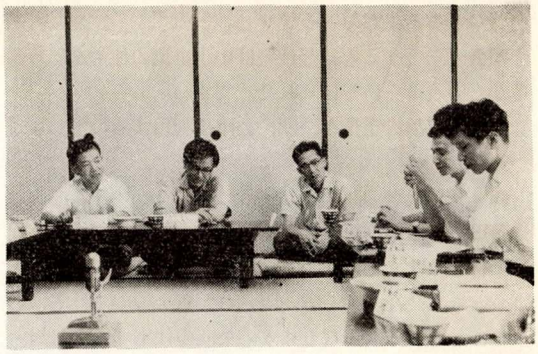
斎藤　都市計画の場がひじょうに低次であるともいえます。外国では one family の住居地域，two family のそれというように同じ住居地域の中でもさらに分けて細かく考えています。容積基準もやっています。日本にそういうものはありませんしね。

司会　先ほど，持家か借家かで，借家をもっと建てなければならないという意見が強くでましたが，もう一度それにもどります。

藤田　公団で 3DK あたりのよいのができてくると，公庫の頭金程度の貯えのある人以上なら，それを預金して公団に入る方が得です。自力建設層はよく考えて欲しいと思います。現実に自分の家を売って公団住宅に入っている人もかなりあります。ただ土地が所有地の場合は，その値上りがあるので，ちよっと複雑になります。

尾崎　借家の効用のひとつは気楽に移れることだが，現在ではその効用が失なわれており，それが持家を指向する力になっていると思います。

前田　財産として自分の家をもっていないとどうなるかわからないというのは政府に対する不信の念がやはりあるからではないでしょうか。特に中小企業の場合強いのではないですか。



住田昌二(司会)，　絹谷祐規，　斎藤和夫，　前田　勇，今西祥郎

絹谷　そうですね。金持だけでなく，貧乏人にもその意識は強いですね。公営公団なら条件はよいですが，それ以下のアパートだけで，6帖一間3000円なんてばかばかしい限りですからね。

前田　しかし極端に持家か借家かは決められないようです。それぞれに欠点はありますから，都市計画的にみて，持家は都市に混乱をおこしやすく，借家はコミュニティの安定性を欠きます。それらをうまく調整しながら，両方のばさなければならないんじゃないでしょうか。絹谷さんはわりきっておられるようですが…。

絹谷　わりきっていうならば，借家の良さがわかるような借家がないから，借家のよさがわかる借家をもっとつくりだせというのです。

金沢　公団住宅はいい借家ですがね（笑）

絹谷　しかしほとんどホワイトカラーだけですね。収入条件もありますしね。

卯田　持家か借家かの議論は，現在の社会状勢では無理ではないでしょうか，

給与住宅をどうみるか

司会　ではそういう意見のでたところで，持家か借家かという議論からもれている給与住宅について，どう変えてゆけばよいかということに移っていきます。公庫の産労住宅の申込傾向はいかがですか。

森　融資住宅の目的からいって，中小企業の住宅を助成することが必要なのですが，現状では大企業の申込が多いし，どうしてもこちらに傾いているようです。

司会　公団の特定分譲はいかがですか。

藤田　公団の場合もやはり同じようなことです。1件あたりの戸数を減らしてなるべく行きわたるようにしていますが，どうしても大企業にかたまっていきます。今まで中小企業の対策を考えてきましたが，事故の率は現実に中小企業に多いです。審査するとなるとどうしても

無難なところになりそうですね。

司会　そうすると給与住宅は中小企業の住宅をどうするかということにしぼられそうですね。

前田　何故大企業が公団，公庫を利用するのでしょうか。

森　結局税金の問題でしょうね。

藤田　ある程度経費でおとせることは確かです。公団の場合をみますと，大企業で給与住宅をこしらえようというとき，会社の中では，限られた資金の中で社宅はどうしてもも二の次になります。公団の住宅で，さし当って金が少くてすむということだとすっと通ります。重役連も建てることは認めています。金さえ少くてすむならやろうということなるようです。

泉　社宅は最近持家化の傾向が強いのですが。その場合工場周辺にどんどん建てられると，都市構成上大変困乱がありますね。

前田　住宅政策，都市計画から考えると，社宅は止めた方がよいと思います。大資本がそれだけ住宅に金を出す余裕があるのなら，その金を吸収して公営公団として改めて供給した方がよいのではないでしょうか。その方が労使関係も近代化できるのではないでしょうか。
欧米各国はこの問題を，一世紀前に体験して，公団公社による供給にたよってきています。それを日本で再びくいかえしているわけです。これは公共住宅の量，質が整ったときそれに吸収されていくべきでしょうが，その契機として，土地を公共団体に世話してもらうことからもっていくべきです。組合あたりから持家にしろという意見も出ていますが，それらも問題を混乱させています。

今西　経営者の中には，民間の住宅供給が円滑になれば，給与住宅をやめた方がずっと得だという人もいまね。

前田　工場でもそうで，すきこのんで社宅に入っているわけではないでしょう。非常な僻地なら話は別ですが。

藤田　公団の特定分譲住宅の約4割は単身用宿舎です。これは筋が通っています。世帯向けの場合が問題ですね。工場のプラントを建てるときは，最近は一団地方式でこしらえるようになってきていますね。アパートなどを都市内の空地にぽつんと建てる場合などが問題になりますね。

前田　しかし，逆説的にはまとめて建てる方が危険ともいえます。一団地のコミュニティとしてはまとまっていても，一つの行政地域の中で水準の高いものが出来るほど都市のバランスの上で問題になるのではないですか。日本では衛星都市は特に弱体です。どうしても社会的ストレスを与えがちです。ライジカルな問題としても非常に能率の悪い都市計画になります。やはり大きなマスタープランの中で供給しなければならないということになるようです。

絹谷　前田さんのいわれることは，事業所の配置計画をまず考えなければならぬということにもなりますね。居住者の問題だけでストレスを解決しようとして，給与住宅をばらまくとしても，その事業所が，その地域で圧倒的に力をもっていると必然的に特権階級が生れると思います。それからこういう例もあるのです。千里山の公団団地の特定分譲では，小さな事業所が多いのです，一事業所3戸位のがありますが，聞いてみますと，かえって具合が悪いといっています。沢山入っているとどの人とつき合ってもかまないが，三軒しかないと一軒のみとつき合うて残りが排除されたという感じをもつという具合のわるさで，思い切ってまとめて欲しかったという意見もあります。この辺のことも考えてみる必要があります。また農村地域などでは，なまじ，農民層と新来の居住者層が小さな単位のコミュニティーで接触しない方がかえってうまく行くように思います。

ニュータウンか市街地再開発か

司会　コミュニティの構成の問題になってきましたので，それでは問題を次に発展させて，ニュータウンか市街地再開発かという問題に論点を移します。まず前田さん，千里山で大規模な郊外開発を計画されたわけですが，どういう考え方でお進めになったのでしょうか。

前田　千里山はニュータウンでなく，郊外の大規模開発ですが，ある程度計画的に郊外開発をやって行くべきか，もう外へは出ないで市街地に手をつけるべきかに焦点をしぼって話します。私は東京でだったらあのような提案はしませんでした。提案しても第一土地がありません。所が大阪にはあったし，まだ若干残っているようです。順序としては現在の市街地をどうすべきかをまず考えて，その中にはどうしてもおさまらないのだという形であの計画が出てくるべきでした。その点は反省しています。でも大阪に関する限り，新しい開発をまだまだやる段階であろうと思います。やるのなら小規模無計画なものでなしに，徹底的に計画のできる大きなものをやるべきで，ニュータウンか，ベッド・タウンかはケース・バイ・ケースになると思います。

絹谷　大阪は中小企業の占める割合が大きいですね。千里山は都心部には近接しているといっても周辺の工場事業所に対しては条件が悪い。千里山だけでなしに中小企業労働者に対するニュータウンを考えてみる必要があるのではないでしょうか。

前田　予約するようで恐縮ですが，大阪府の第二のニュータウンは少くともブルーカラーを中心に，第三ではじめてバランスのとれたコミュニティにしたいとおも

います。第二は堺ですが，ブルーカラーといつても大企業のブルーカラーが中心になるようです。第三のケースは具体的には枚方あたりですが，そういうところへ中小企業を誘致して，市内の階層とマッチさせて産業ぐるみの町を考えたいと思います。零細家内工業の近代化のなかでニュータウンを考える積りです。必ずしも千里山が一番良いとは思っていません。

泉　ニュータウンか市街地再開発かという点で，どちらか一方をとって，ニュータウンというのではなく，やはり，ニュータウンも市街地再開発も両方進めていくべきでしょう。

前田　僕の正直な気持はニュータウンだといいたいのです。再開発はもちろん必要ですが，住宅に関しては限界があります。再開発しても人口はそう入りません。入れると大阪市の機能がかえって低下します。将来的にやはり周辺を考えていくべきです。もちろん再開発そのもので建築容積をふやしていくことには賛成です。

斎藤　再開発はあまり期待されすぎているのではないでしょうか。東京とか大阪を建て直すといってもそれに投下する資本の効率から考えると悪循環するところが多いのではないでしょうか。例えば，高速度道路を入れても着々道路交通がはげしくなるということがおこります。今のままの大阪のイメージではとても話になりません。今の行き方ではいつまでたっても解決されません。

金沢　「市街地再開発」ということで，一ばん私の目につくのは，あの訓練された宣伝力です。本省宅地課から各地方に至るまで，大わらわの広報活動をしていますのは，ちょうど防火建築帯ができたときを思いださせますが，都市住宅としてのリアティも説得力も，まだまだ認められないのではないでしょうか。考え方によれば，都市はつねに再開発されてゆく運命にあるので，そのレパートリーは豊富であるはずなんです。たとえば劇場が建ち，ビルが建ち，百貨店が建ち…といった風にです…われわれのものは，どこでも「住宅」を背負っているということが宿命的だから，あれでは，幅の広い主体的な再開発はムリだろうと思います。まして，設計的に，都市住宅の像をどう描くかということが，むづかしいために死物化しているという印象を私はぬぐい切れない，現在では郊外団地の数も多く，リアリティが豊富で，郊外住宅の像が滲透してきました。そのリアリティに比べて都市住宅像は貧困です。「再開発」ということが，行政弘報から主体性をとりもどして，本当に〝都市を造る〟という背骨を入れ直すまでは，当分，郊外団地でゆくほかないだろうと思います。

司会　都市圏の膨脹ということにはどう対処すればよいですか。

金沢　郊外開発がマスタープランによらず無計画に伸びようとするのをチエックすればよいと思います。大阪



では周辺の土地はまだまだあいています。

前田　郊外開発は公共住宅の開発をチエックする意味ではさして問題ではありません。問題は民間住宅のスプロールです。しかしそれが恐しいからといって，せっかく育っているいい芽をそぐようになってはいけないです。

泉　都市再開発は，住宅対策のみならず，各種業務施設の問題，自動車交通対策，道路，公園問題など，きわめて，複雑多様な要素が入ってくるわけですが，現在，それらの諸要素を一元的に取扱い，解決しうる行政のルールが，確立してないということに，問題がありそうです。

絹谷　市街地再開発がペイするかということですが，居住者に対する補償をどう考えるか，ロスと考えるか，国民に対する環元と考えるかで，ちがった結果が出るのではないか。ニュータウンを建設する過程で再開発をどうして可能にするかという常識的なことが案外考えられていないようです。何時までも並列させているとケリのつかない問題です。

前田　並列させず，関連させることだというのがひとつの結論と思います。市街地再開発は消極的だけれど大きな使命がありますね。現在では無計画な市街地の開発を少しでも改善さればよいではないでしょうか。

藤田　現在はニュータウンでしょう。しかし将来は再開発だと思います。現在の街を見捨てることはできることではないですよ。現在でも大ブロック計画がありますが，それはむずかしいでしょうし，その時期でもありません。今必要なことは少しでも多く市内の土地を公共団体が取得することではないでしょうか。空地や，売りに出ている土地はどんどん買うべきでしょう。そして今公団公庫のなすべき仕事はちよっとテコ入れすればできるところを手がけることです。また今公共団体の市内の公有地を売りに出したりしていますが，考えるべきことだと思います。まずできるだけやりやすい形にもっていっておくべきでしょう。

吉田　私は大阪府や公団の方の話を聞くと大変うらや

ましく思います。京都の場合ですと，鉄筋の建物が建つと，文化人が多いのでいっぺんに投書がきて，景観がこわれるとか，東山が見えなくなるとか，やかましいです市街地再開発は市民感情の上から「さあ」ということになります。住民はだだっぴろい家より3階4階のアパートに入った方がよいという感覚はあります。郊外といっても適地はありません。今の話がうらやましいです。

卯田　今も話しにありましたように，ある地区を再開発しても，京都では5階以上はだめだとか，あるいはアパートに屋根をかけよとか，道路に面して物干場があってはいけないとか，観光都市として特殊な問題があります。しかし私の考えとしては，地域的には高層もよし，中層もよしというようにし，そのなかより京都のもつよさ，京都らしさをだした再開発であるべきと思います。

不良住宅地区改良問題

司会　卯田さん，市街地再開発に関連して，京都の三条で不良住宅地区改良を手がけられて，どんなことが問題でしたか。

卯田　三条地区の計画は三条ターミナルに近く，同和地区をなかにふくんだ，都心隣接地区の計画です。同和地区だけの計画に限定して，その周辺を無視することはできませんし，三条地区の計画は，大きくは京都のマスタープランに沿ったものでなければ，ならないと思います。ところが現実は同和のみ対策にしぼられがちなんです。京都市では不良住宅地区の65%位が同和地区で，不良住宅全体の85%が同和地区の住宅です。だから地区改良もいきおい同和地区の対策ということになってきます。

吉田　京都市では市街地再開発というと新聞に大きくでて，自民党さんも乗り気だといわれます。しかし京都市では再開発と不良住宅の問題はアベックになっています。逆に言えば助平ということになります。事業の面ではうまく合わしておられますが，大きくみると若干はぐれているような気がします。

絹谷　ただ単に再開発の対象をえらぶとすれば，もっと他に大切なところがありますからね。ただ不良住宅対策として地区をえらぶことが必要となったので，三条がえらばれたのです。ターミナルが近いということなどで再開発なんて名前がつけられましたがね。三条は再開発といっても非常に特殊なケースですよ。

卯田　住宅地区改良法で，1地区1街区をとりあげるのはおかしいのであり，どうしても，その周辺を考えた1住区の計画でなくてはならないと思います。この点に関して住宅地区改良法でなくして，もっと大きな観点より，市街地再開発的なる住宅地区改良をやるべきではないでしょうか。

前田　住宅地区改良と再開発はちよっとちがうのではないですか。不良住宅地区の現在の環境をよくしていくのが地区改良で，再開発はマスタープランの中で，都市改造をはかろうとするもので，方向は将来にある対策です。一方現在の対策が不良住宅地区改良です。不良住宅は公営，再開発は公団といっしょに割って考えることも必要ですね。このふたつを混ぜて考えると発展しないしわけて考えることが大切です。

吉田　一致させないと事業ができないという点もありますね。改良法は都市のなかで事業に合う所でないとやりにくいのではないですか。

前田　改良法があって再開発法がないので片手おちになっていますが，やがてるできでしょう。

司会　予定時間もだいぶこえましたので，この辺で終りにさせていただきます。重要な問題点ばかり沢山指摘され，住宅問題の認識をあらたにできたことをうれしく思います。では，どうもありがとうございました。

（写真の氏名：敬称略）

杭

株式会社　武智工務所

取締役社長　福留並喜

大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階

電話㉙3606・4089

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・

耐震・耐火・軽量・堅牢

防錆完全・中空防音

合理的工法・責任施工

株式会社　奥村重兵衛商店

大阪市北区木幡町五六番地

電話北㉞四一三一～四

＝特許＝

氣光式通風器　製造販売

南向式レヂスター

特許第一五一三六号

カタログ進呈

大阪市西区江戸堀下通2-17

田辺工業株式会社

電話土佐堀㊾7437—9

公共住宅アンケート

最近，公営住宅，公団住宅，公庫住宅などの政府施策住宅の促進が大きく叫ばれております。これらは戦後，今日までの住宅政策に大きな貢献をなしてきたことはもちろんであります。しかし，現在一方では公共住宅の曲り角にきたともいう意見もありますし，また今後の公共住宅のあり方についても，幾多の問題点があるように存じます。これらについて，貴方のご意見をお寄せ下されば幸いに存じます。ご参考までに，下記に駄文を記しましたが，各項目別にのべていただいても，一括して述べていただいても結構です。

A　公営，公団，公庫という三本立ての政府施策の公共住宅が行われていますが，

（1）その供給方式は今までどおりでよいでしょうか。

（2）その管理方式についてはどうでしょうか。

（3）構造・規模・型式などの面ではどうでしょうか。

B　技術革新が叫ばれている折柄，これからの住宅にも，それに応じて，住宅建設方式や住生活などが変っていくことと思われますが，これについて，どうお考えになられますか。

上記アンケートについて，経済界，言論界，学者，婦人，文化人，労組，公団・公営住宅入居者ら約50名の方々にご依頼したところ，下記の方から玉稿をいただきました。厚くお礼申しあげます。（順不同，敬称略）

工藤　友恵（関経連常任理事）
古谷　網武（社会評論家）
原口忠次郎（神戸市長）
吉富　重夫（大阪市大教授）
磯村　英一（東京都立大教授）
園部　貞義（産経新聞編集局）
妹尾　高行（朝日新聞社会部）
薄田　桂（毎日新聞学芸部）
永田　照海（産経新聞社会部長）
辻元　八重（大阪府婦人団体連絡協議会）
港野喜代子（日本現代詩人会）
鈴木　正明（名古屋土木建築労組）
菅野　勇利（大阪建設労組）
阿部　光次（大阪府職業安定課）
高橋　行夫（公営入居者）
岡本　英治（日本軽量鉄骨建築協会）
重田　晃一（公団入居者）
川淵　長治（公団入居者）

関西経済連合会常任理事　工藤友恵

1．今後の住宅は家族構成を考慮して，従来の公共住宅にみられるごとき部屋数の少ない小家族むき住宅は再検討を要する。子供に独立の部屋を与えうる程度の建坪をもった住宅の建築を考慮すべきである。

2．独立家屋の場合，木造平屋建の簡易小住宅を空地の余裕を残さずに櫛比させるような建て方は好ましくない。近郊では耐久性高層建築で空地面積を拡げ，緑と日光の豊かな，住宅環境を造らなくてはならない。

3．道路，乗用車の発達にともなって自家用車が普及すれば鉄道の駅から相当な距離に住居を構えることに苦痛を感じなくなると考えられる。かかるみ通しに立って住宅地の開発・造成を考える必要があろう。

4．高層アパートの窓々に洗濯物がはためいている光景はみぐるしい。外観を損ねないような設備を持った設計が必要である。また高層アパートにはエレベータを設けるなど，居住者の快適な生活を考えた設備の改善向上を図る必要がある。

5．住宅地の開発は郊外に注目するばかりでなく，都市の中心地帯にも，たとえば墓地の整理などをはかり，高層住宅の建設を考えるべきである。この場合も空地を広くとり，緑と日光の豊かな環境を整備することを忘れてはならない。

社会評論家　古谷綱武

（A）

1．それぞれ成立の理由があって，こういう形になってしまったのですから，今しばらくは，このままの形のつづくこともしかたがないでしょう。しかしなるべく早い機会に，1本にまとまるべきであることは当然だと，ぼくは思います。

2．十分な知識がないので答えられない。

3．いまはむしろ新婚や共かせぎ向きにできているようだが，それにしては家賃の負担が重すぎる場合の人がある。そうかといって親子5人家族のような場合には，くらしにくくできているところが多い。夫婦の場所をしっかりと独立させた形を生みだしてほしい。

（B）

ただ寝おきできる場所をあたえるというだけではなしに，「生活」というものの器としての住居という方向を，さらにいっそう，つよめていってほしい。いまの生活水準と個室への要求の今後の高まりを思うと，リビングキッチン・スタイルをつづけていくことには，ぼくは疑問をもっている。

神戸市長　原口忠次郎

国民生活の基本的要素である衣・食・住のうちで，住のみがはるかに立ちおくれ，今なお住宅不足が200万戸に近いのであるから，公営，公団，公庫の三本立の政府施策の住宅供給制度は福祉国家の政策としても，相当長期にわたって行なわれるべきものと是認せざるをえない。

しかしながら，この住宅難解決への近道は，まず貸家の増加をはかることにあるが，戦後民間貸家企業が社会的，経済的諸情勢から，なかなか振わない現状では，政府施策の公共賃貸住宅の供給を強力に推進する必要があり，また住宅難が低所得階層にしわよせられつつある現状に鑑みて，公営住宅，および給与住宅の増加を重点的に促進することであります。

なお公共賃貸住宅は量のみではなく，今後は質の向上，すなわち，防災構造ならびに規模の拡大によって，一時しのぎという気持から脱皮した永住性のある快適な住生活が営みうるような供給方式に転換し，狭少過密居住の悪循環，持家への憧憬と宅地難，公営住宅入居者の建増要求と管理面の複雑化など監理方式の不合理性解放へのまがり角にきているものと考えます。

つぎに現在の住宅建設方式には，依然として，大工，左官などによる昔ながらの手間仕事が現場工事の主体となっているように推察せられ，住宅の設計および計画の合理化，建設資材の規格化と量産，施工の単純化ならびに機械化による工期の短縮，および建設費の割安，住宅の質の向上にともなう建設費と家賃との調整，その他諸問題の総合的な検討の必要性を痛感するところであります。

最後に公共住宅の供給については，各地方の住宅難に即応した，建設実施計画実現の適正化を期するため，割当方式の合理化が検討されるべきであって，わが国三大住宅施策の各地方への滲透が十分調整されるよう希望するところであります。

以上をもって，所見の一端を申し述べましたが，日本一の住みよい神戸，そして日本一の住宅難といわれている神戸に，なにとぞ関係各方面からのご協力，ご支援をお願いするしだいであります。

大阪市大法学部教授 吉富重夫

(A)

(1) 公営，公団，公庫という供給方式は，それぞれ対象を異にするものでありましょうから，この方式は維持せられていいものと考えます。ただ公営住宅にあっては，もっと民生住宅に力をいれて，この方面の充実を期することを望みます。ことに都市改造とからんで，新しい再開発の方式が打ちだされることを望んでやみません。それは，都市の発展を期する上からいっても，焦眉の問題ではないでしょうか。

(2) 公営，公団，公庫と，それぞれ主体が異なるのですから，管理を一元化するということは困難でしょうし，またその必要はないものと思いますが，ことに住宅の配置計画については，各主体の計画について，調整を加える必要はないでしょうか。各個バラバラに宅地造成が行なわれたり，全体計画なくして住宅配置が行なわれたりする結果は，地価のつり上げに役立つだけで，その後における宅地開発にも支障をきたしていないことは，いいきれないと思います。これこそ三者一体となって，管轄範囲といったけちな考えをすて，地域社会を全体として発展させるための全体計画の一翼をになうものだという自覚の下に，責任を分担するという，あり方であって，欲しいと思います。何か協議会式のもので，調整を加えるということは，できない相談でしょうか。

それと同時に，住宅計画とその他の計画，たとえば学校，病院，商店街，官公署などの配置計画や水道，下水，道路，し尿処理，塵芥処理の計画といったものとの間に，必ずしも有機的な関連のみられないものも，み受けられます。計画の総合性を実現するということは，困難であることは十分知っていますが，何とか努力してほしいものです。ことに住居は，コムュニティの単位なのですから。

(3) 政府施策住宅に，構造，規模，型式について，ぜいたくをいうものではない。といわれれば，それまでですが，建設費の問題もありましょうが，も少しデザインぐらいはユニークさがあっていいのではないでしょうかロンドンやウィーンやアムステルダムなどでみた公営住宅は，もっと住宅らしかったことを思い起します。

(B) 住居の問題は，社会生活を反映するものですから，技術革新だけで大変革がくるとは思いませんが，生活様式が次第に変れば，住居の様式も変ることは当然でしょう。新しい様式をとり入れることも大事ですが，永年の伝統に培われた日本式のよさは，基本的にいって，発展させていきたいものです。

東京都立大学教授 磯村英一

A

(1) 供給方式について

最近国連調査団が，東京や阪神の住宅政策を調査の対象としたときに日本の住宅供給方式になぜ“組合方式”がないかと質問した。答えは，戦前にあったが，あまり成功しなかったといったら不思議に思ったらしい。日本にこのような個人の“共同形式”によるものの発達しない原因については，もっと研究を進めらるべきではないか。なぜならば，公営，公団の方式は，あくまで住宅を公共からの“借家”意識のもとにおいていて，次にのべる管理においてつねに問題をおこすからである。

(2) 管理方式について

公営，公団住宅の管理はけっして完全なものとはいえない。それは居住者が，その住宅を一時的なもの，役所的なものと考えていること。役所や公団の管理者も，結局自分のものではないと考えていること。この二つが，維持管理を不十分にし，やがては公営，公団住宅をして“スラム”とする原因をつくっている。この点では，管理方法の専門化，技術化を促進するばかりでなく，その Human Relations をどうするかという研究もなされる必要がある。とくにそれが“団地”を形成しているときにはいっそう Community Organization の技術を導入する必要がある。

(3) 構造などについて

あまりにも画一主義すぎる。公庫住宅はときによっては自分のデザインによるから，べつの場合もあるが，住居は私の説からいえば衣服と同じである。公営，公団住宅はその“ユニフォーム”である。同じ着物を喜ぶのは子供の時代で，大人になれば自分の姿にあったものを着たがる。自己の Personality を生かしたいからである。それにしては，その構造，設計にあまりにも人間の住いの個性を無視している。せめて入口の形式，色彩などで個性を生かす方法はないものか。

B

日本語の“家庭”というのは，家と庭でできている。公営や公団住宅には，ややもすれば家はあっても庭がない。ホーム・ライフが半分しかみたされないことになる。この“庭”を単純に“公園”におきかえるか，もっと積極的な共同の庭にするかということは，住意識を形成する上において，研究するべき課題である。

産経新聞編集局ラテ報道部次長　園部貞義

A

公営，公団，公庫という3本建がよいか，あるいは1本にしぼった方がよいか，ひじょうにむつかしい問題で，それぞれに長所もあれば，短所もあるわけで一様にはいえません。しかしもっとも考えなければならないのは，分化すればするほど，意見の調整は困難になり，ナワ張り争いなどが大きく，かつ深くなっていく可能性は否定できないところです。

また三者間における宅地獲得競争から地価の値上がり，建築資材の浪費・コスト高をきたすおそれがあり，現在その弊害が現われているのではないかと思われます。そこで公営と公団を1本にし，公庫だけを別個とすることを考えてみることも必要ではないだろうか。

もちろんその場合でも，低額所得者と高額所得者の区別はいままで通り必要だと思います。

なお，現在一般的な規模とされている6畳，4.5畳，キッチングルームではせま過ぎるので，せめてあと1間（できれば6畳）ぐらいがほしいところです。そして台所には，空気ぬきの小窓をつけるぐらいの親切さがほしい。また玄関や窓には盗難予防の装置を工夫していただきたい。

B

マスプロ方式による建築様式の単純化の統一化はこんごも推進して行く必要がある。最近生活様式の近代化が叫ばれ，日本独得の畳生活を廃してベッドにしなければならないということは，われわれにもわかります。しかしそのためには生活水準の向上，そのためには所得の上昇がともなわねば空論に終ると思われます。理想へ近づける過渡的な方法として，独身者住宅，高額所得層を対象としたモデル住宅を設け，そこにベッドシステムを採用し，生活水準の向上と平行して拡大して行ってはどうだろうか。

なお最近のマンモス・アパートは時期尚早だと思います。本当に住宅を必要としている人々にとっては高嶺の花であるからです。マンモスに入居できるような人々の住宅こそ民間建築にまかせるべきではないだろうか。

朝日新聞大阪本社社会部　妹尾高行

お役所流の“10年1日”的杓子定規が気にかかる。例えば，某市建築局の定員はこれだけで従来いくらの予算をとって仕事をしてきたのだから，事情がどんなに変わろうと，その実績はあくまで，確保しようというお役人気質だ。いちばんの問題はやはり資金だろうが，国の補助金がでたら，すべてそれに拘束される仕組みも疑問だ。指図通り規格にしたがった住宅を建てねばならない。大阪市などの場合は，そのために市内で安い土地をさがすのに苦労しているが，通勤人口がどんどん郊外へ拡散している今日では，地価のあがった大都会のなかで，木造住宅を建てようということが，そもそもナンセンスではあるまいか。低収入者用だからといって，耐用年数の短かいバラック同然の家を建てる時代はもう過ぎさったように思うし，都市再開発の必要性を考えても都会の公共住宅は当然立体化，高層化でいかねばウソである。ところが現実は，第一種の何型を何戸というふうに中央からしめされ，自治体独自のプランをかえる余地もない。勝手にやるなら補助金もやらぬというわけだし，全額を自主財源でやるには世帯が貧しすぎるのだ。国全体の住宅政策をすべての面で，考えなおす時期がとっくにきているように思う。

住宅用地の入手も，いまのままでは行きづまる。いささか手おくれではあるが，法を改正して公益優先の強力な収用方法をうちだすべきだろう。アメリカあたりの例をみても，個人の所有権と公共の利益の間に妥協点をみつける手だては努力次第で確立できるはずである。

住宅の規模も一般にせますぎる。構造も型にはまりすぎている。規格化にいろいろな利点があるのはわかるけれども，いつまでも6帖，4.5帖，板の間つきの戦後型ではあるまい。全国どこへ行ってもみられる鉄筋アパートのあの間取りは夫婦に子供1，2人向きといわれているが，各種の家庭電化器具をならべ，子供が学校へ通いだすと，もう身動きがならない。量だけでなく，質も検討されねばならぬ時代になったと思う。欲をいえばキリがないにしても「せめてもう一部屋」というサラリーマンたちのせつない気持は真剣に考えられていいはずであるなるほど公団が建てるアパートのなかにはこの希望にマッチしたものもあるが，1万円をこす家賃ではいささかムリ。いまの公営と公団の中間ぐらいの家賃で賄えないものか。

素人くさい提案だが，住宅の予約制はどんなものであろうか。構造，場所，家賃などについて注文を集める。あるいは料理の献立表のように，考えられるデーターをならべた一覧表を用意して，どれが欲しいかをきく。ありきたりのメニューではなく，ちょっぴりぜいたくなことが必要だ。その結果，場所や型などであるていどの希望数がまとまったら話し合いに入る。同じ団地で暮らそうというもの同士が，組合のようなものをつくって，事務，技術の専門家と実現の方法を検討するという段取りである。

毎日新聞学芸部　薄田　桂

(A)　(1) 公団などのやり方は，戸数を稼ぐことと家賃の取り立てやすいこと（入居者の収入）にのみ重きを置いているようにみえる。その結果，埋立地や交通不便な土地に大団地ができたり，貸家をたくさん持った人が公共住宅に入ったりしている例もある。公共住宅は，交通便利な安全な土地に建て，本当に困っている人に絶対優先的に供給されねばならぬ。公団は，住宅を自力で建て得る大会社の専用アパートなどに手をださず，公共住宅1本で進んでもらいたい。各当局はもっと真剣に，社会政策の一環として，難関打開にとり組むことだ。とくに大都市では，スラム街を一掃するための公供住宅建設から進めること。そのため政府は，あらゆる面から強力な手を打つこと。地価の関係から都心や交通の便利な土地に真空地帯ができているが，そこに下駄ばきアパートの建設のため法的な措置をとるべきである。

(2) 管理の重責は家主がわが持つべきことは当然だが，居住者が公共の財産である住宅を愛する道義心にとぼしいため，また新しい施設に無智なため損壊することが多いので，当局は管理者を頻繁に巡回させ，修理を速やかに，相談や指導を積極的にすること。児童の遊園施設は壊れやすいから，もっと頑丈なものにすること。

(3) 従来の公共住宅は，安あがりをねらっているので耐用年数は計画より短いでのはないか。近い将来，スラム街となり，取り壊しに苦労する恐れがある。もっと耐用年数の長いものが造れるよう，政府は，資金面からも住宅政策をもっと強力に進めてほしい。規模の点では，3DKを全面的にふやすこと。また構造の点では，資材節約・安あがり方針のため上下の防音が全然なってないし，コンクリートが薄いため，最上階は夏は焼けるし，端の部屋は冬は露結するものが多い。風呂場や便所の換気にも欠点がある。建築家も，当局の責任者も，一般の公共住宅に住んでみて，不都合な点を体験し研究すべきである。

(B)　日本は地震など天災の多い国であるが，極力空間を利用することに技術革新の努力が向けられるべきである。20階，30階のアパートでも，パイプで棟と棟とをつなぐことにより耐震性を増せる。また，冷暖房や照明は壁面を利用してやるようになろう。

なお，技術革新によって，安く，便利で，丈夫なものができるだけでなく，生活を快適にすることにも主眼が置かれねばならない。

産経新聞社会部長　永田照海

(A)

公営，公団，公庫の3本建ては戦後の公共住宅建設の歴史から，自然発生的に生まれたものだろうが，けっして理想的な姿ではない。公庫は一種の住宅金融機関として別であるが，公団と公営の二重の住宅行政は，最近の都市周辺の用地難となっているのではあるまいか。一元化すれば，用地買収の場合も，もっと広い地域を一括して買い取ることも可能だろうし，公営にありがちな地方自治体のボス介入といういまわしい弊害も防げよう。とくに現在，地方自治体と公団が別個に比較的小地域を買収しているため，その隣接の地主が土地の値上りで不当に利得をむさぼり，これがかえって一般の住宅建設をおくらせている事実もある。とくに大阪市の周辺部，衛星都市の空地はほとんど公団，公営があるがために土地が高騰し，空地のままに放置されているのが現実だ。住宅行政が一元化しておれば，強力な行政措置によって，より広範囲の地域を包括して買収しておき，土地の高騰をおさえながら，長期の建設計画を立てることも可能であろう。

管理方式については，公営，公団とも管理のための人員がいたって少なく，とくに公営の場合，管理とは名のみで，居住者が修理をしてゆかねばならない。このため居住者は転居する場合も，離れがたい気持ちになり，一種の権利譲渡がヤミで行われる原因ともなる。そこで公団および公営のうち，長期使用にたえる鉄筋，ブロック建てはすべて，一元化して別個の管理会社を作って，これにまかせ，長期使用にたえぬ木造の公営住宅は居住者に払い下げるか，鉄筋に建てかえるべきである。つまり建設と管理の二つの部門で全公共住宅を統括してゆくのがよいと思われる。構造，規模，型式だが，これは，もっと大きいものを作るべきである。現在の標準型，二部屋，ダイニング・ルームつきは夫婦と子供1人ないし2人というところだろうが，子供が成長すれば，せますぎる。もう少し大型のものも作り，家族数の増加，子供の成長によって，同じ団地内で，大きい型へ移ってゆけるような配慮がのぞましい。本造住宅については，低額者のために一部は造らねばならぬだろうが，大規模に建てる必要はない。

(B)　自動車時代となれば，公共住宅の入居者でも十分自家用車が持てる。現在もすでに自家用車が住宅内に置かれているが，専用の駐車場（駐車料金をとればまかなえるはず）は必要となろう。また階段も，スロープを併用し，郵便配達や新聞配達の自転車，乳幼児の乳母車ぐらいは各階に上れるようにすべきである。冷暖房も居住者の希望によって装置できるように工夫したらどうか。

大阪府婦人団体連絡協議会　辻元八重

いままでの印象では，何もない畑の真中にまず，建物が建ち，人が住み，しばらくして道路が完成し，乗物が通り，マーケットが生まれるというようでしたが，それでは順序が逆で，町造りにはまず道，下水，それに公共の場も同時にできてほしいものとおもいます。外国では，家も何もない広野に，みごとに道路が貫通しているのを，うらやましく眺めてまいりましたが，日本では，ほかの団体との協力が少ないせいと残念におもわれます。家を建てる公団は，家を建てるだけに懸命になり，道路公団は道のことだけ，というふうに，実際はそうでないのかもしれませんが，現象としては相互に連絡がないようにみえる。

日本は地盤がやわらかいとかで，ニューヨークのように高層建築街は無理とのことですが，ドイツの街でみたプラスティックの高い建物のようにかるい材質で，このせまい国土の空中を利用して，もっとたくさんの人々に少しでもやすい家賃で住めるようになったら，と思っています。

日本人も栄養がよくなり，近ごろの十代をみているとすくすくのびた，たくましい体格になってきています。これは世界的らしく，アメリカでもパパの使ったベッドにはまらなくなった子供たちがふえてきているそうです。このように次の世代は，大きく成長しているのに，近ごろの家は，とくに鉄筋アパートは天井もひくく，入口もせまくなっていっているということは，たいへん矛盾しているとおもいます。大変便利になっている間どりとか，台所も，まちまちで，いかにも小さくせまい感じです。新らしく建つアパートの台所を，2，3拝見して，とてもよくできていると感心しますが，なかに，かならずのように，これはこうした方がよいというところがあります。台所の設計には現在アパートに住んでいる主婦の意見を十分に入れるべきと感じます。

日本現代詩人会会員　港野喜代子

☆　棲家に対するアイデアや，設計図はいまのところ，十分すぎるほど，雑多すぎるほど，いろいろ新しいものや，たのしいものが目に入ったり，示されたりするが，さて，実物の場をみたり，実際に棲んでみた場合，便利そうだが，チャチだったり，設計と反対の工事がしてあったり，当然常識として処置されるべき個所が放ってあったりする。

しかも，それが，便所とか風呂場とか，流し台，天井下水などの，いわば内臓部に，ずい分ひどい手違いや手抜きがあってびっくりすることも多い。

それらは工費の少ないことや，検査のミスのせいというよりは，人の住居に対するもっと根本方針に何か問題があるように思う。

他の品物なら，そのつぎ買うときは気をつけるぐらいで，すむかも知れぬが，人々がやっとひとつの棲家に落着いたということで，ついしんぼうを強いられているみたいだ。せめて公共住宅だけでも，実生活者から（それも現実にその家で働く人）現代の欠点や問題点を聞き届けつづけることが必要だ。

☆　公庫をなるべく少なくして，公営をもっとどんどん増やしてほしい。

☆　これからの若い人々が，それぞれ，生活をはじめるとき，もっと，不安なく気がるに住居が得られるようにしたい。

☆　地下鉄の駅がひとつひとつちがうように，同じ鉄筋ビルでも，一目でちがいがわかるような工夫がほしい。

☆　公営の場合，必死で何回申込みをしても当らぬ人，気まぐれに申込んで，どうでもよいのに当った人，そういうむじゅんを，もう何とかしたい。

☆　大阪の府と市の住宅行政を一重にしたら，もっと道が開けるのではないか。

☆　みるからにガッシリした鉄筋アパートであるのに，なんとなく粗雑な感じがする地域や，同じ古さの木造建でも，みるからに外目にも傷んだところと，汚れたなりにも生き生きした地域があるのは，そのほとんどがその地域の樹木がよく管理されているか，いないかのせいであるように思う。

☆　だんだん私たち庶民の住居の質の，うすでになるふすまやたたみを，むしろ新しい強さで新しい美しさのある物にして，安くしてほしい。

☆　住居もどんどんこわしては，建てかえて行くことが眼目でなく，あらためて，日本の民家のよい味の伝統をつくってほしい。

名古屋土木建築労働組合委員長　**鈴木正明**

独占資本の要請により出現した池田内閣は公共投資（住宅，道路，港湾，河川）を重点とする政策を発表している。

このことは国民的要求が住宅問題に集中していることを物語っており，また独占資本とその政党である自民党も，政権の座を維持しょうとするためには，ごまかしであっても住宅政策を表看板にせねばならないことを必要としている。

しかしその住宅政策はあくまで資本主義の資本法則による利潤の確保を前提とする住宅政策であり，株の配当を要求する投資であるにすぎない。公営，公団，公庫の三本立は国民各階層の注文に応じるようなポーズをとったにすぎず，実際は中産階級以上の人々が利用できる住宅問題に限定されている。多数の労働者階級は三本の柱にもたよれず自力で住宅難を解決せねばならない運命の下にある。こうした現状の中で住宅政策をめぐる諸問題について技術上の批判はいま別の問題とし，私どもの建築労働者の立場から声なき声を代表して意見をだすなれば「如何なる建築生産も建築労働者のその労働力の提供がないものはあるまい」

資本のみでなく，技術と労働の正しい結合こそが生産を生みだすものである。したがって，建築労働者の当面している諸問題―その賃金，技能，労働条件など―をぬきにして建築生産の完成などありえない。今住宅政策の忘れられた問題点は建築労働者の要求にどう答え，そのエネルギーをいかにして建築生産の発展のなかに組織化するかが大切なことである。

さらには建築労働者のみでなく，技術者労働者―（本人は労働者でないと考えている人々が多いが）―たとえ監督者の地位にあってもそれは資本主義内部における職制であり，資本に雇われた賃金労働者である。この技術労働者の諸要求も十分に問題化し得るならば，現実の住宅問題解決に限界があっても，かなり前進を可能とするものである。

そうした諸条件を配慮して，三本立の重点を住宅公団におき，公団の機能を点検し改革する必要がある。

1. 現在の設計監督のみでなく，施工も直接行なうこと。したがって現場技能労働者を公団が直接雇入れる。
2. 請負形式―資本主義的方法―を改良して建築労働者組織と集団雇用の方法を実行する。
3. 民主的技術者団体，建築労組と住宅を要求する諸階層の代表（労働組合，婦人，市民団体）との住宅建設促進のための会議を設置し住宅プランをつくる（総評は秋季年末斗争方針のなかに「社会住宅の大量建設」を問題化した）

建築生産に従事する諸階層の人々の，内部的統一戦線の強化と，国民運動の路線に住宅問題をのせる斗いを持続する活動を私どもは必要としている。ここに公共住宅問題もその内容である建設の方式や住生活の諸点も，打開できる方途を発見することができるであろう。

大阪建設労組本部委員長　**菅野勇利**

戦後民間自力，政府施策をあわせて約600万戸の住宅が建設されたが，この内政府政策住宅は約200万戸となっている。それは公営，公庫，公団と，各々の方式を通じて一応の成果をあげてきたと考えられるが，しかし，なお現時点における住宅不足数は185万戸と推定され，また建設省の“住宅難世帯の定義”を若干人間的な生活水準に引きあげるとすると，その数はただちに370万戸と増加するのである。

今後の住宅政策の方向が，世間にいう「量から質へ」と単純に変化してゆくとするならば，諸政策のワク外におかれている低所得者階層の住宅難は，ますます潜在恒久化してゆくであろうと考えられる。低所得者階層に対する住宅難の解決こそ，いまわが国住宅政策の重要課題であり，したがって，政府施策住宅についての是非，今後の方向なりも，この基点に立って考えられなければならない。現在おこなわわている公庫，公団方式は，それなりに住宅難解決の一助とはなってきたが，それにはある程度の頭金の備準なり一定水準以上という所得制約がある。

一般的にいつて低所得者階層を対象として建設されているのは，公営住宅（それも2種住宅）だけである。しかし建設戸数は極めて僅少であり，くわえてその将来性は楽観のできない条件にある。公営住宅に対する国庫補助が1種で2分の1，2種で3分の2という現状が改善されない限り，地方公共団体の財政事情を考慮すると，大巾増えの今後の見通しは，暗いといわざるをえない。

しかし，現実的にみて公営住宅にこそ国家計画の基本を据え，低所得者階層を主点とした住宅政策こそいまもっとも重要な，かつ緊急に解決しなければならないものである。また，公営住宅重点に建設計画を絞ることによって，住宅建設の隘路となっている用地難についても，現在各政府施策住宅間の無計画な用地入手合戦の解消にあるていど役立つであろう。

住宅の質的改善については，当然大量生産方式のなかで考慮され，規格化されてゆくものと考えられる。不燃化，坪数の改善等は，住宅そのものの評価を「国家の資産」という考え方に立脚して消化されていかなければならない。

今日わが国の住宅政策は，国家による直接積極的な施策を必要としており，“国営住宅”の建設にまで踏み切らない限り，都市の再開発，災害予防との関連をも含めて大なる期待は持てないと考えられるのである。

大阪府職業安定課　阿部光次

政府施策住宅計画は，いわゆる低所得者層にたいする住宅不足緩和対策であることはいうまでもない。そのうち公営住宅計画はその最低線に格付けされた申訳的実質しかないとの世論さえきかれる。しかもそのありかたにおいては公営住宅としてやや逸脱せんとしているのではなかろうか。すなわちとくに運営面において再検討されるべきところを指摘することができる。

さて政府においては所得倍増案を，また社会党は所得1倍半増案などを新経済政策としてうちだしている。なるほど勤労者の実質賃金はやや上まわってきたことは事実であるにしても，低賃金―低所得はいうまでもなく大企業との賃金格差の拡大傾向は依然として改善されていないところである。したがって住宅問題においては，低所得者層はもっとも深刻な壁につきあたりつつあるので公営住宅計画に依存するところ，じつに大となっているところである。私は新経済政策による産業合理化と技術革新にともなって，地域間または地域内の労働力の流動化の傾向が必至となると思われるので，この事態に対処するために，当面の対策としてつぎの五点について強調したい。

1. 36年度政府施策住宅計画は合計28万戸で，そのうち公営住宅はわずか6万5千戸にすぎない。これはいちじるしく実情にそわぬので少なくとも，これを倍増の13万戸として年々最低6万5千戸程度の増加が望ましい。なおこの程度では，低賃金階層の絶対的需要を充足できないことはいうまでもない。
2. 各事業主体において，公営住宅供給が消極的にならざるをえない最大の理由としては，各地方公共団体に対する国の，補助金の低率とその財政的措置の制限がある。したがって第1種，第2種各住宅ともに補助率を同率として，大巾に補助金を増額せしむることである。
3. 多子家族に対する住宅配慮は世上とかくの無視される傾向にある。わが国の最大の資源は労働人口であるとされているが，適正なる家族計画の効果の発揮される時期はこれを将来にまたねばならぬ。いずれにしても労働力の培養育成は，国家百年の大計にぞくすることであるから，公営住宅においては3人以上の多子世帯本位の第3の特別世帯住宅を追加増設すべきである。なおこの特別世帯住宅は3寝室制とする。
4. 公営住宅においては木造住宅を全部廃止して原則として耐火構造として少なくとも簡易耐火構造に統一すべきである。とくに耐用年数の短かい木造住宅の団地においては事業主体による譲渡処分が期待される傾向があるので公営住宅の運営面の障害になっているのではなかろうか。ただし耐火構造方式ならば若干その運営管理面にかかる障害は，さけられるところと考えられるが，地域によっては大同小異かも知れぬことに注意を要する。
5. 事業主体は収入超過者の明渡義務の履行と併行して高率な割増賃料徴収制にふみきることである。このためには，公営住宅法の根本趣旨に合致せしむるよう公営住宅対策の特殊性について一般P.R活動を日常化すべきである。何としても当局においては，これらのP.R運動の不足を反省すべきところであろう。また公営住宅の運営の円滑化と適正を期すためには事業主体の公営住宅譲渡処分は原則として今後は廃止することが望ましい。すなわち，公営住宅にかぎり原則として，土地をふくめて分譲処分を示することとして，一部の便乗利得者とその風潮とを一掃することによって公営住宅政管の合理性をP.Rすべきことである。

公営住宅入居者・兵庫職業訓練所訓練所長　高橋行夫

A

公営，公団，公庫という3本立ての政府施策の公共住宅が行われていますが，(1)その供給方式は今までどおりでよいでしょうか。

今までどおりの供給方式には異論はないが，決定的な住宅不足を緩和するため数的な拡大政策を急進する必要がある。数と速度が要請される。

(2) その管理方式についてはどうでしょうか。

現状いたしかたなしと考える。

(3) 構造，規模，型式などの面ではどうでしょうか。

a. 構造：鉄筋鉄骨コンクリート造，10～12階建程度とし1棟は100～200戸位。

b. 規模：大団地方式とし1団地1万人を目標とし，ニュータウンとしての機構と機能を一応備えしめること。

c. 型式：現在多くは2寝室，台所（兼食事室）といったものであるが，これは日本人（世帯）の家族構成からいって辛抱できないせまさである。したがって今後は少なくとも3寝室を目標に計画する必要を痛感する。

B

技術革新が叫ばれている折柄，これからの住宅にもそれに応じて住宅建設方式や住生活などが変っていくことと思われますが，これについてどう考えるか。

一般的な生活水準の向上は必須であり，狭少な国土と著しい人口密度（人口増加），さらに都市集中化の傾向からして，好むと好まざるとにかかわらずデラックス団地化の方向へ進むものと考えられ，都市構造のあり方というものとの関連において，完備した交通網の助けのもとに，国土開発計画もあわせて，抜本的政策がとられることが重要である。

(左段より続く)

日本軽量鉄骨建築協会大阪事務所長　岡本英治

公営住宅と家の工場生産

住宅建設方式は在来の方式の発展もさることながら，各種工業のオートメーション化にともない，建築もそれに適した方式である規格化，ひいては工場生産方式の完成が要望されている。

高層大規模建築物においては部分的な規格化，低層小規模建築物においては部分的のみならず全体としての規格化が可能である。しかるに公営住宅はその性格，用途から規格化が容易であり，また規格化されてよいものであると考えられる。

つぎに規格化，工場生産化を考えたときに，種々の構法，構造が考えられる。たとえば使用材料による分類によれば，木造，鉄骨造（軽量型鋼も含む），コンクリート式，合成樹脂などであるが，なかんずく，種々の特徴の故に乾式仕上げを併用した軽量鉄造がもっとも好ましく思われるのである。

軽量鉄骨建築物の特徴の主なるものをあげれば，

1. 不燃かつ耐震耐風的である。これは建築物としては基本的な要求でありながら，日本の住宅に最も欠けているところである。
2. 主材が将来も十分に供給できるものであること，加工性に富み，均一性に優れていること，これは量産，工場生産にはなくてはならないものである。
3. 軽量なるが故に取あつかい運搬が簡単で軟弱地盤にも容易に建設され基礎工事費が軽減しうる。

このような特徴をもつ軽量鉄骨建築はプレファブ化以前の建築としても，快適な居住性と新鮮で軽快な外観は多くの人々から歓迎されているのであるが，軽量鉄骨建築がその特徴を遺憾なく発揮しうるのは，近代産業の線に歩調をあわせ，工場生産化されたときであろう。

ここに好適な対象・公営住宅に絶好の構法・軽量鉄骨造をもってすれば，建築家の一つの夢“家の工場生産”の完成もそう遠いものではないだろう。

これが完成されれば，大巾のコストダウンも可能となり，庶民の家として好適なものとなるにちがいない。そのときにはわれわれが家がほしいと思えば，電話1本で即座に思う場所に家を建てることができ，やがて木造建築にかわって，わが国の都市，郊外はこの軽快で美しい，かつ燃えない，この軽量鉄骨建築で埋められるだろう。

公団入居者・大学講師　重田晃一

A

1）2）公営，公団などの公共住宅を一本化して，すべて政府資金で建設されるようになるのが望ましい。現在の公団住宅では，外部の資金の金利のために，家賃が不当に高くなっているようであるから，まずその分だけでも家賃の引下げが行なわれるべきである。

3）構造—高層鉄筋住宅を主とすること。現在のテラスハウスなどは外観からも，暑さの点でも，あまり感心できない。公園その他の共同施設を充実して，小さな庭などを必要としないような方向にもってゆくべきであろう。

規模—3寝室以上の住宅をふやすこと。公共住宅が一時しのぎのものでなくて，今後は一生利用できるようにするため。

型式—バラエティをもたせて間取りなどにもあるていど家庭の好みによって選択できるようにする。私どもの住んでいる公団住宅では台所がダイニングキッチンになっていないので大変不便であるが，これの建ったときはこの型式のものばかりで，選択の余地がなかったので残念であった。

B

各種の公共住宅が十分に建設されたら個人の家などは不要である。一生のあいだに一度家を建てて，生涯そこに定着してしまうよりも，各家庭の家族構成や収入その他の変化に応じて，住居を変えてゆく方が，はるかに便利である。今後は少なくとも都市の勤労者のあいだではほとんどが公共集団住宅を利用できるように，公共住宅を充実すべきだと思われる。

冷暖房にしても，個人の住宅の方がはるかに容易に設備しうるであろう。ぼつぼつ，冷暖房の普及が考えられてもいいのではないか。

また建築の方で規格化がすすめば，家具などの規格化も行なわれうるだろう。現在の市販の家具は寸法がまちまちで，高いわりに，あまりにも粗末である。洋服タンスなど収納用の家具は，造りつけが望ましいが，その他の家具も量産でコストを下げることができるだろう。

公団住宅下新庄団地入居者　**川淵長治**

（一）供給方式：現在の方式が公正で結構だが，抽せん洩れの2，3回で優先入居の便宜を与えたら如何と考える。理由は公団住宅入居の時期がほぼ算出できるから入居計画をたてやすい。府営市営のようにぼう大な倍率でないのだから実行可能と思う。

（二）大分よくなつたが，根本的な官僚思想がぬけきれない。一例をあげれば，錠前の破損を申入れると「同じ物を市場で買つてこい，取付は大工を廻してやる」式。市場の金物屋へはるばる行つて果して公団規格があるかどうか？手に入らない場合は夜を徹して不安と闘わねばならない。このようなケースには管理事務所(夜間なれば補助管)に規格の錠前を若干備えて実費で頒ければ取付の方は大工を廻してもらわなくても入居者でこと足りると思う。

（三）塵箱の処理については苦労の種だが，市衛生人夫団地清掃婦，棟別主婦グループと三者の善意がうまくとけ込んで始めて完全になる。いかに清潔な主婦達でその細腕では力およばず，一番機動力有るはずの市清掃夫のやり方は大方がすでに御存じの通り苦情をいっても馬耳東風型，団地清掃婦も，女は女，この三者の盲点をじっくり研討して解決しなければ，環境衛生だ，害虫撲滅だと公団がきれいごとをならべても意味がない，また転出の場合破損箇所の原型復元費として，敷金から相当高額に差引かれて，約三ケ月の分の保証金の手取りが少ないという。家賃のなかに含まれている相当額の補修引当金からある程度それをカバーできないものか，次ぎの移転先の敷金にと胸算用をしている庶民には非常に手痛い打撃であるからである。

（四）構造はさすがに研究の成果が現われて狭いスペースをうまく使っているのに敬意を表したい。昔の日本家屋のダダ広いだけで主婦の掃除時間を浪費する弊害はないし，一部屋がフロリング張りも近代生活に好ましい，各家庭の好みによって応接，書斉，食堂ひいてはホームバー等々どうにでも利用できる点，団地族にアッピール万点と思われる。特に南向の陽当りが部屋一ぱいにはいる広い硝子戸は，冬季を非常に暖かく暮せるし，オープンな感じは古い因襲から脱皮を強く要求される国民性の体質改善に有意義と思う。ただ難点は硝子戸が腰板なしの総ガラスのため，破損率が非常に高いから腰板のセクションだけは，アクリアイト板が高額なれば塩化ビニール板でも使用されたら完璧だと思う。

公共住宅アンケート

最近，公営住宅，公団住宅，公庫住宅などの政府施策住宅の促進が大きく叫ばれております。これらは戦後，今日までの住宅政策に大きな貢献をなしてきたことはもちろんであります。しかし，現在一方では公共住宅の曲り角にきたともいう意見もありますし，また今後の公共住宅のあり方についても，幾多の問題点があるように存じます。これらについて，貴方のご意見をお寄せ下されば幸いに存じます。ご参考までに，下記に駄文を記しましたが，各項目別にのべていただいても，一括して述べていただいても結構です。

A，公営，公団，公庫という三本立ての政府施策の公共住宅が行われていますが，

（1）その供給方式は今までとおりでよいでしょうか。

（2）その管理方式についてはどうでしょうか。

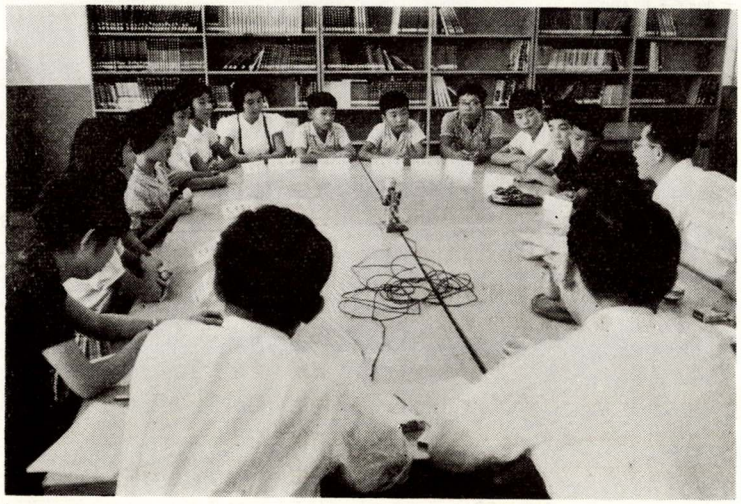
（3）構造・規模，型式などの面ではどうでしょうか。

B，技術革新が叫ばれている折柄，これからの住宅にも，それに応じて，住宅建設方式や住生活などが変っていくことと思われますが，これについて，どうお考えになられますか。

（以上）

小さなダンチ族

—公団住宅の子供に聞く会—



会場風景(右端が林先生)

アパートに育つ子供たち，これを小さな「ダンチ族」と呼んでみよう。わずか13，4坪の狭い住宅のなかにも，次代に花咲く若き芽がすくすくとのびていく。本当にそうだろうか？この疑問を解いてみようと思って，この座談会を企画した。公団住宅香里団地のなかにある開成小学校の生徒会の子供たちのうち，建物の各型別（中層・ポイント・テラス）にわたるように人選し，また周辺の子供たちも集まってもらって，先生にも参加していただいた。ひじょうに活発な意見がでて実に2時間半にもわたったが，これはそのときのテープから編集したものである。このような企画は私たちとしては，はじめてで慣れない点もあるし，また子供たちが話しやすい雰囲気にするためにも，司会者は先生の方が適任と思ったので，質問したい事項についてあらかじめ打合せをしておいて，あとは先生の方で適当にアレンジして話していただくような方法をとった。ともかく最近の子供たちは，会議にはひじょうに習練していて，つねに発言も秩序正しく整然としていて，私たちも大いに見習わなければいけない点があると痛感した。（田村記）

田村　私たちは建築協会という会の会員で，公団アパートの建築の仕事などをしています。今日は公団住宅に住んでいるみなさんに，どんなふうに暮しているのか，またどんなところがよいか，悪いかなど，いつも気づいていること，またこんなにしたらよくなるなどと考えていること，またこんなにしてほしいと思っていることなど，いろいろとお話してもらって，もっと勉強しようと思っています。きょう聞いたお話は「建築と社会」という雑誌にのせて，建築屋のおじさんたちの参考にしますから，大いに話しあって下さいね。それでは林先生よろしくお願いします。

(1)　勉　強　に　つ　い　て

先生　長い夏休みも終って，新しい学期がはじまったけれども，みなさんはもう大きいので落ちついているでしょうが，夏休み中はお家でなにをして過しましたか。

木内　野球なんかして遊びました。

先生　木内君は弟さんがいるね。

木内　はい，3年生です。

先生　いっしょになんでもする？

木内　はい，喧嘩はしません。

先生　学校から帰って，すぐ勉強する？

木内　はい

昭和35年9月9日
於　香里開成小学校

出　席　者

なまえ	お父さんのお仕事	住んでいる家
吉田　佳郎	会社員	(中層・フラット・3K)
奥平　克治	建築業	(中層・フラット・2K)
木内　幹雄	機械商	(テラスハウス・2D)
石原　京介	内科医	(中層・ポイントハウス・2DK)
和田　作郎	阪神電鉄	(中層・フラット・2K)
岩田　恵明	僧侶	(寺院)
山本千津子	阪大整形外科医	(中層・フラット・3K)
小森万里子	貿易商	(中層・フラット・2DK)
山田　園子	銀行員	(中層・フラット・3K)
松井　啓子	日本石油	(中層・フラット・3K)
大井　広美	朝日新聞	(テラスハウス・3DK)
富田　光子	市役所	(普通の家)
林　先生		

建築協会側

住宅公団	田村　敏夫
京大	絹谷　祐規
建築協会	松井　昭光

先生　小森さんは妹さんがあったね。

小森　3年生です。

先生　小森さんとこは，机はどこに置いてるの。

小森　机は4.5帖の窓ぎわに置いています。妹と交替で勉強しています。

先生　かちあって勉強できないときはどうしてる？　がまんするの？

小森　台所で別の机をだしてします。

先生　そんなときどう思う？

小森　部屋が少ないので，もう1室あればよいと思います。

先生　妹さんと同時に勉強できる部屋がほしいのね。誰にも，おかされないところというわけだね。みな何時間ぐらい勉強しますか。吉田君どう？

吉田　多いときで2.5時間ぐらい。短いときは1.5時間ぐらい。

先生　だいたい何時ごろする？

吉田　夕食後にします。

先生　夕ご飯がすんでからなのね。吉田君とこは，お父さん何時ごろ帰られますか。

吉田　7時ごろです。

先生　だいたいきまってるの。それからご飯食べるの？

吉田　僕らは先にご飯を食べます。

先生　石原君はどう？　弟さんがいたね。

石原　帰ったらちょっと休んで，5時から6時ごろまで勉強します。それから夕食を食べて，ちょっと休んで，また9時ごろまで勉強します。

先生　弟さん，いくつ？

石原　5才です。

先生　弟がじゃましたりしない？

石原　しません。

先生　偉いな。小森さんは妹さんが勉強している間は，どうしているの。

小森　本読んだり，寝ころんで待ちます。

先生　勉強したりするとき，お母さんは側についていて，ああしなさい，こうしなさい，とはいいませんか。

一同　お母さんは干渉しません。

先生　全然ついていないのね。わからないときはどうしますか。

一同　辞書を引いてしらべます。

先生　なかなか自主的にやるんですね。お母さんはついていないが，あまりしなかったら，しなさいといわれますか。奥平君はどう？

奥平　お母さんはついていませんが，いわれます。

先生　学校の勉強外になにか習っていますか。

岩田　習字とそろばんを習っています。

吉田　僕は習っていませんが，妹が習っています。

先生　何を習っていますか。

吉田　オルガン教室です。

先生　妹さんが練習しているとき，何か感じたことある？

吉田　勉強しているとき，うるさいと，どなるときがあります。

(2) 友達について

先生　去年転入者が100人以上どっと入ってきたことがあったけど，新しい子が越してきたら，こちらから行って，お友達になる？

山本　学校で親しくなってから仲よくします。

先生　去年と今年と比較して，お友達の感じ変りましたか，ドッジボールなんかしていて，川越地区の子と団地の子と比較して，団地の子はチームワークが悪いと思った。パスなんかしあわないね。団地の子は体が大きいのに，山の上の小さな子にまけてしまったね。

先生　5階から子供は，沢山通学してきますか。

奥平　5階から3人，2階から1人です。

先生　4階まで遊びにきてくれますか。

石原　きます。

和田　1年生の子供と4年生の子と，一緒に遊びます。

先生　同じ学年の子供はおりますか。

山田　男の子がいます。

先生　一緒に遊びますか。

山田　弟を呼びに行くと，おばさんが上りなさいというので，遊びます。

(3) 遊び，行事について

先生　遊び場がないので，夏休み中だけ学校の校庭を開放してほしいというので，職員会議で協議した結果，開放することになり，PTAのお母さんがパトロールしていたね。どうしてかというと，野球して，よその窓ガラスを割ったり，バットを当てて怪我した子がいたりしたので，そうすることになったわけだね。遊び場所なんかについてどう考える？

小森　家で遊びます。なんとなく外で遊びたくない。

木内　中央公園まで行きます。

先生　この間まで夏休みで，お父さん，お母さんの家へ行ったりしただろうけど，夏休みをはじめてこの団地で迎えた人，また去年からいる人もあるでしょうが，何か違った感じを受けましたか。

石原　むこうは田舎で，川や山があって釣をしたり，木のぼりしたりできるけれど，こちらはそれができません。



某団地の遊び場

先生　むこうの方がいい？

石原　なにかしらこちらの方がよいと思います。

先生　ほかの人はどう，山田さんは？

山田　あちらは小さい人が少なかったから，私は小さい人が好きなので，こちらの方がよい。

和田　あちらでは隣近所の人たちを小さいときから知っていますから，みな友達だったけれど，こちらは遊びにきてくれません。

先生　家へ帰って遊び相手がないときがあるね。5年生の作文に，今年の夏は遊びに行っても鍵がかかっている。遊び相手がないのでさびしかったと書いている人があった。他の子も，そんなことがあっただろうと思うが，町内から琵琶湖へ行ったね。みなも行きましたか。（2，3人手をあげる）

先生　あんなところへ行きたいと思いますか。

一同　行きたいです。

先生　芋掘りなんかに行きましたね。あんなことうれしいですか。

石原　食べる物のときは，なんでもうれしい。

先生　日曜日はどんなところへ行きたいですか。

松井　暑い日は，冷房のきいているところへ行きたい。

先生　マーケットは冷房がきいているので，あそこで遊ぶかな。

吉田　日曜日は，お父さんを休ませてあげます。

石原　お父さんは4回の休みのうち，3回まで家におります。

先生　休み中もあったことと思いますが，お家でね，お誕生日のお祝いなんかしてくれますか。

山本　します。お小遣いをためてプレゼントします。

小森　山本さんところとだいたい同じですけどね，会社の帰りにお父さんが買ってきます。

石原　僕の家はお父さんの誕生日に，まとめてします。

先生　そんなとき，お父さんやお母さんが，お話したり子供たちが歌ったりしますか。

一同　あまりしません。

先生　12月の暮になるとクリスマスがやってきますが，

クリスマス・ツリーなど飾りますか。
吉田，奥平，岩田　小さいときだけしました。
和田　します。
先生　ひな祭りはどうですか。
女子一同　やります。
先生　お友達をよんだりしますか。
女子一同　よびません。
先生　子供の日はやりますね。
吉田　はい。
石原　どこかえつれていってもらいます。
先生　お正月などはどうして過してる？
小森　父は年始にまわります。
岩田　友達を集めてカルタをしました。（寺院で広い）
松井　3日は，おばあ様のところに親類中の者が集まります。
先生　お友達を家に招いてカルタなどはあまりしない？
和田　みなが，どこかへいってしまって，いないので，あまりしません。
先生　雨の日はどうしていますか。
和田　本読んだり，兄弟喧嘩もします。
木内　喧嘩も楽しい。

(4)　家庭内団欒について

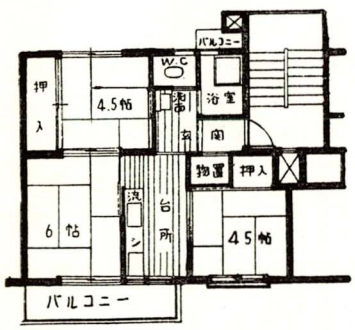
先生　夕食のときはどんな話をしますか。
一同　そのときによります。
先生　テレビはいろんな番組があるけれど，主導権は誰がもっているの？
石原　僕です。日曜日だけお父さんです。
先生　日曜日だけサービスするのね。お父さんはどんなのをみる？
石原　父も僕と同じようなものをみます。
吉田　30分交替でみます。
先生　そのほかになにか上手なみかたある？
山田　お父さんが，役にたたないのははぶいて新聞に印をつけたのだけみます。
先生　意見をきいてくれますか。
山田　きいてくれるときもある。
松井　いつ帰るかわからないので，お父さんが帰るまでは，自由にみます。
和田　時間ごとに多数決できめます。
先生　何時ごろまでみていますか。
岩田　僕は9時か，9時半ごろまでみています。
先生　だいたいみなそう？
一同　はい，勉強しないときはずっとみています。10時か，10時半ごろまで。
先生　石原君とこはテレビはどこに置いていますか。
石原　食堂に置いてます。（星形）
先生　山田さんとこは？
山田　6帖。
先生　小森さんは妹さんがいるわけだけど，テレビをみている人がいると寝られないね。
小森　お父さんとお母さんの部屋においてるから。

(5)　家庭内における手伝い

先生　ショピングセンターが新しくできましたね。あそこの買物の仕方は，普通と違うね。お使いに行きます

吉田君，山本さん，山田さん，松井さんのお家

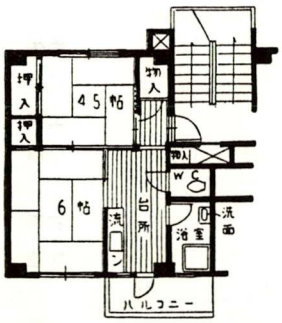
F1型



49.85m²（15.08坪）

奥平君，和田君のお家

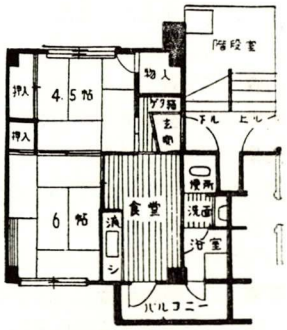
C2型



39.14m²（11.84坪）

小森さんのお家

B11型



42.97m²（13坪）

か。

一同　はい。

石原　普通のマーケットと違って勘定してもらうのに長くまつけれど，場所をとらないで，好きなものを自由にとって買えるから好きです。

先生　そういうお家のお手伝いなどしますか，ご飯の後しまつしたりなど。

男子一同　あまりしない。

松井　私はお料理など好きだから手伝います。

先生　お台所は手伝いやすいですか。

大井　私のところはハウスだから手伝いやすいです。

先生　ハウスはまるみえでしょう。

大井　襖で仕切って，まるだしにしません。

先生　木内君とこはお花植えられるね。

木内　1階だから土があって，お花が植えられる。

先生　山田さんなんかやってみたいと思う？

山田　おばあさんが鉢植えをしています。

先生　大井さんとこは？

大井　ハウスだから植えられる。

先生　暗くなってから買物などに行きますか。

吉田　文房具など忘れたとき，買いに行きます。

先生　お父さんの用事で行くことある？

松井　7時ごろ，父が帰ってきて，タバコ買ってきてくれというときがあります。

石原　暗くても平気です。

(6)　兄　弟・就　寝　に　つ　い　て

先生　10時半ごろ寝るそうだが，寝床はどうする？

小森　自分のふとんは，めいめいでやります。

先生　自分で朝も晩も仕末しますか。

小森　はい。

和田　僕はやりません。

松井　私は2段ベッドで寝ていますが，妹が下で私が上で寝ています。

先生　天井が低いので大きい人は頭うつね。

松井　コンクリートだからとても痛いです。

山本　エバーソフトの椅子式ベッドで寝ています。昼間は椅子で応接用に使っています。

先生　お客さんが帰らないと寝られないね。お客さんが泊ってベッドをゆずることありますか。

山本　親類の子供がきたときはゆずります。

先生　石原君とこはどう。

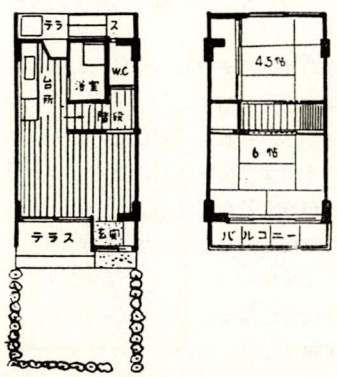
石原　週に4回ぐらいこられるときあります。父が自治会を開きます。

先生　泊って行かれることありますか。

石原　そんなときは別の部屋で寝ます。6帖1室に4人で寝ます。

木内君のお家。大井さんのお家もこれとよく似たようなテラスハウスの家である。

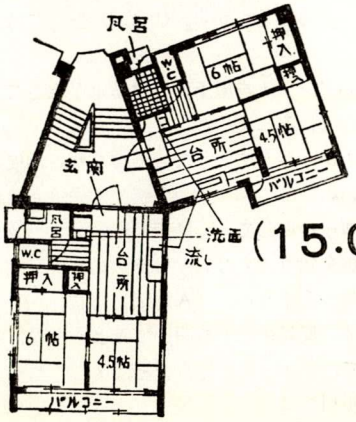
T4型



45.45m²（13.75坪）

石原君のお家

P5型 49.78m²



（15.06坪）

（8） 団地へきてみてよかったこと，わるかったこと，また望ましいこと

先生　ここに住んでいて長い子は2年になるが，もちろん岩田君や富田さんは違うけれども，もう少しこうしたらよいというようなことありますか，部屋がすくないのでもう1部屋ほしいとか，他にありますか。

和田　5階に住んでいますので，疲れるからエレベータか，エスカレータをつけてほしい。

小森　玄関が暗いので朝でも曇っている日は，電気をつけなければなりません。

松井　郵便受けが下にあるので不便です。くぼんだ所にあると自転車などを置くので取りにくいから，反対側の上る方につけるとよいと思います。

石原　それだから自転車置き場とか修理場がほしいです。枚方までパンクしたのを持って行かなければなりません。

先生　君ら自転車はどこに置いてる？

石原　下へ置きっぱなし。

先生　木内君は上まで持って行くの？

木内　僕はテラスに置いてます。

先生　女の子は持っている？

小森　私はもっていません。

先生　だれか自動車のある人がいましたね。どこに置いてますか。

山田　家の近くにちょっと広いところがありますので，そこに置いてます。

先生　クロバーの植えてあるところ？

山田　いいえ。

石原　車の置き場あります。

山田　ありません。遠すぎます。

木内　道に置いてる。

先生　いろいろと聞いたがまだ何かないかな。

山本　私の家は坂道を通るスクーターのエンジンの音がして困ります。

石原　屋形は，まるみえだから，仕切りをしてほしいです。

山田　テレビのアンテナを屋上につけると乱立して，電波に影響するので，みにくい。

先生　アンテナが，おしやいしているのだね。学校のテレビもみにくい。

吉田　画面がゆらゆらしてみえにくい。

和田　ラジオが全然きこえない。トランジスターは窓からださないと聞こえません。（A地区）

先生　それでは，反対のことを聞いてみようかな，みなね，ここえきて，よかったと思うことは？

石原　台所が便利でよい。

先生　どういう点ですか。

石原　屋形は部屋が広いのでテレビを置いても，普通の家のように狭くるしい感じがしない。

先生　岩田君や富田さんは？

富田　台所がきれいだからよい。

岩田　たまにはせまいところに住んでみたい。（寺院）

先生　お家で改造したいとか，いったことある？

富田　はい。

小森　台所が狭いので，電気ガマなんかの水蒸気が，各部屋にこもるので困ります。

先生　他の人も感じる？

吉田　魚なんか焼くと匂いがこもるので，父がまたかと怒ります。

先生　冬になると暖房はどうしていますか。

木内　下はガス・ストーブで，上は電気ストーブです。

和田　煉炭を使っていますが，慣れたら臭くありません。

富田　掘りごたつです。（普通家屋）

先生　掘りごたつは，ほしいですか。

山田　掘りごたつほしいけれど掘れない。

先生　掘ると大変だね。

木内　板を切れば，私のところは掘れます。（テラスハウス）

先生　君とこはテラスハウスだからね。石原君とこは。

石原　ホームごたつです。

木内　電気は，お餅が焼けないので困る。

一同　ガス・ストーブで焼くと，まっ黒になるので困ります。

先生　先生も火鉢入れたことがあるけれど，慣れないからか，ものすごく頭が痛くなって，物置きにしまってある。

先生　外からみえるとか，そういう点で何かありますか。

松井　外からまるみえだから，いつもカーテンを引いていますので，とても暗い。

和田　両側からみられ，日曜日なんかカーテンを引かないとまるみえです。僕とこからよそはみえない。

石原　台所がみえる。

先生　家も学校も天井など，まっ白だけど，それについて何か感じますか。

石原　神経衰弱になる。

松井　うす緑にしたらよい。

石原　色がついているとあきる。

先生　トイレットの水洗の音がするので，朝まで流さな

いという人がいますが，どうですか。

一同　さあ…。

先生　台風のときはどうでしたか。

石原　ガラス屋さんが，60m ぐらい吹いても大丈夫だといっていましたので，安心してました。

松井　台風の時は植木鉢を部屋のなかに入れるので，何か変な気持がします。

先生　公団の住み心地はどうですか。

木内　風呂の水と便所の水を同時に流せない。ものすごい音がする。

山田　お風呂は板だから，いちいち洗います。風呂のたき口がせまいし，洗濯機もせまいので置けない。

先生　洗濯機は風呂に置いてるの？

一同　台所，ベランダ。

先生　ベランダはどこに流すの？

一同　ベランダに溝があります。

先生　登校区域がきめられているね。何か感じる？（車の通行をさけるため登校路が学校側で指定されている）

石原　目の下に学校があるのに遠まわりしなければなりません。

先生　C 地区の方はいま階段を作ってるね。きめられたところを通ると遠いのだね。危険なところない？

山本　バスが通るようになって危険になったような気がします。

先生　職員会議でいろいろ協議されたんだけど，施設なんかについてどう？

石原　あまり遊ばない。中央公園は大人がブランコや遊び道具を独占して子供は遊べない。

吉田　それから公園に水道をつけてほしい。僕たち警察の派出所まで水を飲みに行きます。

先生　そういうとき気持よく飲ませてくれる？

石原　いやな顔するお巡りさんもいます。

先生　川越のお友達の所へ遊びに行くでしょう，比較してみてどう？

松井　いまの家はせまいので，庭が広くて木や花があるところはうらやましい。

先生　団地をみて最初どう思いましたか。

富田　きれいだと思いました。

先生　学校の校庭や公園ではあまり遊ばないね。何かほしいものある？

石原　遠くをみるのに望遠鏡がほしい。

一同　それから図書館やプールがほしい。

田村　デパートの屋上にいろんな遊戯具があるけどあんなものほしい？

一同　大きいから，もうほしくない。

先生　集会場なんか使う？

一同　あまり使わない。

石原　教会学校へ行きます。



某団地の遊び風景

子供の学習 風景



和田　お母さんが行ってる。
田村　近所にあるのですか。
石原　カトリック教会があります。近所に小さな教会があるといい。
田村　教会から鐘の音がきこえるのがいい？
一同　ハイ。
木内　時間を知らせる鐘の音がきこえるとよい。
先生　学校のチャーム聞こえる？
石原　きこえますけど，かんじんなとき聞こえない。
先生　なにかやかましいと思ったことある？
一同　宣伝カーがうるさい。
石原　あんまさんの金属の杖の音が夜ねしずまるとうるさい。
吉田　僕の近所は工事しているんです。ダンプカーがやかましい。
小森　上の人が台所で，一度に水を流すと大きな音がして受け口がとび上る。
小森　鉄の扉はしめるとパタンと音がして夜はとくにうるさい。
先生　ゴムのついてるところがあるのと違う？
一同　こたえません。
和田　うちは普通にやるとはね返るので，ガチャンとしめる。
石原　お客さんが帰られるとき中の扉をあけておいて，外の扉をあけると風が強いときなど，ガタンと音がしてガラスがわれることがある。
吉田　うちの弟なんか小さいのでガチャンといわす。
木内　恐しい家や。
山本　びっくりして起きるときあります。
松井　ベランダのペンキがポロポロはげてきたない。
和田　晴れた日でも，ベランダの溝から水がふいてくる。
先生　お父さん，お母さんはどういっていますか。
吉田　空気がよいので，母はいつまでもいたいといっています。
山田　お父さんは地震が嫌いだから，ここは安心して住めるといっています。
田村　さっき恐るべき家だといっていた人がいましたが，どういうとこが恐しいですか。
石原　小さい子供がおるとひやひやします。1階だとごみの匂いがしたり，泥棒が入る。
先生　どこか入ったところある？
石原　窓から入りかけた。
先生　のぞき窓がありますね。ベルが鳴ったらみなどうしますか。
一同　のぞき窓からみて，知らない人だと少しあけます。
先生　鎖のない家の人ありますか。（2，3人手をあげる）
先生　そんな人たちはどうしていますか。
一同　鍵のところに外からドライバーなどであけないように，上手にカバーしてあります。
先生　郵便受けに間違ったの入っているときある？
石原　あります。持って行くのは不便です。2号館から23号館まで持って行くのは大変です。
先生　ブザーの約束なんかありますか。
松井　家族の者は3つならします。
山田　お父さんは郵便受けをカチャカチャ鳴らします。
先生　松井さんは，3つブザーがなったら，のぞかないであけるの？
松井　3つならす人がないので，のぞかないであけます。
先生　芝生なんかの草刈りはくるの？
石原　公団の人がきます。
先生　掃除はどうしてる。
石原　自分の前だけして，あとは順番に当番でします。
先生　自分たちと違った形の家へ行ったとき，いいなと思った？
山田　テラスハウスは板の間があってよい。
松井　星型は台所はステンレスが横についていたり，玄関が広いのでよいと思います。
石原　よそは畳が広い。
山田　星型は下駄箱がある。
松井　C型は物置きといっしょで下駄箱が遠いので，靴をもってぐるっとまわって下駄箱に行きます。
吉田　テラスハウスは上下が，隔離ができるので，下でテレビをみて，上で勉強ができる。
先生　たまには1人になって，家族から干渉されたくないというわけだね。
先生　ベランダのつづいている家があるね。
山本　のり越えたら行ける。
木内　玄関を入ったところに物置があるのはいやです。
吉田　玄関のところが区切ってあるので，近所づきあいが悪くなる。
先生　ここへくる前はどこにいましたか。
山本　放出です。
山田　守口です。
松井　尼崎の会社の社宅にいました。
大井　第2団地です。前のところはせまい。
先生　お父さんが，長兄のところは何人ぐらいありますか。（8人手をあげる）
石原　おじいさん，おばあさんは子供のところを1軒づつまわって，1月目ぐらいにきます。
先生　建物をこうしたらよいというところがあったらいって下さい。
石原　瞬間的にいやになる。だから遊び道具を変えた

り，植木を置き変えて景色を変えるとよい。例えば，植木屋がまわってきて，四季によって花を変えるとよい。ベランダなど四季に変化を感じさせるようにしてほしい。

和田　映画館や，ビックリ館なんかを作るとよい。公園なんか鉄じょうもうを張るのはいやだ，とじ込められたみたいだから。

一同　広い空地があるから，広い物置きを作って，必要なとき，だしに行くようにしたらよい。

石原　大きな荷物を持っていたら通れないので自転車置き場をぜひ作ってほしい。また修理場もほしい。

先生　食事する場所とか，ごみ捨て場などについて何か感じたことありますか。

石原　ごみ捨て場は不便で，少しのごみでも，いちいちごみ捨て場まで行かなければなりませんので，上手に家の中に作るようにしてほしいです。

先生　どうなっていたらよいと思う？

松井　家の中だと臭気がするし，油虫もでるので，止めた方がよいと思います。

先生　油虫いる？

一同　います。

先生　蚊はでますか。

吉田　うちは1階だから蠅や，蚊がいっぱいで，夜暑いから窓をあけると入ってきます。

松井　網戸をつかっています。

石原　アースをまきます。

石原　星型は扉をあけると，家中がまるみえになるので感じが悪い。

松井　風呂場に脱衣場がないので，お客さんがくると，帰るまで風呂場のなかでまっています。

石原　ようてしまう。

先生　坐り式のトイレットはどうですか。

一同　慣れるとあれの方がよい。

先生　板張りのお風呂はどうですか。

石原　うちはタイルですが，タイルの方がよい。

田村　風呂の高さはどうですか。



座談会風景

石原　低い風呂は，上で洗っていると，顔にかかったり石鹸が入る。

先生　動物なんか，かっている人いますか。

山本　前に犬をかっていましたが，オシッコをするのでやめました。

一同　かいたいですが，かう場所がない。

木内　生き物は，死ぬか逃げるかで，かっていません。

先生　お母さんが洗濯物を干しますが，皆さんどうですか。

山田　部屋の中が暗くなるし，外からみても，よくありません。

木内　屋上に物干し場を作るとよい。

先生　お母さんが困るでしょうね。上ったり，下りたりでね。

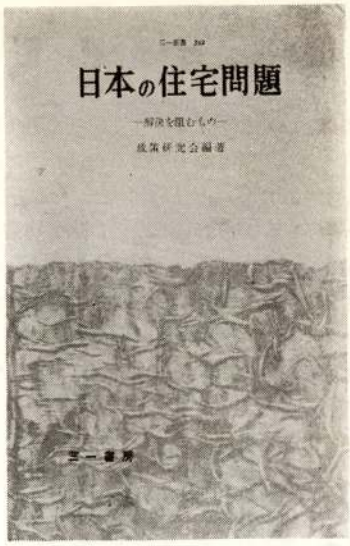
一同　とられる心配もあります。

田村　では，これぐらいにしましょう。どうもみなさん長時間ご苦労さんでした。きょうみなさんからいろいろと聞いたことを参考として，これらからも，燃えなくて，地震に強く，生活に便利な家を建てていきたいと思います。そしてみんなが，アパートが一番いいと思うようになってくれるように努力しましょう。ありがとうございました。

建築材料の選び方使い方の専門誌
建築技術者と材料業者の必読書
建築雑誌　材料と設計
毎月1日発行
B5　¥150〒共
全国書店で発売
建設文化社
本社　東京都文京区小石川町1－1　電話(921)2739
支社　大阪市西区西長堀1－5　四ツ橋ビル　電話㊽9200

今秋発行！　建築建材業者の必読書
プラスチックス&ビルディング
早大助授教　田村　恭　著
建築におけるプラスチックスの正しい活かし方を
内外の豊富な資料と
多数のデーターと
写真による解説
¥380〒共
予約申込先　月刊　プラスチックス・エージ
大阪　南区東清水町34　TEL(27)6077～9
東京　中央区日本橋木町4－5　TEL(241)5320・5398
振替　大阪二一一三番

日本の住宅問題——解決を阻むもの——



三一新書，P. 228，¥150，三一書房発行

西山卯三著「日本の住宅問題」（岩波新書）が出版されていらい，ひさしく住宅問題を取扱った書物がとだえていたが，最近政策研究会編著による「日本の住宅問題—解決を阻むもの—」と題した書が，三一書房から出版された。

本書は，現在ますます複雑化している住宅問題について，当面に焦点をおいて，新らしい角度から分析検討されたもので，何故に住宅問題が解決されないかを，あきらかにしようとしている。

ここで取りあげられている問題は現代の住宅問題，住宅と土地問題，住宅の供給—政府住宅の実態，民間住宅の実態——農漁村の住宅と都市のスラム（住宅事情の底辺），災害と技術，家賃問題，の7つの項目について，それぞれ資料の綿密な分析から，現状はどうなっているか，その解決の途はあるのか，について述べられている。

この書の中心となっているものは政府の行なっている一連の住宅施策が，いかにイージィなものであって住宅難の根本的な解決には，まったく役立っていないことを鋭く追求しその住宅難を測定する指標である住宅不足数のとらえ方，それに対処する住宅供給量を，住宅の内容いかんにかかわらず，ただ簡単に，戸数だけで，処理する数学上の操作で，あたかも住宅難が，すぐにでも解消するような，印象を国民に与えている誤りについて，ふれている。宅地難に対しては，現在の政府の土地対策が全く無策といっていいほど無方針であり，われわれも，ただこれを見送っていなければならない現実を，どうするのかと強く指摘している。

さらに，住宅の供給についてみても，政府施策住宅が，現代もっとも強く必要とされるべき低賃金階層にとっては，ほとんど希望のないものであり，さりとて，民間住宅においても，これらの人々が，まったく置去りの状態であり，これが家賃と関連して，賃金をあげることによって，あるいは住宅難の解消の途はひらかれようが，これは労働者階級と資本家との関係にまで発展し，したがって住宅問題の内容が変質してきていることを指摘している。

最後に結論として，住宅問題の方向が，絶対量の不足の問題から，本質的な問題へと移ってきており，この本質的な住宅問題を解決しなければならないところへきたと結んでいる。

このような構成で，この書物ができあがっているが，政策面の追求に，相当力を注いでいるのがみられるが，本質的な住宅問題については，あまり突込んでふれていないため，少々迫力にとぼしいきらいはないでもない。しかし，最近やや忘れられがちになってきている住宅問題に，新しい風を吹き込んだ意味において，本書の刊行には意義があり，その時期とともに，タイムリヒットではなかろうか？

（日本住宅公団大阪支所　寺内　信）

ブロックの防水塗料！
ビニール・セメント・ペイント
ブロックタイト
刷毛又はスプレ塗り　常備淡彩12色
安　価・速　乾・美　麗
水谷ペイント

伊奈のタイル 衛生陶器

衛陶マーク

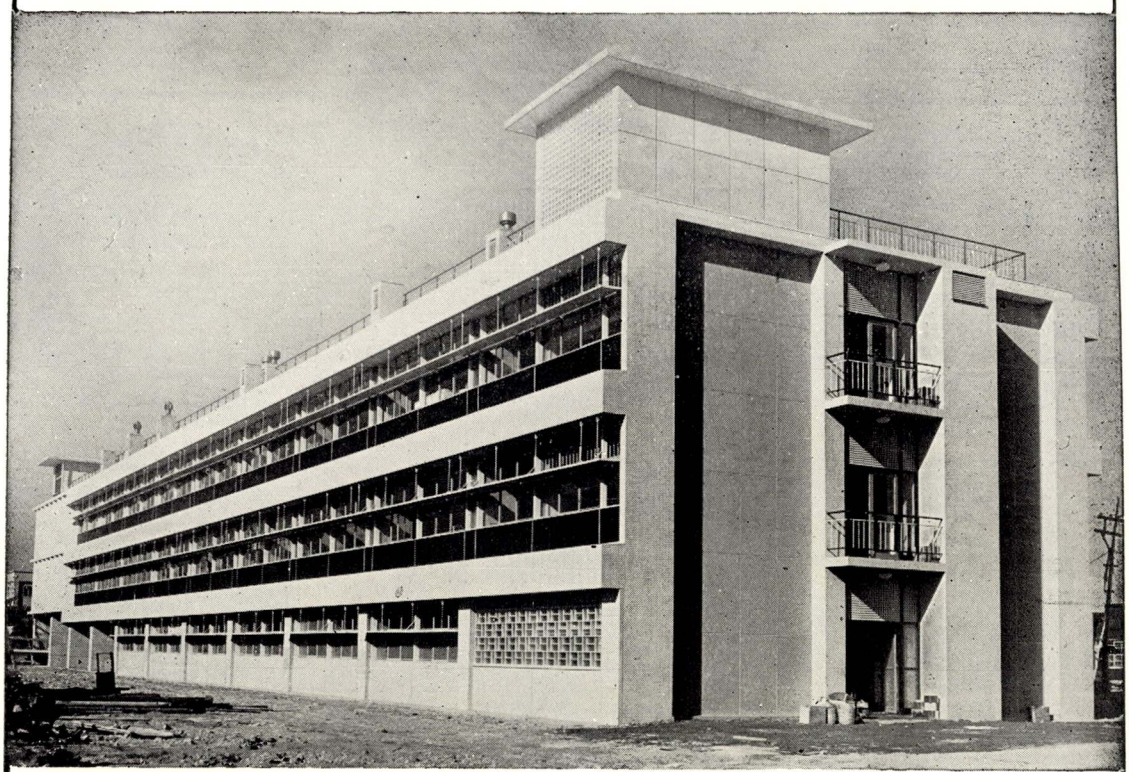
良質と量産を誇る

カタログ送呈

許可番号　第6428号

タイルマーク

衛生陶器はJIS表示の伊奈の製品を



名古屋市大基礎医学教室
設計・市営繕課
施工・大成建設
納品・CC130

伊奈製陶株式會社

本社及工場　愛知県常滑市扇面新田　電　(代) 7 0 0
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2—8　電(551)5261—2·5921

錆びない

岩住の

サッシ・ドアー

オートメーションに依る　ボンデライトを
錆止メ塗装は　焼付塗装を
実施致しまして　完全防錆を
期しています　是非御採用の程願上ます

弊社製品の総てに

尼崎新工場稼動

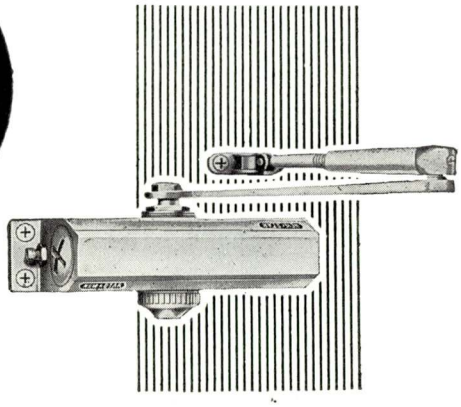
株式会社 岩住鐵工所

本社及本社工場　大阪市西淀川区千舟東二丁目三一番地　電話(47)代表5123・3000
尼崎工場　尼崎市守部字下河原一五番地　電話(40)3774

NEW★STAR

創業大正八年











日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長　出向井啓蔵

本社工場	布施市横沼町3丁目11番地	電話 大阪(72)代表6666－8
製工場	大阪市生野区巽矢柄町222	電話 大阪(72)6669
東京支店	東京都千代田区神田錦町1丁目23	電話 東京(291)1920・4920
福岡出張所	福岡市舟津町1番地	電話 福岡(4)2372・3312
・名古屋出張所	名古屋市中区下園町1丁目5番地	電話 名古屋(23)7361

世界に誇る驚異的建材！

ガスにも熱にもビクともしない！

40年の厂史と最新技術の産物

特許……耐酸、耐アルカリひふく鉄板

オリエンタルメタル

永久建材・超ひふく鉄板

スーパーオリエンタルメタル

新時代にマッチした色つきのひふく鉄板

オリエンタル カラーメタル

美しいアルミ箔 ひふく鉄板

オリエンタル アルシート

型録送呈

責任施工

オリエンタルメタル製造株式会社

本社並工場　尼崎市大物北口　電話(48) 4947~9

東京支店並工場　埼玉県蕨市大字塚越1620　電話蕨 3252~4

支店、出張所　八幡・郡山・名古屋・敦賀・徳島・三原・徳山・延岡・岩国・宇部・川崎

あなたの忠実な…

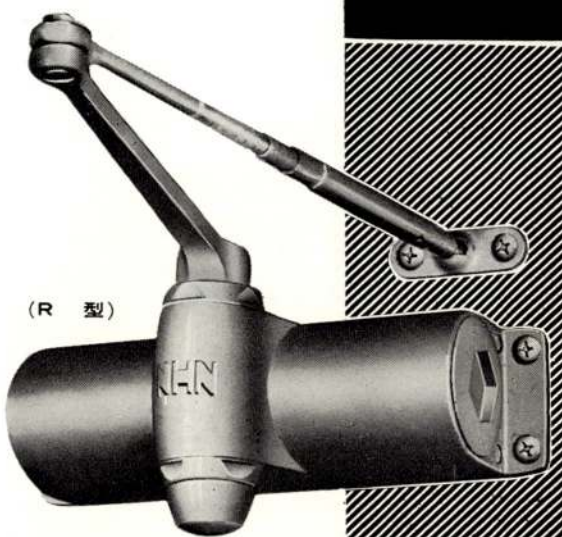
ドアーボーイ！

NHN

＊紫綬褒章に輝く＊

日・米・英・独，各国特許

ニッカナ ドアーチエック



日本金具製作所

製造元 ダイハツ工業株式會社

型状優美

故障絶無

マルエス

永久防水材
ハイダック

特 絶対に裂けない
　 永久に腐らない
長 冷工法で施工出来る

接着剤
ハイダックセメント No,1 ジョイント用
ハイダイン No.2 貼付用

メルタン
ルーフィング

国内の気温較差の著しい所に於ても能くその荷酷な条件に抗して老化せず 特に寒冷地に於ける技術的困難は殆んど解決されたと云っても過言ではありません

特許
ビニエス
タイル

お部屋のポイントは
床材から

明るい配色……
落ちついたムード

マルエスルーフイング製造元

日新工業株式会社

本　　社　東京都足立区千住東町93　TEL東京(888)2101～9
大阪営業所　大阪市西区新町北通1丁目40　TEL大阪(53)5281～3
出張所　名古屋 TEL名古屋(54)9996・広島 TEL中(2)1019
　　九州 TEL 福岡(5)0768・札幌 TEL (5)6885

阪　神　都　市　圏　開　発　計　画

第　1　回　研　究　報　告

1960年9月12日

この報告は阪神都市圏および近畿地域の将来に関係ある官庁，民間指導者，専門家，および市民団体の批判を仰ぐために公表するものである。

政策，調査，計画および実施に関する提案は，日本調査団および国連調査団の専門家が知識と経験を結集した月余の調査および会議の成果である。この調査は阪神都市協議会および大阪市隣接都市協議会によつて主催された。

大阪にて　1960年9月12日　日本・国連合同阪神都市圏計画調査団

1. 序　論

I　ま　え　が　き

アジアおよび極東諸国の地域計画セミナール(注)の主要結論は，国連の任命による専門調査団と，阪神都市協議会および大阪市隣接都市協議会により設置された調査団とによる阪神・近畿広域計画第一期調査において，暫定的結論をだすときの指標となった。これらの指標は次のようなものである。

（1）　工業，農業，動力および交通における現在の人口変動と技術上の変化に影響されて，アジアにおいて農村から都市への人口移動が急激になり，かつそれが一般的な現象となった。今や広域にわたって市街地および農村地において，フイジカルな混乱が発生しつつあり，しかもこれらは，行財政機構および整備において解決しがたいと思われるような問題を提起しつつある。

（2）　経済開発計画は都市農村間の差異および人口流動を激化させる傾向がある。ことに並行して農業開発に対して十分な留意が払われない場合には，その傾向が甚しい。その結果農村における生活状態は悪化を続け，都市に流入する農村人口数は増加の一途を辿り，相当数に上る都市人口および農村人口は，その国の経済的な発展から取り残されてしまうのが一般的である。

（3）　ある場合には，その対策として，農業振興と合わせてコミュニテイの開発と呼ばれる手法がとられてきた。そしてこれは食糧増産に役立つことが多かった。また他の場合には工業化の第1段階として家内工業，小工業が確立され，これらの工業の発展によって長年にわたって製造できなかったような，ある種の消費財を生産することができるようになった。

このようにして人的資源が結集され，開発全般に実質的に大きく寄与してきたのである。これらの人が広範にわたって参加して，それぞれの地方における計画目標の制定，開発方向および開発速度の決定は，効果をあげたのである。

（4）　世界の他の地域における計画と開発の経験が基礎となって，現代の科学，技術が，アジアにおいて，現在の生活よりもずっと快適な生活の物質的基礎を多くの人間のために，工夫し作り出すことができるという考え方が生まれてきた。しかしながら，各国がそれぞれ，自国の経済，天然，人的資源を開発し，その開発のための効果ある計画を，いま，たてることが必要であろう。

（5）　大部分のアジア諸国においては，経済計画および開発は政府の明確なる責任となった。フイジカル・プランニングは，経済，社会および行政計画と並んで正当な位置を占めなければならない。これらは4者が揃って一体となるものであり，かつ多方面にわたる進展を示すものである。

（6）　各種の計画と事業とが一体となるためには，各計画の規模は広域的なひろがりのものでなければならない。広域圏は，国と地方との間をつなぎ，さらに，国家計画と地方の発意による計画との開発事業が均衡をとって一体となるための適切な指標を与えるものである。

（7）　広域圏計画を大都市地域に適用するに当っては，フイジカル・プランニングと経済・社会・行政の諸計画および地域社会開発との調整がとれるような総合的なアプローチが必要となる。同時にこうした計画は，全国的，地方段階における，農村計画とも総合されなければならない。

（8）　都市は数においても規模においても増大するであろう。それ故に新産業の適当な配置と既存都市および新設都市さらに農村地への人口導入とによって，既存大都市圏の経済基礎の強化の手段として経済成長と工業

(注)　ゼミナールは1958年8月，東京において国連技術援助局，エカフエ事務局，国連社会局によってユネスコおよび日本政府の協力のもとに開催された。

化とが役立なければならない。

（9） 国家が経済的に発展し，新技術，原子力を含む新エネルギー源が導入されると，都市化現象と都市の膨脹とは著しくなる。それ故に，産業を分散し，都市機能を合理的に調整することを指導するための広域的な規模における計画と開発とが必要となるであろう。

（10） 長期計画は，現行の投資と開発計画が各年度の予算または，比較的短期間の施行をもとにしてたてられているので，その社会的業績を評価するという立場から定期的に検討，再確定されねばならない。開発の一般的モデルというものはないのであって，個々の事態に対しては，それぞれ独自の解決が必要である。開発に対しあまり厳重な体制はさけるべきである。

（11） 開発計画の全般にわたって，その立案，実施にたづさわるべき訓練をした要員が不足している。

中間的段階の訓練，補習，適切な訓練をうけていない実務担当者の研修などの専門的教育が緊急である。また計画のもたらす恩恵について一般市民を教育啓発することも必要である。

（12） 地元と中央政府との間に，中間機関または他の公共機関をおく必要性が認められた。広域的な立場における行政の形式および技術は，個々の場合達成すべき目的と各国の政治，財政，文化の制度とによってきまるものであるということは，意見一致したところである。同時に，多くの国において，広域的な開発について，国の政策を樹立し，実施するのに効果のある機構が欠けていることも注意を換起した。

（13） 計画に対する認識は，国によって懸隔があり，相違がある。しかし世界の新しく発展しつつある地域と高度に工業化された地域との間には共通した関心事がある。諸国間における協力と，情報，経験，人事の交換交流は，各種の計画のタイミングに関する問題，経済成長と社会発展とのバランスを達成する問題ならびに計画をたて財政措置を構ずるにあたって用いられる適切な指標と適当なる基準を明確ならしめる問題との関連において役立つであろう。

（14） アジア諸国がこのセミナールの勧告を実行に移すことが可能となるように，国際連合ならびに専門機関は，地域計画の諸部門に関する経験と知識の交換，およびとくに研究，評価，教育の面において，顧問の派遣，技術援助を用意すべきであると，本セミナールは考えている。

Ⅱ 経 過 概 要（省略）

Ⅲ 一般結論と実施に対する提案

合同調査団の今回の一般的および特殊的な暫定結論と第二期調査の作業計画とは，4分科会の報告にもとづいたものである。その報告にもとづいて合同調査は日本経済の枠内における阪神・近畿地域の発展の一般的傾向を把握し，さらに将来の発展と計画に資する指針と示唆をえた。ここでそのいくつかにふれることにする。以下にのべるところは，地方公共団体，リージョン，中央各機関にとって遅延することのできない問題であり，かつ正しい事実の認識の上に立って実施することを要請されている問題に対する提案である。4分科会の報告は，真ちに実施することを要請される事項の他に，研究調査すべき幾多の事項，今後一年半の第二期調査の基礎となるべき実施計画を含むものである。

1. 阪神地域は大阪湾に向って開けているが山でかこまれている。多くの企業が地域の主要な部分を占めていて，日本の商工業の中心地といってよく，大阪国際空港という交通の便もある。港湾施設は日本の対外貿易の大部分を吸引している。日本の全人口の約10分の1がこの地域に住んでいる。限られた地域において現在のような経済集中と人口集中がみられる結果，阪神全域は急速に都市化している。しかも，社会的およびフイジカルな環境の悪化，交通の隘路，地価の高騰，水および空気の汚染その他いろいろな経済的，社会問題を惹起している。

2. 本地域の今後の発展，および種々の経済機能の適正な均衡の確立とは次の問題にかかっていると思われる

（a）経 済 問 題

産業は，現在多数の中小企業と少数の近代的な大企業から成立しているが，これは再編成されねばならない。同時に都市圏内にあって，その生活水準を向上させるために，農業においては，高価格品種の栽培をめざして，その再建と高度化がはかられねばならない。

（b）社会および人口の諸問題

住宅地は，阪神都市圏をこえた広い地域におよぶ広域圏の中で工業雇用，文化およびリクリエーション施設およびアメニテイーと関連させて設置されなければならない。

（c）フイジカルな問題

交通，土地，水資源，産業配置，住宅，農業の計画および開発は少くとも阪神都市圏および近畿地方を包括する広域圏の規模において検討されねばならない。

（d）政治，行政問題

行政機関および民間団体による，これらの広域計画および開発計画における協力関係は，阪神都市圏内の市町村の段階に止まらず，京都・愛知・奈良・滋賀・和歌山を包含した府県および中央政府の段階においても樹立されねばならない。

3. いかなる地域の計画，開発も孤立しては進展しえない。それ故，合同調査団は，阪神・近畿広域圏の問題を検討するにあたり，その隣接地域をも同時に考察した本調査団の他の2つの地域の問題を視察する機会をえて，国の政策と利害に関して，関係当局と意見を交換する機会をもちえた。

第2次大戦終了後の15年間における目ざましい経済回復の実現と，今日の日本のもつ経済力からみて，阪神・近畿地域の住民の社会的およびフイジカルな環境を改善する計画と，将来の経済発展に対して強力な基盤をつくり，適切な体質改善を進めて行く計画とに，必要な資源を導きだしてゆく独得の可能性があるものと思われる。

4．以上，主として一般的な問題と提案すべき点についてのべてきた。しかし，協同調整機構を運営して確定的な結果を導きだして行けるような方法が，先ずとられねばならない。選出された人達によって最終的な決定が行なわれ，実施に移されるのが適当であろう。当然この点を考慮に入れつつ，広域計画とその調整に関する一般的諸目標を，中央政府・府県・市町村の各行政体の日常業務にとり入れていくという長期にわたる困難な問題の手がかりとなりうるものとして次の方法を提案したい。

（1） 次のごとき条件のもとに広域計画の中央事務局と研究要員を設置すること。これは行政体および民間団体の拠出金によりまかなわれるものである。

研究要員の機能は，上水道，交通，湾港開発計画などの広域に関する重要な公共問題のそれぞれについて，協同事業を進めうるような合理的な計画を準備し，その執行を援助することになる。近畿の全大学から有能な研究者を集め，必要に応じて国内各地より，あるいは外国からも研究者を呼ぶべきであろう。そして研究の目的は研究のための研究ではなく，政府施策の大きな流れのなかで，継続性のある広域計画に関して具体的な結果を生みだすことでなければならない。

（2） 市町村，府県にはこの中央事務局と研究要員を正式に承認すること，中央政府による正式承認も同様に重要である。

中央政府はこの研究計画に協同し，各種機関の計画，実施計画を上述の広域的計画に関係づけるべきである。また，とくに最も重要な点は，これらの広域的な実施計画に対して補助金体系を結び付けることであろう。この最後の配慮が調査の努力に対し，また協力と調整を達成しょうとする市町村の試みに対し，さらにまた政府諸機関が広域的見地，広域計画とをその活動の重要部門とすることに対し有力な刺戟を与えるだろう。

5．合同調査団としてはさらに（a）交通，（b）産業配置，（c）土地利用計画，（d）土地および水資源の開発と利用，（e）住宅および住区施設，（f）社会福祉の広い分野にわたって，広域圏の最も望ましい開発の方向を設定するために一年半以内に広範な基礎をもつ協議会が組織されるべきであることを指摘したい。これらの協議会は十分に準備され，その検討にあたっては，争点を明確に把握した上でなされるべきであり，すべての利害団体および公私の関係団体は，その見解をのべる機会を与えられるべきである。そうすれば，一般が関心をもっている，これらの主要分野の一つ一つについて，有効な対策を検討し，最も採用しやすい実施方針をきめるのに役立つことになろう。

6．公私の団体（中央政府，府県および実業界）の専門家なり代表者なりによって特別の協議会が開かれて，阪神・近畿地域の計画および開発に関連した行政問題とこの地域における開発事業のための最も望ましい財政の方法と手段を検討すべきである。

7．合同調査団の暫定結論と，専門家，政府職員，民間指導者および民間団体から提出された意見，ならびに上記5.における提案または6.における特別の協議会とにもとづいて，阪神・近畿地域の広域計画と開発の最終的結論が導きだされるべきであろう。一方，両調査団，市町村，府県および中央の公私関係団体は季刊の報告書によって，その進ちよく状況が知らされるようにする必要がある。

2. 土　　地

（1）広域圏土利用政策の展開

阪神都市圏にあっては，比較的僅少な土地に対し，各種の土地利用が行われ，その間に競合が増加しつつあるので，普遍的な土地利用政策が広域圏的規模で展開されるべきである。このような政策はことに産業活動に関して都市化された地域においては両立しえない土地利用を分離させる原則を反映すべきであろう。両立しうる土地利用を組合せることができる農村地域では複合の土地利用計画の原則を強調すべきであろう。この政策は市街地膨脹の過程において空地保存に対し特殊な提案をも包括している。さらにまたこの地区内での主要な交通路と関連して工業地および商業地の拡張に対する規制にも役立つものである。その農村地域にあって，ある種の工業につき，密度，景観，道路，塵埃処理が規制され，また必要な住宅団地や商店地区がつくられ，一部私企業によって補足された公共施設がそのなかに設けられるならば，この種の工業をうまく分散することを奨めるものでもある。それは都市化された地域内における土地および水の保全に関し，はっきりとした諸原則を規定するものであり，これは地域内の全社会によって守られるべきものであるそれは土地の諸性能および広域的諸条件を正しく評価することに基づいている。それはまた都市地域およびことに都市化した地域の地域制につき，もっとも理想的な標準をできる限り正確な方法で述べるべきである。またもっとも重要なことはこれが広域圏内の協力の基礎となるものとして，また上述の諸目的を達成する上にのぞまれる国家的立法の基礎となるものとして，また上述の諸目的を達成する上にのぞまれる国家的立法の基礎となるものとして，確固たる意図の表明とみなされるべきである。

（2）土地利用と土地取得

a　前記の通り，広域圏内の土地利用についての一般的な政策に加えて，土地保全の計画を進展させてゆく措置が大切な問題となる。これは土地の賢明な利用，自然災害の防止，天然の風景美の保存，ならびに長期にわたる広域圏の福祉の増進を助成してゆく水資源の保存と大気汚染の防止の計画と関連する問題である。

b．埋立地造成計画は，都市圏内の土地の需要とその性格とに基づいて，慎重に検討されるべきである。現状では多くの埋立地は工業用地として保留されているが同時に住宅用地としての利用が可能かどうかについても検討されるべきである。埋立地に建つ低収入階層の公共住宅および高収入階層の高層アパートはともに，地盤沈下対策問題，交通混雑緩和，スプロール地区の整備ならびに海岸の保存に役立ち，リージョン内の全市民の便益を増すことになろう。

c．最近発生している地盤沈下の急速な進展をみれば，地盤沈下問題は緊急にして，最も注目すべき問題である。この問題は，広域圏的な立場から検討すべきものであって，目下，海岸線に沿って進展している大規模な埋立地とも関連し，また多くの沈下地域内における工業地下水の現在の利用状況とも関連して，検討すべきである。建築物の基礎の沈下をある程度防止しうるような建築技術の研究も望まれる。

（3）公共事業に必要な土地取得

公共目的のための土地を効果的に取得することが困難な状態にあることからみて，その取得を促進し障害を排除するために，次のごとき対策が検討されることが必要である。

（a）　土地取得申請と同時に権利を取得するように法律の規定を改正し，土地が取得された後補償価格を決定する。これによって公共事業は補償の決定を待たずに遂行しうる。

（b）　補償価格は手続開始の時期にすえおき，その価格は改良事業後もしくはそれにもとづく値上りを受けないよう配慮する。

（c）　地価算定がすみやかに，かつ科学的に決定されるように評価専門職の養成をする。

（d）　収用委員会の裁定期間が一定期間内に限定されるようにその短縮について配慮する。

（e）　都市再開発計画において，有所者の大部分が，収用価格と計画に同意した場合には，強制買収を認めるように法律を準備することが望まれる。現行法によれば，全所有者の同意に依存しており，所有者の大部分の権利が無視されてしまうことがよくある。

（f）　公共事業の遂行にあっては，土地投機を制限し，周辺地区を改良するために公共機関に超過収用地と事業完成後に超過収用地の売却の権限を与えることを検討する必要がある。

（4）関連問題

（a）　地価の再評価は2年以内ごとに行ない，適正な課税額を決定し，さらに土地税制度を改正することによって，地方公共団体の自主財源の増額をはかり，あわせて土地の投機的傾向を抑制すべきである。

（b）　土地の不法占拠により，公共事業の進展が遅れあるいは健全な発展が妨げられている地区について，次の事項の調査研究を行い，その土地に最も適した発展のための土地利用計画を準備する必要がある。

土地の所有および権利関係とその性質の実態ならびに不法占拠者の職業および収入についての調査がなされるべきである。

つづいて不法占拠者を収容するための地区内外にわたる住宅計画とともに，その土地環境に最も適した再開発計画が立てられるべきである。

3. 商工業の発展

（1）経済発展のための諸方策

本広域圏の経済発展に対する有効な政策への基礎的条件として，日本全体との関連のもとに，広域圏の経済的性格，傾向および諸計画について全面的な分析がなされるべきである。この研究によって，経済企画庁立地小委員会の案も，現地の実情を十分勘案して検討されねばならない。この広域圏のためにどの新しい工業が適切であるか，どのような小売・卸売・金融機能が適切であるかまたどんな誘因が経済活動の今後望ましい形式を確立しうるのか，などを決定するために，こうした研究が試みられるべきである。

広域圏の経済構造の変化に従って，経済活動の適正配分やバランスを確保する諸対策や失業労働者の再教育，再雇用を促進する諸対策について，上にのべた研究が望ましい。産業配置からみた特殊課題として，地方自治体が税収をあげるために競争的に，乱雑な工場誘致を促進する結果になっている税制について再検討をする必要がある。

（2）技術研究機関の設立

研究施設の改善が必要とされる。それによって経済活動における革新のポテンシヤリテイは最も有利になりうる。圏内にある既成研究施設をさらに強化するとともに主要な技術研究所の設立が奨励されるべきである。ここにいう研究機関は，産業および関連問題を扱うのみならず道路工学，交通工学ならびに都市計画のような公共問題を研究しうるものとする

（3）中小企業のための商工業団地

工業団地および商業団地が統合されるべきであり，場合によっては，荒廃地区のクリアランスとか再開発によって行われてよい。これら団地は，トラック施設・公益

施設・貸ビルをそなえ中小企業に対する経営・事務サービスの共同利用や融資の便をはかりうるものである。これら団地が，現在特殊な経済機構を発揮している区域にそのまま立地するか，あるいはさらに適切な場所に移動してつくられるかは上述の経済的分析の結果による。しかし，工・商業の再開発は，住宅群の大量移動をさけなければならない。場合によっては，住宅および関連施設は，これら商・工業団地の中に一体的に設けられるべきだろう。この団地開発は，私的，公的活動を組合せていくことが要求される。

4. 交　　通

（1）広域圏における交通の調整

交通は経済発展と地域計画の中心をなす。阪神および近畿地域内の主要な交通機関の調整が重要である。この調整のためには，国，広域圏，地方の諸団体による私的公的な活動が必要である。広域圏交通機構は，この調整を達成するひとつの手段として考慮されるであろう。設立される場合，この機関はいろいろの形の組織が考えられるが，交通機関の今後の開発立案を行ないうるものとし，湾湾，空港，高速度鉄道，専用高速道路，駐車場，トラック・バス・ターミナルおよび関連施設を含むものである。こうした機構設立の決定は政府機構の再編成に関係した種々の提案に照してのみなされるべきである。

交通機関の調整は，当圏域内交通の経済的，社会的および施設的な要件に対する徹底的な調査に基づくべきものである。この調査は自動車交通の急激な変革と自動車および大量輸送機関の相対的な役割についての政策の確立に主要な注意を向けるべきらである。

（2）港湾開発の地域開発に対する関係

港湾の開発は，他の交通機関および工業用地その他の埋立計画と関連し総合的に行われねばならない。港湾に接続する土地にトラック輸送用の施設および倉庫施設をもつことの重要さが増大しつつある。港湾施設はさらに増大する需要に応じうるものを持たねばならない。港湾の将来計画は，阪神港湾区域のそれぞれの部分がその機能の重複を避け，かつ，施設の専用化を促進するようにしなくてはならない。

（3）大量輸送機関の改善

職場や関係先への往復に大量の人々を輸送するためのより有効な組織を確立するためには，大阪，神戸市内で，各郊外電車線の相互連絡や他の大量交通機関の近代化および拡張が必要である。

（4）自動車交通の増大にともなう施設

（α）トッラクターミナル

貨物取扱い施設の総合的計画のためつぎの諸施設が必要である。

鉄道をふくみ，ピギーバック方式のような作業を考慮した場所をもつ荷物施設。

小口荷主に対する1またはそれ以上の総合トッラクターミナル。

阪神都市圏内の周辺部に，大規模トッラク業者が設ける専用トッラクターミナル。

（b）路外駐車場および路外積卸場

中心部に新しく建てられる大建築物は，業務用に所定の路外駐車場を必要量だけ設け，また，必要な場合，トッラク輸送に対する路外積卸施設をそなえるよう建築法規と地域制の双方から規制しなくてはならない。

（c）新たに建設される道路の沿道制限

広域圏内の市内および都市間の新しい幹線道路については，沿道制限をすべきであって，そのための一般原則を確立すべきである。

5. 水　資　源

（1）　近い将来の水不足のおそれと，水資源利用の広域調整のむずかしさからみて，水資源開発と合理的利用をはかるための広域計画を調整し，それを執行する広域機構の設置を接衝することを，できるだけ早くはじめなければならない。ひじょうに多くの管轄区域に分れているので，広域的要件に最も有効に応ずるように各種の協同の方式をさがしださねばならない。

（2）　広域圏全体の今後数十年にわたる経済上ならびに人口上の性格の変化と水需要の地域的な分布とを考え合わせて，できるだけ早く水資源と需要の調査を行なうべきである。

（3）　利水計画と開発のモデルとしてもさらにまた淀川琵琶湖計画事業についての早期意見の一致をうるためにも総合流域開発計画の原則がとり入れられなければならない。この方法によって，上水道，洪水防禦，船の航行，土壌および水の保全および灌漑の問題は，今までのようにばらばらではなく同時に解決することができる。

（4）　地盤沈下区域内とその周囲においてとくに地下水を有効に利用させるため，国の法律を付加することが望ましい。現在の法制では，地方自治体は地下水の汲上げを規制し，過度の使用を抑制する手立をもたない。

（5）　とくに工場が地下水に依存しており，地盤沈下が重大問題となる地区に対して，代替水を供給して沈下を防ぐよう，工業用水道の建設が促進されなければならない。

地盤沈下はそれによって緩和されるであろう。

6. 水および大気汚染

（1）　河川，運河の水および海水の汚染を防止し，広域圏内の若干の運河の浄化に現在必要となっている淡

水を保存するために，下水道網と処理施設の増加が必要である。

（2） 大気汚染管理のための新規なまた一層効果のある技術の研究が必要である。市町村は1947年地方治法によってすでに与えられた大気汚染管理に関する権限を一層効果的にまた熱心に活用するよう勧奨さるべきである。

（3） 用途地域の指定は，工業地域による悪性ガスとスモッグの被害を減少するように計画すべきであるとともに，住宅地は大気汚染の影響圏からはずれるような位置に計画すべきである。

7. 住宅政策および住区施設

（1） 中央政府の政策はすべての各世帯が上品な環境のなかにある質のよい住宅に入れるようにすることを目指すべきである。しかも，その経費は大部分中央政府が負担すべきである。そしてこの目標が一定の期間内に達成できるように，具体的な計画を立てるべきである。

（2） 民間企業の賃貸住宅や分譲住宅が，一般世帯の負担しうるような価格で供給できないような場合には，政府が代って住宅供給の責任をもち，各世帯が各自の負担能力内で住宅に入れるように，融資や補助金をだすべきである。

（3） 阪神都市圏のような歴史のある地域においては，零細な住宅，過密居住，住宅不足，高家賃等は勤労者の能率を低下させ，産業の健全な拡大，ひいては都市ならびに広域圏の健全な成長をも阻止している。同時に土地建物の価格が高いことや郊外地にスプロールが発生していることは，通勤時間を長びかせることとなり，また各市町村の社会的，財政的，およびフイジカルな諸条件に影響をおよぼし，広域圏は無秩序な形態をつくりだしている。

（4） 現在の国の住宅政策は，この目的に対処し，その条件を改善するためには，適切でない。このことが認められ，政策が強化されねばならない。年度毎の確定した目標が公表されねばならない。その目標は，住宅の量的需要にこたえるものであるだけでなく，各収入階層の住宅需要に適合するものでなければならない。

（5） すべての悪化地域について，地区の清掃，改造等の事業を実施するのに必要な資料を明らかにするために，居住者の生活条件，居住世帯数，収入，占有面積，密度，老朽度，その他必要事項を調査することが必要である。

（6） 低収入階層に対しては，この階層の経済力の範囲内で，適当な住宅供給ができるように，融資，補助金が支出されなければならない。

（7） この計画においては，賃貸住宅のみならず，できうれば分譲住宅も考慮されなければならない。その場合，低利にして長期償還の融資によって住宅の購入ができるようにしなければならない。

（8） 同時に，中産階級に対する現在の住宅計画が増強されるべきである。この場合，賃貸住宅のみならず，分護住宅をも増加するように計画されるように計画されるべきである。そして，居住者の収入がまかないうる条件に合うように国庫補助金がきめられるべきである。

（9） 既存住宅の老朽化を防止，適当な状態に保全されるように，住宅の修繕がゆとりのある条件で計画されることが必要である。多くの場合，わずかな融資があれば既存住宅の質が向上するのみならず，近隣住区もよくなり，現在一部は悪化しつつある阪神都市圏の各市の状態が改善される。同時に，建築物の所有者に対してその建築物の維持保全を法律で強制することが大きな問題となるべきである。私道は必要な場合には買収して，その舗装をし，必要な施設をほどこすべきである。

(10) 低質な木造住宅とか一時しのぎの住宅とかは，長期でみれば，不経済であり，経費もかかるので，これを建設する現在の計画をやめて，恒久的な耐火性の住宅の建設計画に変更する。

(11) 中心都市のみならず，周辺都市においても質のよい住宅の建設を進める計画がたてられるべきである。中心地域では，1ブロックの小規模な計画もたてられるべきであって，職場への通勤が遠くなるのを防ぎ，既存の学校やコミユニテイ施設を合理的に利用すべきである。

(12) 住宅需要は，広域圏的な立場から定期的に推計されるべきである。そして，中央政府，府県および市町村の3者による計画は，責任をもって3者の間でもっと合理的に割当がきめられるべきである。各都市は，市内の計画について，その建設と管理とについて責任をもつべきである。

(13) 住宅事業計画は道路，下水その他の公共施設との関連において行なう必要がある。したがって個々の機関が各自勝手な目標を遂行するのではなく，共通の目標を目指して行われねばならない。

(14) 公共資金による住宅事業はすべて，自らの環境を創りあげるようなコミユニテイの建設を目指さねばならない。あるいは，既存のコミユニテイならば，適当な学校や商店，交通機関，娯楽機関などの公共施設をもつ健全なものとなるように強化することを目指さねばならない。

(15) 公共資金による住宅事業計画は，収入面でも社会面でも，単一階層ではなく，広く各種階層を対象にして行なうべきである。またこの目的を達成するためには，現在よく行なわれているような土地開発や住宅計画の場合には，とくにこの点を注意すべきである。

8. 行　　財　　政

1. ジョイント・プランニングの阻害条件の除去

国は府県および市町村間の協力関係を促進し，かつ現在これらの協力関係を妨げる法上ならびにその他の阻害条件を除去するよう努力すべきである。

この目的を達成するために，次の諸手段が検討せられるべきである。

（1） 市町村および府県間の協力関係を助長することを主たる目的とする地方自治法の改正。ことに府県をことにする市町村間ならびに府県と市町村間の共同行動を容易ならしめる点に，特別の考慮が払われるべきである。これらの場合における協力体制は，現存する法律ならびに諸条件のもとにおいては，きわめて困難である。

（2） 特別行政機関その他特殊な行政機関の設立は，現行地方自治法の規定のもとにおいても，全く不可能というわけでもない。しかしながら，それは，決して容易ではなく，かつ通常は特別立法を必要とする。これらの制約条件は，緩和せられるべきである。もっともこの場合，このような特別機関を設立することの決定は，その必要性についての調査と，その権限・地位・存続期間についての慎重なる考慮に基礎づけられることが重要である。

（3） 現在に至るまで国庫補助金は，明確な重要度もしくは政策にもとづいて，配分せられたとはいうことはできない。もし都市圏計画ならびに広域圏計画が意義と効果とを有すべきものであるならば，国庫補助金は，都市計画，水道，下水，交通のごとき問題に対し，一貫した基準と政策との関係にもとづいてなさるべきである。国庫補助金は，府県ならびに市町村の協力を積極的に促進するよう配分されるべきであり，かつ可能な限り，必要性との事業についての客観的基準にもとづいて配分されべきである。

（4） 中心市は都市圏ならびに周辺広域の発展に対し，指導的役割と主たる責任を負うべきであるがゆえに，その境界をこえる問題，たとえば施設計画，産業配置，住宅，レクリエイションなどを処理するために，ある程度の区域外にわたる権限を与えるべきである。しかしながら，この区域外にわたる権限は，恣意的に行使せられないよう規定がなされるべきである。

2. 財政上の制限の緩和と地方公共団体の財政的地位の強化

日本における地方公共団体は，財政ことに起債について，厳重な規制のもとにおかれている。この結果，地方公共団体は，増大する行政需要に見合う多くの公共投資をなしうる地位におかれていない。この制限は，緩和さるべきである。ことに収益を期待できる公共施設，たとえば地下鉄，高速道路，水道，下水の建設など，もしくは地域社会の経済的ならびに社会的発展に対し，きわめて重要な公共施設の場合において，とくにそうである。

3. 広域行政に対する明確な政策の確立

中央政府は，広域計画について一貫した，もしくは包括的な政策をとっていない。ただし東京の場合における首都圏整備委員会の設立は別であるが，それは現在の問題に関連するところはない。この結果それ以外の地域は，体系的な広域計画および行政のための政策的指導もなければ，規制された施設をも有しない。明確な国家政策の確立がとくに望まれる。

4. 都市圏計画ならびに広域計画に関する市町村の協力体制の促進

阪神都市圏及び近畿広域圏において，市町村間の協力体制ならびに可能なる場合においては，連合体制が奨励せらるべきである。完全なる連合体は，発展せしめられるには，ある程度の時間を要するであろう。したがってそれは，長期計画目標とせらるべきであり，一挙に実現せられるものとはみえない。しかしながら，それに至る中間段階が，広域圏内において，ことに阪神のごとき大都市地域においては，協力関係と共同行動を強化するためにとられうるし，またとられるべきである。これらの段階は，市町村の区域を合理化し，道路の建設，維持，住宅，水道，港湾開発などのごとき共通問題を処理するための特別な組合を組織し，かつ早晩これらの種々なる型の協力体のために活動する共同事務局を設立することを含むであろう。インフォーマルな編成から完全なる連合体に至る上述せる種々な協力関係は，現在われわれが検討している問題によって影響を受けるような，阪神都市圏および近畿広域圏内の多くの行政区域を包含するように，あらゆる場合において柔軟であり，かつその構成員について開放的であるべきである。

5. 阪神都市圏問題に関する両協議会の完成と拡大

阪神都市協議会ならびに大阪市隣接都市協議会は，広域計画と協力との方向における希望にみちた前進であるしかしながら，その構成員は，都市圏ならびにその周辺地域の諸問題を効果的に処理するためには，なおあまりにも限定されている。両協議会は，その構成員ならびに協力計画の中に他の市町村ならびに府県を招請し，かつ包含するような積極的行動を起すべきである。

6. 調査ならびに市民啓発についての計画の支持

効果的な広域計画は，民主社会においては，賢明にして関心を有する公衆なくしては，実現せられえないし，また都市化され産業の高度化された人口のもつ複雑なる諸問題を眼前にしては，継続的なよく組織され，十分な財政的裏づけのある調査の助けなくしては，成功しえない。これらの諸条件を満足せしめる手段を発展せしめることは，きわめて重要な事項である。

分科会研究報告　I（附録）

日本・国連阪神都市圏共同委員会

第一分科会　土地・大気・水資源（省　略）
第二分科会　交　通・経済発展（省　略）
第三分科会　住宅問題・住区施設（以下所載）
第四分科会　行　財　政（省　略）

住宅問題・住区施設

問題点

戦後における世界の多くの国々と同様に，日本においても工業化と都市化の進展にともなって，一連の病理現象が同時にしかも並行的に現われつつある。

（1）都市への人口流入が増大している。

（2）住宅が不足し，民間ないし公共企業による住宅供給が住宅需要をみたし得ていない。

（3）不良住宅が密集し，不良住宅に居住する世帯数はかなりな比率におよんでいる。

（4）膨脹する都市の内外には，不法占拠が行なわれ，一時しのぎの小屋が現われる。

（5）収入と住宅建築費との差異は大きく，ことに低収入階層の場合は甚だしい。

（6）住宅事情に直接，間接起因する社会病理現象が数多く現われる。

（7）中核市街地の土地利用は極度に集約し，時には混乱さえみうけられる。

（8）工業，貿易，住宅，公共施設，運輸，レクリエーション，農業，林業およびその他の用途の土地需要が相互に激しく競合しつつある。

（9）都市化地域は次第に都市をとりまいている土地に拡大してゆく。

(10) 土地投機が激しくなるにともなって，地価の急激な騰貴が起る。

(11) 土地の利用および統制と土地開発において，数多くの行政単位の間に管轄区域上の矛盾が発生してくる。

(12) 工業，人口，貿易，輸送，教育，その他の施設の新らしい需要に適応させるために，公益ならびに公共施設の要求が高まってくる。

(13) 発展が芽生え始めた都市地域において，工業の面からも，居住の面からも，また社会面からも，土地，住宅あるいは施設に対する需要が起り，これを処理してゆくために行政上の計画が拡大され，あるいはその拡大が差し迫まった問題となってくる。こうした病理現象は他の国々でも同じような形であらわれているが，その治療ということになると，程度も違い，影響も異なる。国によっても違うのみならず，ひとつの国でも地方によって異なる。阪神地方はこの地方特有の問題をもっている。その原因と関連性とは全国的なものであるものもあり，地方的なものもある。大阪府および兵庫県の住宅不足数は1955年に約343,000戸であった。過密居住が極めて多く，住宅の大部分は木造であり，火災の危険がある。住宅不足は1955年以降減少しつつあり，ひどい戦災による損失もつぐなわれつつあるにもかかわらず，依然として住宅不足数は300,000戸の多きにおよび，さらに低収入階層の住宅は質的にも不良化して複雑さを加えている。世帯数約の21%は，危険ないし不健康な居住状態にある。仮小屋が大阪市に約5.500戸，神戸市に4.300戸あるが，その居住者は，絶望的になって，公共用地や私有地を不法占拠して，そこに古木材や屑鉄板で一時しのぎの小屋を建て，この小屋から追い出されるのを拒否していることがよくある。同時に，阪神地方では人口増加が新らしい住宅の需要を増大しつつあるが，低収入階層の世帯の経済事情ではこれをみたしえない。社会的，経済的ピラミッドの底辺におけるこのような低収入階層の無力さは，その苦境を示すものであるが，住宅需要を十分にみたすことができずにいる。その結果不十分な公共的な救済を争い求めることになっている。阪神地方で，低収入階層のために建設された公共住宅の戸数は微々たる数である。一方，阪神地方での民間企業はどんな家賃の借家も，その供給はあまり進んでいない。こうした事情から住宅不足はこの地方の中産階級にも同様に波及している。阪神地方において土地利用にあやまりがみられ，また適切な土地利用計画を欠くことは，事情をさらに複雑にしている。この間にあって土地投機が進み，地価を連続的に上昇させ，5倍ないし10倍にも騰貴させ重要な住宅，公益施設，工場および公共施設の建設を困難ならしめている。

目標の設定

日本には，国家的にも，地方的にも，多くの住宅機関と住宅計画とがあって，これらの問題と取り組む努力をしている。日本住宅公団が1955年に設立され，民間企業ではその需要がみたされていない中産階級ないし，それ以上の階層の世帯に対して大規模な計画を実施している。日本住宅金融公庫は，過去10年間に主として個人および会社に対して約700.000戸の住宅資金を融資してきた。低収入階層に対する賃貸住宅の建設が補助金を得て小規模に計画され，また幾つかの計画が困難な事情のもとによかれあしかれ進められている。しかし阪神都市圏についてみるならば，事業は要求をみたすところまでいっていない。需要を総合的にみたすように計画がたてられているのでもなく，また最も重視されるべき優先的な需要について計画されているのでもない。住宅事業の中

には称賛すべきものも多いのであるが，建設される住宅は敷地の狭いものが余りにも多く，基準の低いものも多い。さらにまた耐用年限の短いものも多い。これらの住宅はほとんど，広域的な発展とか，合理化の計画とは何等の関係もなく建てられている。職場から遠く離れすぎているものも多く，大部分の住宅は適当な住区施設もなしに建てられている。低収入階層の住宅需要は非常に大きく，公営低家賃住宅の申込者数はいずれも約50倍におよんでいる。要するに，問題を処理する計画はたてられているのであるが，その規模の点でも，また，方法の点でも，要求をみたしえてないのである。こうした事情をひき起している原因の中には，土地問題があり，適当な資料や調査の不足があり，また，問題を処理するのに欠くことのできない権限の不十分さがある。

中央政府が現在，住宅の大規模な国家計画の着手を重視してきているので，このような問題をうったえる目標を検討するよい時機がきたように思われる。このような計画は国家的な目標に従属的なものであるが，阪神都市圏が，全体としてあるいは部分的に国家的な目標をあらわすとならば，着手すべき目標と考えられる事項は次の如きものであろう。

（1） 全階層にわたる住宅計画―民間企業が可能な場合にはこれにより，それが不可能な場合には公共の建設ないし助成による。

（2） 公共融資の適用範囲を拡げて民間の住宅建設産業が質的にも量的にも向上するよう奨励する。これは賃貸住宅や分譲住宅の建設のみならず住宅資材の最高度の利用にもおよぼすようにする。

（3） 公共的な助成によって低収入階層に対する適切な規準の住宅計画を優先的に進める。

（4） 過密居住，不良環境，不良地区生活を減少させ，危険家屋，仮小屋および不法占拠小屋を清掃する。これはその居住者に対し，代償として十分な保証を与える計画の一部として実施するものである。

（5） 修理し得る住宅をすべて修理し，既存住宅の早期腐朽化を防止する。

（6） 住宅供給は，賃貸，分譲，共同所有の何れをも全く自由に選択しうるように計画し，賃貸住宅の計画においても，購入の機会を与えるようにする。

（7） 住宅，学校，レクリエーション，公道，施設に十分な土地をとり，人間が生活し，働らき，余暇を楽しみ，子供を安全に，そして，上品に育てあげることができるようなコミニテイをつくるようにする。

（8） 職場，学校，レクリエーションや遊戯場への往来が適切でしかも安全であるようにする。

（9） 以上の目標を遂行しうるようにするために，適当な立法，行政計画，財政および補助金の措置をとる。

目標の遂行

もちろん目標をたてることは，それを遂行することにより容易なことであるが，日本は荒廃に直面し，フィジカルに限定されながら，しかも民主政治制度の日も浅い中にあって，戦後の目ざましい復興をなしとげたことは経済的な目標の達成をおし進めてきたのと同じ熟練さと威厳とをもって，社会的な目標をも達成しうるものと思われる。これらの目標が承認され，その指示が得られるならば，これらの目標を民主的な手段で達成し，自由な民主社会の範囲内でやりとげる計画の検討が，その目標に向って第一歩がふみだされるであろう。阪神都市圏の開発問題と関連して，調査研究を加えるべき計画は次の通りである。

I 住宅計画

検討すべき事項

（1） 阪神都圏内における不良地区と該地区における生活について社会面ならびに経済面の調査，さらに疾病，早期死亡，少年犯罪その他の社会病理の調査を直ちに着手し，その調査結果を公表する。

（2） 阪神都市圏における各不良地区について，各戸に対する水道，上水洗便所のみならず，下水道，学校道路舗装，電気その他の重要な施設を設けることによって改良することが可能であるかどうかという観点から，フィジカルな現況の調査分析をする。

（3） 不良住宅の改造ができない場合には不健康な不良地区を清掃して居住者に新らしい住宅を供給する。

（4） 低収入階層の世帯を安全にして，上品な，衛生的な住宅を供給する長期住宅計画に融資金および補助金を認可するように法律を制定する。このような計画は，想定された住宅の年度計画が融資金と特定財源について，中央政府によって承認されるとともに，地方機関の手によって，できるところではどこでも遂行され，管理されることを包含するものである。

（5） 融通性のある年々の認可に役立つように融資金を準備し，（補助金の代りに）計画の範囲を拡げるように財政機構を改訂する。

※公営住宅の財政については，技術的に過ぎるのでここでは述べられない。しかし日本で現在とられている国庫補助金制度では，年々の限られた住宅戸数しか建設できない。指摘しうると思われることは，計画の全経費に対して公共的に交付されている融資金が予算額以外から補給される赤字（その時々に決定される）をともなうということである。

（6） 中心地域と周辺地域との再地域における住宅の建設に対して準備する。中心地域では既開発敷地での3，4階建の小規模住宅団地に重点があろう。この場合は移転は最少限ですみ，しかも移動させる世帯数の数倍の

世帯を収容しうる。

（7） 周辺地域では，レクリエーション施設とか商店等のない孤立した小規模な低層の賃貸住宅の集団を建設している現在の事業を変更して，自分の環境を造り出してゆく総合的な能力のある機能的なコミュニティとなるようにする。

（8） 周辺地域では現在は住宅とか工場がばらばらに建設されているに過ぎないが，周辺をとりまく単なる工場都市とか住宅都市とかにならないように適切な指導と財政的誘因によって収入も職業も幅のある階層の人々に対して立派なコミュニティとなりうるように工場，住宅ないしコミュニティ施設を付加してゆくことを奨励する。現在一部は農業地であり，一部は工場地ないし住宅地である地域においては，施設が農業人口の生活と関心とを全コミュニティの生活と関心の一部として積上げてゆくような方向で計画され，目標が定められるべきである。——学校でも，社会，コミュニティの事業でも——

（9） 住宅計画は道路，学校，排水その他の施設の計画と調整させて，それぞれの個々の機関の孤立した目標とならずに，共同で定められた目標に合うようにする。

（10） 住宅計画は，住宅と職場，職場と住宅との関係が適当になるように局地的な立場からでなく，広域圏的な基礎に立って進める。このような住宅建設は，市が建てられるところに住宅を建て，広域圏的な関連性が完成し，合理化されるのに必要なところに府県とか中央機関とかが建てることによって進められる。

（11） 低収入階層のための住宅は，木造でなく，耐火構造のものを建てる。

最初に耐久性のある住宅を計画することは長期間でみればずっと経済的である。

（12） 住宅が不足している間は，クリアランス事業を制限して大量の世帯を移住することは差し控える。

（13） 道路，住宅等のごとき公共的改良事業にともなう世帯の移住に対しては公営住宅への優先入居を認める。

（14） 低収入階層に対して賃貸住宅としてもまた分譲住宅としても供給しうるように財政計画を準備する。調査団が調査した不良住宅地区では，多くの不良住宅が荒廃し，評価もほとんどないにもかかわらず，低収入階層の居住者が家賃の代りに支払っている抵当権のためにそれを買いとっていることが判明した。このことは収入に応じた融通性のある利率で，長期間の抵当によって買取価格の90～100％の融資をすることによって達成しうる。他の国々で採用されている二者択一的な方法は，一定の期間の支払が完了すると所有権が与えられる〝賃借買取〟契約である。

（15） 日本住宅公団による建設計画に土地の一部を公共機関に売却し大規模な団地の内部で，ここに公共機関が補助金による住宅を建設できるようにし，あるいは公共住宅の計画のなかに低収入階層のための住宅を相当戸数特別に保留して低収入階層のため住宅を計画する。この方法によって現在の単一階層のコミュニティの建設という傾向はさけられうる。

（16） 市，府県および中央政府が改良計画の全体を包含するように，さらに適当な計画機関の設立を考慮すべきである。

（17） 工場労務者の住宅問題を研究し，他の問題とともに次の事項を決定する。工場労務者の要求は十分にみたされているかどうか，あらゆる場合に最低収入労働者に対する配慮がなされているかどうか，適当なコミュニティ施設が建設されているかどうか，不公正な事業がもしあるとすれば，排除されうるかどうか，どれだけの住宅が居住者に分譲しうるかどうか，労働組合を住宅建設にあたって現在の計画に適当な財政的援助のもとに協力させることを契約させることができるかどうか。

（18） 建て増し住宅計画の準備をして，労働者のために最小限住宅または〝コアハウス〟を建設して，これを労働者が支払いうる価格で分譲し，労働者はこれに自分の所得の許す範囲で垂直または水平に建て増しをしうるようにする。

※発展する組立式のコテの可能性についての研究もなすべきである。

（19） どの住宅も保存に値するように保存することを奨励するために，気乗りするような条件で，既存住宅の修繕に対する計画を準備する。多くの場合，適当な利率で僅かな融資があれば，広範にわたって住宅の状態を質的に向上させてゆく結果となりうる。悪化地区における小さな商店や商業発展の近代化に対しても融資の形で奨励が推進されうる。

（20） 適当な期間，経費の75％を融資することによって民間資本を民間の住宅開発に投入させることができるような計画を準備する。同時に他の国々における協同組合的な住宅，年金とか，他の資金を融資金にもっと利用することや，建築物に対する貯蓄の拡大をさらにもっと適当な政府の勧誘による融資組合について研究すべきである。

さらに日本住宅公団や府によって建設される住戸単位を居住者に売却することの可能性についても研究する必要がある。

（21） 住宅問題と住宅の財政をとり扱う中央機関の現在の機構について住宅計画および都市発展に関係する国家機関とさらによく協同し，あるいは統合しょうという観点から検討を加える。これはできれば内閣内で考える。

（22） 阪神都市圏における建築および用途地域の法

律について，その近代化という観点から総合的な研究をする。

工業，商業，住宅に対する地域をさらによく準備し，建築物の後退の準備をし，容積，高さ，建ぺい，密度，非限定用途，占有その他建築物の形態を統轄する計画の全般的な改良をする。ここで現行の地域制の法規を検討し，国および地方の所管行政体のそれぞれの権限を検討し，市町村における慣習で，より多くその裁量にまかされるところでは，とくにこれらの検討を加えることを含むべきである。

II　阪神地域における土地問題

阪神都市圏の広域的な発展や市街地の発展を最も阻害する局面であり，適当な住宅供給や最も重要な公共施設の計画のあいろとなって現われてくる問題は土地問題である。土地取得ができないということはひとつには計画の貧困さに起因するが，ひとつには公共の目的のための土地取得における法律とその手続のおくれによるものである。土地もなく，また土地を取得する権限もなしには十分な計画は遂行することはできない。このような形での進展は，現にみられるように土地所有者の同意にたよりつづけ，あるいは所有者のわがままのために，現在の機構がうまく動かなくかなくなってしまう。一方なんらかの公共の目的のために土地を取得する権限は法律によって与えられているが，それは十分広いものでもなく，また有効に利用されてもいない。この両者の障害は一部は個人の権利と公共の目的のために行使することを引き受けているコミュニティの権利とについての思想的な混乱に起因するものであり，一部は手続きがやつかいなことによるものである。公共の目的のために不動産を取得する権限は，民主的な制度下にある全政府の固有の機能であるが，次のような拘束に従うものである。

（1）　取得される土地の用途は公共的であって私的でない。

（2）　所有者には正しい補償が支払われる。

日本の法律は，現在取得しうる公共用途として，道路公園，河川，広場，運河，水路，堤防，緑地，その他を含めているが，しかし，これらは新しい条件と要求に応じうるよう，その時々に応じて拡張されねばならないのである。しかしながら，適切な権限をもっていないことよりもさらに悪いことには，公共の目的として認定された権限を使用しないことがよくあることであって，交渉は長びき，協同の所有者には法外に支払われる。こうした障害に打ち勝つためには次のごとき提案が研究に値する。

（a）　スラムクリアランスと低収入階層の集団の住宅のための土地取得計画，新都市とスラムクリアランスのための土地取得をさらに容易ならしめることが望まれる。

（b）　土地所有者と交渉に入るとともに強制買収手続の書類に所有権を移し，土地が取得されて後，適当な法廷によって補償価格の審査が決定されるように準備する。この手続はニューヨーク市その他で認められており，公共的改良のために用いる不動産を交渉の完了とか，補償裁定を待つことなく直ちに取得することができる。裁定の最終決定があるまで土地取得機関が推定した価格の75％までの中間払をすることができるように準備する。

（c）　価格は法手続の開始の時期の価格にすえおく。この方法によれば所有者による遅滞によって起る土地価格の騰貴した分は非協力所有者にではなく公共機関の手に入るようになる。

（d）　補償のための土地価格は予想される改良による値上りを受けないように法律の準備をする。改良計画は所有者がなんら寄与することもなしに地価を急激に騰貴させることがよくある。

（e）特別の補償の法廷裁決者ないし仲裁者を設置して手続きを改良する。仲裁者の場合には1人は所有者によって選任され，1人は公共機関が，第3の人は前二者によって選任される。もし両者の同意ができない場合には法廷によって決定される。

（f）　収用委員会の裁定期間を限定する現行の手続では，7人の裁定者が任命されるが会合は各人の同意がえられる時に行われ，交渉は所有者と個個に行われることが多く，その結果遅延する。あとから売った人は報いられるのに適切な価格で早く売却した人が不利となることがよくある。

（g）　市場価格が最低の作業期間で算定できるように，土地評価の技術に知識のある評価専門職を養成する

（h）　公共的改良事業に関連して，超過収用を認めるように法律を改正する。これは多くの国で採用されている手続であって，公共の改良に必要な土地以上に土地を取得することを認めている。

事業完了後に正確に改良に必要であった土地以外の土地は再売却される。この方法では価格の増加は公共の改良に起因するものであり，その事業地に接している所有者よりも，その改良を実施した公共機関が取得する。

（i）　公共機関によって，計画されている都市再開発計画において，所有者の66％＝2/3ないし75％が再開発とその計画に同意した場合には，強制買収を認めるように法律を準備する。現在の手続では都市再開発は100％同意に依存しており，所有者の大部分の権利が無視されてしまうことがよくある。計画に同意しな

い人にはその不動産に対して正当な買収価格を支払うように法律は準備されるべきである。再開発の財源は現在やっているように，再開発計画内の商店所有者のための住宅計画を条件とすべきではない。

Ⅲ　土地政策の改善

土地取得は阪神都市圏がさらによく発展していくためのカギの一つであるが，同様に適切な土地政策もまた重要なものである。

現在の政策はばらばらであって目標には無関係であり不適当でもある。

次のような計画と政策とは研究に価する。

（1）　市や府県に局地計画と広域圏計画をたてるように奨励する。

（2）　阪神都市圏内においてニュータウンのために最も可能性のある計画および，雇用機会，工業の発展，住宅，学校，レクリエーションおよびコミュニティ施設の観点からみたかかる都市の最も望ましい規模についての研究をする。これは同時に既成都市が住宅都市としてではなく自給的なコミュニティを形成しうるように拡張する可能性についての研究をも含むものである。大阪北部地区における千里開発計画はこのような研究に対するパイロットプランとして役立つべきであり，この開発によって得られた経験は次の計画に応用される。

（3）　阪神都市圏内の市街地，郊外地，農村にわたる全土地の調査をする将来の人口，住宅，産業および公共施設についての概略推計にもとづいて，理想的な状態のもとにその利用計画をたてる。

（4）　都市圏の将来の最大の発展に関連させて，現実的に広域圏の地域制の調査をする。

（5）　住宅，ニュータウン，公共事業，その他の用途の発展のために，将来の用地として保存する土地を取得する（これに関連してスカンジナビアにおける保存用地政策の研究がなされるべきである）

（6）　不法占拠者の住宅供給と，居住者に対してもできるだけ住宅を供給することを含めて，最も適切な発展のための土地の利用に対する計画を準備する。このことは不法占拠者がいる各地区ごとに次の事項の調査をすることを必要とする。

不法占拠者の雇用先，土地所有および権利の性質，敷地内または他の地区に不法占拠者を収容する住宅計画の準備，不法占拠者の収入，土地の再開発に適応した環境，多くの場合，このような土地は低い価格で取得でき全体としてその地区の再開発をすることによって，現在は適当な発展をみることができない土地が，適当に改良されてゆくことができる。

都心から20分たらずのところにある西成地区は最もきたない生活環境にあるのみならず，これらのあわれむべき人々の生活を改良する可能性と大阪市の機能を果たす一部として，この地区を再開発する。

（7）　各2年以内ごとに，課税のための地価を再評価することや，評価格をもっと地価に密接に順応して増額することを含み，土地税制度を改訂することによって土地投機を少なくさせる。さらに実質的な用途地域制によって土地の用途を制限して，投機価格を制限するようにする。

（8）　公共事業によって所有者が受ける便益に対する課税評価の手続を研究する。この計画は多くの国で用いられており，たとえば上水道，下水道その他の公共施設が設置され，地価がそのために上昇したところでは，所有者は新らしい公共サービスの資金の一部を寄付するように要求されている。

（9）　既存ないし新らしい市をとりまく可能性のある緑地帯について調査する。このことは，市の周辺に農村地域を買収し，それを農業を営む所有者に農耕用地として貸付けることによって達成しうる。ある国では現在の農耕用途を変更しない場合に〝開発権利〟が任意の価格ないし強制的な価格で取得される。補償が農場所有者に支払われた後は，その地区の将来の用途は農業に限定される。

Ⅳ　公　衆　教　育

公衆教育，報道，調査の新聞発表，新聞と報道機関との協力は，すでに概要を述べた計画を成功的に完成させるのに重要なことである。ことに阪神都市圏の，さらによい都市計画のみならず，低収入階層の要求を支持するために市民組織も助成されるべきである。このような調査が完成して始めて上記の計画が全部承認されるのだというのではない。しかしいずれもその優先度をきめるような調査をしなければならない。そして最もさしせまった要求が上位にたつものが推薦される。

ある計画はもっと大規模な公共経費を投じて，はかどらせることとができ，民間投資がおちてきて，公共投資がその不振をとりあげることが要求される。しかし，このような調査をなし，目標と計画をたてることによってのみ，よりよいコミュニティにおけるよりよい生活が達成されるのである。他の国における民主的な組織は不公正に権利を犠牲にすることもなく，また経済的価値を減ずることもなしに達成しうるのであることを論証してきた。事実，民主的な手続のすべての体制のなかで社会的な要求を認めることによって，その目的は長い間には力強くもなり，進展もするものである。

チャールス・エイブラムス
大　道　安　次　郎
川　名　吉　エ　門

第一銀行京都支店本館建築

1） 概　況

本建物は1902年4月（明治35年）に第一期工事を完成，1918年（大正7年）に第二期工事を増築，全体をうまくとりまとめた設計手腕には敬服させられるものがある。当時の銀行建築としては建物自体を金庫のような風に取り扱われたように見受けられる。したがって彩光面積は少なく，出入口も狭く取り扱われている。現在としてはこれらの条件が起因して，使用上大きな障害となっているために，これが対策として戦後模様替を行なっている。

模様替事項

①不用と思われる間仕切を撤去
②カウンタースクリーンを撤去，収納部のみ近代的改修
③写真にあらわれている天井その他一般造作ワニス塗部分および壁面を近代明朗色ペンキ塗仕上に変更，ギャラリーの突端を螢光灯で帯状に点灯して昼間も採光できるようにしている。
④床はフローリングブロック貼とし，電源はすべてフロアーダクト配管に改造

2） 所　在

京都市中京区烏丸三条角（当時の記録によると中京区三条南入ル饅頭屋町5の1番地となっている）

3） 工　期

起工不詳
明治35年4月竣工

4） 工　費

種々調査したるも不詳

5） 設計者

第一期工事　工学博士　辰野金吾
増　築　田辺淳吉

6） 施工者

清水屋店主　清水喜助
（現清水建設株式会社）

7） 構造概況

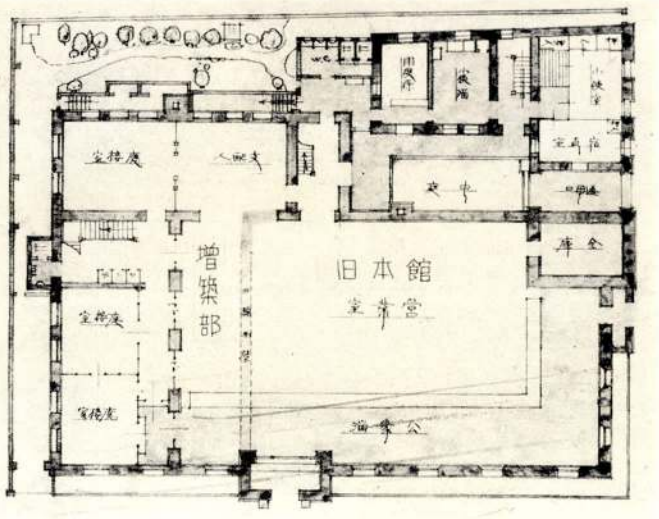
主体　石および煉瓦造
様式　近世ルネッサンス式
屋根　天然スレート葺，銅板葺
小屋　洋瓦キングポスト小屋組



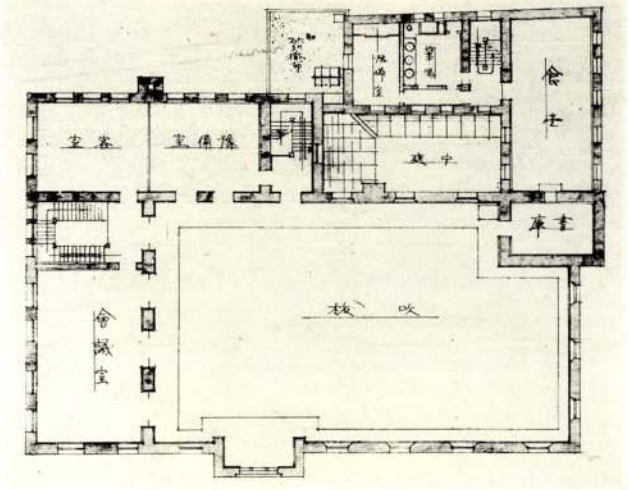
外　観（大正7年頃）



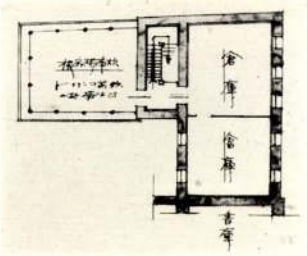
内　部（大正7年頃）



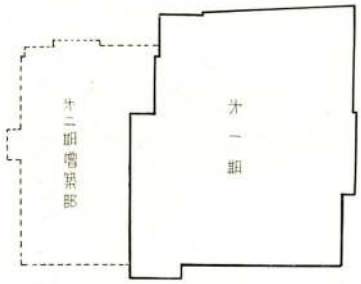
1　階



2　階



地　階





東南一部（昭和34年12月撮）

内装

①客溜床　花崗石荒磨キ板石敷
　巾木　花崗石本磨キ
　バンク台および客腰大理石貼
②営業室床　木造床（現在フローリングブロック貼）
　巾木腰　桧材パネル組
　壁　漆喰塗（現在ペンキスチップル）
　天井　桧板クリ型付板張　中央飾り石膏彫刻付
③廻廊手摺金属製（戦争のため供出）現在木製
　カシュー　廻廊受ブラケット鉄製唐草模様付
④2階　会議室，客室予備室とも　巾木腰桧板パネルニス仕上　壁現在壁紙貼
　中央階段　手摺堅木クリ型唐草模様付　ニス仕上　段石堅木の上リノリューム敷

以上の報告にてまことに粗末であるが，図面その他の参考資料が関東大震災で焼失したため手掛りが得られず，幸い一部旧体の写真と戦後の模様替以前に撮ったものがあったので参考までにのせた。なお報告に当り第一銀行京都支店のご支援を謝します。　（牧野　忠記）

昭和23年頃　営業室



――前月号所載の「同志社の明治建築」記事中訂正――

同志社の当局より，つぎの訂正がた申入れがありましたので，ここにお知らせします。

		誤	正
77頁	本文4行目	明治11年（1878）	明治8年（1875）
79頁	第図8説明4行目	大正3年	昭和3年



ピラミッド，スフインクス見物の一同



◀一同の署名

▶欧米建築事情視察団より第1報◀



10月12日羽田出発の折

10月12日羽田を出発された標記視察団は元気にエジプト，イタリー，スイス……と旅をつづけておられるが，その第1報が，カイロより到着した。上の写真が，ラクダにのって，ピラミッド，スフインクス見学の一同。以下は青木，室谷両氏よりの手紙である。

「いろいろごやっかいになりまして，団員一同元気で最初の下降地エジプト・カイロに安着いたしました。人口300万と称するナセル大統領の首都だけに立派なもので，まず道路のよさに驚ろき，ついで近代建築に驚ろき，終りはナイルヒルトンホテルの立派さと各国人の多様さに驚ろいております。例によって，市内見学，ピラミッド，スフインクス見物に，一日を楽しくすごしました。日本人の顔が案外多くホテルでみられたのも躍進日本の姿のようです。もう一日ぐらい滞在したいほどの都市で，アパート建築，住宅等は土地柄にあった建物のようです。明日ローマへ参ります。理事のみなさまによろしく。」



名誉正会員

長谷部 鋭 吉君
逝去さる

略　歴

1．本籍・現住所
　兵庫県宝塚市米谷字西野々18
1．明治18年10月7日生
1．昭和35年10月24日死亡

学　歴

明治42年3月　東京帝国大学建築学科卒

職　歴

明治42年8月　住友合資会社入社
大正8年　欧米出張
昭和6年　欧米出張
昭和8年　(株)長谷部竹腰建築事務所を設立し常務取締役に就任
昭和19年11月　同事務所が住友土地工務KKに合併，取締役に就任
昭和25年7月　日建設計工務KK設立により同社顧問に就任

受　賞

大正7年　聖徳記念絵画館懸賞設計に2等入選
昭和30年　大阪府教育委員会より芸術賞を受く
昭和33年　黄綬褒章を受く

本会会員歴

大正6年3月　本会入会
昭和28年1月　名誉正会員

哀　悼　の　辞

竹腰健造

きわめて短時日の患の後，昭和35年10月24日，長谷部さんは遂に亡くなられた。75年の生涯といえば，古稀を過ぎた長寿ともいえるが，今の時代ではまだまだ長生きして建築界のために働いてもらいたい人であった。

大正，昭和の間にわが建築界は非常な発達を成しとげ，その間多数の優秀なデザイナーがでたが，長谷部さんはなかでも天才的な斯界の第一人者であった。氏の意匠はつねに独創的で豪快であった。

長谷部さんは，かく技倆が傑出していたばかりでなく，その性格が立派であった。とかく天才的な芸術家はどこかに異常な性癖があるものであるが，長谷部さんはつねに温雅で圭角がなく，感情に激したり他を誹謗したりするようなことは全然なかった。この点で稀にみる人格をそなえておられた。

長谷部さんは，またその素行において一点の非の打ちどころのない清潔な人であって，真に清教徒の姿を備えた尊い人であった。

長谷部さんは神がこの世に作った最も完全な人であった。世には一世に傑出した芸術家はある。しかし長谷部さんのように技倆の天分，人格，素行，の三点において，完璧な完全人が再び建築界に現われようとは想像できない。神は遂に長谷部さんという聖者を見出したのであろう。晩年は熱心なカトリックの信者となり，その住居を信仰の道場に供し，敬虔な聖者の生活に入っていかれた。

私は大正のはじめ，住友で建築家としての生活をはじめてから戦後財閥解体による追放までの間の30年間，机を並べて働き，つねにその人格を敬慕しつつ師事してきた。その間幾多事業上の浮沈はあったが，長谷部さんはつねに泰然として動じなかった。私はこんな立派な人と一生の事業をともにしたことを無上の幸福と思っている。

今年，春の訪れとともに50年間生活をともにした妻を失い，いままた秋風とともに事業上の好伴侶を失った。過去を回顧して悲しみいよいよ深く感慨無量なるものがある。



正　会　員

志 垣 正 次君
逝去さる

君は明治25年，兵庫県に生れ，はじめ九州門司の明正社に入社して建材界に入り，のち大阪にでて元株式会社ラバロイド商会，元マルエス工業株式会社等を経営し米国パラフイン会社の日本総代理店として，ラバーロイドルーフイング類，ＳＰＳコンパウンドアスファルトの輸入販売ならびに防水工事等の業務に従い，わが国アスファルト事業の道を開くとともに，昭和5年渡米しラバロイドルーフイング類の国産化を図り日米合弁の佐久間パプコ工業株式会社を設立し，わが国ルーフイング界発展の基礎を作ったのであります。終戦後，明正社を再興しアスファルト防水工事に従事し，かたわら関西建材協会，アスファルト同業会等の理事となり，業界に貢献するところが多大でありました。昭和27年エバーソフトの普及に努め，事業大いに隆盛に向い，今後の活躍が期待されたのでありますが，不幸病のため昭和35年10月10日永眠されました。

君は人格高潔，つねに進歩的な意見を持ち業界先覚者として畏敬されておりましたが，この偉材を業界より失いましたことはまことに痛惜に堪えません。謹而哀悼の意を表するとともに冥福をお祈りいたします。

会　　報（9 月 分）

理　事　会

14日　3時――5時　於会館集会室
出席者　尾崎会長外17理事　早川監事
議　事（1）小栗理事辞任に関する件
（2）監事補選決定の件
（3）会員増加運動に関する件
（4）木構造による組立住宅の設計懸賞募集に関する件
（5）ル・コルビュジェ大阪展共催に関する件
（6）諸集会後援に関する件
（イ）第3回全国都市不燃化大阪大会
（ロ）建築基礎基準講習会
（ハ）第2回住宅設計コンクール
（ニ）「照明と室内デザインの調和」講演会
（7）国家褒賞受彰候補者推薦の件
（8）大阪大学建築学科独立要望書提出に関する件
（9）委員会委員追加委嘱の件
（10）日本建材協会事務所移転の件
（11）その他
（12）入退会者承認の件
（13）報告事項

事業委員会

委　員　会

5日　5時半――7時半　於会館集会室
出席者　岩崎委員長外13委員
議　事（1）10月，11月の事業企画について
（2）「建築加工板」資料編集に関する件
（3）会員増加運動に関する件，その他

小委員会（新建材資料作成）

2日　5時半――8時　於会館会議室
出席者　山本，鈴木，岩本各委員

6日　1時――5時　於会館会議室
出席者　岩本委員

20日　5時半――7時　於会館会議室
出席者　矢野主査外4委員

29日　5時半――7時半　於会館会議室
出席者　山本氏外5委員
調査表の検討整理ならびに今後の工程および委員の分担決定

小委員会（新建築見学会）

13日　正午――2時　於会館会議室
出席者　八十島主査外2委員
新建築見学会の対象建物の検討

小委員会（工場見学会）

16日――17日　　於名古屋市
出席者　山本主査　関谷委員
見学予定各工場を訪問して実施について打合せ

小委員会（若い会員の集い）

22日　5時半――7時半　於会館会議室
出席者　松村主査外4委員
「いろいろなデザイナーと話し合う会」の実施について協議

28日　8時半――9時半　於会館会議室
出席者　松村主査外3委員
近鉄学園前住宅の見学と批評の会の実施について協議



編集委員会

委員会

10日　4時——8時　於会館会議室
出席者　森，上林正副委員長外6委員
議　事（1）経過報告
（イ）10月「近代建築論特集」号
（ロ）11月「公共住宅特集」号
（2）「居留地特集」号に関する件
（3）正月「アイデア特集」号企画の件
（4）12月「福祉施設特集」号企画の件
（5）特集号テーマに関する検討

幹事会

19日　4時——7時　於会館談話室
出席者　上林副委員長外4幹事
12月「児童福祉施設特集」号の企画案について協議

28日　2時——6時　於会館会議室
出席者　泉委員外5幹事
11月「公共住宅特集」号の資料審議

出版委員会

鉄骨コンクリート実例集小委員会幹事会

14日　5時半——7時　於会館会議室
出席者　石崎主査外2幹事
編集に関し打合せ

住宅委員会

16日　3時——5時半　於会館会議室
出席者　海上委員長外7委員
議　事　1．テレビ放送の原稿内容検討の件
なお八幡エコン・スチールKK提供軽量形鋼住宅の映画を観賞

法規委員会

19日　3時半——5時　於会館会議室
出席者　恒岡委員長外6委員
議　事（1）地域指定の修正要望書に関する件
（1）違反建築の是正に関する件

受彰候補者推薦委員会

8日　11時半——12時半　於会館会議室
出席者　中沢委員長　三国委員
議　事　1．国家褒賞受彰候補者推薦の件

テレビ放送実行委員会

打合会

9日　11時——1時半　於会館会議室
出席者　尾崎会長，足立委員長
3社総務部長　今田プロデューサー
会長と3社長の座談会放送について打合せ

委員会（実行委員ならびに演出委員）

13日　5時半——8時　於会館集会室
出席者　足立委員長外12委員
議　事（1）モニターの意見報告
（2）放送順序の変更承認の件
（3）住宅委員会担当番組に関する報告
（4）放送原稿4件の検討
（5）専門シナリオライターに関する件

委員会（実行委員）

19日　6時——8時　於会館会議室
出席者　足立委員長外3委員
次回企画の委員長推せんについて協議



建築界待望の新扉錠……！
ゴール ユニロック
GOAL
日本住宅公団・公営住宅御指定
株式會社 谷山製作所
大阪市東淀川区三津屋北通四丁目　電話(37)3117．5871．7724
シリンダーレバーハンドル錠
押ボタン式シリンダー錠
アンチ式シリンダー錠
シリンダーナイトラッチ
シリンダー抽斗錠
各種高級彫込錠

近代建築調査委員会

15日　4時——5時半　於会館会議室
出席者　滝沢委員長外8委員
議　事（1）11月号発表建物の件
（2）特集号に関する件
（3）12月号以降発表建物の予定検討
（4）報告事項

海外建築事情視察団打合会

15日　1時——5時半　於会館集会室
出席者　青木団長外11団員，村石理事
交通公社4氏
（1）団長，副団長の決定
（2）団員室割り決定の件
（3）諸手続細目打合せ

ル・コルビュジェ大阪展準備委員会

15日　5時——8時　於好文倶楽部
出席者　浦辺氏外7氏
議　事（1）予算に関する件
（2）会場ならびに会期に関する件
（3）共催団体入場券に関する件
（4）パンフレットに関する件
（5）講演会に関する件

24日　5時半——8時　於好文倶楽部
出席者　浦辺氏外9氏
前回に引き続いて協議の上，大阪展実行委員会の設置を決定してその委員長，副委員長を推薦

会員名簿発行委員会

27日　6時——8時　於会館会議室
出席者　竹内委員長外3委員
広告募集ならびに工程の促進について審議

要望書提出

大阪大学建築学科の分離独立ならびに講座増設に関する要望書を，大阪府建築士会，大阪建設業協会，本会連署の上9月10日大蔵省主計局長宛提出

座　談　会

「公団住宅に住む子供達の座談会」
9日　2時——5時　於香里団地開成小学校
出席者　田村，絹谷両委員，同校林先生，
同校6年生12名
11月「公共住宅特集」号企画として開催

映　画　会

「ドームとシャーレの映画会」
1日　3時——4時半　於会館集会室
建築学会近畿支部と共催　　出席者30名

若い会員の集い

「いろいろなデザイナーと話し合う会」
28日　6時——8時　於会館集会室
出席者　委員，松村主査外3委員
会員出席者　45名
大丸百貨店藤川氏（家具），川崎重工業吉田氏（室内装飾），西脇デザイン佐藤，奥村両氏（工業），イデム洋装島村氏（服飾）の出席を得て意見の交換懇談

6会長午餐会

3日　12時——2時　於国際見本市会館
大阪建設業協会の当番で開催。会食後，ル・コルビュジェ大阪展の開催，建設省建築研究所の大阪支所設置の件について協議。6会よりの出席者17名

特許 防火シャッター全般
小俣式
電動式～箱型・ウオーム・スパー
手動式～自動・鎖・オートマチック
ステンレス・アルミニウム・シャッター
株式会社小俣製作所大阪支店
大阪市北区若松町30　電話(34)9004・9016・4825
本社及工場・埼玉県与野町
東京事務所及工場・東京都北区田端町

見　学　会

大阪第３市外電話局見学会

設計監理　日本電話公社建築局
施　工　間　組
20日　３時——５時　参加者25名

関西電力大阪火力発電所見学会

22日　２時——５時　参加者26名
第15回工場見学会として開催

大阪富士銀行ビルディング見学会

設計監理　松田平田設計事務所
施　工　竹中工務店
28日　３時半——５時　参加者75名
大阪府建築士会と共催

後援した会

「照明と室内デザインの調和」講演会

1．主　催　照明学会関西支部外４会
1．と　き　９月13日　３時——５時
1．ところ　近畿電気工事KK　３階
1．講　師　JACOB H. BLITZER（国際照明委員）
16mm，トーキースライド使用

編　集　後　記

公営住宅は，ひとつの曲り角にきたのではないか……といったような動機から，本号をとりあげてみたものの，その分析は，容易でなかった。公営だけにとまらず，公団・公庫も含めた３本柱の公共住宅の性格が，こんにちの国民各階層にとって，複雑なニュアンスを与えているし，反面，公共住宅と民間住宅との間にも多くの問題をなげ与えている。政府の公共部門に対する投資は今後ぼう大になっていくであろうが，住宅関係においても，昭和35年度の534億，今後10カ年間の期間中の投資累計額は，１兆３千億に達するという。この数字の是非は別として，これだけの政府投資を使って建設される公共住宅は，もはや，今までのやり方だけですませられないものがあろう。公共住宅そのものがどれだけ，国民の生活を豊かにし，どれだけ新しい町づくりに寄与するかにかかつてきている。もちろん，それには建築の分野だけでなく，幾多の分野の協力も必要であろう。阪神都市圏の国連の調査もひとつの大きな時代の要請のなせるわざだろうし，総合開発の観点からも，公共住宅はあらためて見直されていくことだろう。

いずれにしても，公共住宅の本当の建設はこれからである。したがつて，単に公営住宅の曲り角の分析というより，戦後15年間の公共住宅建設の歴史をふりかえつて，そのいろいろな矛盾を指摘して，その矛盾のなかにひそむ積極的な芽をみつけだし，少しでもよい方向に向けさせていくこと，そして，この公共住宅の建設を，いま一歩力強くふみだすべきである。この一歩の意義を大きなものにしたいというのが，本号の編集幹事会に集まつた，大阪府，大阪市，京都府，京都市，兵庫県，神戸市，公団，公庫の若い住宅関係者の積極的な態度であつた。７月７日に第１回の編集幹事会をもつて，その後数回集つて協議した。果して，この態度がうまく貫かれているか，ご批判いただければ幸甚である。

グラビア頁では，はじめ，文芸春秋式の「団地ベストテン」をとりあげようという意見もあつたが，けつきよく，戦後15年間の公共建設住宅の上で何らかの形で，はしりとなつたもの，エポックを画したものを討論の上とりだしたものである。団地はとくに関西に限ることにし，批評を入れた解説文をつけることにした。

「公共住宅15年が語ること」は網谷祐規君に担当していただいて，15年間のうつりかわりと問題点を論じていただいたものである。各事業体から写真と図面を提供していただいて，それを適当に折込んで編集した。

座談会は，当面する重要な問題について，かなり対立した形で討論したもので，じつくり読んでいただければ，得るところがあると信ずる。

「小さなダンチ族」は公団に住む子供たちの意見を聞いてみたものである。香里団地の小学校の自治会のメンバーだけに，発言はなかなか系統だつて，われわれにありがちな脱線をしないのには感心した。彼らはもし建築家にでもなるならば，立派な公共住宅を建設してくれるだろう……と期待できそうである。

「公共住宅アンケート」は、建築以外の財界，言論界，学界，文化人，労組，婦人，公団・公営入居者に，供給方式や管理，規模その他，今後のありかたなどの意見を聞いてみたものである。

そのほか，公共住宅管理論や，２，３の論文も予定していたが，頁数の都合でとりやめた。

なお，阪神都市圏の国連調査の報告第１報が発表されたので，参考までに関係ある部分をのせることにした。この国連の勧告案について，ご意見やご批判があればおよせてねがいたい。

以上，執筆者のかたがた，ならびに企画にご協力いただいた各位に厚くお礼申しあげます。

次号は，「児童福祉施設特集号」の予定である。

日本建築協会優良認定
外部用壁塗料
ダイヤアルテックス
恒和化学工業株式會社
本　社　豊中市豊南町南６－16　電話(39) 0666～8
東京支店　東京都太田区北糀谷町287　電話(741) 2145～8

屋根浪板
谷樋には 大島化学のひふくてっぱんを
固定式通風器 連続式換気装置にも
耐酸スタンダードメタル
カラースタンダードメタル
PATENT Standard
大島応用化学工業株式会社
本社 大阪市城東区野江東之町4の104 ㉝3679・4481・8471
支店 新居浜・名古屋・四日市・広島

田中式 スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター
TNK 田中工業株式会社大阪出張所
大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2～89
TEL 大阪(40)6341(代表)・(40)6342
本社 東京第一工場 東京都墨田区錦糸町1～25 TEL 東京(623)代表0106～0108・(622)0790
東京第二工場 東京都墨田区吾嬬町東4～122 TEL 東京(611)2118～9
小倉工場 福岡県小倉市赤坂上の宿37 TEL 小倉0653・2833
川崎工場 神奈川県川崎市東渡田3～43 TEL 川崎 ② 4540
札幌出張所 北海道札幌市北上通東4丁目4 TEL 札幌 ③ 6762・0515
盛岡代理店 岩手県盛岡市木伏49・東北建設(株) TEL 盛岡 7642
名古屋代理店 愛知県名古屋市西区西菊井町2～12・岡田建材KK TEL 名古屋(53)0121・2057
米子代理店 鳥取県米子市祇園町2～93・吉田工務店 TEL 米子 4683
長崎代理店 長崎県長崎市要町11・関西工業(有) TEL 長崎 ② 6046

信用ある技術と伝統の
アスファルト工事
専業大店
株式会社 久保商店
大阪市北区真砂町5番地 電話大阪(34)207～8・4836～7

暖冷房・温湿度調整
水道・衛生・環境衛生装置
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀上通1丁目7
電㊹(代表)2613・(代表)9431
営業所　神戸市生田区北長狭通7丁目1の1
電④1778・4386
出張所　名古屋市中村区牧野町1－6　電話㊺0966
〃　東京都北区上十条1の10　電(911)2346
〃　広島市西魚屋町31　電②1375

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 **三晃商会**

本社　大阪市北区富田町一六　㉞7031㉟6793
出張所　東京都中央区宝町二・六(村幸ビル2階)(561)5441
名古屋市中区新栄町二丁目一　⑨1820
福井市宝永上町一〇五　1596
松江市東本町四丁目一四九　5098
広島市紙屋町八　②1938
福岡市養巴町二二　④1158

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 **大阪城口研究所**

代表取締役　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪㊲7575(代表)
京都市東山区大和大路大仏前・電話京都⑥4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸④5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 **大阪電気商会**
株式会社 **大阪暖房商会**

取締役社長　菅谷三郎

本店　大阪市西区江戸堀南通一丁目三七番地
電話大阪㊹大代表8231番
支店　東京・名古屋
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡
熊本・札幌・仙台・新潟・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
特許YM式ルーフドレイン製造販売
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話大阪㉙代表4496～8・4993～4番
本店　東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電話(281)局6505～8番
金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢②2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話福井2436
高松出張所　高松市二番丁九　電話高松②5195

創業　大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 **斎藤省三商店**

東京店　東京駅前丸ビル6階676区
電話東京(201)3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通大同ビル714号
電話大阪㊹1568・1569・2594
札幌店　札幌・北四・西四(札幌駅前)
電話札幌②0010・0956③4661
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目千代
田ビル522号　電話中局㉔1766

暖冷房・環境衛生・水道・電気・厨房・築炉
鋼製建具・軽量間仕切・工事設計施工
鋼管・荷役機械・製造販売

三機工業大阪支店

大阪市東区高麗橋三丁番壱番地・電話代表26局{2951 3076
本社　東京都千代田区有楽町壱丁目十番地
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・広島
工場　川崎・鶴見・中津・六郷

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

須賀工業株式会社

大阪市西区土佐堀通1丁目14番地
電話㊹代表5171番
東京支店　東京都港区芝田村町6丁目　電話(431)代表7121
名古屋支店　名古屋市中区材木町1丁目　電話㉓代表7856
京都支店　京都市下京区烏丸通松原下ル電話⑤1989・2255
神戸支店　神戸市生田区北長狭通2丁目　電話③代表5101
福岡支店　福岡市千代栄町電話㊺代表4731

給水・排水・衛生設備・暖房設備
汚水浄化装置・都市廃物処理装置

株式会社 **西原衛生工業所大阪店**

大阪市大淀区中津南通2丁目51　電話大阪㊺3415
東京事務所　東京都港区西芝浦3の1電話東京(451)5281
広島出張所　広島市空鞘町99の1　電話広島③7544
福岡出張所　福岡市下呉服町2の9　電話福岡②5389
祐徳ビル

空気調和装置・塗装乾燥装置
設計施工

株式会社 **建材社**
大阪支店

大阪市北区中ノ島二丁目(新朝日ビル5階)
電話大阪㉓6041(代)
本社及東京支店　東京都中央区八重洲三丁目七
営業所　名古屋市中区西万町二丁目一

暖・冷房・空気温湿度調整装置

設　計　施　工

高砂熱学工業株式会社大阪支店

大阪市北区中ノ島3丁目3番地（朝日ビル8階）
電　話　大　阪　㉓　7　6　4　1（大　代）
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設　計・製　作・施　工

東洋キヤリア工業株式会社
大　阪　支　店

大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電　話　大　阪　㉞　局　8　3　5　6（代表）
本　社　東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支　店　東　京・名古屋　　出張所　九　州
工　場　東　京　都　足　立　区　下　沼　田　町　3　6　0　番　地

暖冷房・水道衛生工事
設　計　施　工

株式会社　栄　興　商　会

取締役社長　中　山　敏　正

本　　店　大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電　話　大　阪　㊺　3　3　9　1　～　5　番
支　　店　東京都新宿区荒木町一九番地
電　話　(351)　2　1　7　7　～　8　番
神戸出張所　神戸市生田区下山手通八丁目三三　電話元町④3035番
京都出張所　京都市中京区高倉通三条下ル　電話上③2869番
三沢出張所　青森県三沢市上久保三一　電話大三沢36番

暖　房・冷　房・水　道・衛　生
温　湿　度　調　整　装　置
設　計　施　工

株式会社　朝　日　工　業　社

大阪市北区中之島4—39　電㊹6671～5

東京支店　東京都港区芝浜松町2—7　電（431）7341～5
北海道出張所　札幌市北四条西15丁目　電②2203・③5374・5969
仙台出張所　仙台市元寺小路（五城ビル）　電②8061・③9261
名古屋出張所　名古屋市中区東陽町6—5　電㉔1270・1484
広島出張所　広島市大手町8—155　電　③　7　9　4　9
福岡出張所　福　岡　市　薬　研　町　3　電④0788・⑤0296

温湿度調整装置、暖　房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話大阪㉞　(代表)0977
0978～9・0970
本　　社　東京都千代田区丸ノ内2—10
電　　話　(281)2631—5
仙台支店　仙　台　市　新　伝　馬　町　6　0
電　　話　7　3　3　2
名古屋出張所　名古屋市東区東門前町3—6
電　　話　⑨　2　8　9　3

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役　市　川　進　男

本　　社　京都市中京区両替町通リ姉小路上ル
電話㉒（代表）7975・（夜間専用）5532
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1-37（天満橋北詰）
電　話　㉟　8　8　2　9
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話7503・3665
津営業所　津市栄町2—111　電話3610

暖冷房・換　気・空気調和
給排水・衛　生・電　　気
設　　計　　施　　工

日本熱学工業株式会社

取締役社長　牛　田　正　郎

本　　社　大阪市東区唐物町5丁目10
電話大阪㉕（代）5171～3・3643
東京支店　東京都千代田区神田和泉町1
電話東京（866）7683・7716・2594
西部営業所　下関市大和町33　大和ビル23号室
電　　話　②　7　3　0　6

媛房・冷房・温湿度調整・衛生設備
設　　計　　施　　工

大嘉熱工業株式会社

取締役社長　嘉　幡　政　四　郎

大　　阪　大阪市北区万才町四三浪速ビル六階
電話　大阪㊱直通2085・5725
（代）9851～9・9951～9
東　　京　東京都千代田区西神田町一ノ八
電　　話　東　京（291）8002～3
出張所　愛媛県川之江市・九州福岡市

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設　計　施　工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市西区江戸堀北通3丁目46番地
電話　大阪㊹（代表）3818
本　社　東京都文京区元町2丁目17番地
電　話　(921)（代　表）6294
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

冷暖房・温湿度調整装置・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設　計・製　作・施　工

理研鋼機株式会社

大阪営業所　大阪市北区宗是町1（大ビル）
電　　大阪代（44）8621番
本社・工場　東京都北区神谷3の10の3
電　　東京代（901）3191番
本社・分室　東京都港区芝佐久間町1の46（大同ビル）
電　　東京代（501）3156番
営　業　所　名古屋・仙　台　　**連絡所**　福　岡

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

大阪市北区野崎町八〇
電話・大阪㊱2891—5番
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島・福岡

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄
本社 大阪市東区北浜二丁目六九
電話大阪㉓5273—5・5451—2
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)1316・2536・4715・3573
営業所 名古屋・札幌・沖縄・福岡

電気工事設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英
大阪市北区永楽町8番地(日産生命館)
電話 大阪㉞代表 1234～9
支社 東京都港区芝浜松町(大門ビル)
出張所 名古屋・舞鶴・広島・八幡
福岡・富山

電気工事全般設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 今村騰
本社 大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話大阪㉞8131代表～4 ㊱7263
営業所 東京・名古屋・新宮・御坊

電動機自動操作用配電盤・分電盤・受電盤
自動遠方操作盤・電動機単逆相運転防止装置
温湿度自動装置監視盤・遠方監視自動装置
各種フロントスイッチ・スペースヒーター及び
ウォータヒーター・其の他特殊電気機器設計製作

森井電業株式会社

東京本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京(451) 9611～5番
工場 東京都港区麻布新広尾町一丁目一三四番地
電話 東京(451) 0535番
大阪支店 大阪市北区常安町十六番地
電話大阪(44) 9516～8番夜間専用(44) 502番
名古屋出張所 名古屋市中村区長戸井町三丁目四十一番地
電話 笹島(54) 6865・9495番
福岡出張所 福岡市東職人町二七番地
電話(4) 7813番 (5) 3516番
広島出張所 広島市三川町二六番地電話(4) 2449番

各種電気工事設計施工

株式会社 **ヤマト電気商会**

取締役社長 山本龍太郎
本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話 大阪㉞代3056
東京営業所 東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室 電話東京(541)7464
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三
本社 大阪市北区絹笠町50(堂ビル3階)
電話 (312)1471(代)～5
倉庫 大阪市大淀区浦江北2丁目51
電話 (45) 5148・6646
支店 東京都中央区西八丁堀4丁目10番地
(後関ビル3階) 電話(551) 5590～2
営業所 名古屋市中村区泥江町2ノ1
電話 (55) 7146

電気工事
設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長 山本博三
本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル7階
電話 大阪局㉓9531(大代表)
営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目十一番地
電話 大阪局㊹5201番(代表)～3
出張所 京都市右京区西院今田町六番地
電話 京都局㉞3481番

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長 猪飼幸次郎
本社 大阪市生野区勝山通9丁目72
電話 (716)4035(代)～8
支社 東京都新宿区淀橋533
電話 東京(371)6203
出張所 金沢・名古屋・高知・広島

電気設備工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中本正明
本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話 ㉝5143・5373・9594・2134
機器工場 大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫 電話 ㉝2193

鈴木式防火シヤタア

株式会社 **鈴木シヤタア商会**

大阪市北区茶屋町33　電話㊲0098・5837・8729

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）

八千代電設工業株式会社

取締役社長　梶本秀尾
大阪市東区森之宮東之町
電話大阪（94）6531（代）～5
支店　名古屋
出張所　東京・岡山・門司

軽量鉄骨
設計・施工

新鋼建設工業株式会社

取締役社長　吉田信武
本社　大阪市西区新町通2丁目25
電話㊸7418・609・6575
工場　神戸市東灘区本庄町青木古堂町53
電話　神戸⑧616
広島県御調郡向島町立花3010
電話尾道2968　向島西19

コペンハーゲンリブ

商月報無料送呈
井田ベニヤ
井田商事株式会社
大阪市浪速区西円手町一〇一七番地 湊町駅貨物入号門前
電話（53）4890　（54）0808~9

リグノイド床・床材料

製造・販売・施工

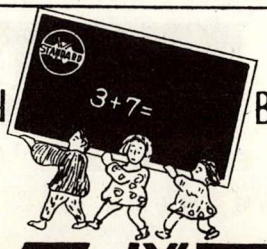
福屋工業株式会社

本店　大阪市西区南堀江上通一丁目三一
電話　大阪㊸3426～7

標準セメント防水材・特許ニッポン
特許ニッポン防水液・急結液一号（噴水急止）
二号（湧水防止）・姉妹品粉末ニッポン
施工指導並ニ責任模範施工

黒川化学工業所

（国立大阪工業試験所創製）セメント防水材特許権実施工場
（大阪営業所）北区芝田町六八　電話大阪㉞7916
（本社・工場）神戸市灘区住吉町反高林1876・
神戸⑧2723



フタバ黒板

大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地　電話天王寺(74)4692番

PAINTING　CONTRACTOR

塗装工事請負

株式会社 **林塗装店**

TEL. 大阪㉕1756—7・東京㉙1335

諸官庁御指定
吹付及び掻落ソリジットスタイン
床材（合同リグノイド）マグネシート
外壁シリコン防水
製造。販売。責任施工

合同特許建材工業株式会社

取締役社長　山下謙治
本社　大阪市東住吉区田辺東之町3—109　電大阪㊿9086
営業所　大阪市東住吉区駒川町3—54　電大阪㊼4370・7660
出張所　広島市比治山本町1180　電広島④4967
出張所　東京都新宿区花園町46　電東京(351)5298・5264

T
K K

アルミニウム
サッシ・ドアー
ステンレス
スチールシヤッター

東京鋼板工業株式会社

本社及工場　東京都荒川区尾久町５ノ１０００
電　話　(891) ８１３１ ～ ７
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地（聚嘻ビル3階）
電　話　㊱　９１５４ ～ ７
名古屋支店　名古屋市中区大池町24（丸菱ビル）㉔3048・4593
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル３階）　④8825

工業用及建築用各種石灰製造販売
セメント
小野田 レミコン 特約販売店
ブロック
セントラル硝子特約販売店

樫野石灰工業株式会社
大阪支店

大阪市北区曽根崎新地三丁目十四番地
（桜橋電停曽根崎新地西入）　電話大阪㉞1274～6
支店・東京・神戸・姫路・徳島・高松

アーマーコート西日本代理店

近畿建材工業株式会社

防水美装塗料……アーマーコート
特殊防水パテ……タイガー印コーキング・
ハイドロシール
床面美装仕上材料……フアルベトン
美装吸音材料……ラテックス，ボード

本　社　大阪市北区茶屋町33　TEL大阪㊸3003番
九州出張所　久留米市原古賀町北134の1　TEL久留米7065番
北陸出張所　石川県松任町字布市町50　TEL 松任 672番

KK



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社 三幸商會

大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話 大阪 ㉞ ３１４５

特許 白蟻

松平式白蟻殺滅予防所

奈良市南城戸南方町28　電話奈良4098
（近日移転先）
奈良市登大路二番町（博物館前）電話 奈良4098
出張所　奈良市春日町尾田組内　電話6011・6012
本部　高知県宿毛市宿毛町２６３９

FUTABAYA DECORATORS, LTD.

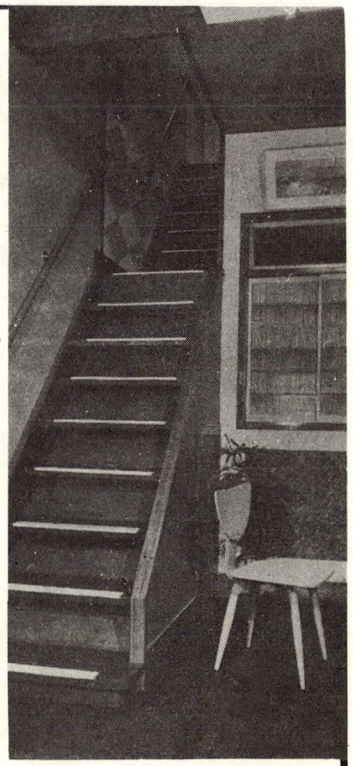
建築物船舶等造作工事
家具・建具・室内装飾工事　設計施工
内外織物・敷物類一式

（創業大正７年）

若 二葉屋装備工業株式会社

取締役社長　若林繁吉
大阪市大淀区本庄川崎町２の６
（天六電停西北２丁）
電話・大阪 ㊲ 3321 ～ 3・3630

プリント合板
ビデオンボード
リブ付塗装合板
美装パネル
吸音多孔合板
ベニヤトーン
織物の壁貼材料
オーツカクロース
コーライ
線條塗装合板
ラインボード
ビニール合板
ビニライト
立体塗装合板
カーベライト
九つの特長を誇る
九徳天井板

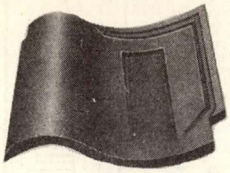


モデルルームへどうぞ

一歩でも時代感覚に先駆しようと努力しています

大阪市浪速区
幸町通3丁目20
浪速合板
電話 新町(53)
2201－3番

工場　大阪市住吉区西加賀屋町4丁目81・電話 住吉(67)5109



だいわ
大和洋瓦

雨風に強く緩勾配に最適
超軽量荷重（坪当37貫）
和型より安い

発売元
大仏組

大仏瓦，各種和洋瓦
工事請負一式

本店　京都市東山区今熊野池田町九　⑥ 3555
大阪営業所　大阪市東区内淡路町一丁目　㉔ 975

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売



建築陶器の百貨店

株式会社 **吉田芳雄商店**

大阪市北区南森町交叉点
電話 大阪㉞2403・3904

タイル衛生陶器

販売と施工
奉仕感謝の店

株式会社 **川岸窯業**

大阪市西区靱南通二の二一（市電靱南通電停前）
電話 ㊹ 2435・2788・8597

株式会社 **矢橋大理石商店**

大阪出張所

大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話 大阪㉓4257－8番

特許植物性　型枠離剝塗料

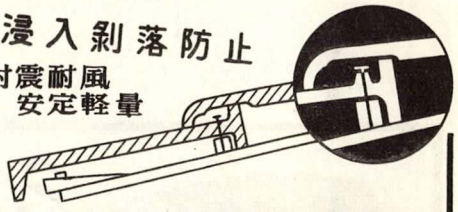
サンヒット

メタルフォーム用特号

関西代理店　株式会社 **金剛商会**

大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道　野里電停前
製造元　東京サンヒット商会　電 大阪㊼0417・4091

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



大阪市浪速区元町二丁目七四二（電話㊸五〇六五）
ナニワ瓦株式会社

ナニワ緩勾配瓦

3寸緩勾配最適軽量水止付（空葺）瓦



株式会社 **室谷商店**

本社　神戸市生田区長狭通四ノ一地産ビル
TEL 神戸 ③ 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町五〇　堂ビル5階
TEL大阪(312) 2031～4

燃えない建築資材



タイガー印

耐火ボード

石膏デスボード
タイガートーン

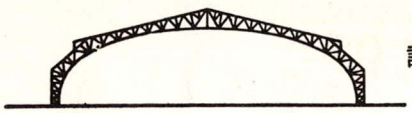
絶対に亀裂を生じない劃期的下塗壁材

Y.N石膏プラスター

キーンスセメント
各種焼石膏

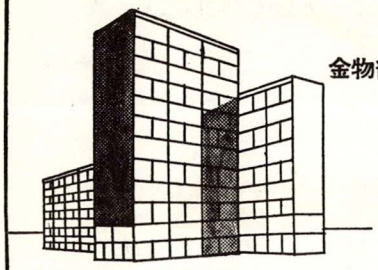
吉野石膏大阪支店

大阪支店　大阪市西区土佐堀通1－1（大同ビル）
電話（44）8912～4
本社　東京都丸ノ内・三菱東九号館四号
電話 東京（281）2391（代表）
福岡営業所　福岡市相生町1－1 電話 ㊽631～3

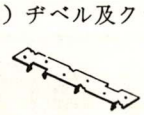


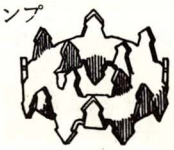
綜合建築設計への道

設計部　1.各種鉄骨・鉄筋コンクリート造建築の設計監理
2.ダイヤモンドトラス・ジグザグトラス・平行トラス等
各種大張間鉄骨造の設計監理

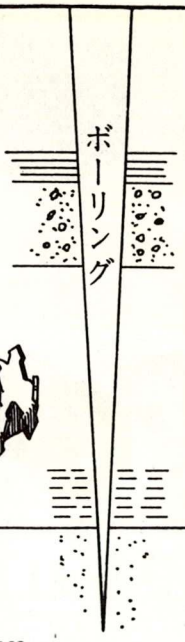


金物部　耐震耐風木材接合金具の製造販売
PAT.O式（織本式）ヂベル及クランプ





地質部　ボーリング・建築物基礎工事の為の土質調査



株式会社　**織本建築事務所**　所長　織本道三郎
（旧織本建築設計々算事務所・織本特殊構造研究所・合体）
東京都中央区日本橋かきがら町３の２　電話（671）6443・7007・7062



塗りつける 織物壁

★化学繊維の特長を生かした高級化粧壁材！

パピロン壁

（カタログのお申込みは全国有名建材店へ）

株式会社 **新興建材工業所**
本　　社　大阪市西区四ッ橋　TEL（54）5756～9番
九州出張所　福岡市西唐人町１番地　TEL福岡(4)4651番

★純和壁の最高級……
日本壁

★日本座敷に優美な……
錦上壁

★近代文化建築の塗壁材……
いすゞ壁

新時代のコンクリート

生　コ　ン

大阪生コンクリート株式会社

本　　社　大阪市北区堂島浜通1丁目25番地（新大ビル3階）
電話 大阪 (36) 1231 番（代表）

佃 工 場　大阪市西淀川区佃町1丁目123番地
電話 大阪 (47) 4456 番（代表）

千島工場　大阪市大正区千島町259番地
電話 大阪 (55) 5043 番

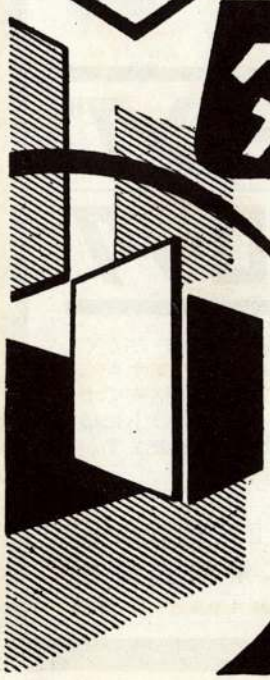
向日町工場　京都市南区久世中久町
電話 京都 (5) 5877 番

DK

伝統の歴史と最高の技術を誇る!!

ダントウタイル

カタログ進呈



淡陶株式会社

大阪支店　大阪市西区阿波座南通1－1
電話 代表 (54) 8523～5

東京支店　東京都中央区日本橋浜町2—47
電話 (671) 7309

本社及阿万工場　兵庫県三原郡南淡町伊賀野

福良工場　兵庫県三原郡南淡町福良

日東紡の新建材

新しいお部屋の設計に

FILON® 硝子繊維 ＋ ナイロン強化波板

美しいプラスチック床材！

グラスライト
ニットータイル ファイロン

日東紡績株式会社

東京本社	東京都中央区八重洲6－1	TEL（281）0211
大阪支店	大阪市東区北浜2－90	TEL（23）2125～9
名古屋営業所	名古屋市中区御幸本町通り9～8	TEL（23）0945・4414
福岡駐在所	福岡市天神町8 西日本ビル三井物産内	TEL（4）7631～7
日東紡サービスセンター	東京都中央区銀座1－4	TEL（561）3437

デラックス床材の決定版！



御一報次第係員参上致します

新製品

TLモザイク・フローリング
TLモザイク・ブロック

★**フローリング**はランパーコア合板式で狂いがなく簡単に張る事が出来ます寸法が一定していますから取扱が便利ですその上値段は寄木の½位の格安です
★**ブロック**はタイル式でコンクリートや板の上に接着剤で簡単に安価に豪華な寄木張の床が出来ます。
（各々樹種はなら、さくらがございます）

カタログ進呈

製造元 天塩川木材工業株式会社
関西総代理店 **太洋木材工業株式会社**
大阪市東区横堀6丁目21 電話 大阪㉕1025・5127

何よりも安心できる 年限仕様

Ⓐ アスタイト防水

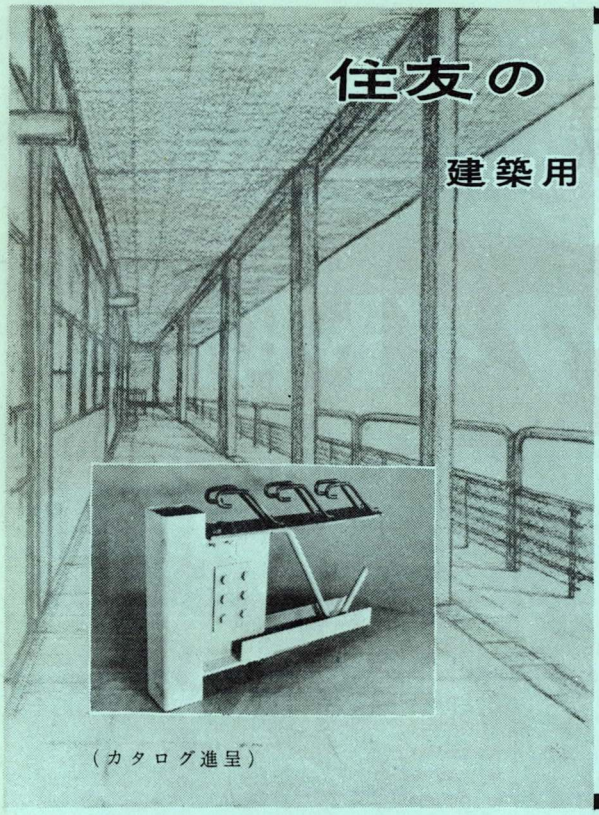
地区	組合員名	住所	電話
近畿（順不同）	（株）久保商店	大阪市北区真砂町5	大阪㉞0207～8・4836～7
	（株）木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5ノ35	大阪㊹5408・5486
	（株）明正社	大阪市東区高麗橋詰町21	大阪㉞8125～8・0761
	（株）井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1ノ7	大阪㊹8531～5
	（株）大和商会	大阪市南区高津町4番丁73	大阪㊸6221～4
	（株）石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通り1ノ31	大阪㊲3340・3505
	内外工業株式会社	大阪市阿倍野区旭町1ノ51	大阪㊸3434～6
	旭化建工業株式会社	大阪市北区茶屋町38	大阪㊲6555～7
	日本瀝青工業（株）大阪支店	大阪市北区富田町40	大阪㉞1804
	石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	神戸⑤2140・2697
	（株）中出商会	神戸市兵庫区上沢通6ノ9	神戸⑤4630
	タテバヤシ商店	京都市下京区四条大宮南入学校前	京都㉞4468
	田島応用化工（株）大阪出張所	大阪市西区京町堀上通1ノ14	大阪㊹5951～8
東海	岡田建材株式会社	名古屋市西区西菊井町2ノ12	名古屋㊸2057・0121
	（株）名建商会	名古屋市中区宮出町41ノ2	名古屋㉔1329・2817・2106
	高橋建材店	名古屋市中区材木町1ノ12	名古屋㉓3295
北陸	北川工業株式会社	金沢市西側町8	金沢②4552～3
	北川工業（株）富山営業所	富山市奥田新町23	富山②2218 ③1014
	北川工業（株）福井営業所	福井市大和中町70	福井②4532
	（株）小島工務店	高岡市大坪旭町2丁目32ノ1	高岡 2463
	（株）小島工務店 富山営業所	富山市神通町3区1003	富山②8221
中国・四国	青盛建材株式会社	広島市鉄砲町108	広島②2281～4
	青盛建材（株）岡山営業所	岡山市東田町3	岡山②7911・8169
	（有）小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	岡山②4272
	（株）浜原豊商店	尾道市若宮町	尾道 2760
	（株）浜原豊商店 防府支店	防府市大林寺	防府 1037
	古市断熱工業株式会社	高松市宮脇町960	高松③5034
	正和商事株式会社	松山市1番町21	松山②8161～5
九州	青盛建材（株）福岡営業所	福岡市万行寺前町14	福岡③1225～6
	暁建材工業株式会社	福岡市薬院町65	福岡④4326・8467
	高稲工業株式会社	長崎市矢橋町138	長崎④1726

出資金 600 万円

建設省阪建 22 号認可

三星 西日本アスファルト事業協同組合

大阪市西区京町堀上通一の一四　TEL ㊹ 代表5951
東京連絡所 東京都足立区小台町六三三（田島応用内）　TEL（911）代表1181
北陸・東海・近畿・中国・四国・九州



住友の
建築用

（カタログ進呈）

角形鋼管

「鋼管を素管とした
継目無角形鋼管」

形鋼を組合わせて溶接した角形鋼管と比べると
均質で、**軽量**で、**経済的**な（高級）継目無角形鋼管

住友金属工業株式会社

本　　社 大阪市東区瓦町4丁目31 電話（大代表）大阪（27）2201
支　　社 東京都千代田区丸ノ内1丁目8ノ6（新住友ビル）電話（大代表）東京（211）2211

指定問屋

住友商事株式会社　大阪市東区北浜5丁目22　電話　大阪㉓6781
キゲタ鋼管株式会社　大阪市西区新町通1丁目14番地　電話　大阪㊸6331
山本鋼業株式会社　大阪市南区安堂寺橋通1丁目10番地　電話　大阪㉖2831
合名会社　渡辺藤吉本店　福岡市上西町16　電話　福岡③2235

小野田防水ブロック

美しくて、強くて経済的な唯一の化粧目地、仕上用防水ブロック

特許 小野田NN防水剤

透水比も吸水率も低く、耐久的な防水モルタル、防水コンクリートをつくるには唯一不可欠な防水剤

小野田パーライト

粒状・均質・純粋で軽量性・断熱性・耐火性・吸音性の卓れた経済的なパーライト

特許 小野田CXモルタル

耐薬品性・防水性・防滑性・耐震動性・接着力の卓れた特殊弾性（ゴムセメント）モルタル

小野田 パール・フォーム・ボード

小野田パーライトの特性を活かした軽量・断熱・耐火・吸音防湿の諸点が特に卓れた強化気泡コンクリート板

特許 小野田K6セメント

塗装によって人造大理石が簡易にできる特殊着色セメント

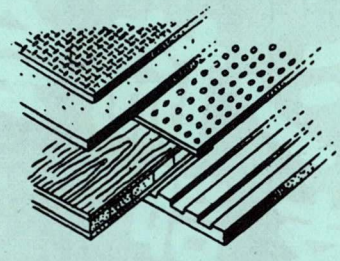
小野田ブロック株式会社

本　社・東京都千代田区丸の内1の1　第一鉄鋼ビル
電　話・東京（201）1311・1411内線365～7

御問合せは最寄り工場へ
東京工場　東京都江東区深川豊州1の1
神戸工場　神戸市灘区灘浜町3
名古屋工場　名古屋市港区丸池町1の1

タムラ 最高の品質・新しい建築資材

内装材



音響材料	アズマ・味の素・ジヤパ ゴールデン・ヤマハアコス
ハードボード	三井ボード・ゴールデンボード イワクラホモゲン・ヤマハボード
インシュレーション	ゴールデンインシュレーションボード テックス各種
高級合板	ヤマハ合板・ランバーコア プライロン・ゴールデンサンドキッチ
装飾板	ヒッターライト・ビニール合板 カラーボード・コルクボード

創業明治24年
貿易・木材・建材

田村商會 建材部

本店 神戸市生田区京町72（クレセントビル） 電話 代表神戸 ㊴ 0881
支店 東京都中央区八重洲一丁目一西河岸橋西詰 電話 東京(271) 6181・6182

防水工事の一大革命

プラスチックス防水帯

最も新しい防水工法
強靱、耐薬品性で老化しない
火熱を要しないので施工容易

責任施工

耐酸化学工業株式会社

大阪市北区高垣町八十番地 電話代表㊱0178・4161番㉞4957・4958番



関西支部　大阪市北区神山町26（富国信用ビル2階）　電話㊱6501～2番
支部長　福田好雄

西日本規格サッシ株式会社
朝日建材工業株式会社
旭鋼鈑工業株式会社
麻村サッシュ工業株式会社
尼鉄建材株式会社
旧尼崎建材株式会社
株式会社岩住鉄工所
栄進鋼業株式会社
株式会社栄進社大阪営業所
大阪機工株式会社
大阪建材工業株式会社
株式会社大阪鉄工所
大阪理研工業株式会社
加地シャッター工業株式会社
川鉄建材工業株式会社
株式会社関西鋼業製作所
株式会社建鋼社
三機工業（株）大阪支店
昭和鋼機（株）大阪支店
谷山鋼機株式会社
中国理研サッシュ株式会社
東京鋼板工業（株）大阪支店
株式会社中本鉄工所
浪速建材工業株式会社
日本建鉄（株）大阪営業所
株式会社汎建製作所
不二サッシ工業株式会社大阪支店
株式会社三高製作所
理研鋼機（株）大阪営業所

広告目次 (50音順)

建築と社会 昭和35年 Vol. 42 No. 10

ア 浅海電気kk …… 4
kk 朝日工業社…… 3
朝日石綿工業kk …… 表4
伊奈製陶kk ……中挟
井田商事kk …… 5
kk 岩住鉄工所……中挟
岩元工業kk ……20
宇部スレート工業kk ……本文
kk 栄興商会…… 3
オリエンタルメタル製造kk 中挟
大阪建材工業kk ……20
大阪コンベス建材社 ……18
kk 大阪城口研究所…… 2
kk 大阪電気暖房商会…… 2
大阪生コンクリートkk …… 9
大阪耐酸工業所 ……18
大阪ガス ……前付
大島応用化工業kk …… 1
kk 奥村重兵衛商店……本文
奥山化工業kk ……21
織本建築事務所 …… 8
小野田ブロックkk ……12
カ 樫野石灰工業kk …… 6
kk 桂商会……前付
kk 川岸窯業…… 5
亀井kk ……19
川口ゴム工業kk ……前付
関西暖房工業kk ……16
関西三星タイル会……表4
近畿建材工業 …… 6
工藤電気kk …… 4
kk 久保商店…… 1
栗原工業kk …… 4
黒川化学工業所 …… 5
慧精工業kk ……16
kk 建材社…… 2
江東電気kk …… 4
合同特許建材工業kk …… 5
kk 小俣製作所……本文
kk 金剛商会…… 7
恒和化学工業kk ……本文
サ 斎久工業kk …… 2
サンエス石膏kk ……16
kk 斎藤省三商店…… 2
「材料と設計」 ……本文
三機工業kk …… 2
kk 三幸商会…… 6
kk 三晃商会…… 2
三宝電機kk …… 4
kk 三和シヤッター製作所…前付
敷島金物kk ……前付
昭和アルミニウムkk ……17
新鋼建設工業kk …… 5
kk 新興建材工業所…… 8
須賀工業kk …… 2
鈴木シヤタア商会 …… 5
住友金属工業kk ……12
タ 田島応用化工kk …… 表2
田中工業kk …… 1
kk 田中風呂製作所……19
田辺工業kk ……本文
田村商会建材部 ……13
kk 谷山製作所……本文
第一企業kk …… 3
第一工業kk …… 3
大嘉熱工業kk …… 3
大建ウオールボード工業KK …… 付前
大日本硝子工業kk ……20
大洋木材工業kk ……10
大仏組 …… 5
耐酸化学工業kk ……13
高砂熱学工業kk …… 3
kk 武智工務所……本文
淡陶kk …… 9
中央電気工業kk …… 4
朝陽電気kk …… 4
東京鋼板工業kk …… 6
東洋キヤリア工業kk …… 3
東洋シャッターkk ……前付
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリュームkk ……前付
東洋レーヨンkk ……前付
ナ ナニワ瓦kk …… 7
内外工業kk ……18
内外土木建材社 ……17
中本電気kk …… 4
浪速合板 …… 6
浪速建材工業kk ……21
日共冷熱機材kk ……前付
日本管工業kk …… 3
kk 日本金具製作所……中挟
日本サッシ協会関西支部 ……14
kk 日本シヤッター製作所… 表3
日本セメント防水剤製造所…表3
日本ドアーチエツク製造KK ……中挟
日本ペイント ……19
日本熱学工業kk …… 3
日新工業kk ……中挟
日東紡績kk ……10
日瀝化学工業kk ……前付
西日本アスファルト事業協同組合……11
kk 西原衛生工業所…… 2
ハ kk 林塗装店…… 5
kk 日立製作所……前付
kk 平川鉄工所……前付
平田タイル ……20
フタバ黒板 …… 5
福屋工業kk …… 6
藤森建材kk ……前付
二葉屋装備工業kk …… 6
「プラスチックス・エージ」…本文
平和工業kk ……19
松平式白蟻殺滅予防所 …… 6
水島商店 ……18
三井金属工業 ……前付
マ 水谷ペイントkk ……本文
kk 三高製作所……17
明正社 ……18
kk 室谷商店…… 7
kk メルコン……19
森井電業kk …… 3
ヤ 山田工業kk …… 2
kk ヤマト電気商会…… 4
八千代電設工業kk …… 5
kk 山本建材社……前付
矢橋大理石商店 …… 7
kk 油脂化工社…… 表3
kk 吉田芳雄商店…… 7
吉野石膏kk …… 7
kk 寄木商店……17
ラ 理研鋼機kk …… 3

新発売!! 定評ある SSS印

遂に完成……石膏の色壁

SSSカラープラスター

色むらのない 変色しない ペイント代節減

パーライトには

SSSパーライト用プラスター

軽量天井 吸音 保温 断熱に

石膏ボード　ボード用(S·B)プラスター
ラスボード　混合プラスター
吸音ボード　純石膏プラスター
　　キーンスセメント

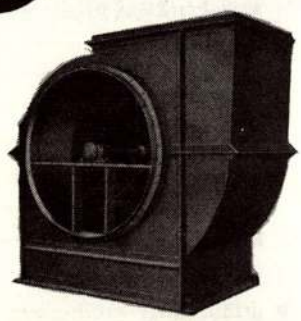
サンエス石膏株式会社

本　社	姫路市神屋町4－77	TEL	姫路134·1220市外専用43
大阪営業所	浪速区北日東町145	〃	㊸ 3161～2
東京　〃	新宿区三光町22みくにビル内	〃	(351) 0396·(341) 3542
名古屋　〃	名古屋市東区駿河町1～18	〃	⑨ 4675
福岡　〃	福岡市下名島町29	〃	④ 8358

KANDAN

煖冷房温湿度調整

設計　施工



各種送排風機

設計　製作

関西煖房工業株式会社

本社　大阪市住吉区万代東6丁目3番地
　　電話 大阪 67－6751(代表) ～4·1590
堺工場　堺市浜寺石津町中二丁目二四〇番地
　　電話 堺 ① 1213 ③ 1322
出張所　福岡　徳島

減らず·滑らず·美しい
モルタル打と同時仕上る 美装床材 カラー·コンク

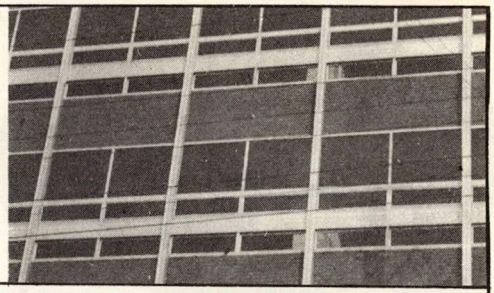
超硬骨材に顔料、薬品等を配合した粉末剤でその儘水練り、金鏝仕上げの為特に技術を要せず、色ムラ、ノ口汚れ等の鉄点がない耐磨耗性特に強大、表面滑らかで美しく清潔、耐水性に富み価格低廉であります。(坪当り材料代¥ 950) 仕上り厚さ約2㎜程度

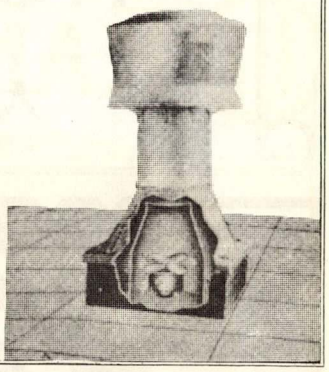
学校、工場、病院、事務所、商店、ガレーヂ、ガソリンスタンド、住宅の玄関、流し、浴室等に最適であります。

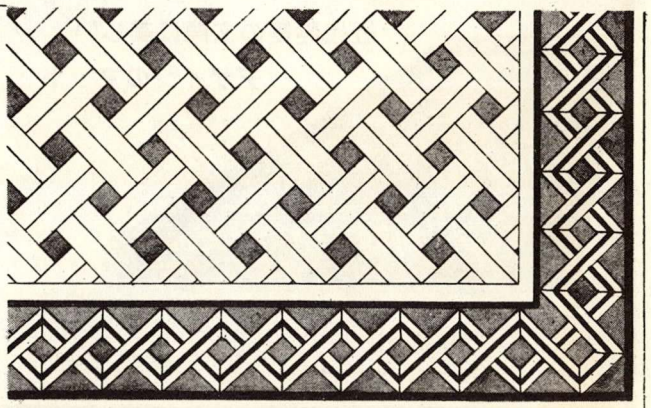
(求代理店)

慧精(ケイセイ)工業株式会社　大阪市此花区四貫島旭町1－3
TEL 大阪(46) 3594

三高式 サッシュ.ドアー.シャッター
オペレーター
ドアーハンガー
TRADE MARK
M.T.K.S
株式会社 三高製作所
本社工場 大阪市東淀川区西中島町7—69
電 話 大 阪 37—1 7 5 4 (代 表)

SAK
アルミニウムの総合メーカー
昭和アルミの押出型材

昭和アルミニウム株式会社 本社・大阪営業所 堺市海山町6の224 電話 堺(3)1181(大代表)・大阪(67)3522(代表)
東京営業所 東京都中央区日本橋堀留町1の12 電話 東京(661) 6541(代表)

40年の伝統と経験を誇る
内 外 式
バーチカル(電動式)ベンチレーター
自然換気の15倍・従来のものより5割も効率大
工場・発電所・病院・ボイラー室・倉庫・料理店等
特に熱及び臭気の発生する所に最適です
内外式スカイライト・波型硝子完全葺
内外式ベンチレーターコンチニアス並ニ筒型
タ ー ビ ヤ 舗 装 工 事・設 計 施 工
株式会社 内 外 土 木 建 材 社
大阪市西区土佐堀船町23(大阪商工ビル) TEL (44) 3983・4396


寄 木 貼 床 板
フ ロ ー リ ン グ 施 工 請 負
ブ ロ ッ ク
ベニヤフラッシュドアー 造 作 取 付
グ ラ イ ン ダ ー 床 削
株式会社 寄 木 商 会
営業所 大阪市東区横堀6—49
電 話 ㉕3731・3960
工 場 大阪市浪速区勘助町1


良心的な工事と材料

アスファルト
防水工事．耐酸工事

ブリヂストンの
エバーソフト
最も進んだゴムのクッション

志垣の 明正社
大阪市東区高麗橋詰町21
TEL (94) 8125～8・0761(夜間用)

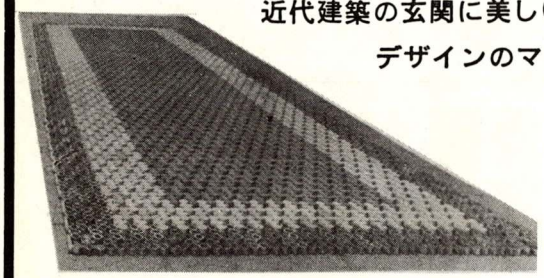
N.G.C式
N. G. インシュライト工事責任施工
メタリヤンメッシュ D. M 38番責任施工
米国パブコ. コンパウンドアスファルト販売
内外工業株式会社
脇山静夫
本社 大阪市阿倍野区旭町一ノ五一 電話㊸3434～6
工場 大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

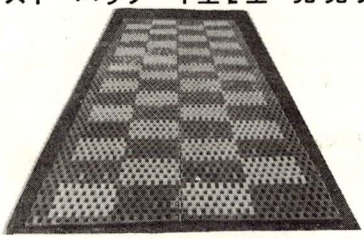
責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N. G. インシュライト断熱材製造発売元

経験と技術
Y.C.コンベス(リグノイド)
ゴムタイル
プラスチックタイル
スポンヂシート
アスフアルトタイル
大阪コンベス建材社
大阪市北区浪花町三五 電話 豊崎 ㊲6760・7063

MIZUSHIMA
モップ マット ワックス
近代的おそうじ百貨
信用と品質を誇る店
OSAKA ミヅシマ KYOTO
ユービ金属マット・ユービゴムマット
ユービ鉄マット・ラインゴムマット
カラーラインマット・ニューラインマット
ホーム・ソフト・モップ
ダスト パック 1型2型 発売元
近代建築の玄関に美しい
デザインのマット





株式会社
水島商店
大阪店 大阪市西区北堀江上通一丁目・TEL㊸3514・8246
京都店 京都市中京区蛸薬師烏丸西入・TEL②5363・0214
工作所 京都市右京区西院松井町八・TEL㊹1697

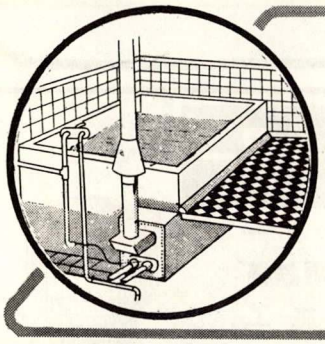
ビニール壁塗料

ビニレックス

5000 (エマルジョン)
6000 (溶剤型)

乾燥が早く、密着性が優れ、のびが良く、経済的である

日本ペイント
大阪・東京



田中のガス風呂

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂

大阪ガス会社指定

田中風呂製作所

大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　電話㊹5313・8128

窓掛、緞帳、日除、壁紙　室内装飾　絨氈、舗床材一般

東洋レーヨンのナイロン緞通と絨氈発売元

亀井株式會社

大阪市東区南久宝寺町四丁目(心斎橋筋)

電話 大阪 (25) 1353～5番



平和式

親切・丁寧ご御照会

軽量シャッター

平和工業株式会社

大阪工場　大阪市浪速区河原町2丁目電(64) 5750・8444
東京工場　東京都太田区糀谷町4丁目電(741)0160・1733

トイレの脱臭に

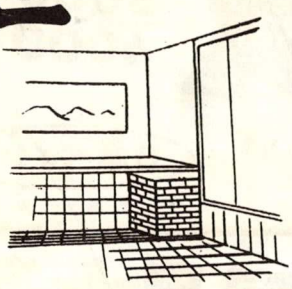
メルコン

電気脱臭器

熱海　薬の宮ホテル　全室装備

製造元　株式会社　メルコン

大阪市東区今橋一ノ一〇
(朝日生命ビル)TEL 大阪㉓5110

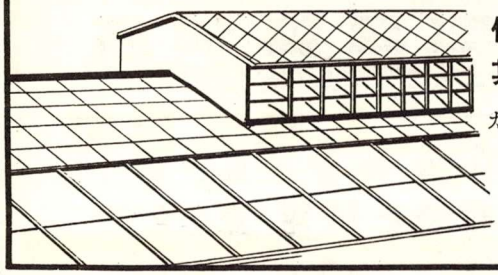


タイル・衛生陶器

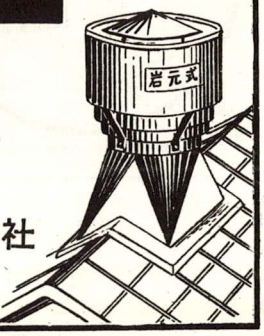
株式會社

平田タイル

岩元式 **スカイライト** 並 固定筒型 コンチニアス **ベンチレーター**



サッシュ、ドアー、シヤッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工



カタログ進呈

岩元工業株式会社

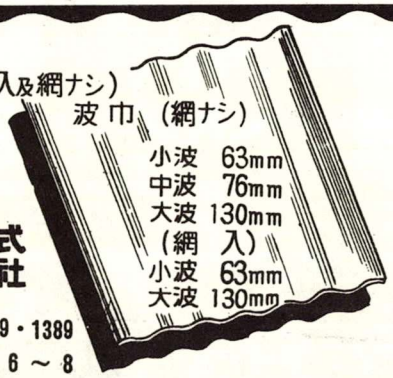
本社 大阪市東成区東今里町４の40
電話 ㊾ 0616・0617

光り 波型ガラス

（網入及網ナシ）

ダイニチライト

ポリエステル樹脂
硝子繊維強化板



製造元 **大日本硝子工業株式会社**

大阪支店 大阪市北区玉江町2—4（三菱倉庫ビル）電話 大阪 ㊹3389・1389
本　社 東京都中央区京橋 3—6　電話(281)6926～8

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地　**電話大阪㊲1333番**

COPPER-BOSUITAI
OAM
TRADE ◆ MARK

● 黄綬褒章受賞

陸屋根防水には

特許 絶縁工法を

カッパー防水帯

コーパータイト

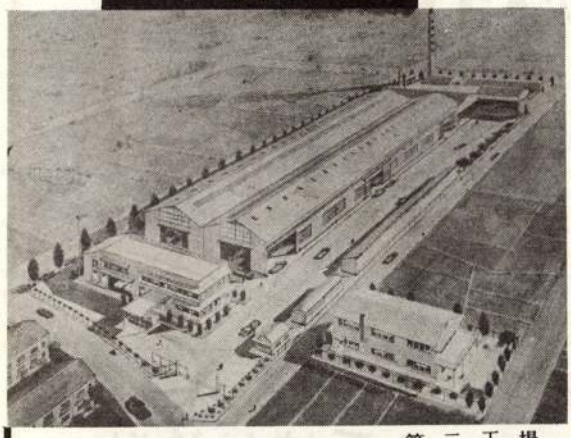
特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8の3
TEL 銀座(571) 2703～4・2370・4064・0264

●御申越次第カタログ進呈

NK



第二工場

浪速建枝工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地 電話 大阪㉝1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地 電話大阪㉝6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館 607号室 電話 東京(541)4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地(サンビル内)電話 福岡 ④ 8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地 電話 大分 1366番

浪建式
アルミサッシュ・ドアー
スチールサッシュ・ドアー
シャッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
— 製造販売 —

NANIWA
大正十四年
創業

日満ゴムタイル
全国總代理店
責任施工

建築用の接着剤には

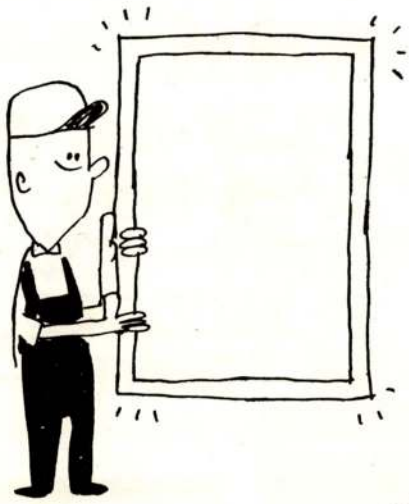
Bond ボンド

木工用	ボンド CH_2	ハードボード用	ボンド CV_{2000}	
テックスボード用	ボンド K	化粧板用	ボンド G_5	
セメントモルタル補強用	ボンド CZ	ビニタイルサラン用	ボンド G_{100}	その他
コンクリート石材用	ボンド E	木材構造用	ボンド KR	170種

製造元 株式会社 小西儀助商店 ボンド工場

見本カタログ進呈

営業所
大阪市東区道修町2丁目6番地 電話(23)2047, 2057(代表)
東京都中央区日本橋本町3丁目1番地 電話(241) 5524～8,
分室・東京都中央区日本橋本町1丁目7番地 電話(241) 2191～4, 2541
名古屋市西区菊井通り8丁目17番地 電話(55) 0658, 1058
工場 大阪・東京



近代建築に....

大建の アルミサッシ

住友軽金属工業株式会社と提携

■錆びないスチールサッシは

オートメーション焼付塗装ラインに依る

大建の 2重焼付塗装で

■部材で1回、成品で1回

建

大阪建材工業株式会社

営業所 大阪市南区九郎右衛門町21番地 TEL 大阪 ⑮ 0836～9
本社工場 堺市松屋町1丁目6番地 TEL 堺 ② 3323～7
出張所 名古屋 TEL 名古屋 ⑨ 4884 金沢 TEL 金沢 ③ 3427～8

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤



ウォータイトB号

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝塚(079) 2153
大阪連絡所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話 ㊾ 2626(直通)
出張所電話　東京（431）0874・名古屋 ㉜ 1331
ウォータイト式防水工事　仙台 ③ 0721・札幌 ⑤ 7171
代行店電話　大三工業 高松②8697 安藤工事　福岡 ③ 5765
豊永建材　広島 ④ 3567

仕様書型録贈呈

紫綬褒章に輝く

責任・施工・請負

JIS 合格モルタルコンクリート用

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

株式会社 油脂化工社

取締役社長　矢中龍次郎

本　　社 東京都品川区二葉町1－441　電話東京(781) 1715
大阪営業所 大阪市東成区西今里町2－48 電話 ㊼ 4765・0063

防火シャッター

甲種

乙種

パイプシャッター

電動式・手動式・バランス

株式会社 日本シャッター製作所

本社工場	大阪市東淀川区田川通6丁目38番地	電話(大阪)㊱代8565～8番
東京工場	川崎市新丸子東3丁目1159番地	電話中原局(047)6325～7番
九州工場	福岡市橿田町1268番地	電話 ② 4647番
名古屋支店	名古屋市中区宮出町23番地	電話 中 ㉔ 4811番
高松営業所	高松市丸ノ内10番地（井筒ビル内）	電話 ② 4008番
岡山営業所	岡山市内山下30ノ7番地	電話 ②，7219番
高知営業所	高知市西紺屋町10番地	電話 ② 7349番
神戸連絡事務所	神戸市生田区中山手通3丁目18番地	電話 ② 2650番

（呈カタログ・資料）

代行・販売店

中博光商店	札幌市北1条通東1丁目（通川通）	電話 代表(41)0281番
理研興業株式会社	小樽市色内町5ノ45番地	電話(20)672・2656・7523番
三協建材株式会社	東京都中央区八重洲3ノ1（広瀬ビル2階）	電話(07)2165～6番
栄進鉄工所	沼津市大岡南小林3400	電話 沼津 955番
佐野鋼材株式会社	清水市江尻竹下町8	電話 (2) 3628・4615番
石本金属株式会社	新潟市古町五番町624	電話(2)3181～5番
福田商店	富山市舟橋北町8番地	電話代表8541市外9
廠田金属工業株式会社	広島市胡屋町25	電話(4)8271～4番
永見金属株式会社	松江市朝日町駅南口通	電話3224・5452番
三京交易株式会社	福岡市下浜口町23番地	電話 (3) 0144 (2) 4647番
〃 小倉出張所	小倉市博労町7ノ1	電話 (5) 3673番
〃 長崎出張所	長崎市千馬町1ノ9	電話 (2) 0890番
大石産業株式会社	八幡市通町20丁目	電話(6)1195～6番
中村金物株式会社	鹿児島市武町570番地	電話代表6650～3番
〃 熊本支店	熊本市紺屋町1ノ30	電話 (2) 1231・4684番
田中鉄工株式会社	丸亀市城西町142	電話329・1221番
小川建材店	千葉市沙見ケ丘24番地	電話 (2) 0897番
橋本工作所	福島県郡山市北田町16	電話 郡山 2830番

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可

昭和三十五年十一月二十日印刷
昭和三十五年十一月廿五日発行
（毎月廿五日発行）

高圧 朝日スレート

米国式 朝日コンクリートブロック

A.S.K.

朝日石綿工業株式会社

大阪営業所　大阪市北区神山町四六　電話 大阪 ㉞ 7236代表~9 2095夜間專用
本　　社　東京銀座七.営業所-東京.横浜.名古屋.岡山.九州.北海道
工　　場　東京.横浜.山梨.名古屋.大阪.岡山.門司.宮城

三星の床材
ソフトンタイル

株式会社　木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話 ㊷ 5408・5486

株式会社　久保商店
大阪市北区真砂町5
電話 ㉞ 0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪営業所
大阪市西区南堀江大通1の19 電話 ㊹ 6161～4

合名会社　利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20（道頓堀電停前）
電話 ㉕ 0471～2・0371 ㉗ 7604
京都営業所　京都市中京区河原町夷川下ル 電話 ㉓ 3277

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話 ㊸ 0137 ㊹ 3286

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話 ⑤ 2697・2140

タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル 電話 ㉞ 4468

岡田建材株式会社
名古屋市西区西菊井町2ノ12 電話㊸ 0121・2057

株式会社　名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2 電話㉔1329・2106・2817

日東物産株式会社
本社・名古屋中区東兵町39 電話 ㉔ 6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27 電話③ 2201・2360

青盛建材株式会社
本社・広島市鉄砲町108 電話 ② 2281～4
岡山・岡山市東田町3 電話② 7911・8169
福岡・福岡市万行寺前町14 電話 ③ 1225～6

関西三星タイル会員

売価 一部 金百八十円（送料共）

御入会の御申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3－37　電話北浜 ㉓ 9648・9649・9640
振替口座大阪 39975番